

令和 3 年度
市民意識調査報告書



船 橋 市

はじめに



昭和12年に人口4万3千人ほどで歩み始めた船橋市は、現在では約64万人を擁し、市民の皆様が文化、スポーツ、福祉、環境、教育など、さまざまな分野で輝きを放つ活力あふれる大都市に発展しました。

また、船橋市は、東京湾に面して恵み豊かな干潟である三番瀬、内陸部には工業地、商業地、住宅地、農地が広がり、バランスのとれた産業と、発達した交通網により、全国有数の都市としてのポテンシャルを持っております。

この全国に誇れるすばらしい市民力と都市力を活かし、心豊かにすごせる魅力あるまち、子供から高齢者まで誰もが安心して暮らしやすい住む喜びを感じるまちを目指して、さまざまな施策に全力で取り組んでいるところです。

船橋市市民意識調査は、皆様の意見を市政運営に役立てるため、昭和47年度から毎年実施しており、今回で50回目の調査となります。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、全国的な医療体制のひっ迫、生活様式の変化や社会・経済など多岐にわたり影響を及ぼし、さまざまな制約が伴う中で不安な日々が続いております。

こうした中、令和3年度の調査は「新型コロナウイルス感染症の影響」「めざすまちの姿」等をテーマに行いました。

調査結果につきましては、今後の市政運営における貴重な基礎資料として活用してまいります。結びに、調査にご協力いただいた多くの市民の皆様に心より御礼申し上げます。

船橋市長 松戸 徹

市章・市の花・市の木



市章 (昭和12年制定)
「舟」の文字を図案化したもので、船橋発展のシンボルです。



市の木 サザンカ
若潮国体（昭和48年に千葉県で開催）を記念して、昭和45年に市民の皆さんに選んでいただきました。

市の花 「第24回全国都市緑化ふなばしフェア（平成19年）」の開催を記念して制定しました。



ヒマワリ
太陽に向かって咲き、力強く、将来の船橋市の子どもたちに勇気と希望を与える花



カザグルマ
船橋市に自生している貴重種であり、市のシンボルマークとして、大切に保護していくべき花

目 次

I. 調査概要	1
1. 調査目的	3
2. 調査設計	3
3. 調査内容	3
4. 配布・回収結果.....	3
5. 居住地区区分	4
6. 報告書の見方	5
II. 調査回答者の属性	7
1. 性別	9
2. 年齢	9
3. 職業	10
4. 世帯状況	10
5. 居住年数	11
6. 居住地区	11
7. 以前の居住地	12
III. 調査結果の分析	13
1. 「住みごち」について	15
(1) 船橋市への愛着	15
(2) 船橋市への定住意向	18
(3) 船橋市の住みごち	21
(3-1) 船橋市が住みよい理由	24
(3-2) 船橋市が住みにくい理由	28
(4) 「住みごち」概観	32
2. 「広報活動」について	33
(1) 情報を入手するためによく利用するもの	33
(2) 市の事業やイベント情報などの入手方法	35
(3) 広報紙やホームページで知りたい情報	37
(4) 「広報ふなばし」の閲読状況	39
(4-1) 「広報ふなばし」の入手方法	41
(4-2) 「広報ふなばし」の読みやすさ	43
(4-3) 「広報ふなばし」を読まない理由	45
(4-4) 「広報ふなばし」が読みにくい理由	47
(5) 「広報活動」概観	48
3. 「新型コロナウイルス感染症の影響」について	49

(1) 健康状態.....	49
(2) 生活習慣や身体の変化.....	51
(2-1) 食事の量.....	51
(2-2) 体重.....	53
(2-3) 睡眠時間.....	55
(2-4) 体力.....	57
(2-5) 飲酒量.....	59
(2-6) 喫煙量.....	61
(2-7) 運動量（身体活動量）.....	63
(2-8) 運動量（身体活動量）が減少した理由.....	65
(3) コロナ禍での体を動かす工夫の有無.....	67
(3-1) 体を動かす工夫をしている内容.....	69
(4) コロナ禍における医療機関の受診状況.....	71
(5) 不満、悩み、苦勞、ストレスなどの有無.....	73
(6) 不満、悩み、苦勞、ストレスなどの解消状況.....	75
(7) 不安やストレスを解消するために行っていること.....	77
(8) 困っていること・心配と感じていること.....	79
(9) 重点的に実施してほしいと考える施策.....	81
(10) 生活スタイルが変化したことによる良いと思える影響.....	83
(11) 「新型コロナウイルス感染症の影響」概観.....	85
4. 「ひきこもり」について.....	86
(1) ひきこもりの相談先として認知している機関.....	86
(2) 家族を含むひきこもり状態.....	88
(3) ひきこもりの家族の年齢.....	90
(4) ひきこもり相談機関への相談状況.....	91
(5) ひきこもり相談の相談先.....	93
(6) ひきこもり相談窓口への要望.....	95
(7) ひきこもりの期間.....	97
(8) 「ひきこもり」概観.....	99
5. 「本市の災害対策」について.....	100
(1) 災害に備えた対策について.....	100
(1-1) 日頃からの備え.....	100
(1-2) 災害に備えた対策の内容.....	102
(1-3) 備蓄している品目.....	104
(1-4) 飲料水や食料品の備蓄量.....	106
(1-5) 備えをしていない理由.....	108
(1-6) 備蓄していない理由.....	110
(2) 災害に対する情報の取得方法について.....	112

(2-1)	防災行政無線の放送内容の確認方法.....	112
(2-2)	放送内容の確認方法の認知経路.....	114
(2-3)	利用している市のメディア・ツール.....	116
(2-4)	市のメディア・ツールの認知経路.....	118
(3)	災害時における避難について.....	120
(3-1)	コロナ禍における災害時の避難.....	120
(3-2)	避難時に新型コロナウイルス感染症防止のために持参するもの.....	122
(4)	「本市の災害対策」概観.....	124
6.	「めざすまちの姿」について.....	125
(1)	「めざすまちの姿」の実現状況.....	125
(1-1)	災害時の情報収集・伝達体制の整備.....	127
(1-2)	災害に強い地域社会づくり.....	127
(1-3)	災害に強い都市基盤の整備.....	128
(1-4)	(1)~(3)でお尋ねした事項を総合的に見て、『非常時への備えのあるまち』としての環境整備.....	128
(1-5)	保健・医療・福祉の体制づくり.....	129
(1-6)	犯罪のないまちづくり.....	129
(1-7)	暮らしやすいまちづくり.....	130
(1-8)	支えあいのコミュニティづくり.....	130
(1-9)	(5)~(8)でお尋ねした事項を総合的に見て、『安心して暮らせるまち』としての環境整備.....	131
(1-10)	環境にやさしい暮らし方の普及.....	131
(1-11)	環境負荷の少ないまちづくり.....	132
(1-12)	自然とふれあう場づくり.....	132
(1-13)	(10)~(12)でお尋ねした事項を総合的に見て、『未来へつなぐ恵み豊かな環境のまち』としての環境整備.....	133
(1-14)	子どもが笑顔で育つまちづくり.....	133
(1-15)	子育てを支援する環境づくり.....	134
(1-16)	(14)~(15)でお尋ねした事項を総合的に見て、『笑顔があふれる子育てのまち』としての環境整備.....	134
(1-17)	快適さアップ.....	135
(1-18)	活力アップ.....	135
(1-19)	注目度アップ.....	136
(1-20)	(17)~(19)でお尋ねした事項を総合的に見て、『人が集まる元気なまち』としての環境整備.....	136
(1-21)	「ふなばし」の魅力発見.....	137
(1-22)	地域活動の支援と仕組みづくり.....	137
(1-23)	市内外への「ふなばし」情報の発信.....	138

(1-24) (21)~(23)でお尋ねした事項を総合的に見て、『市民に愛され、育まれるまち』 としての環境整備	138
(2) 「めざすまちの姿」概観.....	139
7. 「市の施策」について.....	140
(1) ここ数年でよくなったもの	140
(2) 力を入れるべきもの	143
(3) 「市の施策」地区別分析.....	146
(4) 「市の施策」概観.....	151
8. 自由意見	155
(1) 自由意見のまとめ.....	155
(2) 自由意見の抜粋	156
IV. 調査票.....	169

I. 調査概要

I. 調査概要

1. 調査目的

本調査は、住み良さや定住意識、愛着心、市政の各分野における市民ニーズの基本動向を把握分析するとともに、これまで実施してきた市民意識調査結果との時系列分析を行うことにより、今後の施策展開に資することを目的とする。

2. 調査設計

- (1) 調査地域：船橋市全域
- (2) 調査対象：船橋市在住の満 18 歳以上の男女
- (3) 標本数：3,000 人
- (4) 標本抽出：住民基本台帳から性別、年齢、地域などを考慮して無作為抽出
- (5) 調査方法：郵送配布－郵送回収
(※ 調査期間中に督促を兼ねた「礼状はがき」を 1 回送付)
- (6) 調査期間：令和 3 年 9 月 10 日（金）～9 月 30 日（木）
- (7) 調査機関：株式会社総合企画

3. 調査内容

- (1) 「住みごこち」について
- (2) 「広報活動」について
- (3) 「新型コロナウイルス感染症の影響」について
- (4) 「ひきこもり」について
- (5) 「本市の災害対策」について
- (6) 「めざすまちの姿」について
- (7) 「市の施策」について

4. 配布・回収結果

- (1) 標本数：3,000
- (2) 回収数：1,485
- (3) 有効回収率：49.5%

年度	有効回収率
平成29年度	44.8%
平成30年度	45.6%
令和元年度	47.5%
令和2年度	56.6%
令和3年度	49.5%

5. 居住地区区分

本調査での船橋市内の地区区分は、下表・下図の通りである。

◆居住地区内町名

地区	該当町名
南部地区	宮本、市場、東船橋、東町、駿河台、本町、湊町、浜町、若松、日の出、西浦、栄町、潮見町、高瀬町、南本町、海神、海神町、海神町東、海神町西、海神町南、南海神
西部地区	山野町、印内町、葛飾町、本郷町、古作町、古作、西船、印内、東中山、二子町、本中山、旭町、行田町、行田、山手、北本町、前貝塚町、丸山、上山町、馬込西、馬込町、藤原
中部地区	夏見、夏見町、夏見台、米ヶ崎町、高根町、金杉町、金杉、金杉台、緑台、高根台、芝山、新高根
東部地区	前原東、前原西、中野木、二宮、飯山満町、滝台町、滝台、薬円台、薬園台町、七林町、三山、田喜野井、習志野、習志野台、西習志野
北部地区	二和東、二和西、三咲町、三咲、南三咲、八木が谷町、咲が丘、みやぎ台、八木が谷、高野台、松が丘、大穴町、大穴南、大穴北、小室町、小野田町、大神保町、神保町、車方町、鈴身町、豊富町、金堀町、楠が山町、古和釜町、坪井東、坪井西、坪井町

◆居住地区区分図



6. 報告書の見方

(1) 結果の表示方法

本報告書を見るにあたって、留意すべきこととして以下の事項があげられる。

- ①比率はすべて百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出した。したがって、すべての選択肢の比率の合計が100%にならないことがある。
- ②基数となるべき実数はnとして掲載した。各比率はnを100%として算出した。
- ③複数回答の質問では、すべての選択肢の比率の合計は通常100%を超える。
- ④誤差を考慮し、nが小さい場合（10未満）は、基本的に検討の対象としない。
- ⑤図中にある「その他」の比率は、選択肢として「その他」を選んだ回答者数の比率であり、表にある「その他」の内訳は具体的な内容についての件数である。選択肢「その他」を選んでも内容の記入がないものや、1人の回答者が複数の内容を記入しているものがあるため、「その他」の比率と「その他」の内訳件数は一致しない。

(2) 標本誤差

標本誤差は、次式により得られる。ただし、信頼度は一般的に用いられる95%とする。

(注)「信頼度95%」とは、100回同じ調査を実施したときに、おおむね95回はこの精度が得られることを示す。

$$b = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}} \doteq \pm 1.96 \sqrt{\frac{P(1-P)}{n}}$$

ただし、b = 標本誤差

N = 母集団数（船橋市全体・人）

n = サンプル数（人）…本報告書ではこれをn（比率算出の基数）で示す。

P = 回答比率

また、Nはnより十分大きいと、 $\frac{N-n}{N-1} \doteq 1$ とみなしている。

上式をもとに、本調査の標本誤差の早見表を掲げる。

◆ 今回の調査結果の標本誤差（信頼度95%）

回答比率(P) n (人)	10%または 90%程度	20%または 80%程度	30%または 70%程度	40%または 60%程度	50%程度
1,485	±1.53%	±2.03%	±2.33%	±2.49%	±2.54%
1,000	±1.86%	±2.48%	±2.84%	±3.04%	±3.10%
838	±2.03%	±2.71%	±3.10%	±3.32%	±3.39%
596	±2.41%	±3.21%	±3.68%	±3.93%	±4.01%
500	±2.63%	±3.51%	±4.02%	±4.29%	±4.38%
300	±3.39%	±4.53%	±5.19%	±5.54%	±5.66%
100	±5.88%	±7.84%	±8.98%	±9.60%	±9.80%

（表の見方）例えば、ある設問の回答者数が1,485人であり、その設問中にある選択肢の回答比率が50%であった場合、「回答比率の誤差の範囲は±2.54%以内（47.46%～52.54%）である。ただし信頼度が95%であるので、誤差の範囲が±2.54%以内となる確率は95%である。」と見ることができる。

(3) 時系列比較の出典について

時系列比較の出典は、過年度に実施した市民意識調査の結果によるものである。

Ⅱ. 調査回答者の属性

II. 調査回答者の属性

1. 性別

回答者の性別は、女性（838人・56.4%）の割合が、男性（596人・40.1%）より高くなっている。

	基数	構成比 (%)	配布数
1. 男性	596	40.1	1,517
2. 女性	838	56.4	1,483
(無回答)	51	3.4	
合計	1,485	100.0	3,000

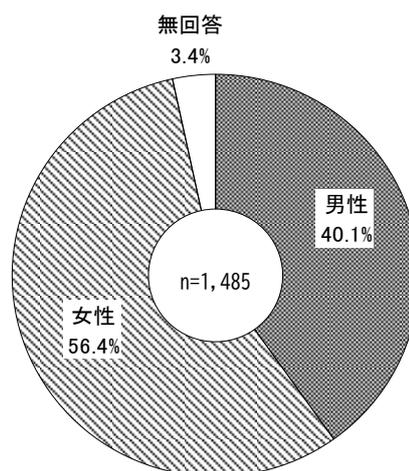


図 II - 1 性別

2. 年齢

回答者の年齢は、60歳以上（506人・34.1%）の割合が最も高く、次いで40～49歳（303人・20.4%）が2割を超えている。

最低は、18～29歳（152人・10.2%）となっている。

	基数	構成比 (%)
1. 18～29歳	152	10.2
2. 30～39歳	197	13.3
3. 40～49歳	303	20.4
4. 50～59歳	274	18.5
5. 60歳以上	506	34.1
(無回答)	53	3.6
合計	1,485	100.0

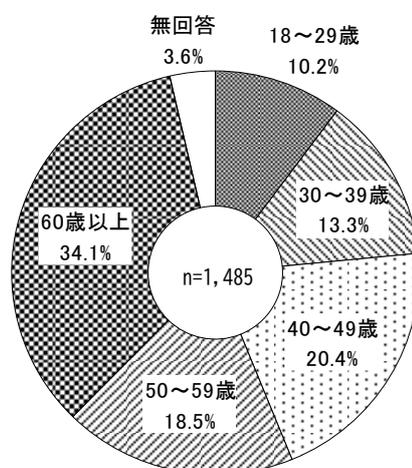
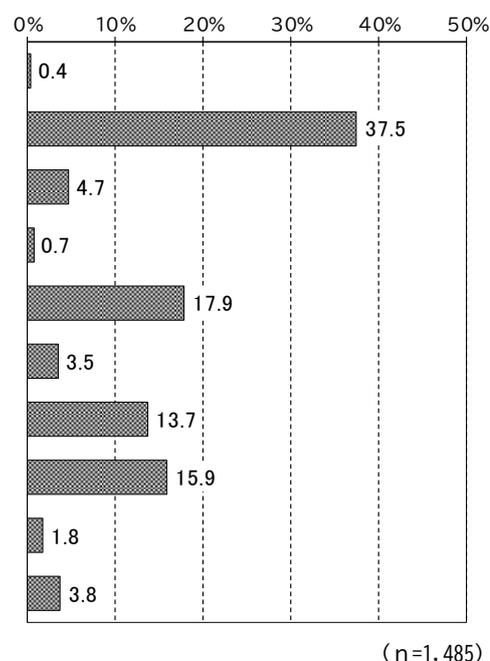


図 II - 2 年齢

3. 職業

回答者の職業は、会社員・公務員（557人・37.5%）の割合が最も高く、4割近くとなっている。次いで、アルバイト・パート・契約（派遣）社員（266人・17.9%）、無職（年金生活者を含む）（236人・15.9%）、専業主婦（主夫）（203人・13.7%）と続いている。

	基数	構成比 (%)
1. 農業・漁業	6	0.4
2. 会社員・公務員	557	37.5
3. 自営・自由業・経営者	70	4.7
4. 家族従業（「1」を除く）	11	0.7
5. アルバイト・パート・契約（派遣）社員	266	17.9
6. 学生（予備校生を含む）	52	3.5
7. 専業主婦（主夫）	203	13.7
8. 無職（年金生活者を含む）	236	15.9
9. その他	27	1.8
（無回答）	57	3.8
合 計	1,485	100.0

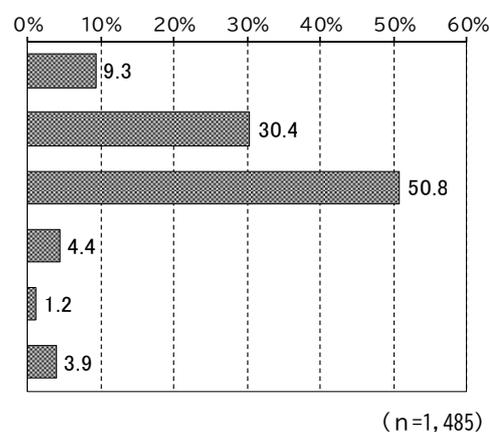


図Ⅱ－3 職業

4. 世帯状況

回答者の世帯状況は、二世帯世帯（親子など）（754人・50.8%）の割合が最も高く、5割を超えている。次いで、一世帯世帯（夫婦のみ、兄弟姉妹のみ）（451人・30.4%）、単身世帯（ひとり暮らし）（138人・9.3%）と続いている。

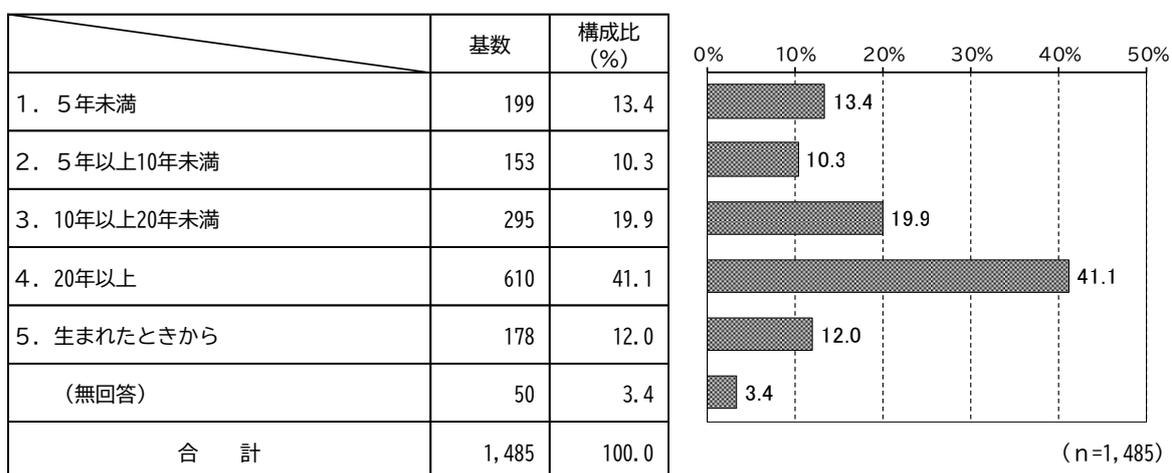
	基数	構成比 (%)
1. 単身世帯（ひとり暮らし）	138	9.3
2. 一世帯世帯（夫婦のみ、兄弟姉妹のみ）	451	30.4
3. 二世帯世帯（親子など）	754	50.8
4. 三世帯世帯（親と子と孫など）	66	4.4
5. その他	18	1.2
（無回答）	58	3.9
合 計	1,485	100.0



図Ⅱ－4 世帯状況

5. 居住年数

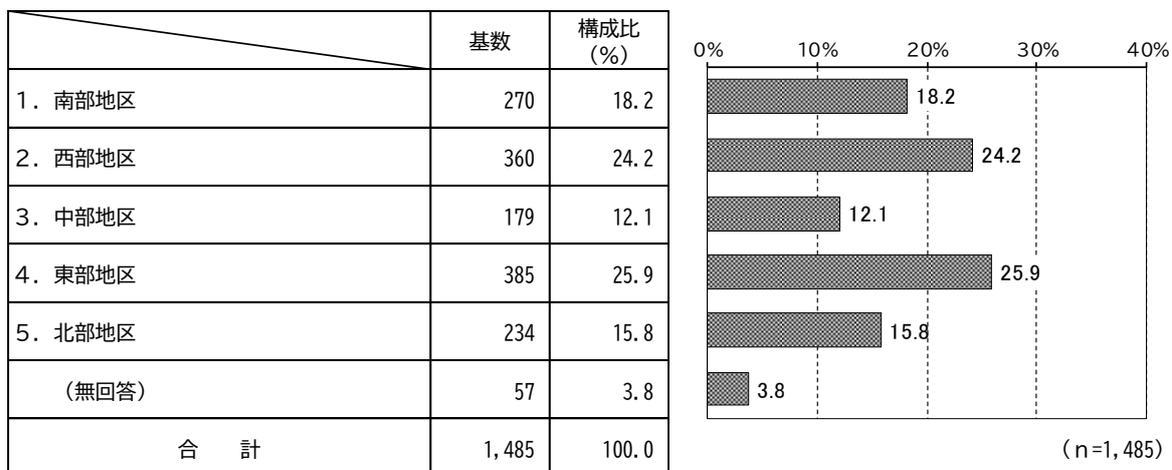
回答者の居住年数は、20年以上（610人・41.1%）の割合が最も高く、次いで、10年以上20年未満（295人・19.9%）、5年以上10年未満（153人・10.3%）、生まれたときから（178人・12.0%）、5年未満（199人・13.4%）の順になっている。



図Ⅱ－5 居住年数

6. 居住地区

回答者の居住地区は、東部地区（385人・25.9%）、西部地区（360人・24.2%）が2割を超え、次いで、南部地区（270人・18.2%）、北部地区（234人・15.8%）、中部地区（179人・12.1%）の順になっている。

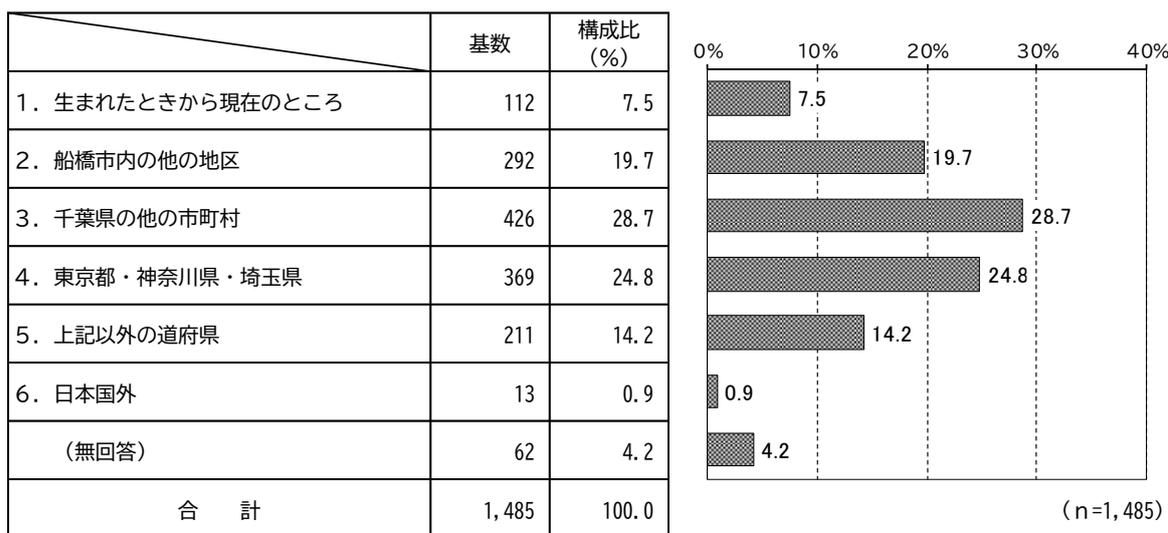


図Ⅱ－6 居住地区

7. 以前の居住地

回答者の以前の居住地は、千葉県の他の市町村（426人・28.7%）、東京都・神奈川県・埼玉県（369人・24.8%）が2割を超え、次いで、船橋市内の他の地区（292人・19.7%）、上記以外の道府県（211人・14.2%）が続いている。

生まれたときから現在のところ（112人・7.5%）、日本国外（13人・0.9%）は1割を下回っている。



図Ⅱ－7 以前の居住地

Ⅲ. 調査結果の分析

Ⅲ. 調査結果の分析

1. 「住みごち」について

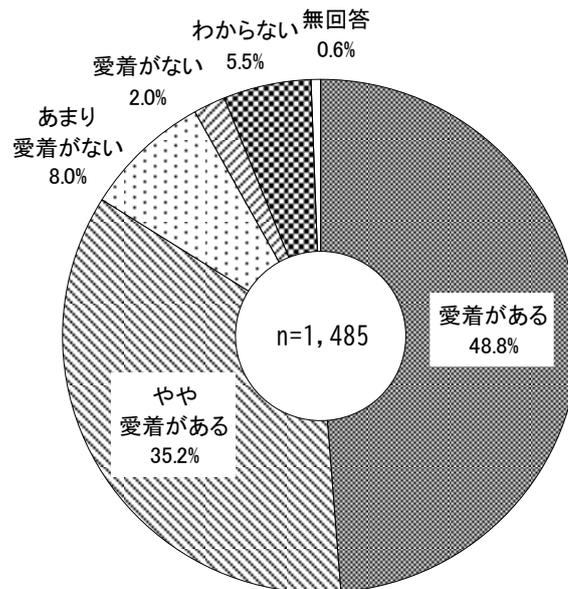
(1) 船橋市への愛着

『愛着を持っている人』は8割超

【問1】「船橋市」に愛着を持っていますか。(〇は1つ)

船橋市に愛着を持っているかの質問に、「愛着がある」の割合は48.8%と約半数の人が回答している。「やや愛着がある」(35.2%)を合わせた『愛着を持っている人』の割合は、84.0%と8割を超えている。

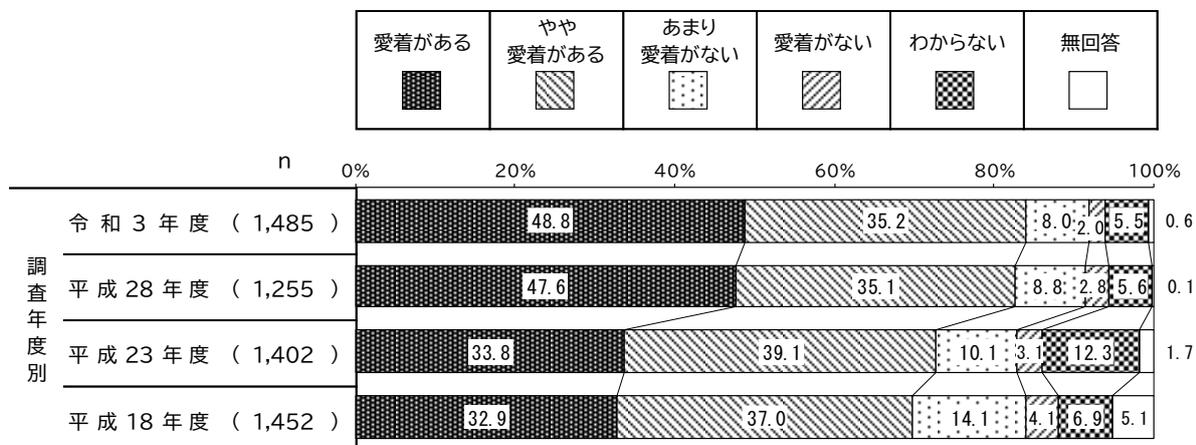
一方、「あまり愛着がない」(8.0%)と「愛着がない」(2.0%)を合わせた『愛着を持っていない人』の割合は、10.0%でちょうど1割となっている。



図Ⅲ－1 船橋市への愛着

【時系列比較】

時系列で比較すると、「愛着がある」と「やや愛着がある」を合わせた『愛着を持っている人』の割合（84.0%）は年々高くなり、平成 28 年度（82.7%）から 1.3 ポイント増加している。

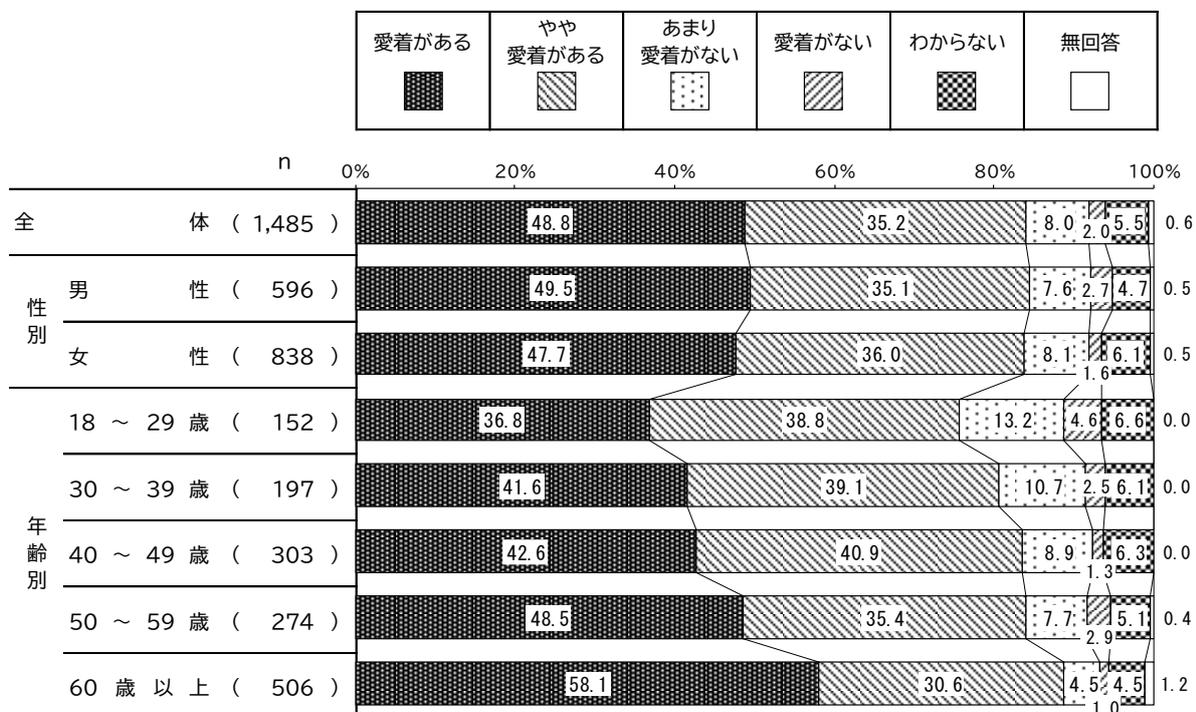


図Ⅲ－2 船橋市への愛着（時系列比較）

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「愛着がある」と「やや愛着がある」を合わせた『愛着を持っている人』の割合は、男性（84.6%）、女性（83.7%）でおおむね変わらない。

年齢別にみると、『愛着を持っている人』の割合は、年齢が上がるに従い高くなり、60 歳以上では 88.7%と 9 割弱となっている。

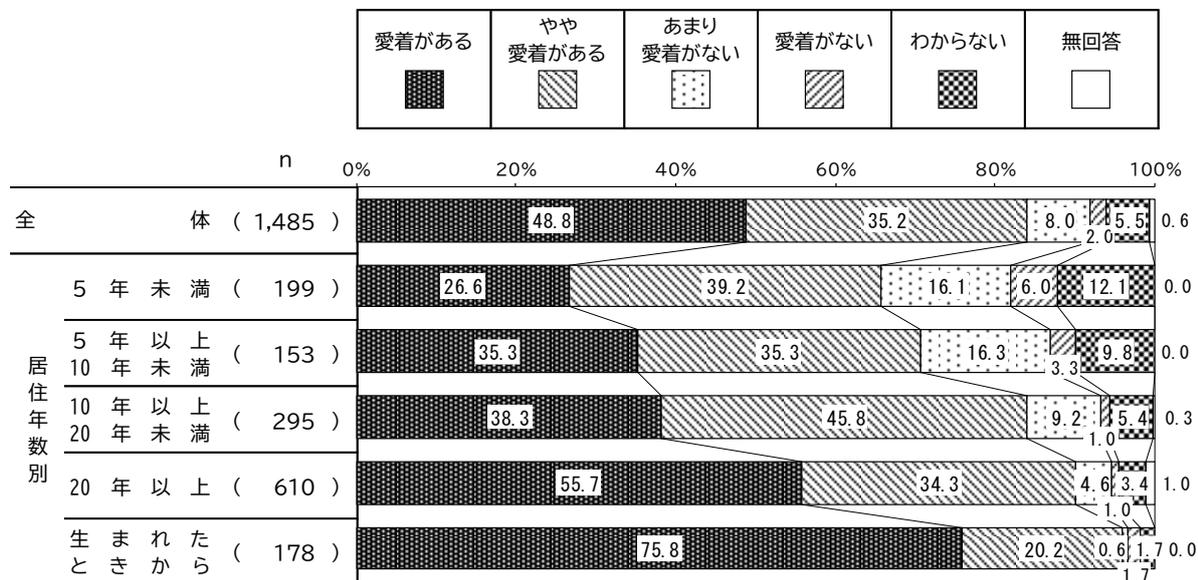


図Ⅲ－3 船橋市への愛着（性別／年齢別）

【居住年数別】

居住年数別にみると、「愛着がある」と「やや愛着がある」を合わせた『愛着を持っている人』の割合は、「生まれたときから」(96.0%) が最も高く 9 割を超えている。

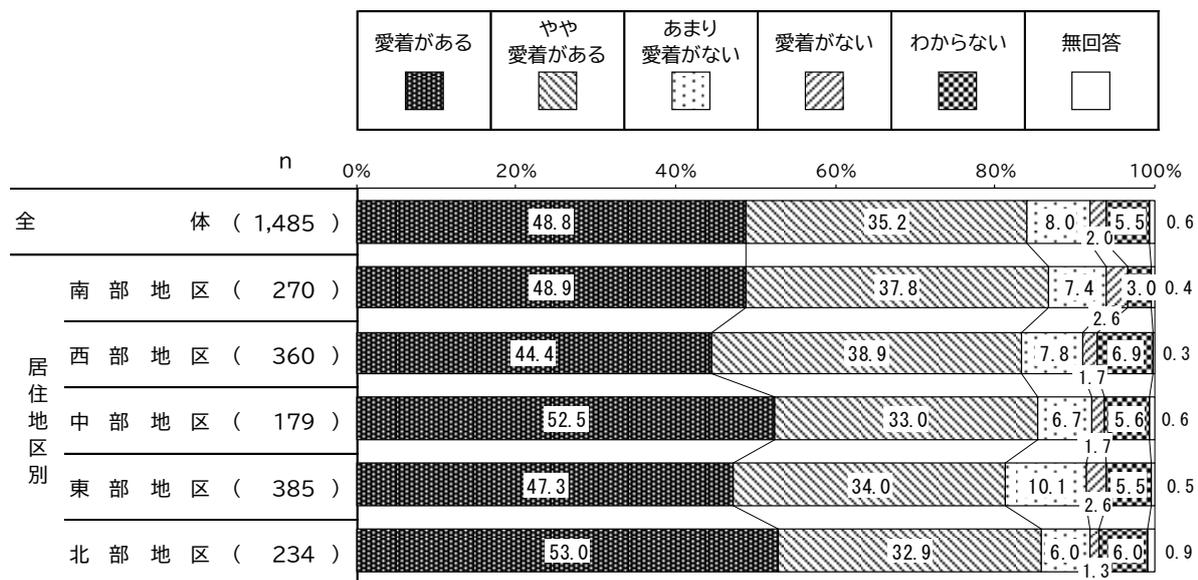
「生まれたときから」を除いた居住年数だけで比べると、居住年数が長いほど『愛着を持っている人』の割合が高く、最も高い「20 年以上」(90.0%) と最も低い「5 年未満」(65.8%) の差は 24.2 ポイントある。



図Ⅲ－4 船橋市への愛着（居住年数別）

【居住地区別】

居住地区別にみると、「愛着がある」は、北部地区 (53.0%)、中部地区 (52.5%) で 5 割を超えており、「愛着がある」と「やや愛着がある」を合わせた『愛着を持っている人』の割合は、南部地区 (86.7%)、北部地区 (85.9%)、中部地区 (85.5%)、西部地区 (83.3%)、東部地区 (81.3%) で全ての地区で 8 割を超えている。



図Ⅲ－5 船橋市への愛着（居住地区別）

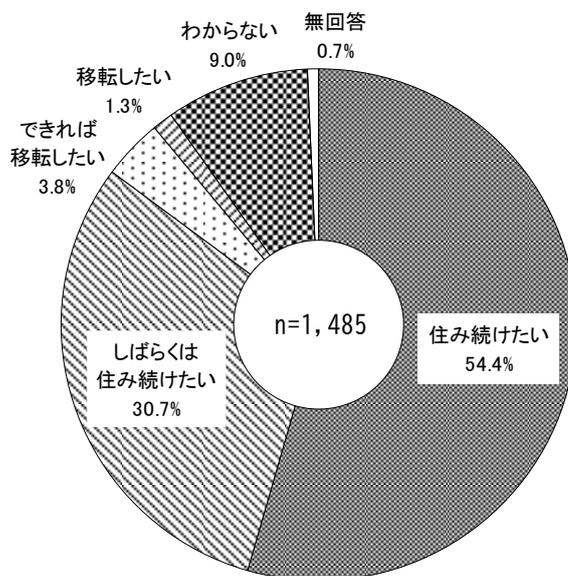
(2) 船橋市への定住意向

『住み続けたい人』は8割超

【問2】今後も「船橋市」に住み続けたいと思いますか。(〇は1つ)

今後も船橋市に住み続けたいと思うかの質問に対し、「住み続けたい」(54.4%)と「しばらくは住み続けたい」(30.7%)を合わせた『住み続けたい人』の割合は、85.1%と8割を超えている。

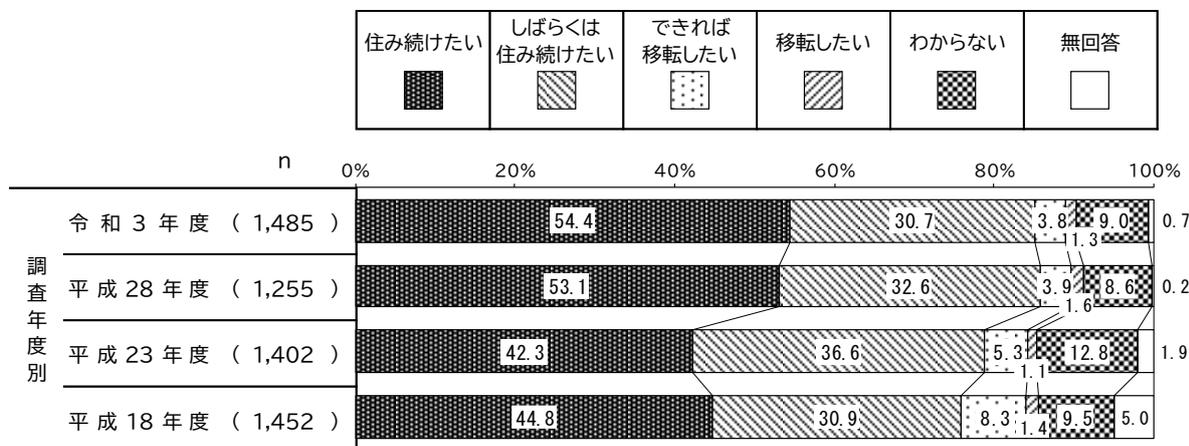
一方、「できれば移転したい」(3.8%)と「移転したい」(1.3%)を合わせた『移転したい人』の割合は、5.1%となっている。



図Ⅲ－6 船橋市への定住意向

【時系列比較】

時系列で比較すると、「住み続けたい」と「しばらくは住み続けたい」を合わせた『住み続けたい人』の割合（85.1%）は、平成28年度（85.7%）と比べ0.6ポイント減少しているが、8割は超えている。

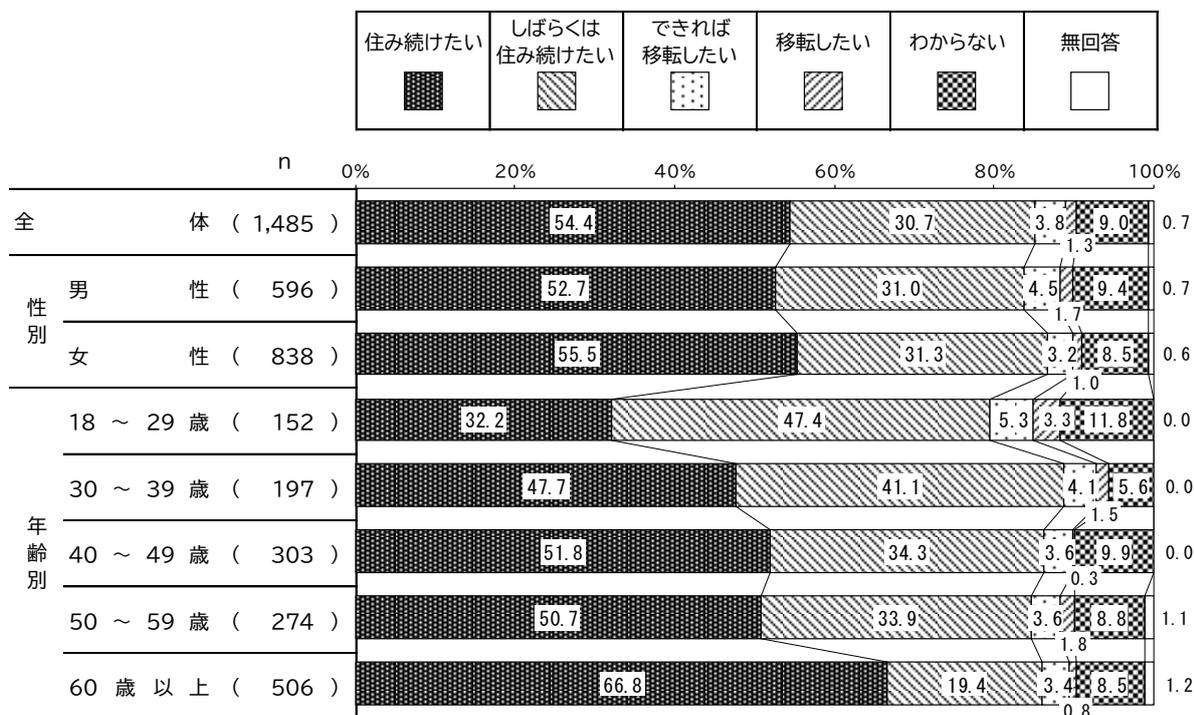


図Ⅲ-7 船橋市への定住意向（時系列比較）

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「住み続けたい」と「しばらくは住み続けたい」を合わせた『住み続けたい人』の割合は、女性（86.8%）が男性（83.7%）より3.1ポイント高くなっている。

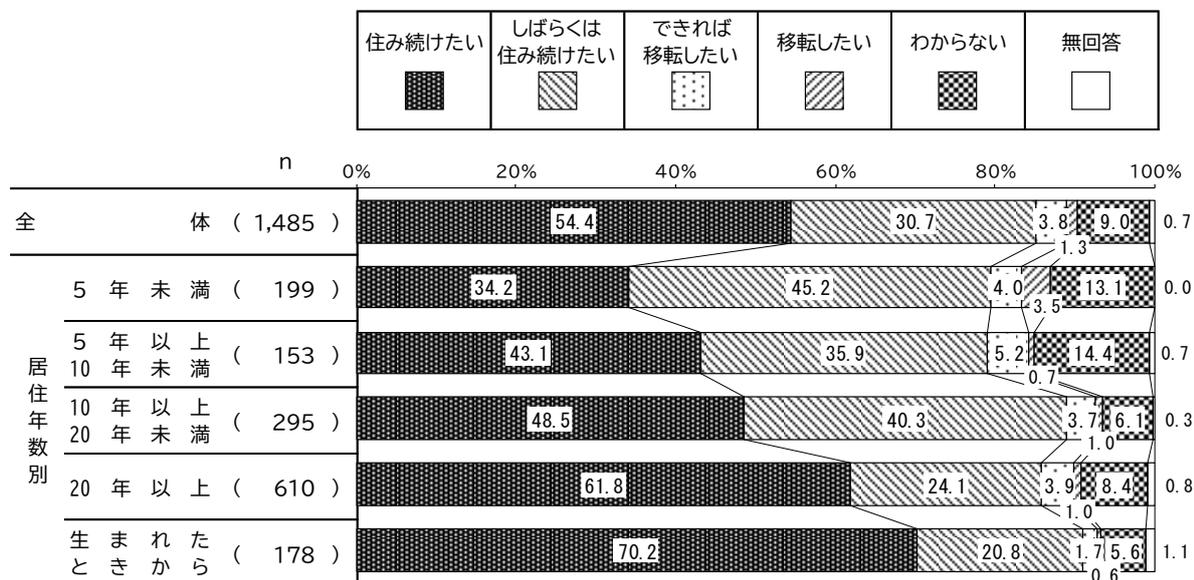
年齢別にみると、『住み続けたい人』の割合は、18～29歳（79.6%）を除いて、8割を超え、「住み続けたい」でも60歳以上（66.8%）、50～59歳（50.7%）、40～49歳（51.8%）は、5割を超えている。



図Ⅲ-8 船橋市への定住意向（性別／年齢別）

【居住年数別】

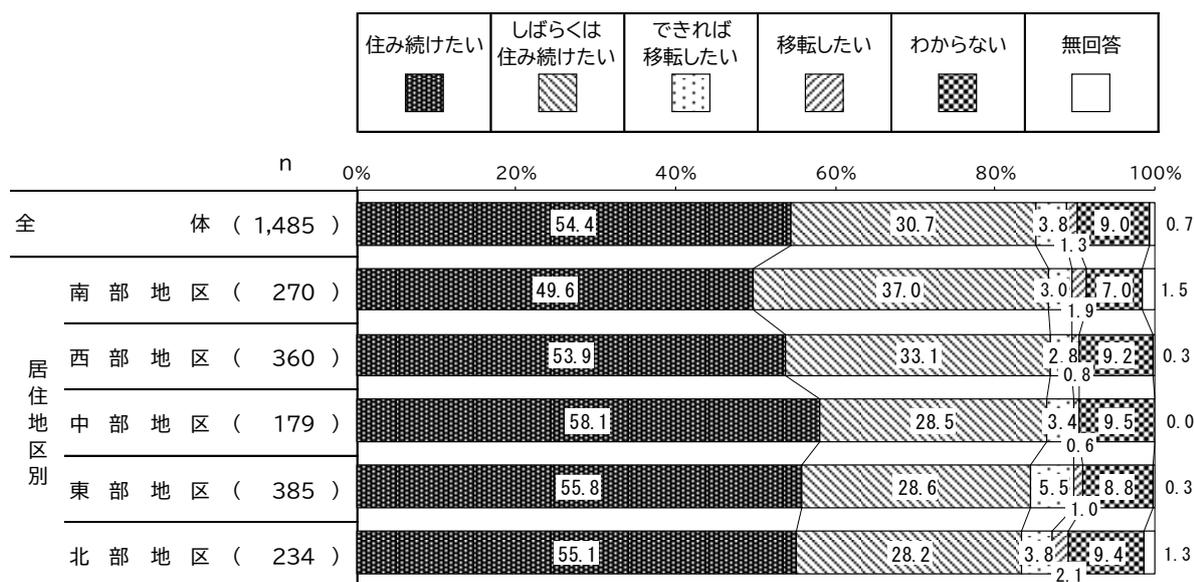
居住年数別にみると、「住み続けたい」と答えた割合が、生まれたときから（70.2%）、20年以上（61.8%）で高く、「住み続けたい」と「しばらくは住み続けたい」を合わせた『住み続けたい人』の割合は、5年未満（79.4%）と5年以上10年未満（79.0%）を除き、85.9%～91.0%の範囲にあり、8割を超えている。



図Ⅲ－9 船橋市への定住意向（居住年数別）

【居住地区別】

居住地区別にみると、「住み続けたい」は南部地区（49.6%）を除く全ての地区で5割を超え、なかでも中部地区（58.1%）で最も高く、「住み続けたい」と「しばらくは住み続けたい」を合わせた『住み続けたい人』の割合では、西部地区（87.0%）が最も高くなっている。



図Ⅲ－10 船橋市への定住意向（居住地区別）

(3) 船橋市の住みごっこ

『住みよく思う人』は8割超

【問3】「船橋市」を住みよいまちと感じていますか。(〇は1つ)

船橋市の住みごっこを聞いたところ、「住みよい」(27.7%)と「まあまあ住みよい」(53.0%)を合わせた『住みよく思う人』の割合は、80.7%と8割を超えている。

一方、「あまり住みよくない」(11.6%)と「住みにくい」(2.5%)を合わせた『住みよく思わない人』の割合は、14.1%となっている。

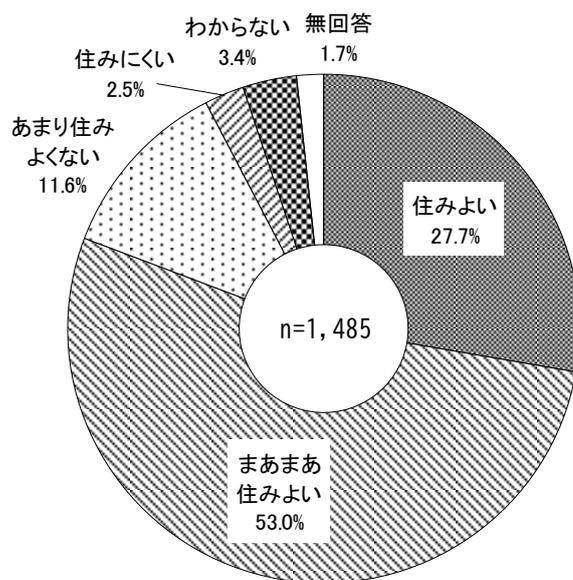
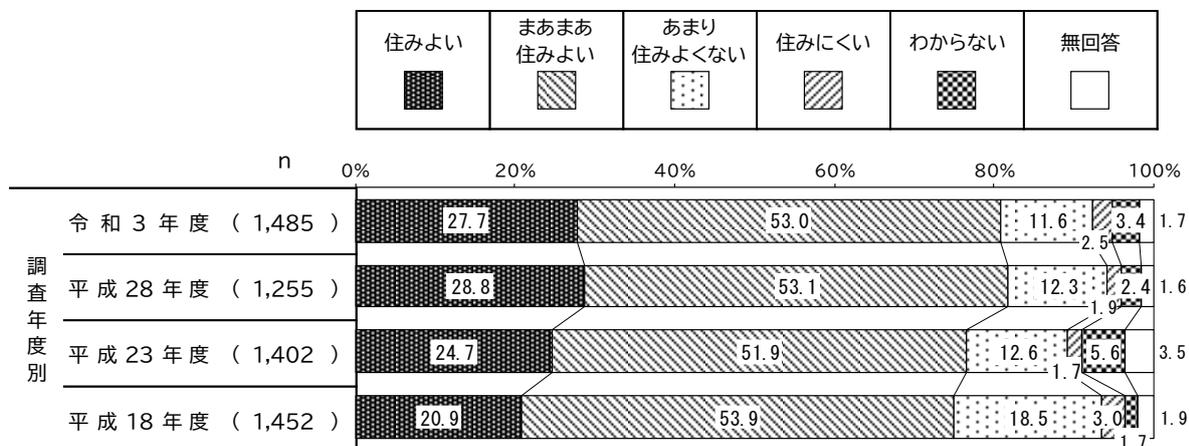


図 III-11 船橋市の住みごっこ

【時系列比較】

時系列で比較すると、「住みよい」と「まあまあ住みよい」を合わせた『住みよく思う人』の割合（80.7%）は、平成28年度（81.9%）と比べ1.2ポイント減少しているが、8割は超えている。

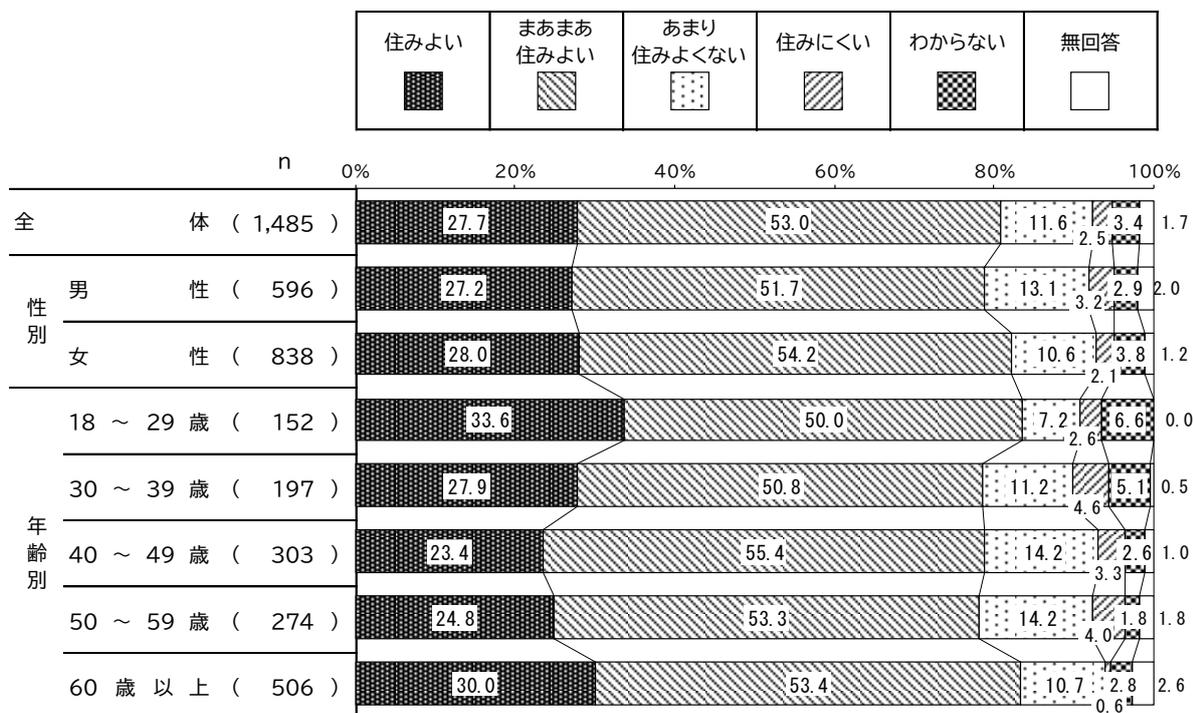


図Ⅲ－12 船橋市の住みごち（時系列比較）

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「住みよい」と「まあまあ住みよい」を合わせた『住みよく思う人』の割合は、女性（82.2%）が男性（78.9%）より3.3ポイント高くなっている。

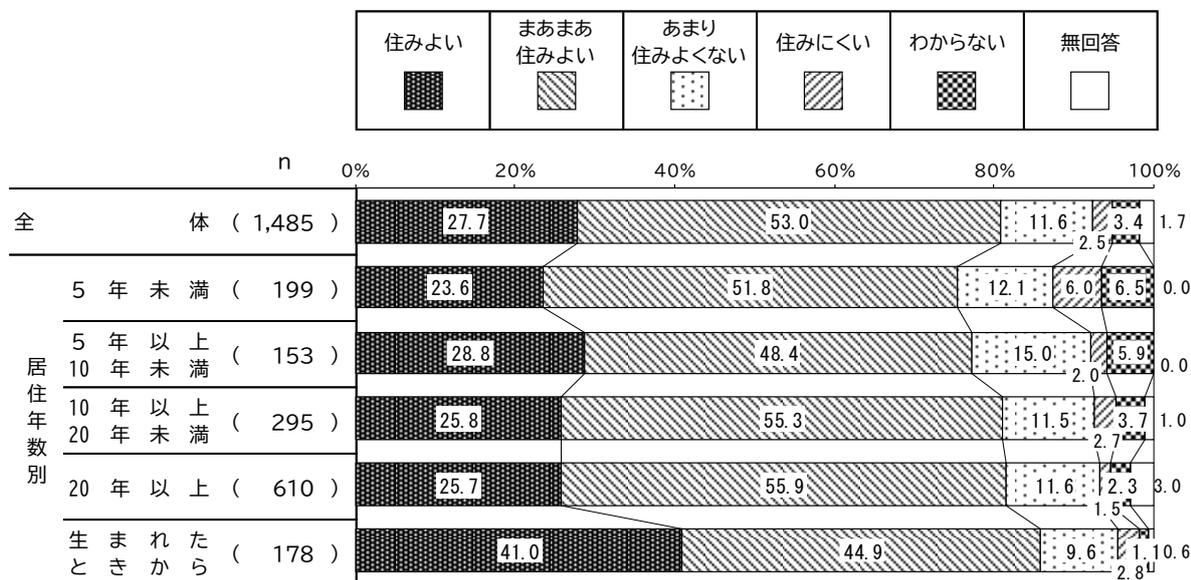
年齢別にみると、『住みよく思う人』の割合は、18～29歳（83.6%）と60歳以上（83.4%）が高くなっている。



図Ⅲ－13 船橋市の住みごち（性別／年齢別）

【居住年数別】

居住年数別にみると、「住みよい」は生まれたときから（41.0%）が最も高く、「住みよい」と「まあまあ住みよい」を合わせた『住みよく思う人』の割合も、生まれたときから（85.9%）が最も高くなっている。

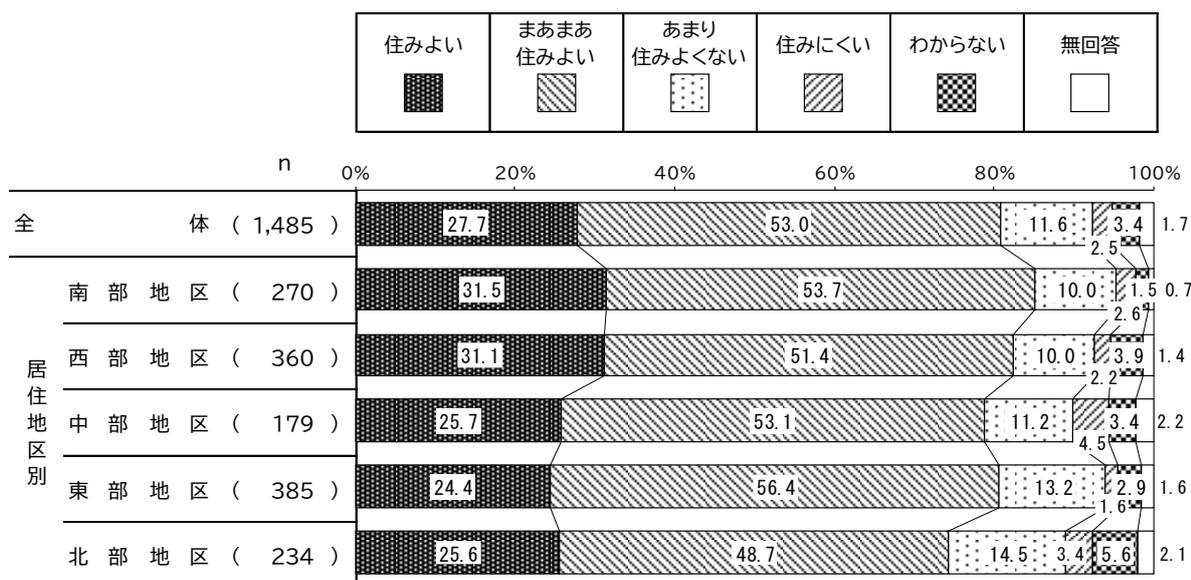


図Ⅲ-14 船橋市の住みごち（居住年数別）

【居住地区別】

居住地区別にみると、「住みよい」の割合は、南部地区（31.5%）が最も高く、東部地区（24.4%）で最も低くなっている。

「住みよい」と「まあまあ住みよい」を合わせた『住みよく思う人』の割合は、北部地区（74.3%）と中部地区（78.8%）を除き、80.8%～85.2%の範囲にあり8割を超えている。



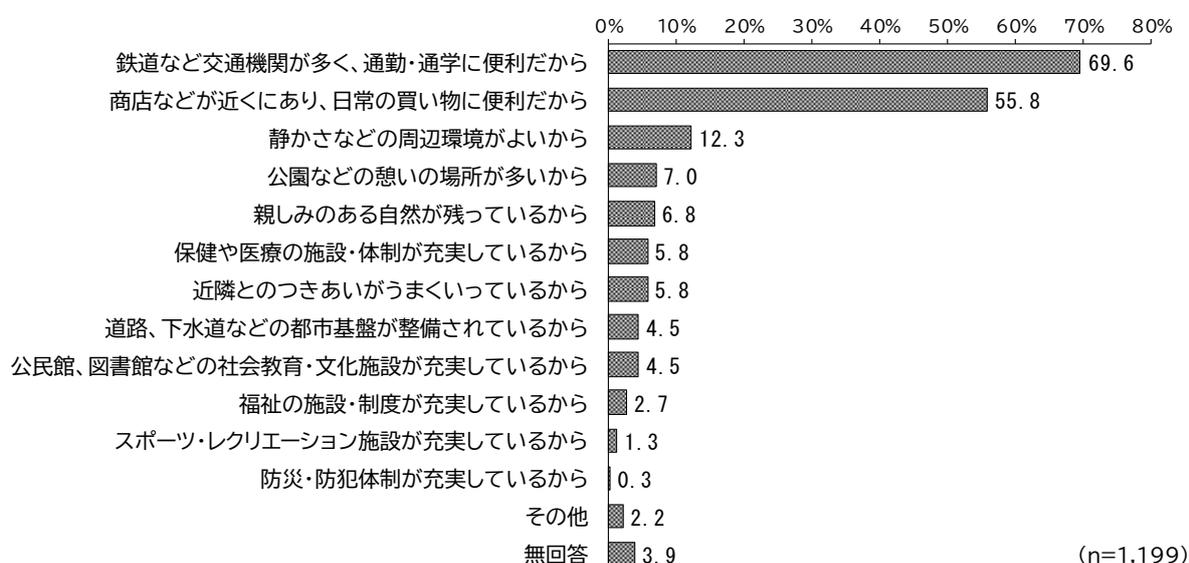
図Ⅲ-15 船橋市の住みごち（居住地区別）

(3-1) 船橋市が住みよい理由

「鉄道など交通機関が多く、通勤・通学に便利だから」住みよいが7割
 (問3で「1. 住みよい」または「2. まあまあ住みよい」とお答えの方)
 【問3-1】住みよいと感じるのはどのようなことですか。(〇は2つまで)

船橋市の住みごちについて「住みよい」、「まあまあ住みよい」と答えた人(1,199人)に対して、その理由を聞いたところ、「鉄道など交通機関が多く、通勤・通学に便利だから」が69.6%で最も高く、次いで「商店などが近くにあり、日常の買い物に便利だから」(55.8%)までが5割を超えており、この2つを理由として挙げる人が多い。

「その他」については、「生まれ育ったところ・住み慣れたまちだから」(7件)などが挙げられている。



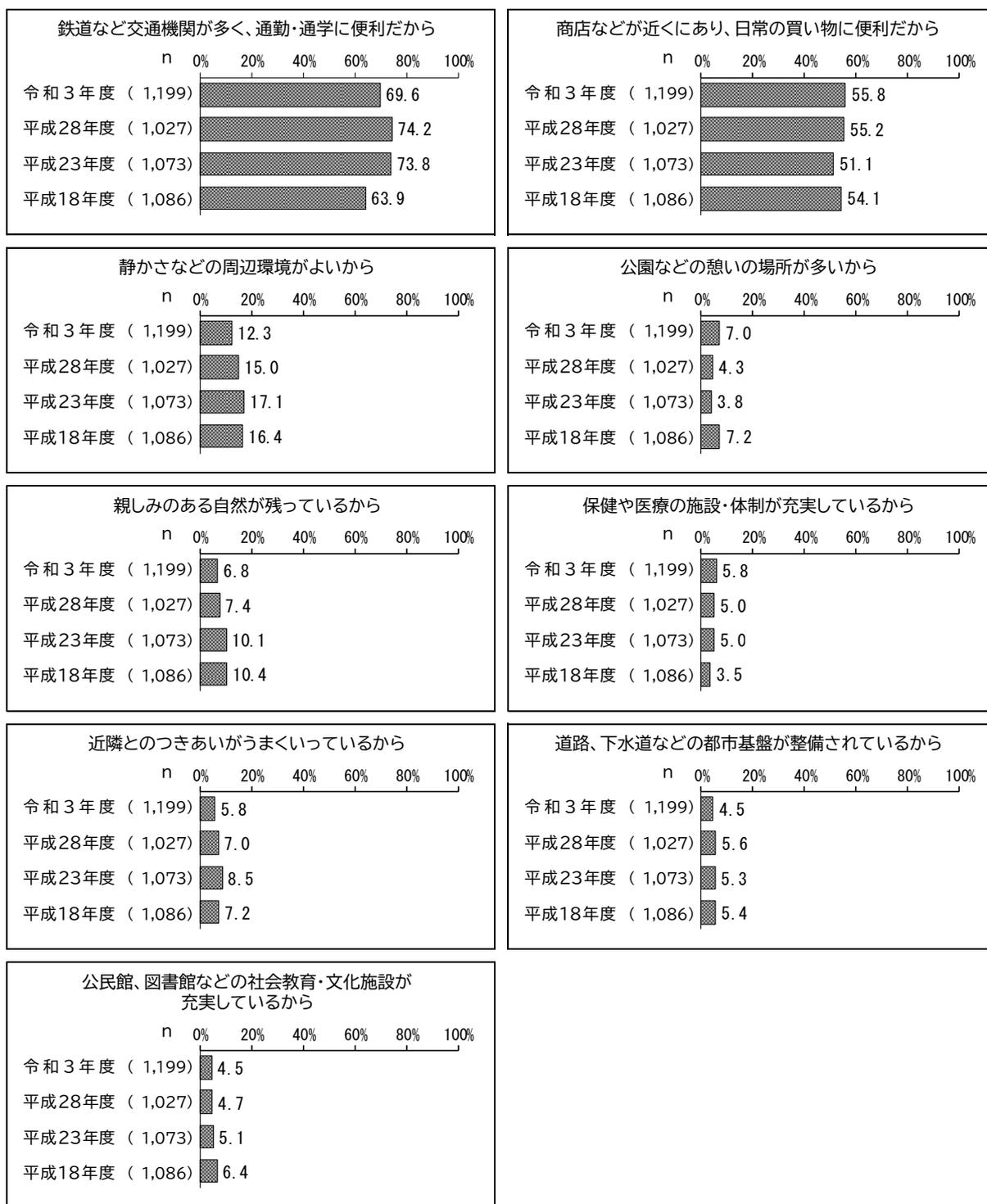
図Ⅲ-16 船橋市が住みよい理由

表Ⅲ-1 「その他」の内訳

「その他」の内容	件数
生まれ育ったところ・住み慣れたまちだから	7
災害が比較的少ないから	2
医療体制が整っているから	1
ゴミの分別が楽だから	1
アンデルセン公園があるから	1
都内に近いから	1
会社が近いから	1
子供の小学校が近いから	1
近場に商業施設が揃っているから	1
物価が安いから	1
税金が安いから	1
仕事があるから	1
娘が通う保育園の保育内容、運営方針が好きだから	1
なんとなく	1
(記載なし)	5
合計	26

【時系列比較】（上位8項目）（8位が同率で2つあるため9項目を掲載）

住みよい理由として挙げられている割合が高い上位9項目について、時系列で比較すると、「鉄道など交通機関が多く、通勤・通学に便利だから」（69.6%）は平成28年（74.2%）と比べて4.6ポイント減少している。一方、「公園などの憩いの場所が多いから」（7.0%）は平成28年（4.3%）と比べて2.7ポイント増加している。その他、「商店などが近くにあり、日常の買い物に便利だから」、「保健や医療の施設・体制が充実しているから」も増えている。



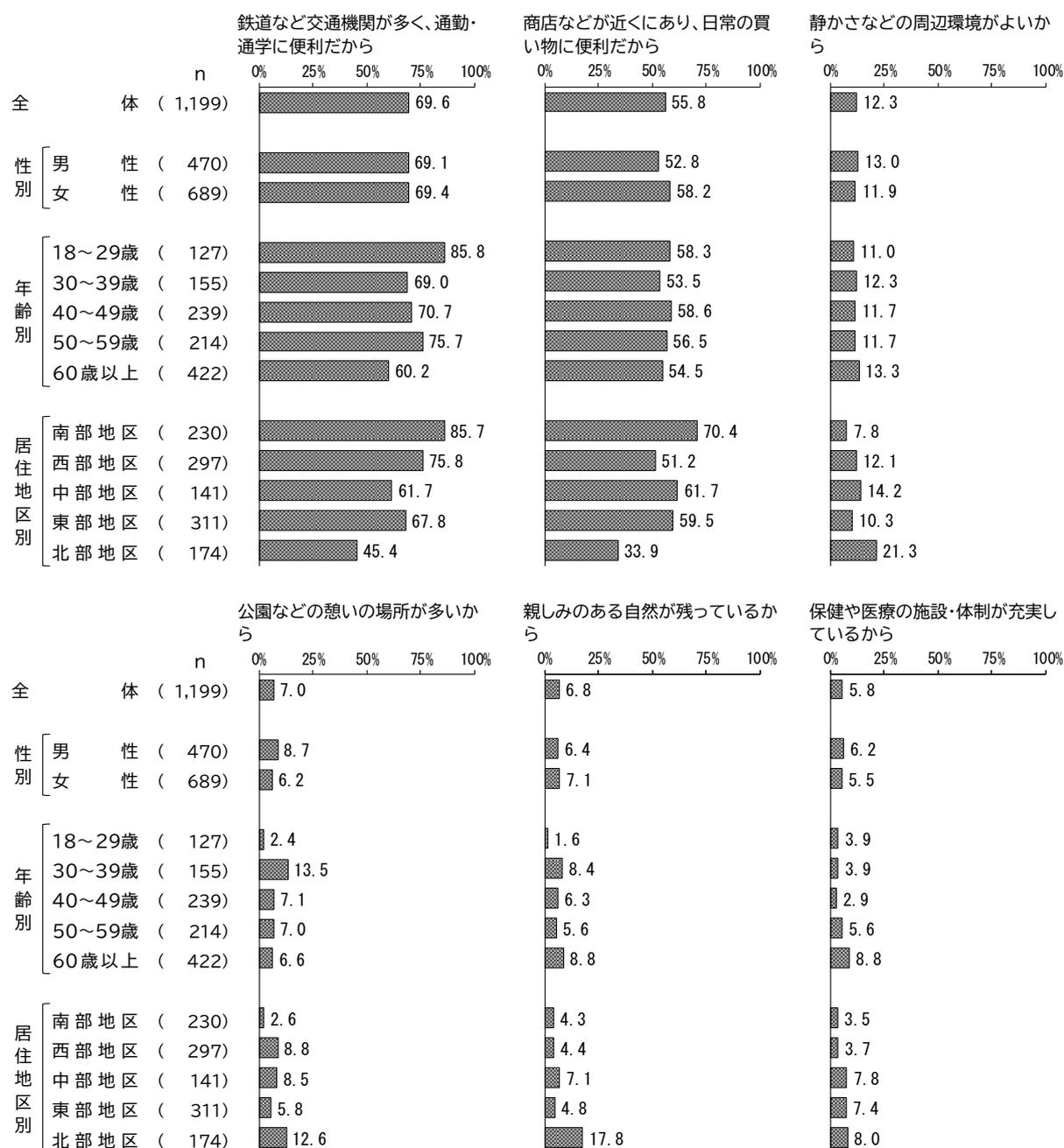
図Ⅲ－17 船橋市が住みよい理由（時系列比較）（上位8項目）

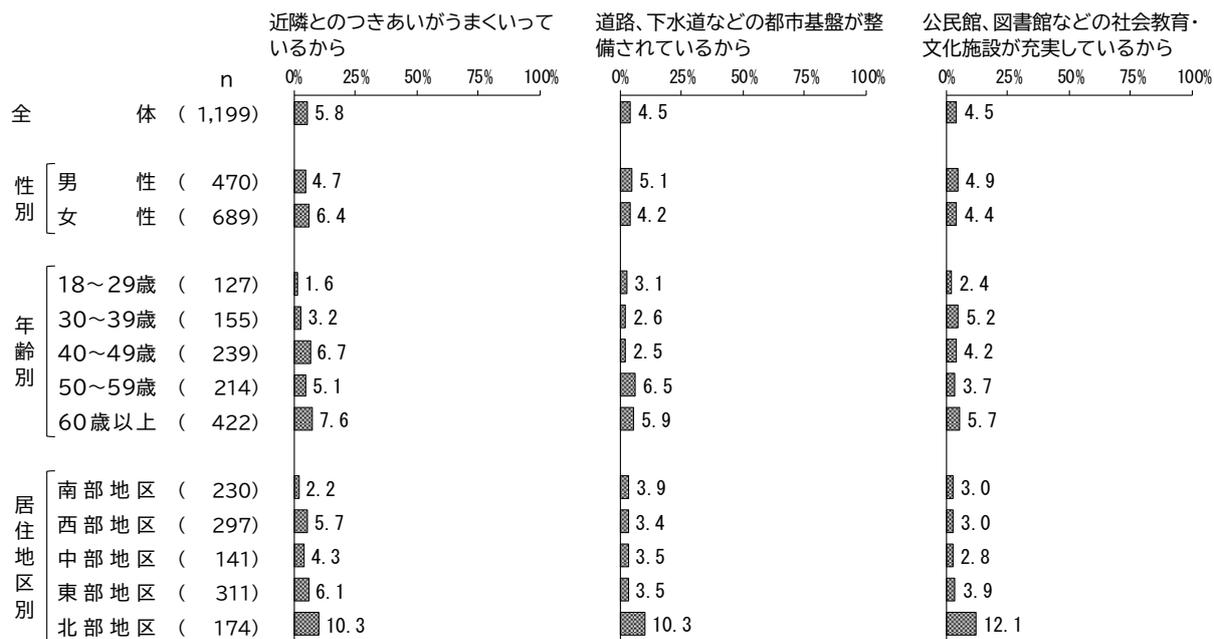
【性別／年齢別／居住地区別】（上位8項目）（8位が同率で2つあるため9項目を掲載）

性別で比較すると、「商店などが近くにあり、日常の買い物に便利だから」で女性（58.2%）が男性（52.8%）より5.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、18～29歳で「鉄道など交通機関が多く、通勤・通学に便利だから」が85.8%で最も高くなっている。

居住地区別にみると、「鉄道など交通機関が多く、通勤・通学に便利だから」、「商店などが近くにあり、日常の買い物に便利だから」で南部地区（85.7%、70.4%）、「静かさなどの周辺環境がよいから」、「親しみのある自然が残っているから」で北部地区（21.3%、17.8%）の割合が高く、地区別の特色が見られる。





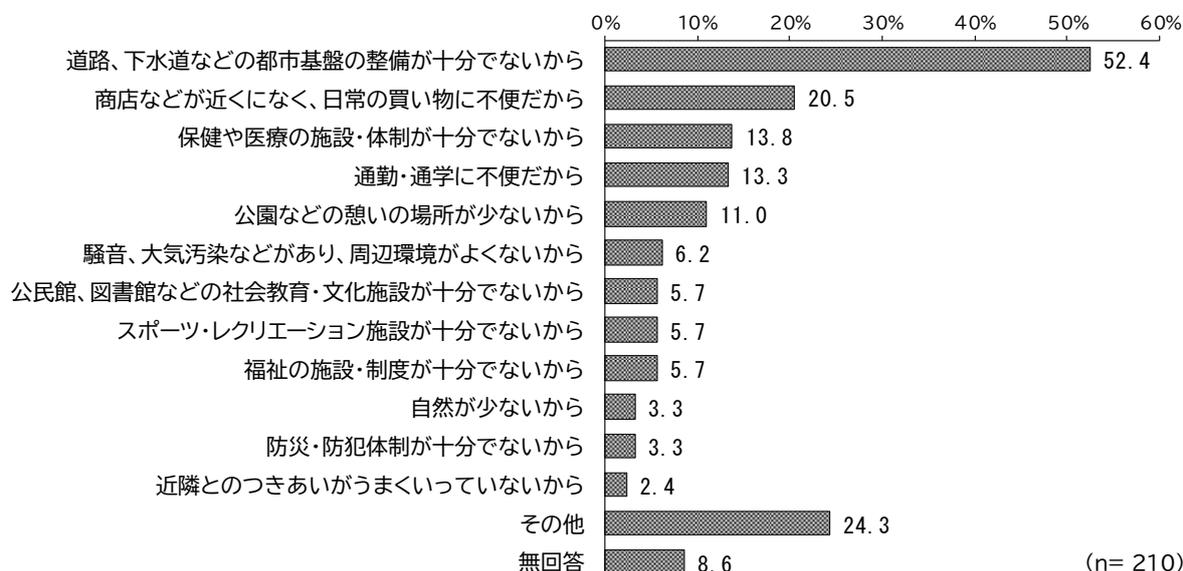
図Ⅲ-18 船橋市が住みよい理由（性別／年齢別／居住地区別）（上位8項目）

(3-2) 船橋市が住みにくい理由

「道路、下水道などの都市基盤の整備が十分でないから」住みにくいが5割超
 (問3で「3. あまり住みよくない」または「4. 住みにくい」とお答えの方)
 【問3-2】住みよくないと感じるのはどのようなことですか。(〇は2つまで)

船橋市の住みごちについて「あまり住みよくない」、「住みにくい」と答えた人(210人)にその理由を聞いたところ、「道路、下水道などの都市基盤の整備が十分でないから」が52.4%で最も高く、次いで「商店などが近づくなく、日常の買い物に不便だから」(20.5%)、「保健や医療の施設・体制が十分でないから」(13.8%)、「通勤・通学に不便だから」(13.3%)が続いている。

「その他」については、「渋滞が激しい・道路が混んでいるから」(13件)、「道・車道・歩道が狭い・歩道がない・危険な道が多いから」(8件)などが挙がっている。



図Ⅲ-19 船橋市が住みにくい理由

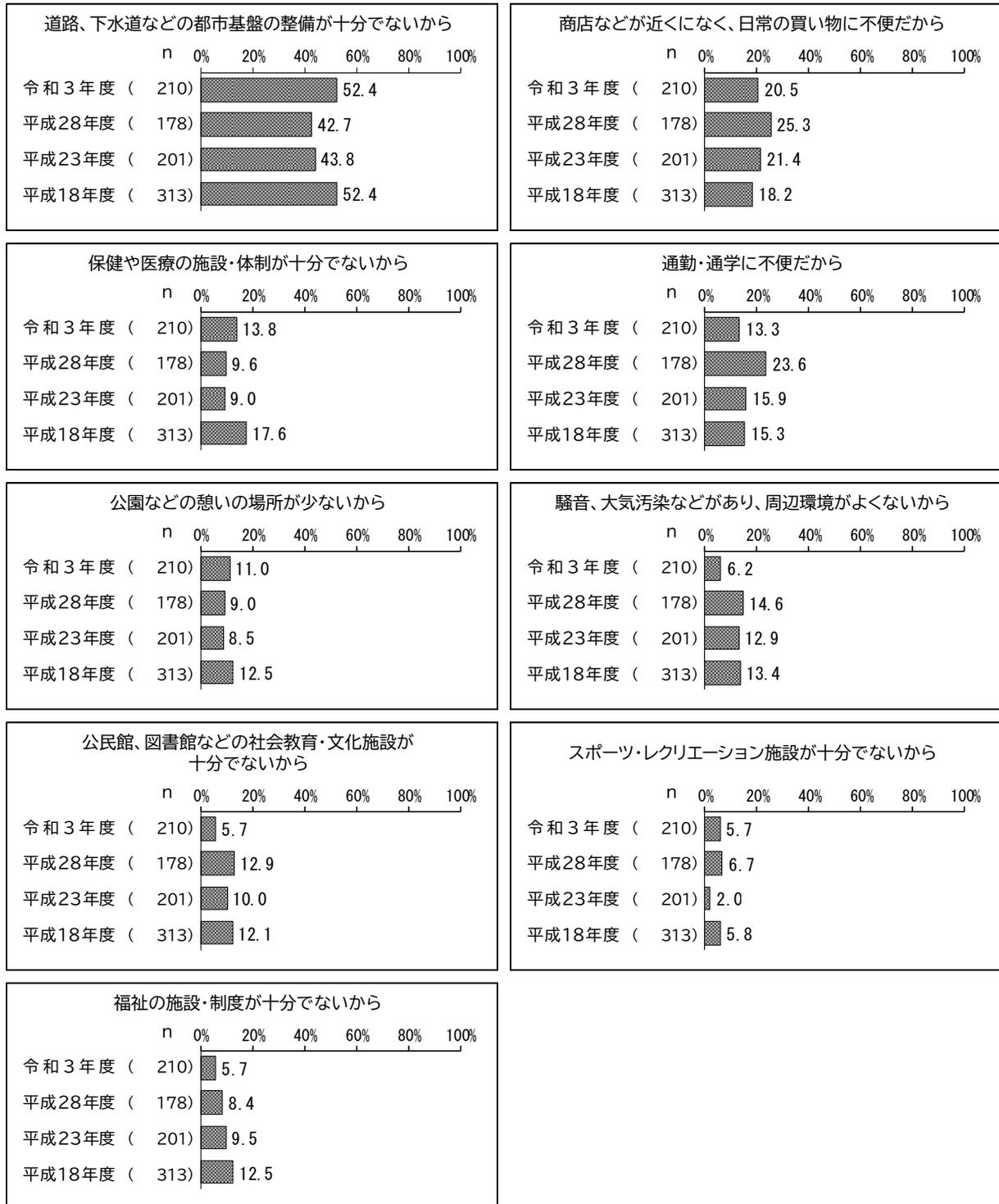
表Ⅲ-2 「その他」の内訳

「その他」の内容	件数
渋滞が激しい・道路が混んでいるから	13
道・車道・歩道が狭い・歩道がない・危険な道が多いから	8
待機児童が多い・子どもに手厚くない・子育て環境が良くないから	4
コロナワクチンの予約が取れないから	4
主要機関・施設が偏っている・遠くてアクセスしにくいから	3
路上喫煙が多い・歩きタバコ・ポイ捨てなどマナーが悪いから	3
電柱がひどい・電柱が地中化されていないから	2
タクシーが来てくれないから	2
行政が旧態依然だから	2
人口過多だから	2
その他	14
(記載なし)	3
合計	60

【時系列比較】（上位8項目）（7位が同率で3つあるため9項目を掲載）

住みにくい理由として挙げられている割合が高い上位9項目について、時系列で比較すると、全体での割合が最も高い「道路、下水道などの都市基盤の整備が十分でないから」（52.4%）は、平成28年度（42.7%）から9.7ポイント増加している。

「通勤・通学に不便だから」（13.3%）は、平成28年度（23.6%）と比べて10.3ポイント、「騒音、大気汚染などがあり、周辺環境がよくないから」（6.2%）は、平成28年度（14.6%）と比べて8.4ポイント減少している。



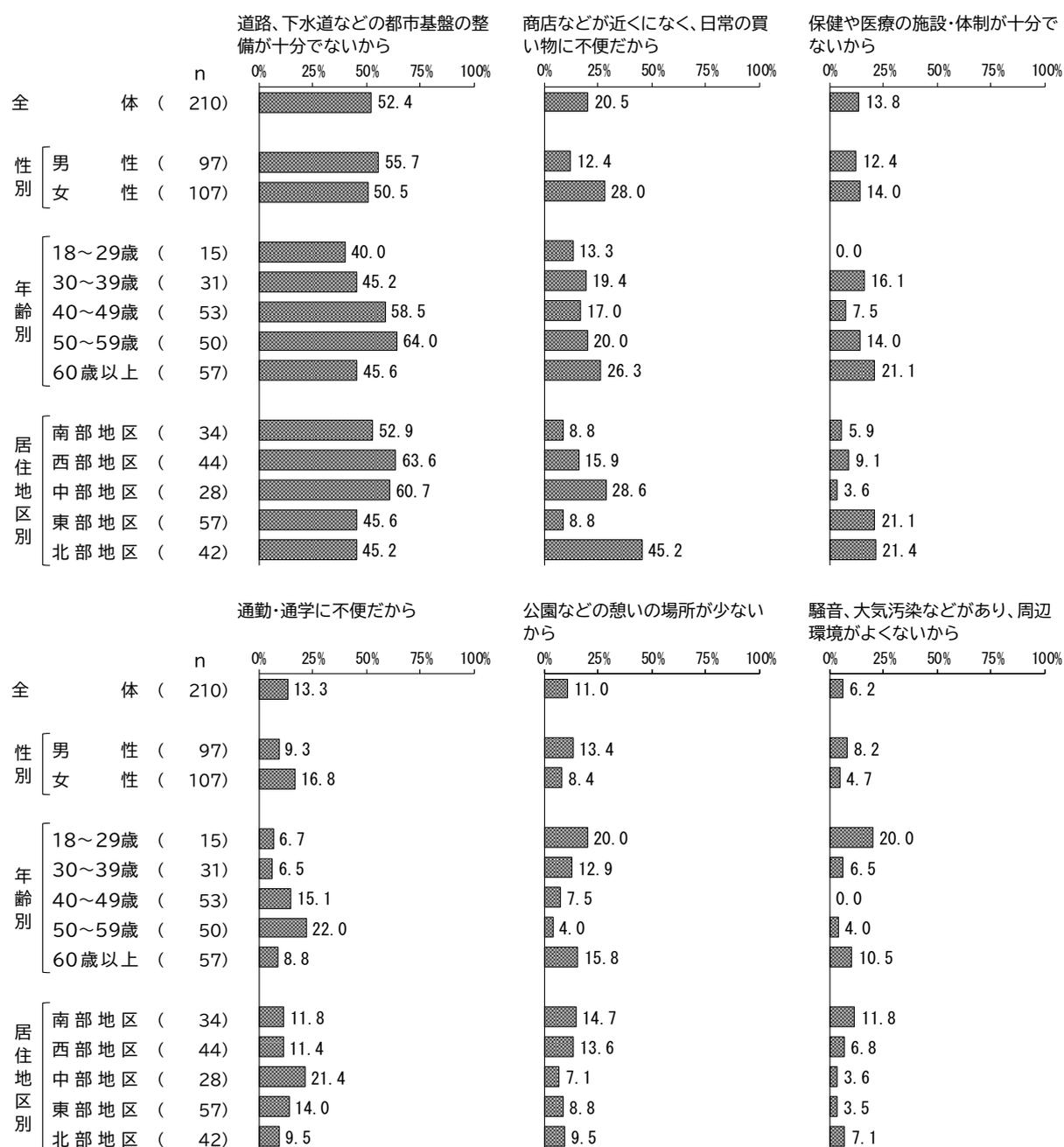
図Ⅲ－２０ 船橋市が住みにくい理由（時系列比較）（上位8項目）

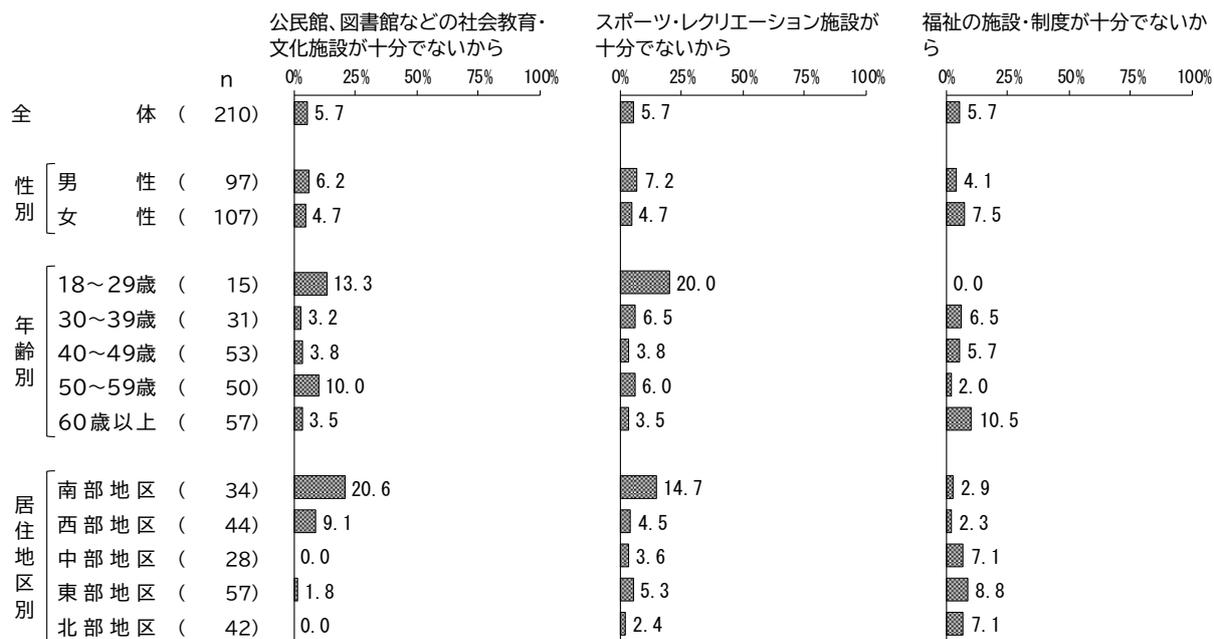
【性別／年齢別／居住地区別】（上位8項目）（7位が同率で3つあるため9項目を掲載）

性別で比較すると、「道路、下水道などの都市基盤の整備が十分でないから」は、男性（55.7%）が女性（50.5%）より 5.2 ポイント高くなっているが、「商店などが近くになく、日常の買い物に不便だから」は、女性（28.0%）が男性（12.4%）より 15.6 ポイント高く、「通勤・通学に不便だから」は、女性（16.8%）が男性（9.3%）より 7.5 ポイント高い。

年齢別にみると、「道路、下水道などの都市基盤の整備が十分でないから」は、50～59 歳（64.0%）が最も高く、「商店などが近くになく、日常の買い物に不便だから」は 60 歳以上（26.3%）の割合が高い。

居住地区別にみると、西部地区は「道路、下水道などの都市基盤の整備が十分でないから」（63.6%）、北部地区は「商店などが近くになく、日常の買い物に不便だから」（45.2%）、南部地区は「公民館、図書館などの社会教育・文化施設が十分でないから」（20.6%）などの割合が高く、地区による差が見られる。





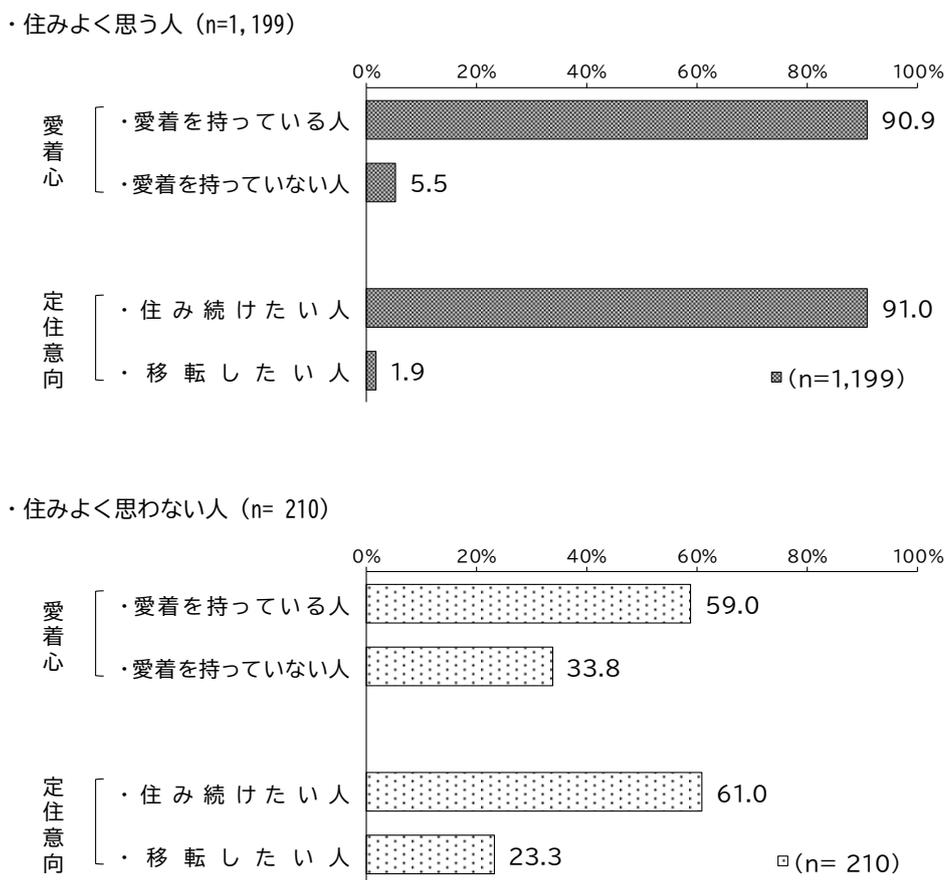
図Ⅲ－２１ 船橋市が住みにくい理由（性別／年齢別／居住地区別）（上位８項目）

(4) 「住みごころ」概観

『住みよく思う人』は、『愛着を持っている人』、『住み続けたい人』がともに9割超

本調査では、市民の船橋市に対する愛着心、定住意向、住みごころ（住みよさ意識）を経年的に聞いている。「人もまちも輝く笑顔あふれるまち」を実現するため、また、人口減少時代の到来にあっても持続的な発展を遂げていくためには、「愛着があるまち」、「住み続けたいまち」として評価され、多くの人に選ばれるまちとなる必要がある。

そこで、愛着心、定住意向と、住みごころとの設問間集計を行ったところ、「住みよい」と「まあまあ住みよい」を合わせた『住みよく思う人』（1,199人）では、「愛着がある」と「やや愛着がある」を合わせた『愛着を持っている人』、「住み続けたい」と「しばらくは住み続けたい」を合わせた『住み続けたい人』の割合は、ともに9割を超える一方、「あまり住みよくない」と「住みにくい」を合わせた『住みよく思わない人』（210人）であっても、『愛着を持っている人』、『住み続けたい人』の割合は、おおむね6割となっている。



図Ⅲ－２２ 船橋市への愛着心と定住意向（船橋市の住みごころ別）

2. 「広報活動」について

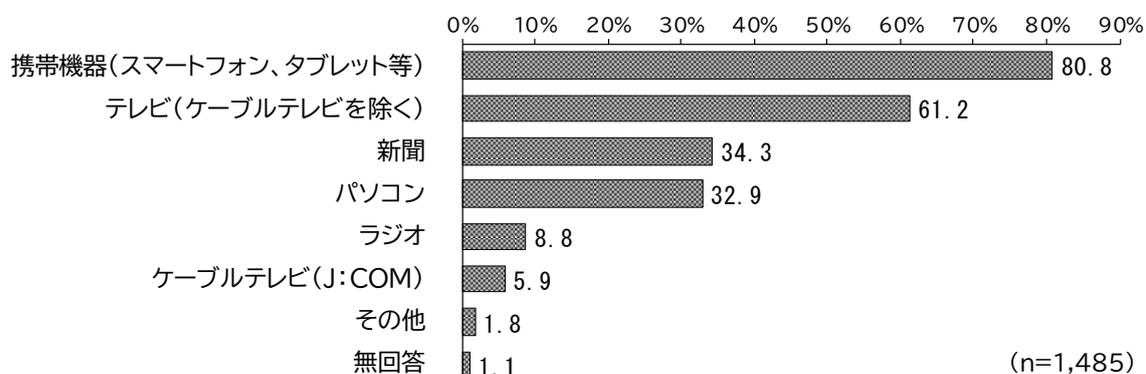
(1) 情報を入力するためによく利用するもの

情報入手は、「携帯機器（スマートフォン、タブレット等）」の利用が8割超

【問4】 普段、情報を入力するためによく利用する情報媒体は何ですか。(〇はいくつでも)

情報を入力するためによく使われているのは、「携帯機器（スマートフォン、タブレット等）」(80.8%)で最も高く、次ぐ「テレビ(ケーブルテレビを除く)」(61.2%)までは6割を超え、以下、「新聞」(34.3%)、「パソコン」(32.9%)では3割を超えており、これらの情報媒体が広く利用されている。

「その他」については、「家族・職場・近所・友人・知人からの口コミ」(6件)などが挙げられている。



図Ⅲ-23 情報を入力するためによく利用するもの

表Ⅲ-3 「その他」の内訳

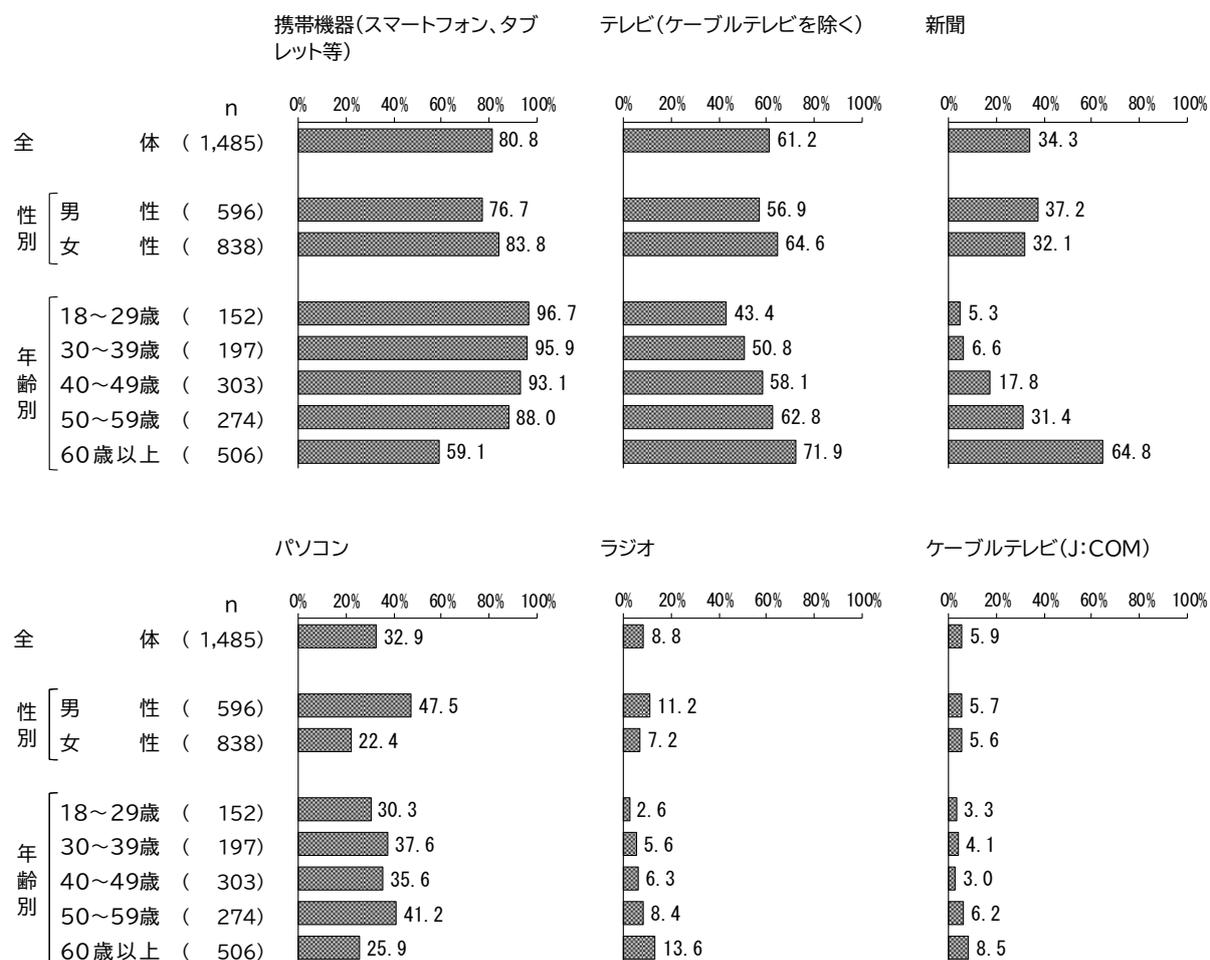
「その他」の内容	件数
家族・職場・近所・友人・知人からの口コミ	6
情報誌・チラシ・駅のポスター	5
広報紙	4
雑誌	3
地域新聞	3
インターネットストリーミング・Twitter	2
回覧板	1
情報を入力していない	2
(記載なし)	5
合計	31

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「携帯機器（スマートフォン、タブレット等）」、「テレビ（ケーブルテレビを除く）」では女性（83.8%、64.6%）が、「パソコン」、「新聞」では男性（47.5%、37.2%）の割合が高くなっている。

年齢別にみると、「携帯機器（スマートフォン、タブレット等）」の割合は、年齢が下がるに従い高くなっており、最も高い18～29歳（96.7%）と最も低い60歳以上（59.1%）に37.6ポイントの差が見られるが、60歳以上でも6割弱が利用している。

一方、「テレビ（ケーブルテレビを除く）」、「新聞」の割合は、年齢が上がるに従い高くなっており、「新聞」においては、最も高い60歳以上（64.8%）と最も低い18～29歳（5.3%）に59.5ポイントの差がある。



図Ⅲ－２４ 情報を入力するためによく利用するもの（性別／年齢別）

(2) 市の事業やイベント情報などの入手方法

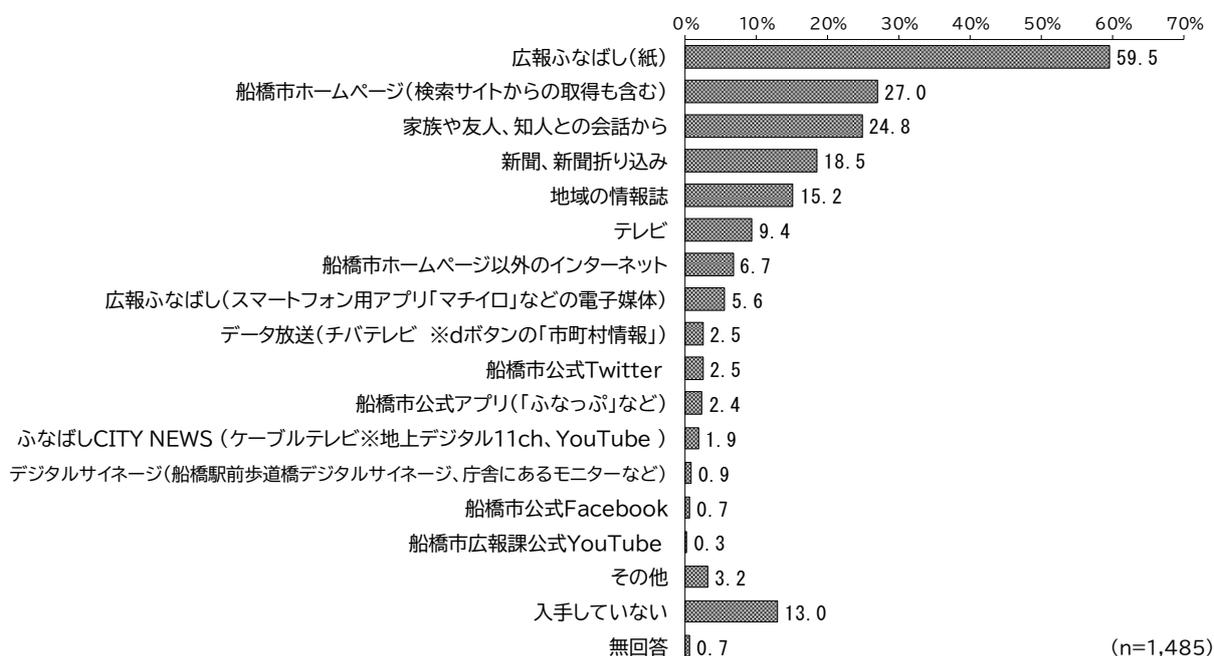
「広報ふなばし（紙）」から情報を得ている人は6割

【問5】市の事業やイベント情報などをどこから入手していますか。(〇はいくつでも)

市の事業やイベント情報などを得る手段として、「広報ふなばし（紙）」の割合は、59.5%と最も高く6割となっている。

次いで、「船橋市ホームページ（検索サイトからの取得も含む）」(27.0%)、「家族や友人、知人との会話から」(24.8%)、「新聞、新聞折り込み」(18.5%)、「地域の情報誌」(15.2%)と続いている。

「その他」については、「ふなばし情報メール」、「SNS やアプリ、ホームページ検索」（ともに7件）などが挙げられている。



図Ⅲ－25 市の事業やイベント情報などの入手方法

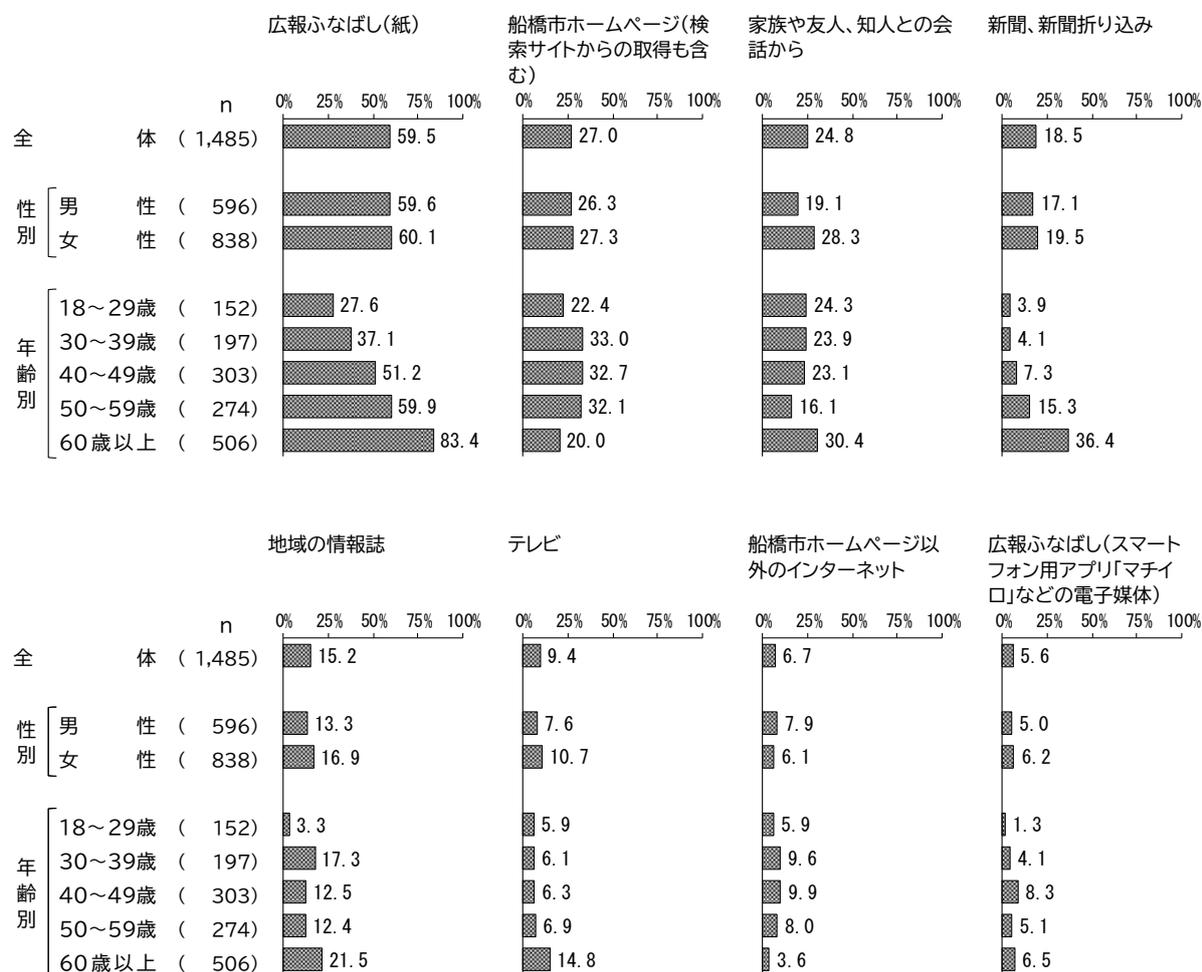
表Ⅲ－4 「その他」の内訳

「その他」の内容	件数
ふなばし情報メール	7
SNSやアプリ、ホームページ検索	7
船橋市公式LINE	6
学校・幼稚園・保育園等での掲示物、配布物	6
公共施設での掲示物、配布物	5
地域新聞	4
市議会議員の会報・SNS・Twitter	3
町会・自治会の掲示板、回覧板、配布物	2
交通機関での掲示物、配布物	2
その他	2
(記載なし)	8
合 計	52

【性別／年齢別】（上位8項目）

性別で比較すると、「家族や友人、知人との会話から」では、女性（28.3%）の割合が、男性（19.1%）に比べ9.2ポイント高くなっている。

年齢別にみると、60歳以上が、「広報ふなばし（紙）」（83.4%）、「新聞、新聞折り込み」（36.4%）、「地域の情報誌」（21.5%）といった紙媒体の割合が高くなっている。



図Ⅲ-26 市の事業やイベント情報などの入手方法（性別／年齢別）（上位8項目）

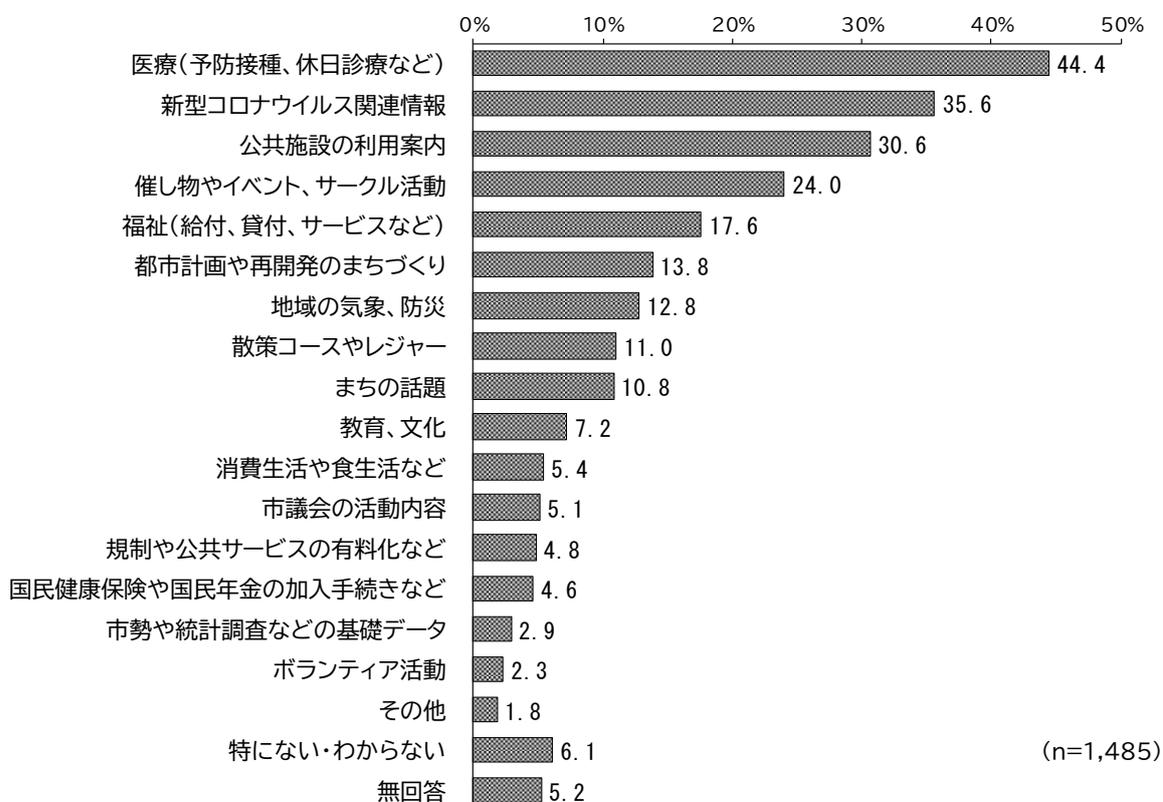
(3) 広報紙やホームページで知りたい情報

知りたい情報は、「医療（予防接種、休日診療など）」、「新型コロナウイルス関連情報」などの医療に関連することが上位

【問6】 広報紙やホームページで知りたい情報は何ですか。(〇は3つまで)

広報紙やホームページで知りたい情報として、「医療（予防接種、休日診療など）」(44.4%)で最も高く、次いで、「新型コロナウイルス関連情報」(35.6%)、「公共施設の利用案内」(30.6%)が続き、「催し物やイベント、サークル活動」(24.0%)までは2割を超えている。

「その他」については、「助成金の情報や確定申告ほか各種届出の方法」(5件)などが挙げられている。



図Ⅲ－27 広報紙やホームページで知りたい情報

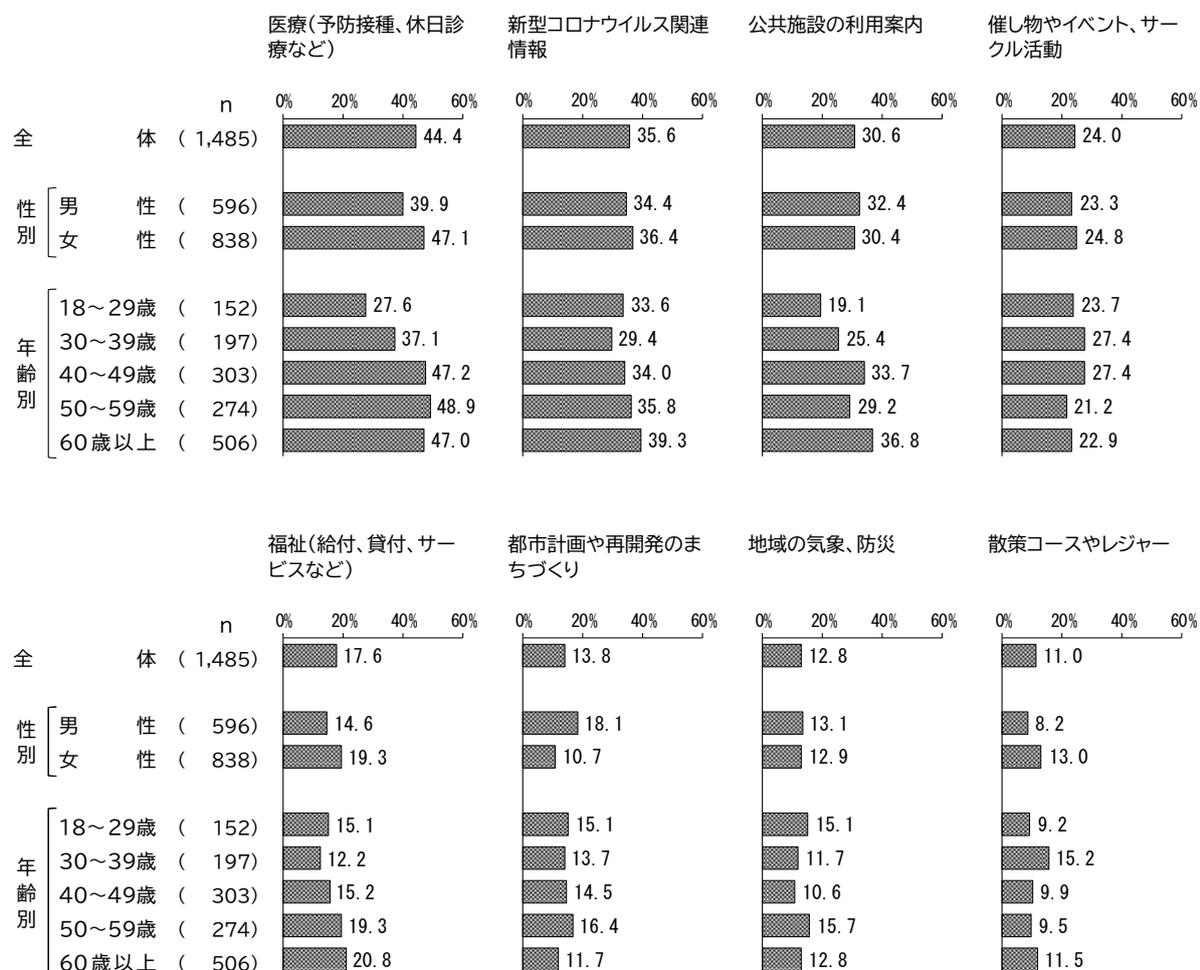
表Ⅲ－5 「その他」の内訳

「その他」の内容	件数
助成金の情報や確定申告ほか各種届出の方法	5
ゴミの分別・収集関係	4
その他	16
(記載なし)	3
合計	28

【性別／年齢別】（上位8項目）

性別で比較すると、「医療（予防接種、休日診療など）」は、女性（47.1%）が男性（39.9%）より、7.2ポイント高い。一方、「都市計画や再開発のまちづくり」は、男性（18.1%）が女性（10.7%）より7.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「医療（予防接種、休日診療など）」では、40歳以上の全ての年齢で4割を超え、「新型コロナウイルス関連情報」では、30～39歳を除く全ての年齢で3割を超えている。



図Ⅲ－28 広報紙やホームページで知りたい情報（性別／年齢別）（上位8項目）

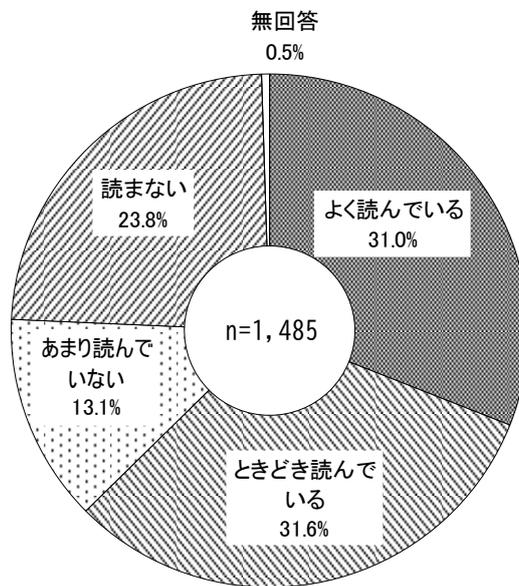
(4) 「広報ふなばし」の閲読状況

『読んでいる人』は6割超

【問7】「広報ふなばし」を読んでいますか。(〇は1つ)

「広報ふなばし」を読んでいるかについて聞いたところ、「よく読んでいる」(31.0%)と「ときどき読んでいる」(31.6%)を合わせた『読んでいる人』の割合は、62.6%と6割を超えている。

一方、「あまり読んでいない」(13.1%)と「読まない」(23.8%)を合わせた『読まない人』の割合は、36.9%で4割近くとなっている。

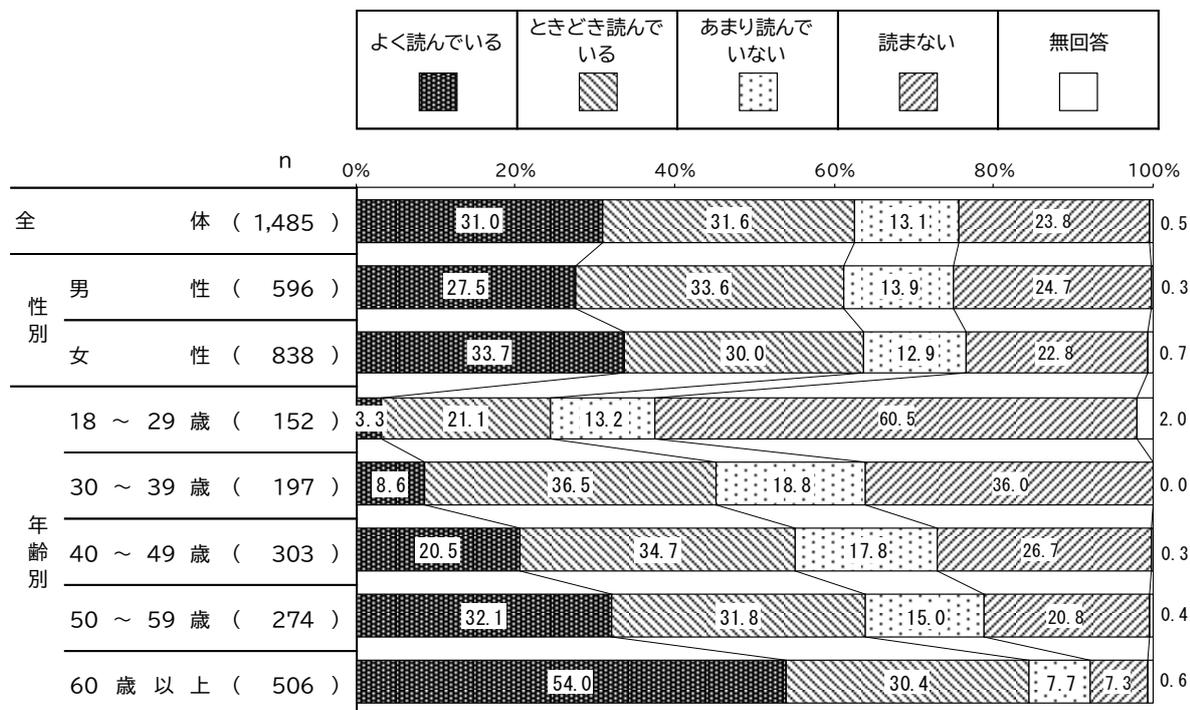


図Ⅲ-29 「広報ふなばし」の閲読状況

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「よく読んでいる」の割合は、女性（33.7%）が男性（27.5%）より 6.2 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、年齢が上がるに従い「よく読んでいる」と「ときどき読んでいる」を合わせた『読んでいる人』の割合が高くなっており、割合が最も低い 18～29 歳（24.4%）と最も高い 60 歳以上（84.4%）には 60.0 ポイントの差がある。



図Ⅲ－30 「広報ふなばし」の閲読状況（性別／年齢別）

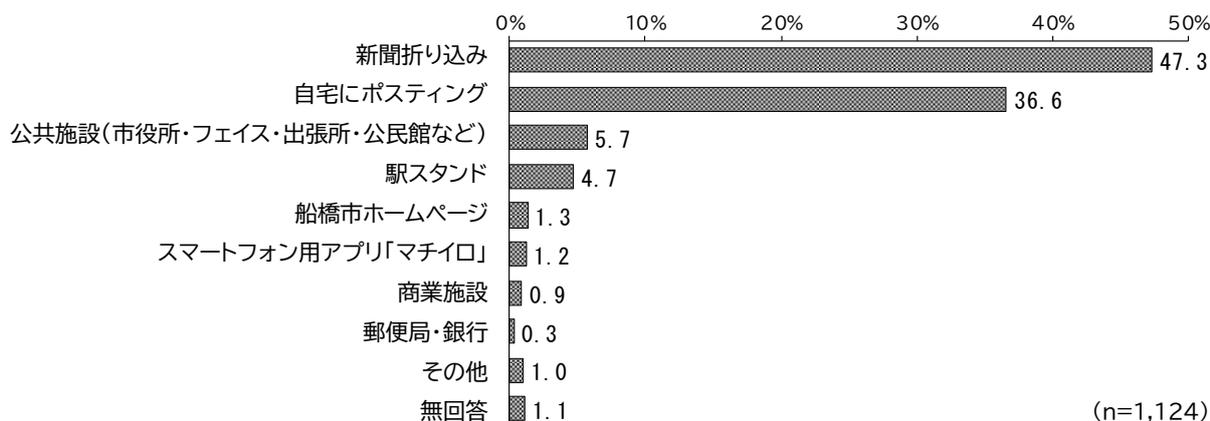
(4-1) 「広報ふなばし」の入手方法

「広報ふなばし」の入手方法は、「新聞折り込み」が5割近く

(問7で「1～3」とお答えの方)

【問7-1】「広報ふなばし」をどこで入手していますか。(〇は1つ)

「広報ふなばし」を「よく読んでいます」または「ときどき読んでいます」、「あまり読んでいない」と答えた人(1,124人)に、その入手方法を聞いたところ、「新聞折り込み」が47.3%で最も高く、次いで、「自宅にポスティング」(36.6%)までが3割を超えており、これら以外の入手方法は全て1割未満となっている。



図Ⅲ-31 「広報ふなばし」の入手方法

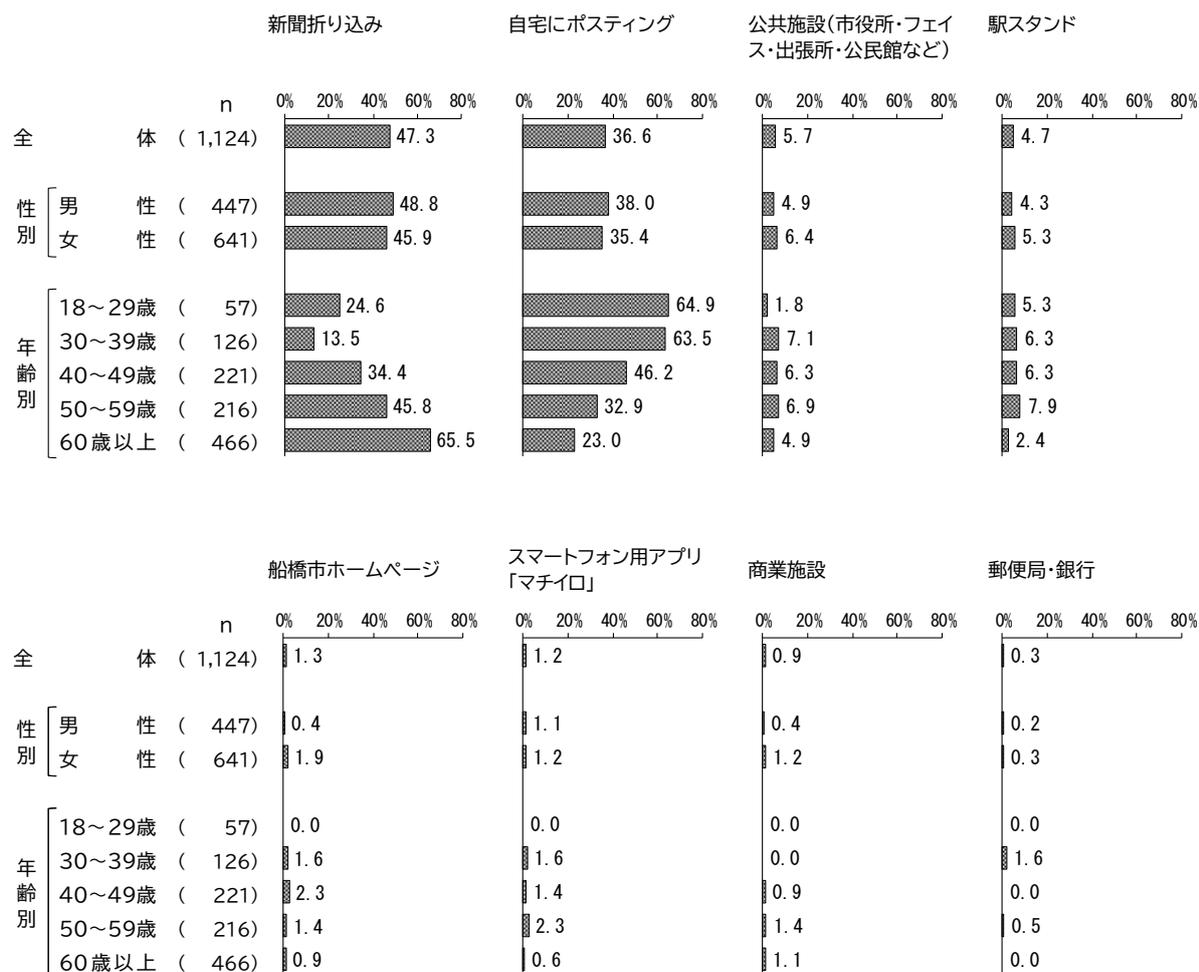
表Ⅲ-6 「その他」の内訳

「その他」の内容	件数
マンションのフロント・マンションの回覧板	3
職場	2
病院	1
同居家族が持ち帰る	1
(記載なし)	4
合 計	11

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「新聞折り込み」では、男性（48.8%）が女性（45.9%）より2.9ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「新聞折り込み」では、30～39歳からは年齢が上がるに従い割合が高くなっており、割合が最も低い30～39歳（13.5%）と最も高い60歳以上（65.5%）には52.0ポイントの差がある。一方、「自宅にポスティング」では、年齢が下がるに従い割合が高くなり、割合が最も低い60歳以上（23.0%）と最も高い18～29歳（64.9%）には41.9ポイントの差がある。



図Ⅲ－32 「広報ふなばし」の入手方法（性別／年齢別）

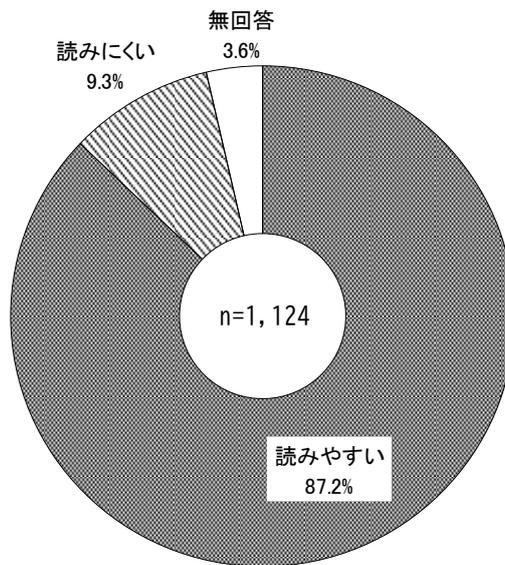
(4-2) 「広報ふなばし」の読みやすさ

「読みやすい」が9割近く

(問7で「1~3」とお答えの方)

【問7-2】「広報ふなばし」は読みやすいですか。(〇は1つ)

「広報ふなばし」を「よく読んでいる」または「ときどき読んでいる」、「あまり読んでいない」と答えた人(1,124人)に、読みやすさを聞いたところ、「読みやすい」が87.2%、「読みにくい」が9.3%となっている。

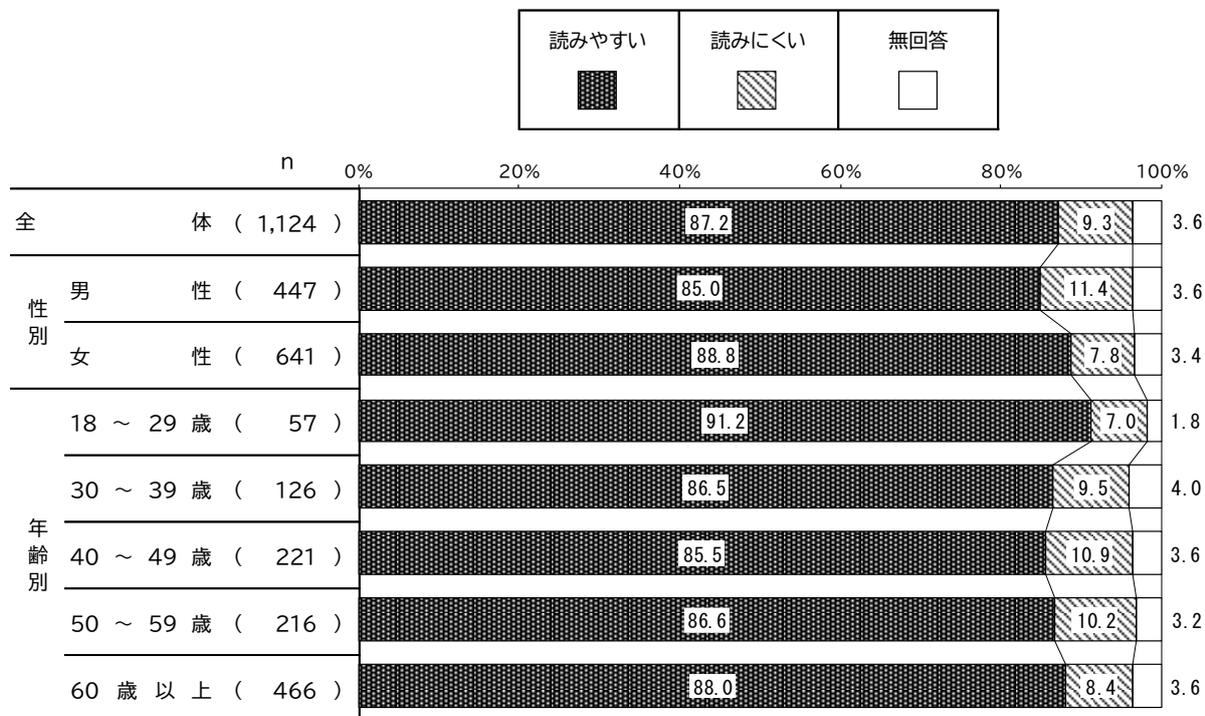


図Ⅲ-33 「広報ふなばし」の読みやすさ

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「読みやすい」は、女性（88.8%）が男性（85.0%）より 3.8 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「読みやすい」の割合が最も低い 40～49 歳（85.5%）と最も高い 18～29 歳（91.2%）には 5.7 ポイントの差がある。



図Ⅲ－３４ 「広報ふなばし」の読みやすさ（性別／年齢別）

(4-3) 「広報ふなばし」を読まない理由

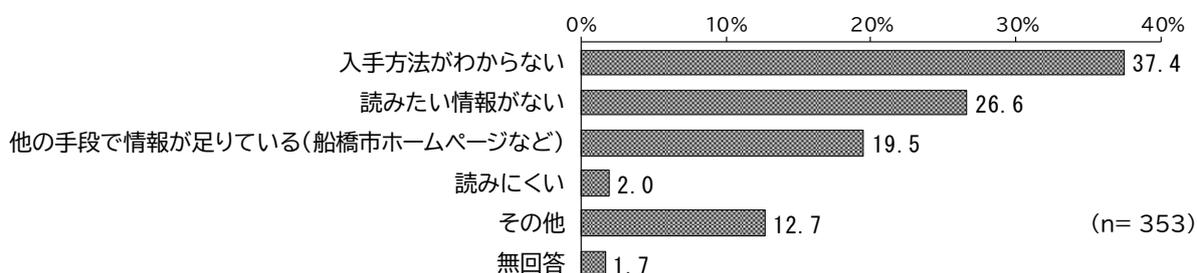
読まない理由は、「入手方法がわからない」が4割近く

(問7で「4. 読まない」とお答えの方)

【問7-3】読まない理由を教えてください。(〇は1つ)

「広報ふなばし」を「読まない」と答えた人(353人)に、読まない理由を聞いたところ、「入手方法がわからない」が37.4%で最も高く、次いで、「読みたい情報がない」(26.6%)、「他の手段で情報が足りている(船橋市ホームページなど)」(19.5%)と続いている。

「その他」については、「新聞をとってないから・新聞を止めたから」(12件)などが挙げられている。



図Ⅲ-35 「広報ふなばし」を読まない理由

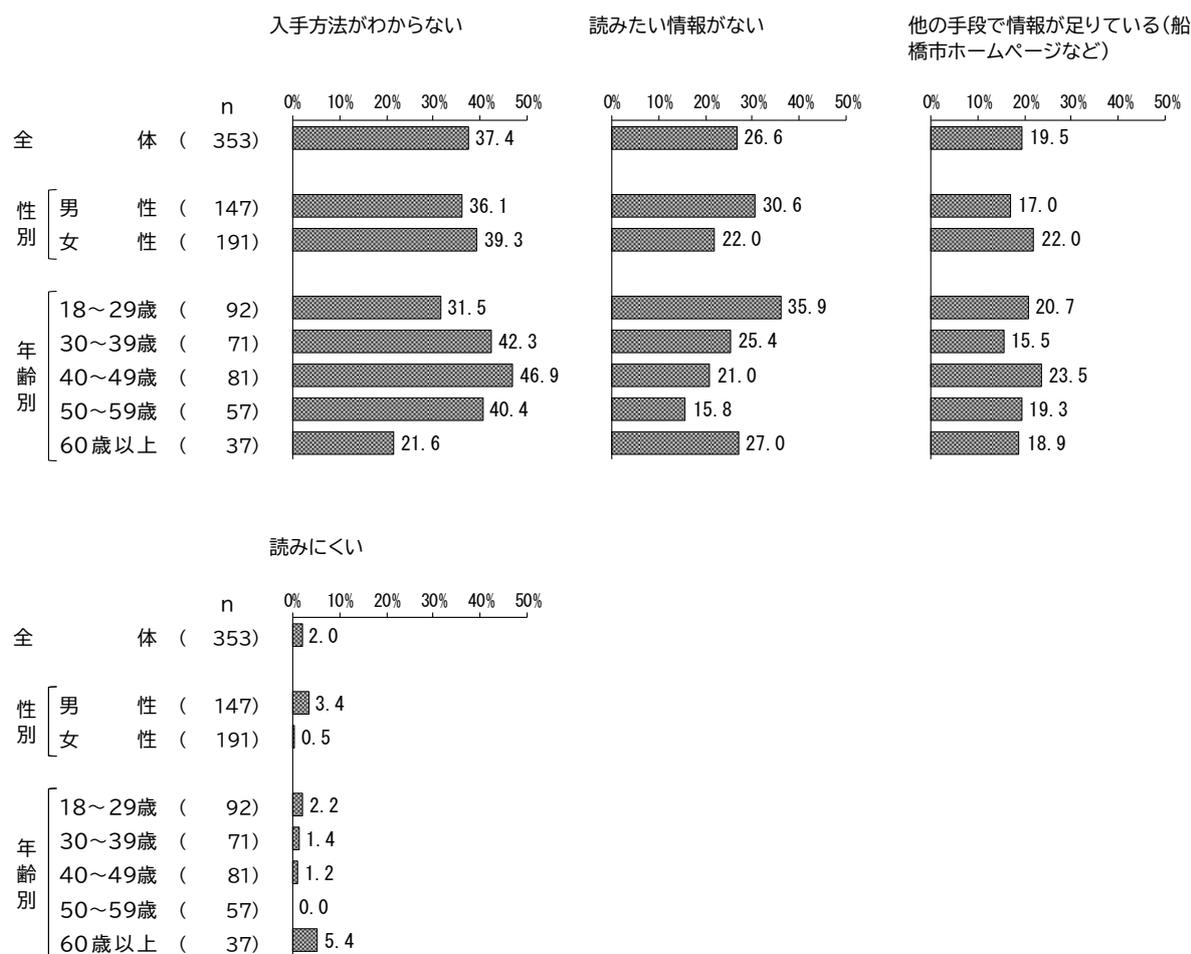
表Ⅲ-7 「その他」の内訳

「その他」の内容	件数
新聞をとってないから・新聞を止めたから	12
興味がないから	8
「広報ふなばし」を知らなかったから	5
手に取る機会がないから	3
読む時間がないから	2
家族が読んで教えてくれるから	2
(記載なし)	13
合計	45

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「読みたい情報がない」は、男性（30.6%）が女性（22.0%）より 8.6 ポイント高く、一方、「他の手段で情報が足りている（船橋市ホームページなど）」は、女性（22.0%）が男性（17.0%）より 5.0 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「入手方法がわからない」は、最も低い 60 歳以上（21.6%）と最も高い 40～49 歳（46.9%）には 25.3 ポイントの差があり、「読みたい情報がない」は、最も低い 50～59 歳（15.8%）と最も高い 18～29 歳（35.9%）には 20.1 ポイントの差がある。



図Ⅲ－36 「広報ふなばし」を読まない理由（性別／年齢別）

(4-4) 「広報ふなばし」が読みにくい理由

読みにくい理由は、「読みたい情報が少ない・読みたい情報が載っていない」、「文字が小さすぎる」が多い

(問7-2で「2. 読みにくい」または 問7-3で「3. 読みにくい」とお答えの方)

【問7-4】読みにくいとされた具体的な理由をお書きください。

「広報ふなばし」を「読みにくい」と答えた人(111人)に、読みにくい具体的な理由について自由意見を聞いたところ、「読みたい情報が少ない・読みたい情報が載っていない」が16件で最も多く、次いで、「文字が小さすぎる」(14件)、「レイアウトがよくない・横書き、縦書きが混在している・ごちゃごちゃしている」、「文字が多すぎる・文字の羅列ばかりで読みにくい」(ともに11件)と続いている。

表Ⅲ-8 「広報ふなばし」が読みにくい理由の内容

「広報ふなばし」が読みにくい理由の内容	件数
読みたい情報が少ない・読みたい情報が載っていない	16
文字が小さすぎる	14
レイアウトがよくない・横書き、縦書きが混在している・ごちゃごちゃしている	11
文字が多すぎる・文字の羅列ばかりで読みにくい	11
情報が整理されていない・ジャンル別、カテゴリー別にわかれていない	7
紙面が多すぎる・情報量が多すぎる・コンパクトに要約されていない	6
情報が断片的、表面的でわかりにくい・内容がまとまっていない	5
見出しがわかりにくい・見出しがみにくい	5
老眼のため・年寄りのため	4
視覚的な面白みがない・おしゃれ感がない	3
改行の位置がおかしい・区切りの悪い改行が多い	3
文字のサイズがほとんど同じ・メリハリがない	2
掲載されている内容の一覧や目次がない	2
情報の深掘りができない	2
イラスト・絵・図表が少ない	2
色を使う部分が多すぎる・文字の色の区別がわからない	2
必要な情報を見つけにくい	2
たまに読むだけなので慣れていない・以前に住んでいた所の広報と違うので慣れていない	2
読むのがおっくう・読むのが面倒くさい	2
その他	7
特になし	1
(記載なし)	38
合 計	147

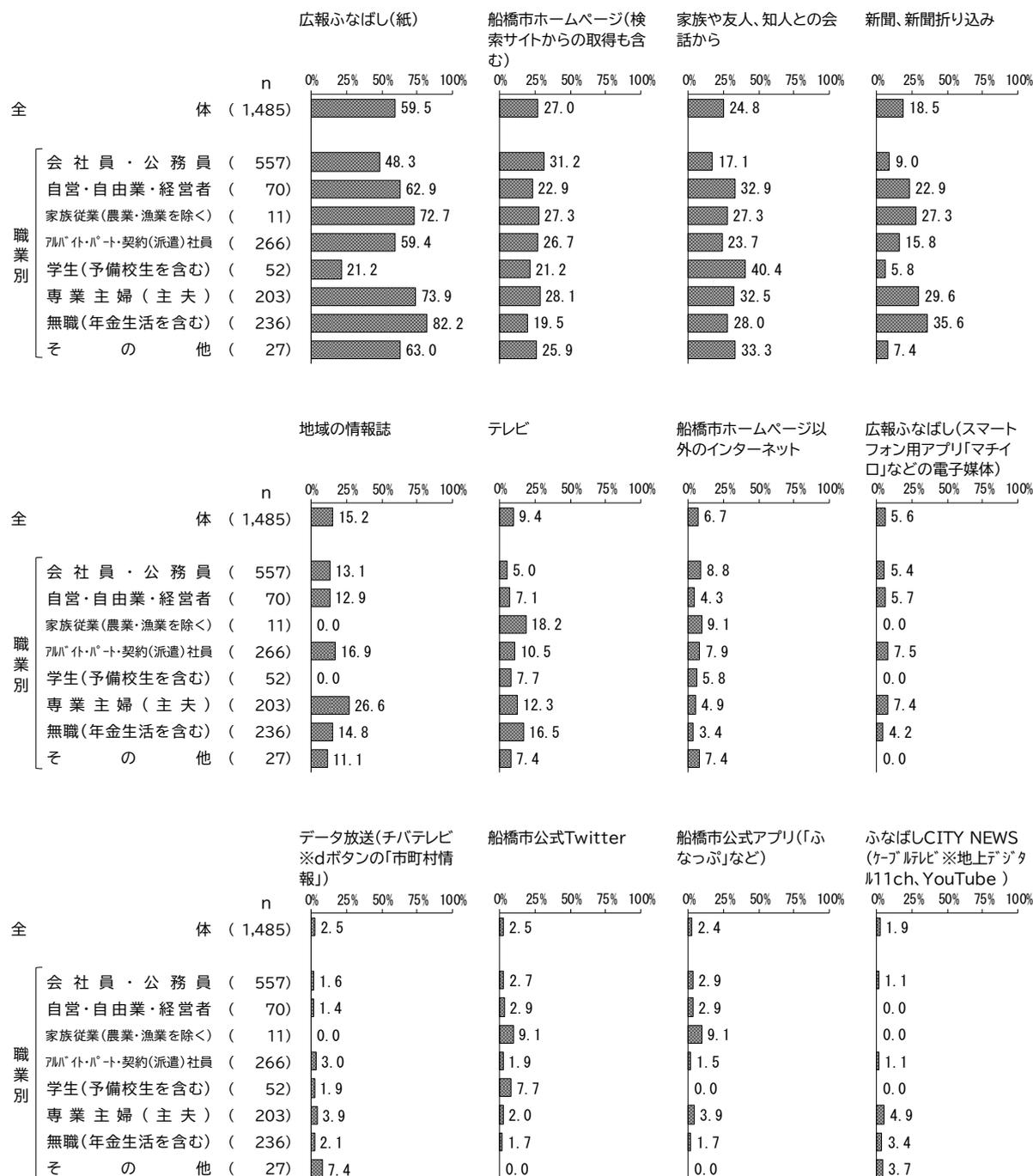
(5) 「広報活動」概観

市の事業やイベント情報などを得る手段は、職業によって大きな差がある

市の事業やイベント情報などを得る手段については、全体、性別、年齢別に比較しているが、ここでは、職業別の区分間で差が見られる項目を挙げる。

※「農業・漁業」はn数が6と少ないため掲載せず

職業別にみると、「広報ふなばし（紙）」では、専業主婦（主夫）（73.9%）、無職（年金生活を含む）（82.2%）の割合が高くなっている。「船橋市ホームページ（検索サイトからの取得も含む）」では、会社員・公務員（31.2%）の割合が、「家族や友人、知人との会話から」、「船橋市公式Twitter」では、学生（予備校生を含む）（40.4%、7.7%）の割合が高い傾向が見られる。



図Ⅲ-37 市の事業やイベント情報などの入手方法（職業別）（上位12項目）

3. 「新型コロナウイルス感染症の影響」について

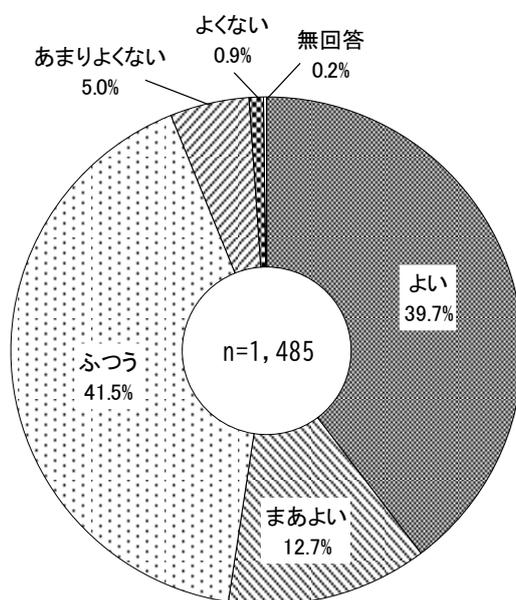
(1) 健康状態

『よい人』が5割超

【問8】あなたの健康状態はいかがですか。(〇は1つ)

健康状態について聞いたところ、「よい」(39.7%)と「まあよい」(12.7%)を合わせた『よい人』の割合は、52.4%と5割を超えている。

一方、「あまりよくない」(5.0%)と「よくない」(0.9%)を合わせた『よくない人』の割合は、5.9%となっている。

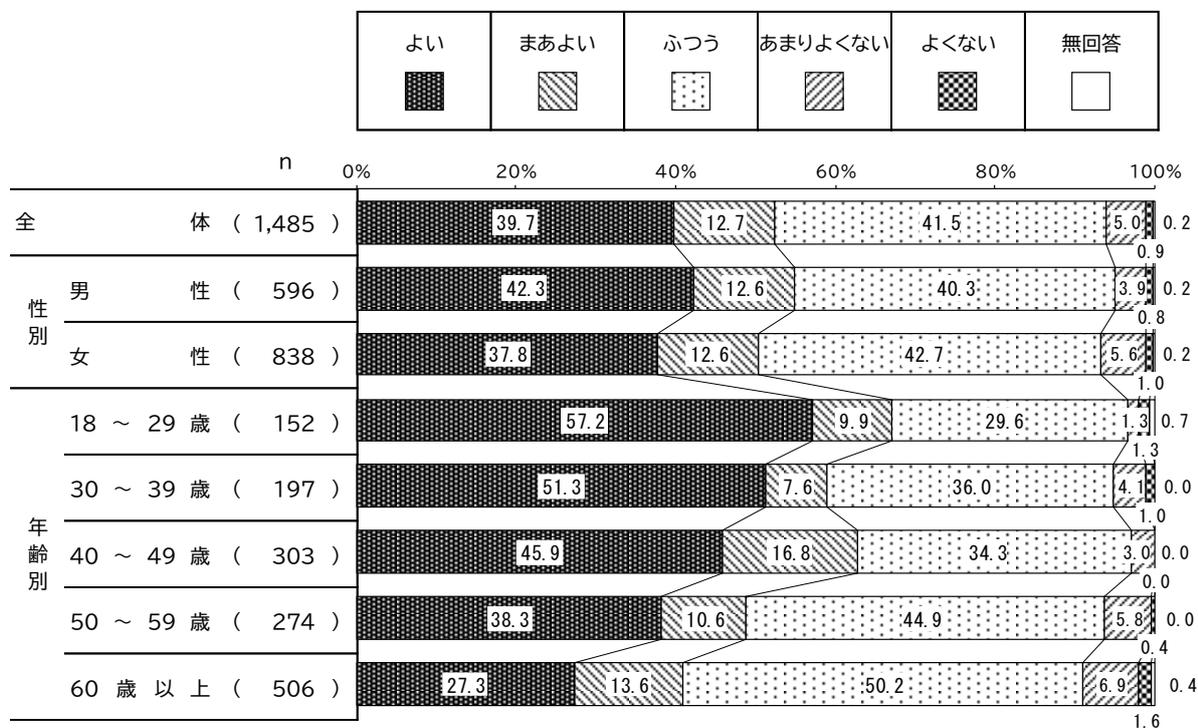


図Ⅲ－38 健康状態

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「よい」と「まあよい」を合わせた『よい人』の割合は、男性（54.9%）が女性（50.4%）より4.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「よい」の割合は、年齢が下がるに従い割合が高くなっており、割合が最も低い60歳以上（27.3%）と最も高い18～29歳（57.2%）には29.9ポイントの差がある。



図Ⅲ－39 健康状態（性別／年齢別）

(2) 生活習慣や身体の変化

(2-1) 食事の量

「変わらない」が7割超

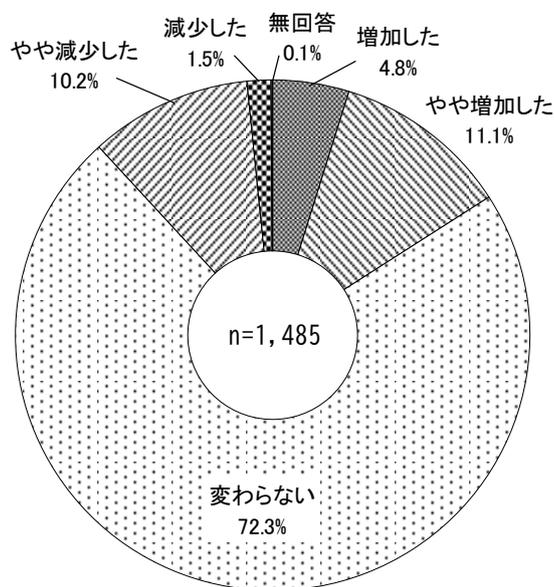
【問9】新型コロナウイルス感染症の感染拡大前（令和2年2月以前）と比べて、生活習慣や身体の変化はありましたか。(〇はそれぞれ1つ)

【問9-1】食事の量

コロナ禍以前と比べて、食事の量について聞いたところ、「増加した」(4.8%)と「やや増加した」(11.1%)を合わせた『増加した人』の割合は、15.9%となっている。

一方、「やや減少した」(10.2%)と「減少した」(1.5%)を合わせた『減少した人』の割合は、11.7%となっている。

なお、「変わらない」の割合は、72.3%で最も高くなっている。

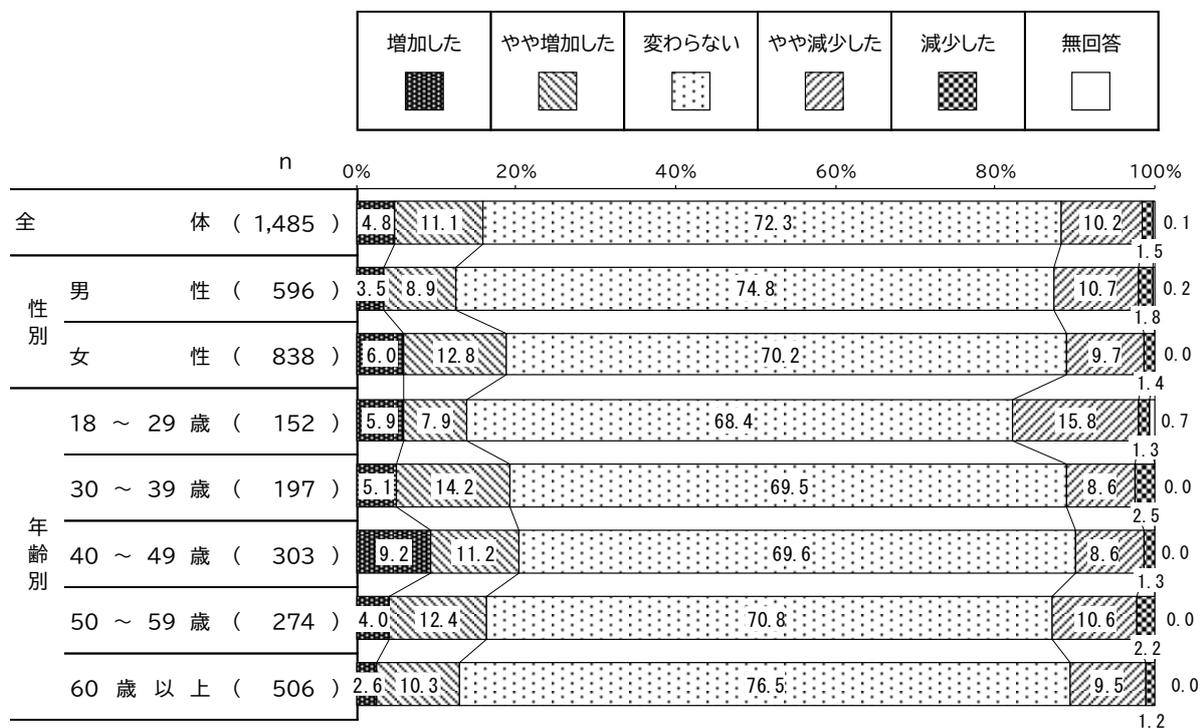


図Ⅲ-40 食事の量

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「増加した」と「やや増加した」を合わせた『増加した人』の割合は、女性（18.8%）が男性（12.4%）より6.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『増加した人』の割合は、40～49歳（20.4%）が最も高く、60歳以上（12.9%）で最も低くなっている。一方、「やや減少した」と「減少した」を合わせた『減少した人』の割合は、18～29歳（17.1%）が最も高く、40～49歳（9.9%）で最も低くなっている。



図Ⅲ－４１ 食事の量（性別／年齢別）

(2-2) 体重

『増加した人』が3割超

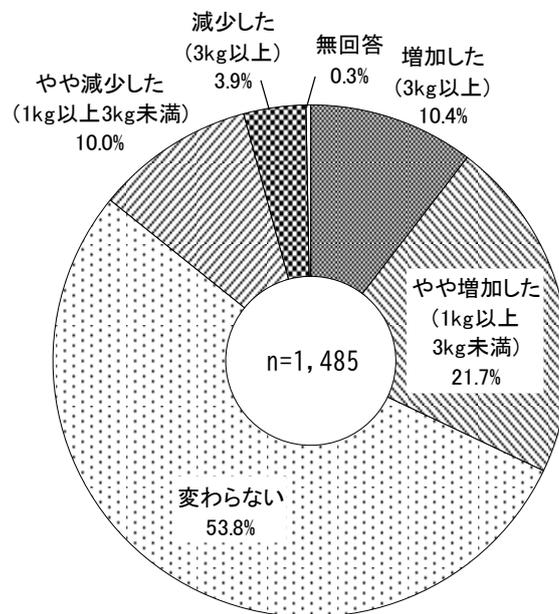
【問9】新型コロナウイルス感染症の感染拡大前（令和2年2月以前）と比べて、生活習慣や身体の変化はありましたか。(〇はそれぞれ1つ)

【問9-2】体重

コロナ禍以前と比べて、体重の増減について聞いたところ、「増加した（3kg以上）」（10.4%）と「やや増加した（1kg以上3kg未満）」（21.7%）を合わせた『増加した人』の割合は、32.1%となっている。

一方、「やや減少した（1kg以上3kg未満）」（10.0%）と「減少した（3kg以上）」（3.9%）を合わせた『減少した人』の割合は、13.9%となっている。

なお、「変わらない」の割合は、53.8%となっている。

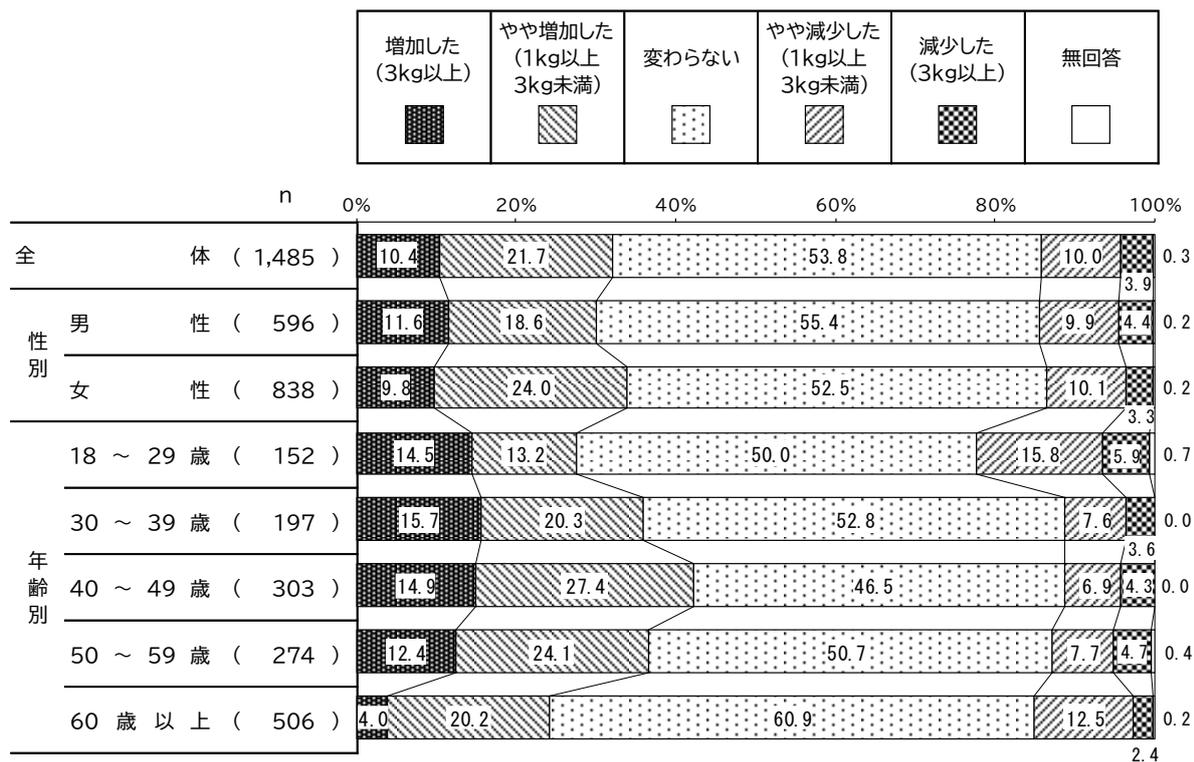


図Ⅲ-42 体重

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「増加した（3kg以上）」と「やや増加した（1kg以上3kg未満）」を合わせた『増加した人』の割合は、女性（33.8%）が男性（30.2%）より 3.6 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『増加した人』の割合は、40～49歳（42.3%）が最も高く、60歳以上（24.2%）で最も低くなっている。一方、「やや減少した（1kg以上3kg未満）」と「減少した（3kg以上）」を合わせた『減少した人』の割合は、18～29歳（21.7%）が最も高く、30～39歳と40～49歳（ともに11.2%）で最も低くなっている。



図Ⅲ－43 体重（性別／年齢別）

(2-3) 睡眠時間

「変わらない」が7割弱

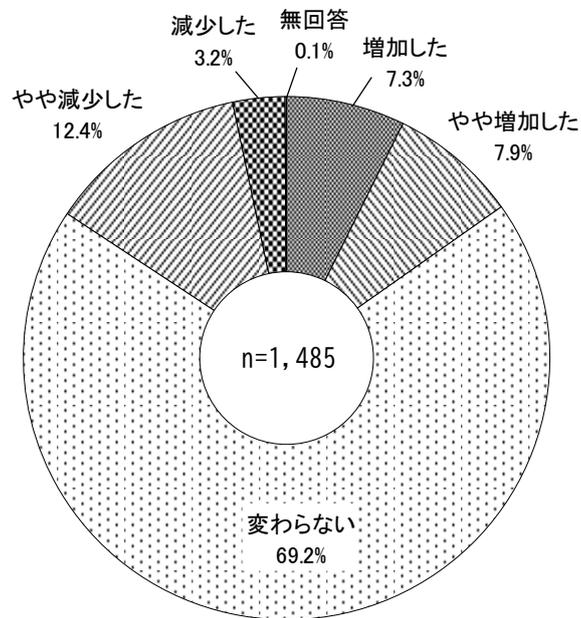
【問9】新型コロナウイルス感染症の感染拡大前（令和2年2月以前）と比べて、生活習慣や身体の変化はありましたか。(〇はそれぞれ1つ)

【問9-3】睡眠時間

コロナ禍以前と比べて、睡眠時間の増減について聞いたところ、「増加した」(7.3%)と「やや増加した」(7.9%)を合わせた『増加した人』の割合は、15.2%となっている。

一方、「やや減少した」(12.4%)と「減少した」(3.2%)を合わせた『減少した人』の割合は、15.6%となっている。

なお、「変わらない」の割合は、69.2%となっている。

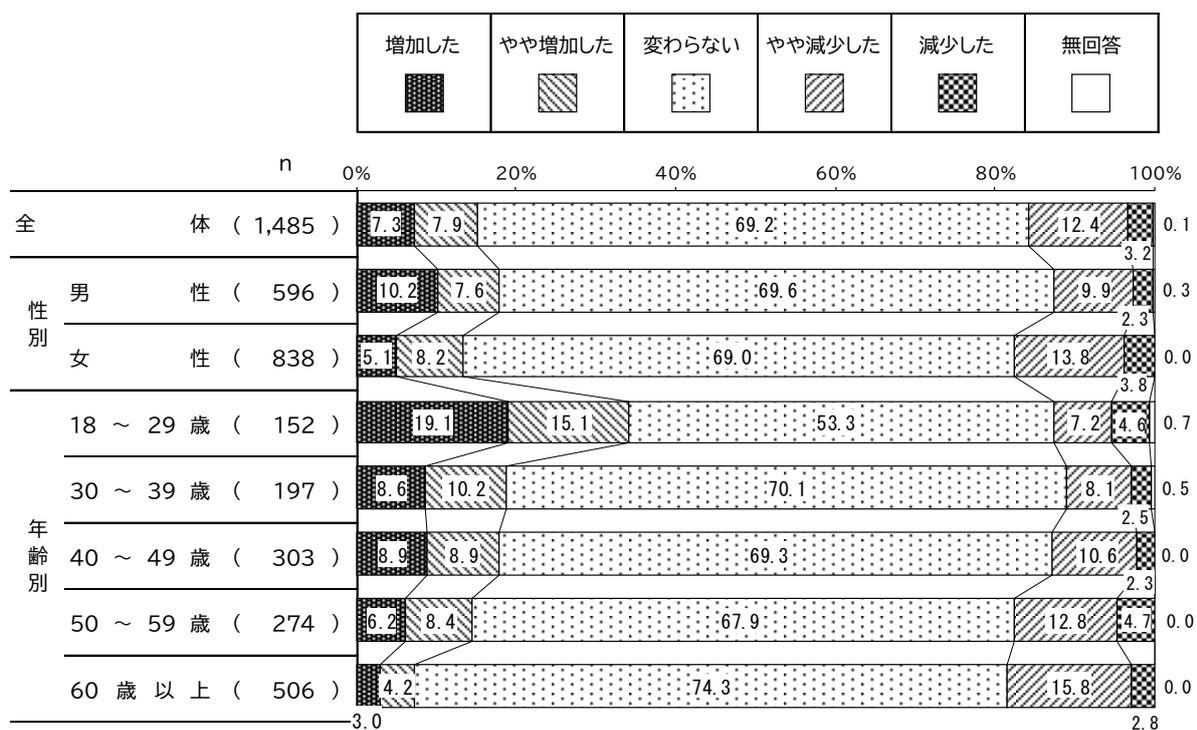


図Ⅲ-44 睡眠時間

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「増加した」と「やや増加した」を合わせた『増加した人』の割合は、男性（17.8%）が女性（13.3%）より4.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『増加した人』の割合は、年齢が下がるに従い高くなっており、割合が最も低い60歳以上（7.2%）と最も高い18～29歳（34.2%）には27.0ポイントの差がある。一方、「やや減少した」と「減少した」を合わせた『減少した人』の割合は、60歳以上（18.6%）が最も高く、30～39歳（10.6%）で最も低くなっている。



図Ⅲ－45 睡眠時間（性別／年齢別）

(2-4) 体力

『低下した人』が5割弱

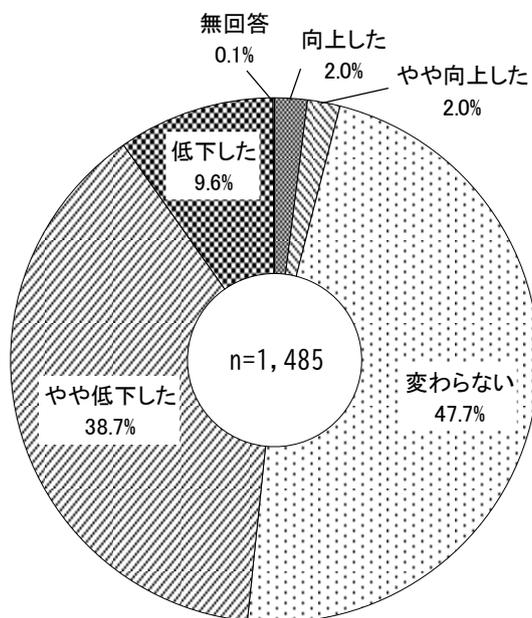
【問9】新型コロナウイルス感染症の感染拡大前（令和2年2月以前）と比べて、生活習慣や身体の変化はありましたか。（〇はそれぞれ1つ）

【問9-4】体力

コロナ禍以前と比べて、体力について聞いたところ、「向上した」（2.0%）と「やや向上した」（2.0%）を合わせた『向上した人』の割合は、4.0%となっている。

一方、「やや低下した」（38.7%）と「低下した」（9.6%）を合わせた『低下した人』の割合は、48.3%となっている。

なお、「変わらない」の割合は、47.7%となっている。

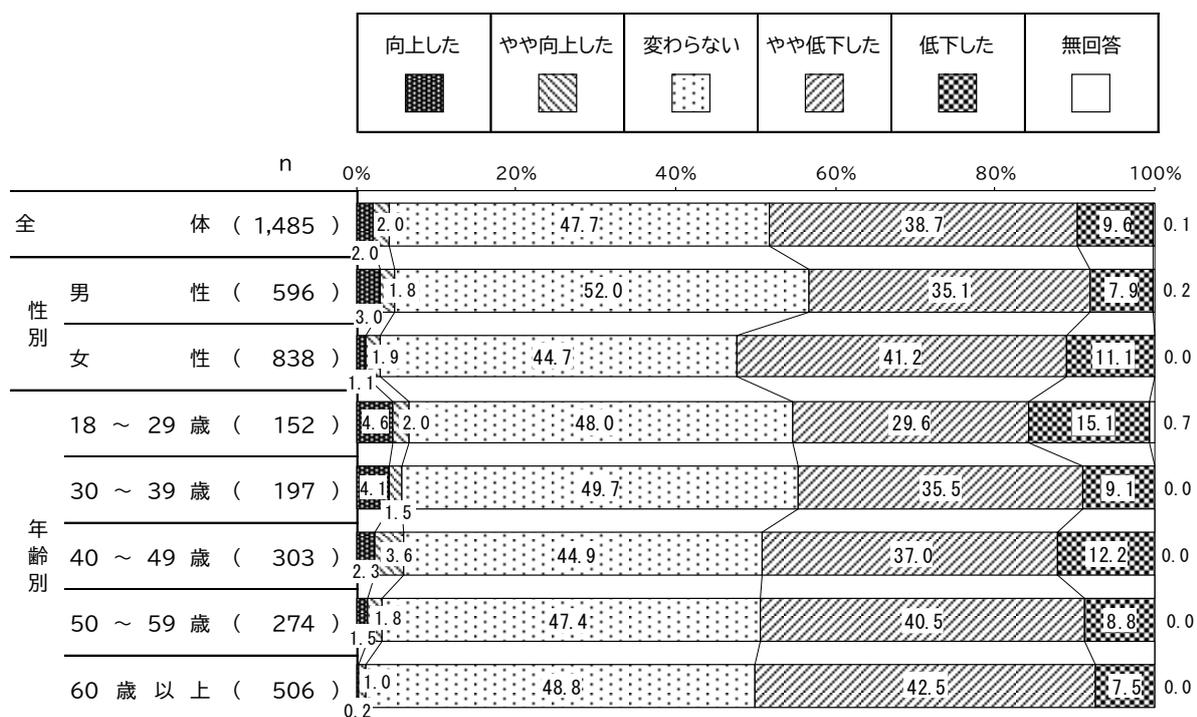


図Ⅲ-46 体力

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「低下した」と「やや低下した」を合わせた『低下した人』の割合は、女性（52.3%）が男性（43.0%）より9.3ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『低下した人』の割合は、60歳以上（50.0%）が最も高く、30～39歳（44.6%）で最も低くなっている。一方、「向上した」と「やや向上した」を合わせた『向上した人』の割合は、年齢が下がるに従い高くなる傾向が見られ、割合が最も低い60歳以上（1.2%）と最も高い18～29歳（6.6%）には5.4ポイントの差がある。



図Ⅲ－４７ 体力（性別／年齢別）

(2-5) 飲酒量

『増加した人』と『減少した人』を合わせた変化があった割合は、27.6%

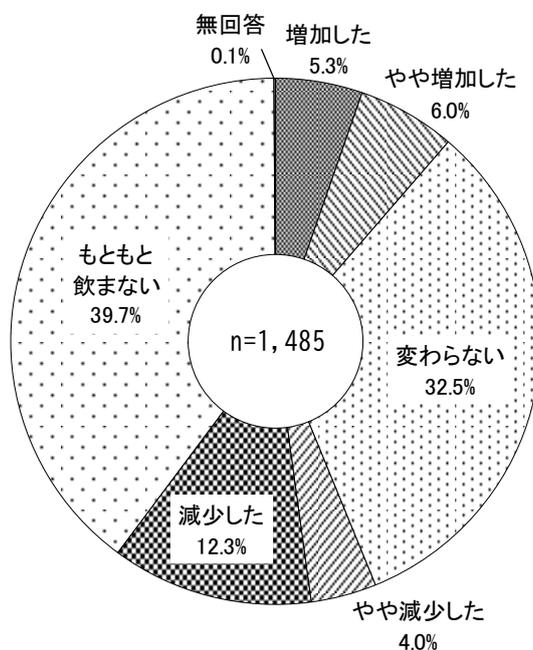
【問9】新型コロナウイルス感染症の感染拡大前（令和2年2月以前）と比べて、生活習慣や身体の変化はありましたか。(〇はそれぞれ1つ)

【問9-5】 飲酒量

コロナ禍以前と比べて、飲酒量の増減について聞いたところ、「増加した」(5.3%)と「やや増加した」(6.0%)を合わせた『増加した人』の割合は、11.3%となっている。

一方、「やや減少した」(4.0%)と「減少した」(12.3%)を合わせた『減少した人』の割合は、16.3%となっている。

なお、「変わらない」は32.5%、「もともと飲まない」は39.7%となっている。

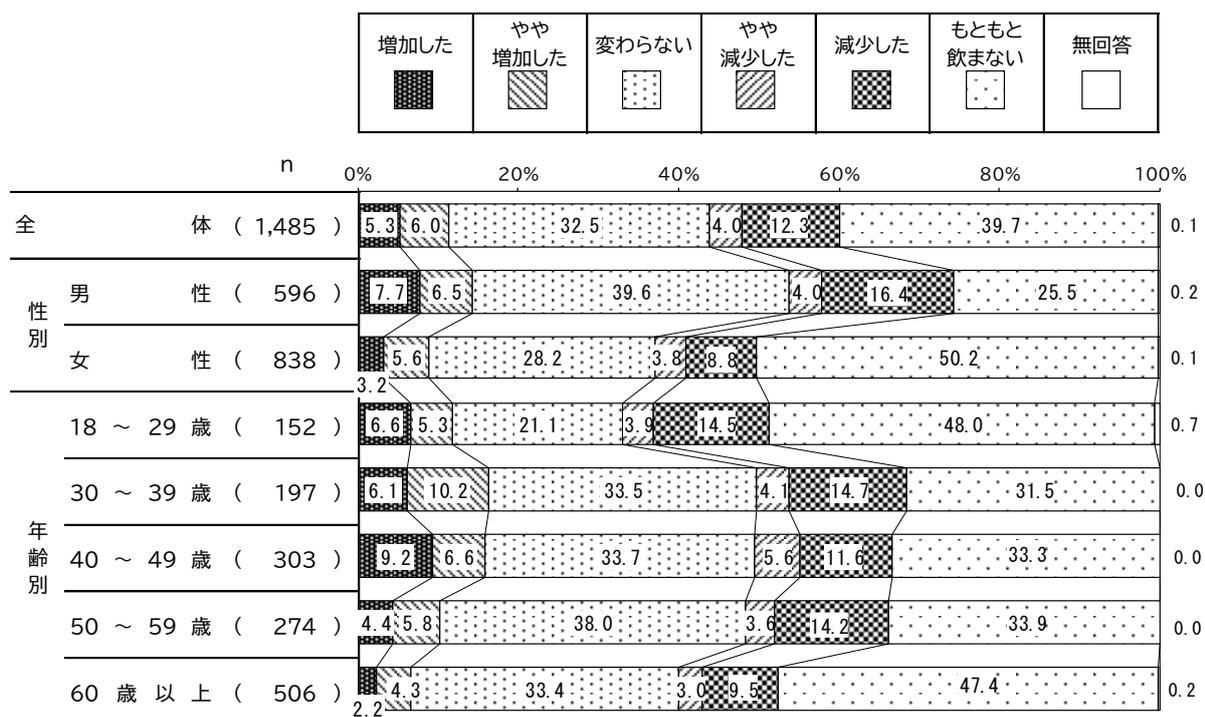


図Ⅲ-48 飲酒量

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「増加した」と「やや増加した」を合わせた『増加した人』の割合は、男性（14.2%）が女性（8.8%）より 5.4 ポイント高く、「減少した」と「やや減少した」を合わせた『減少した人』の割合も、男性（20.4%）が女性（12.6%）より 7.8 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『増加した人』の割合は、30～39 歳で 16.3%と最も高く、一方、『減少した人』の割合も、30～39 歳で 18.8%と最も高くなっている。



図Ⅲ－４９ 飲酒量（性別／年齢別）

(2-6) 喫煙量

『増加した人』と『減少した人』を合わせた変化があった割合は、5.3%

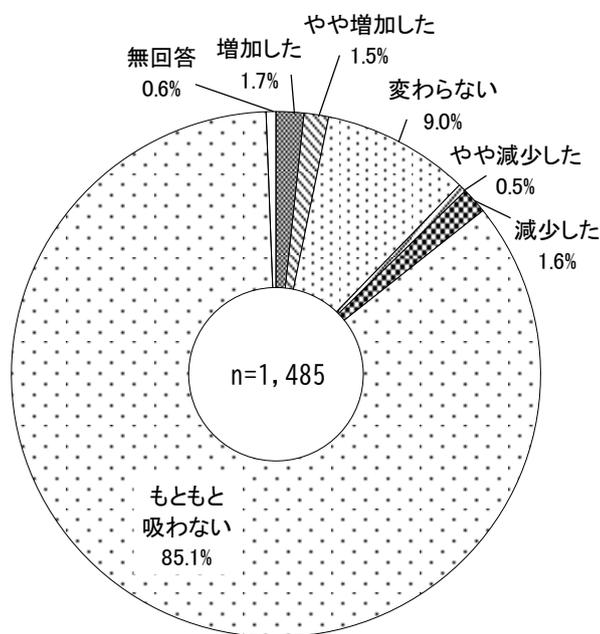
【問9】新型コロナウイルス感染症の感染拡大前（令和2年2月以前）と比べて、生活習慣や身体の変化はありましたか。（〇はそれぞれ1つ）

【問9-6】喫煙量

コロナ禍以前と比べて、喫煙量の増減について聞いたところ、「増加した」（1.7%）と「やや増加した」（1.5%）を合わせた『増加した人』の割合は、3.2%となっている。

一方、「やや減少した」（0.5%）と「減少した」（1.6%）を合わせた『減少した人』の割合は、2.1%となっている。

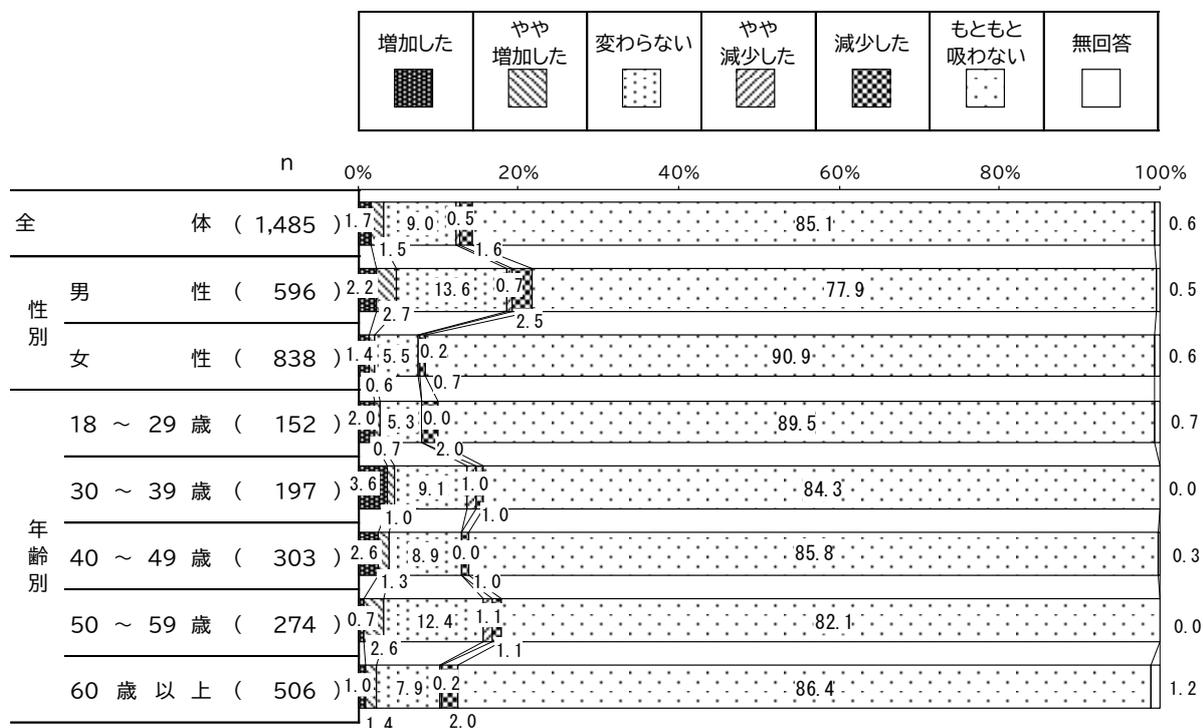
なお、「変わらない」は9.0%、「もともと吸わない」は85.1%となっている。



図Ⅲ-50 喫煙量

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「増加した」と「やや増加した」を合わせた『増加した人』の割合は、男性（4.9%）が女性（2.0%）より2.9ポイント高く、「減少した」と「やや減少した」を合わせた『減少した人』の割合も、男性（3.2%）が女性（0.9%）より2.3ポイント高くなっている。年齢別にみると、『増加した人』の割合は、30～39歳が4.6%で最も高くなっている。



図Ⅲ－51 喫煙量（性別／年齢別）

(2-7) 運動量 (身体活動量)

『減少した人』が4割超

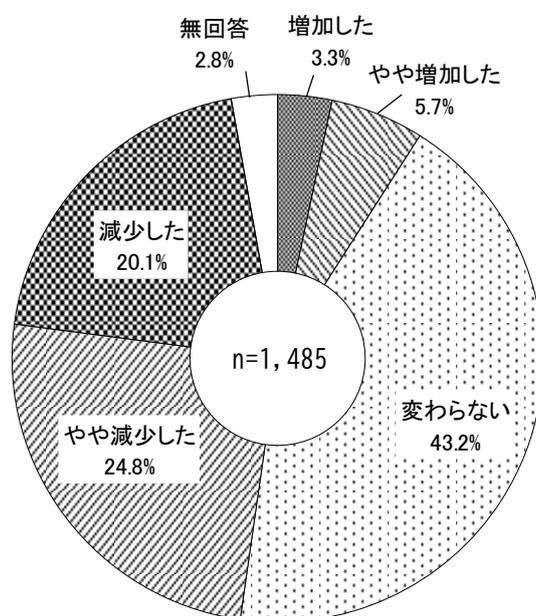
【問9】新型コロナウイルス感染症の感染拡大前（令和2年2月以前）と比べて、生活習慣や身体の変化はありましたか。(〇はそれぞれ1つ)

【問9-7】運動量 (身体活動量)

コロナ禍以前と比べて、運動量(身体活動量)の増減について聞いたところ、「増加した」(3.3%)と「やや増加した」(5.7%)を合わせた『増加した人』の割合は、9.0%となっている。

一方、「やや減少した」(24.8%)と「減少した」(20.1%)を合わせた『減少した人』の割合は、44.9%となっている。

なお、「変わらない」の割合は、43.2%となっている。

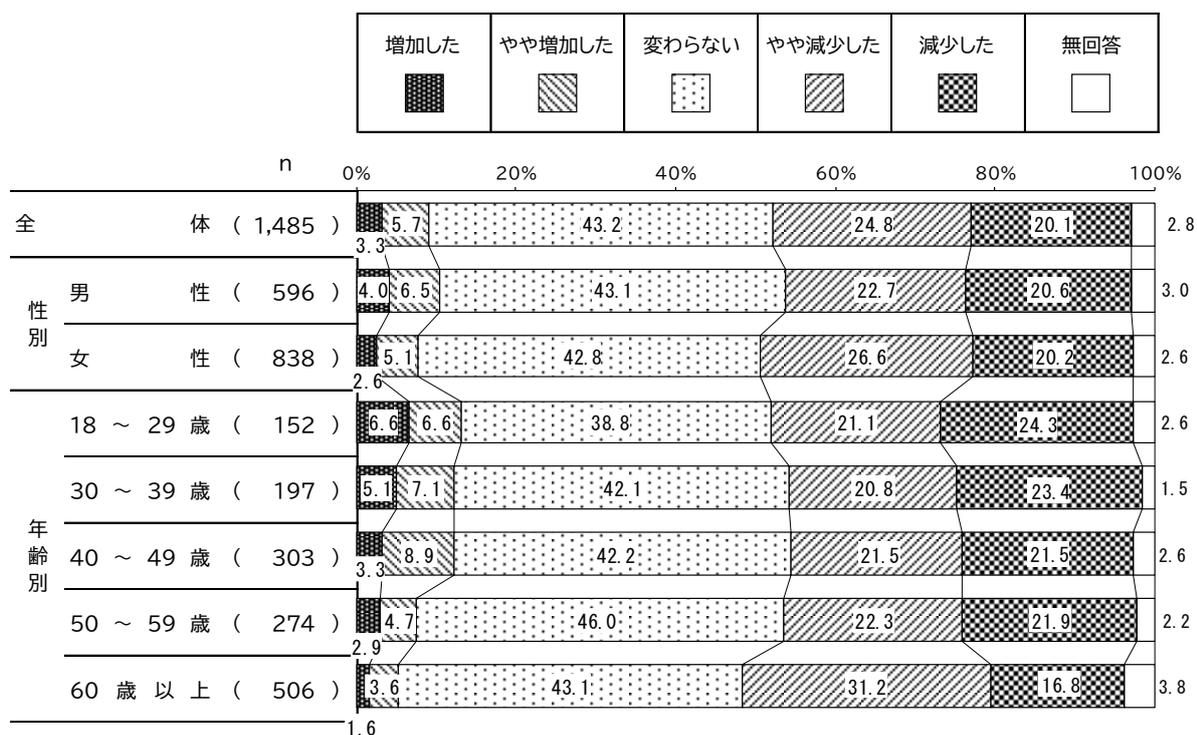


図Ⅲ-52 運動量 (身体活動量)

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「減少した」と「やや減少した」を合わせた『減少した人』の割合は、女性（46.8%）が男性（43.3%）より 3.5 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『減少した人』の割合は、60 歳以上（48.0%）が最も高く、40～49 歳（43.0%）で最も低くなっている。一方、「増加した」と「やや増加した」を合わせた『増加した人』の割合は、年齢が下がるに従い高くなり、割合が最も低い 60 歳以上（5.2%）と最も高い 18～29 歳（13.2%）には 8.0 ポイントの差がある。



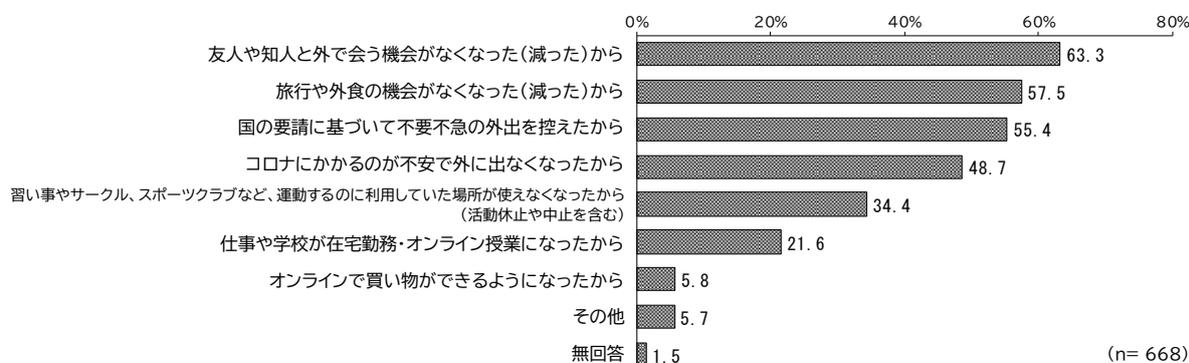
図Ⅲ－53 運動量（身体活動量）（性別／年齢別）

(2-8) 運動量（身体活動量）が減少した理由

「友人や知人と外で会う機会がなくなった（減った）から」が6割超
（問9-7 運動量について「4. やや減少した」または「5. 減少した」とお答えの方）
【問10】それはなぜですか。（〇はいくつでも）

運動量について「やや減少した」または「減少した」と答えた人（668人）に、減少した理由を聞いたところ、「友人や知人と外で会う機会がなくなった（減った）から」が63.3%で最も高く、次いで、「旅行や外食の機会がなくなった（減った）から」（57.5%）、「国の要請に基づいて不要不急の外出を控えたから」（55.4%）、「コロナにかかるのが不安で外に出なくなったから」（48.7%）と続いている。

「その他」については、「通勤・仕事の時間、量が減少したから」（7件）などが挙げられている。



図Ⅲ-54 運動量（身体活動量）が減少した理由

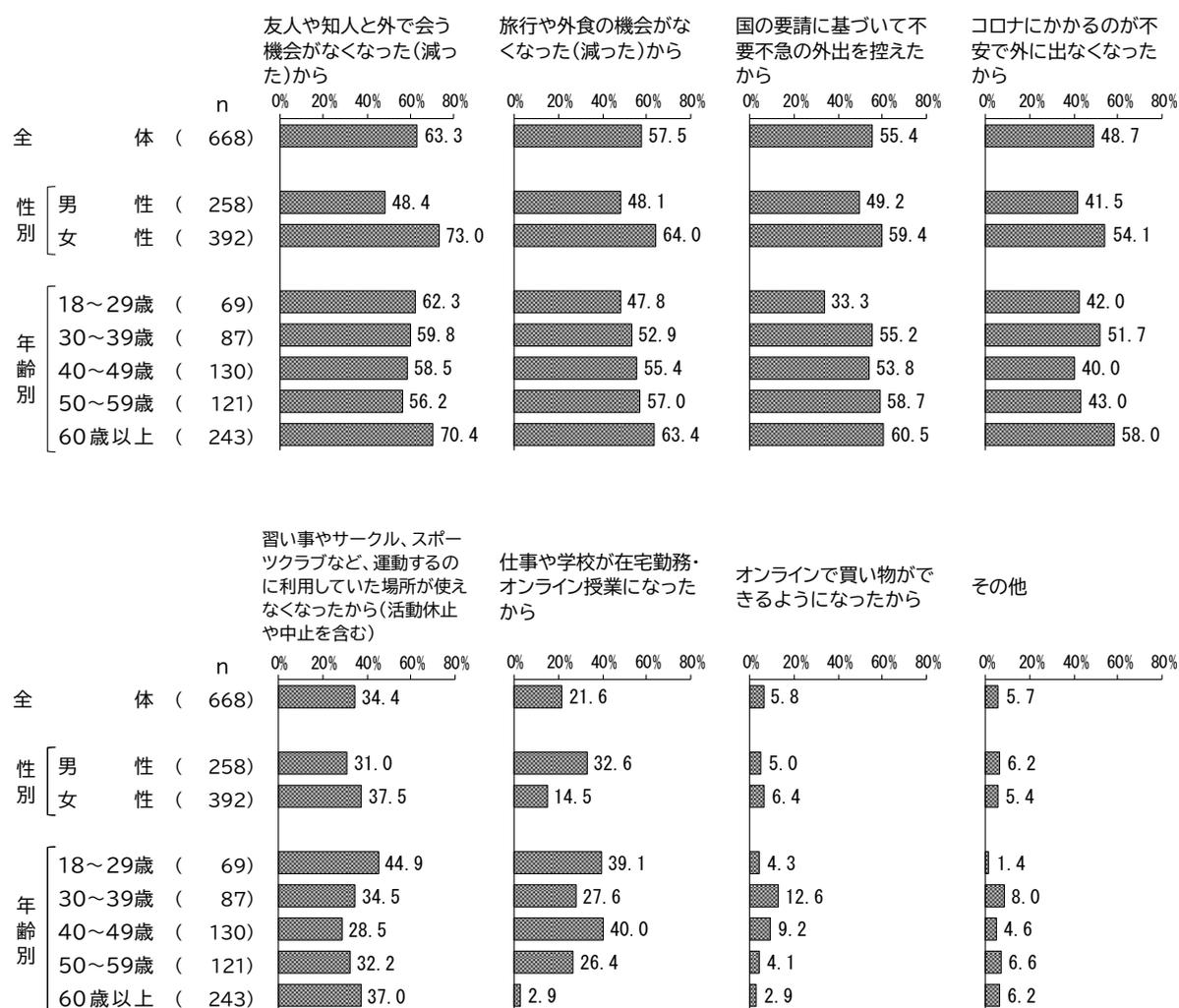
表Ⅲ-9 「その他」の内訳

「その他」の内容	件数
通勤・仕事の時間、量が減少したから	7
通勤が車になったから	2
スポーツクラブの人数制限・グラウンドの時間制限のため	2
年をとったから	2
高血圧・大腸がんなど疾病のため	2
お金がないから	1
県外から来たので運動できる場所を知らないから	1
憩いの場所に行けないから	1
(記載なし)	20
合計	38

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「友人や知人と外で会う機会がなくなった(減った)から」、「旅行や外食の機会がなくなった(減った)から」、「国の要請に基づいて不要不急の外出を控えたから」、「コロナにかかるのが不安で外に出なくなったから」は、女性(73.0%、64.0%、59.4%、54.1%)が男性(48.4%、48.1%、49.2%、41.5%)より、各々24.6、15.9、10.2、12.6ポイント高い。一方、「仕事や学校が在宅勤務・オンライン授業になったから」は、男性(32.6%)が女性(14.5%)より18.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「旅行や外食の機会がなくなった(減った)から」、「国の要請に基づいて不要不急の外出を控えたから」では、年齢が上がるに従い割合が高くなる傾向が見られる。



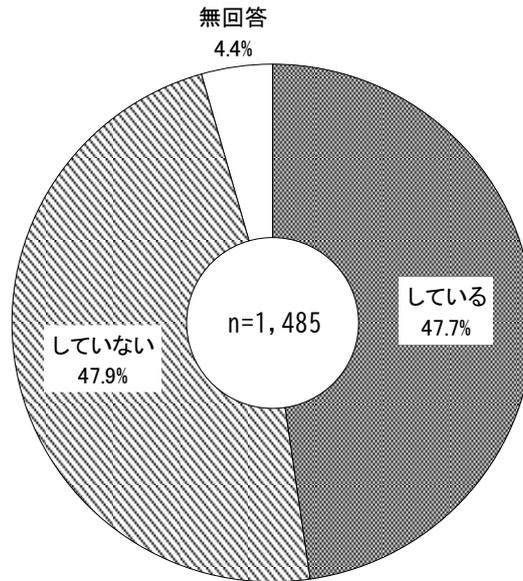
図Ⅲ-55 運動量(身体活動量)が減少した理由(性別/年齢別)

(3) コロナ禍での体を動かす工夫の有無

「している」と「していない」はほぼ同じ

【問11】 コロナ禍で体を動かす工夫をしていますか。(〇は1つ)

コロナ禍で体を動かす工夫をしているかについて聞いたところ、「している」が47.7%、「していない」が47.9%で拮抗している。

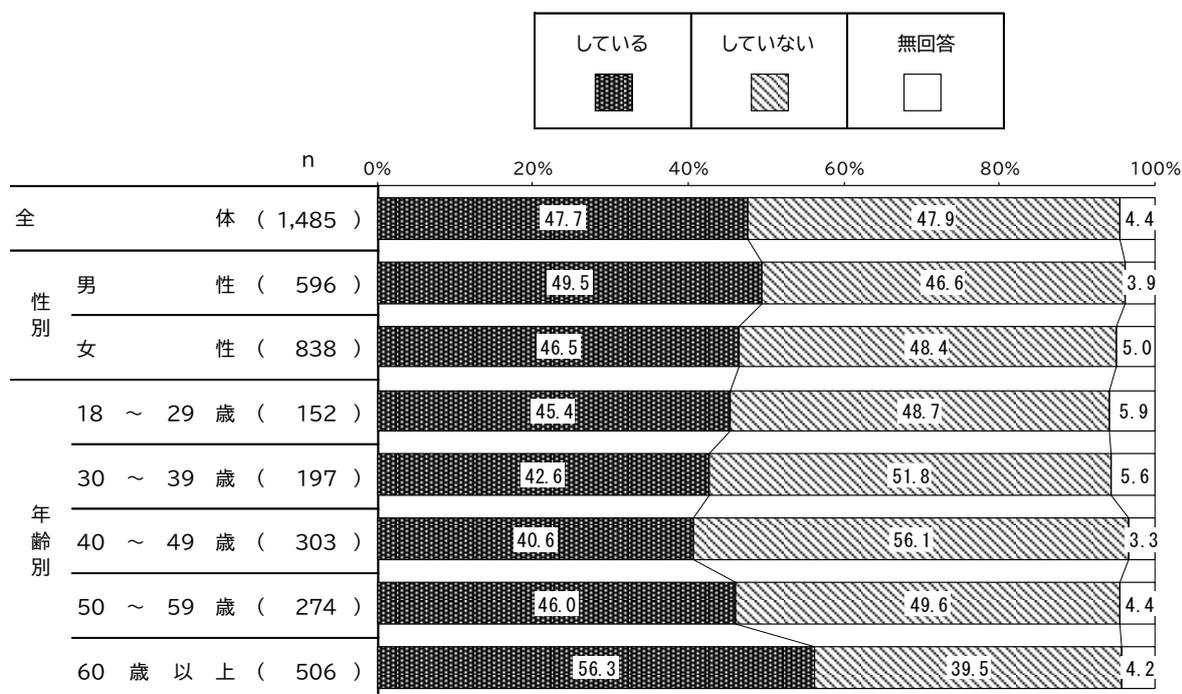


図Ⅲ－56 コロナ禍での体を動かす工夫の有無

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「している」の割合は、男性（49.5%）が女性（46.5%）より3.0ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「している」の割合は、40～49歳（40.6%）が最も低く、40～49歳を挟んで年齢が下がる、あるいは上がるに従い高くなっており、60歳以上では56.3%と最も高くなっている。



図Ⅲ－５７ コロナ禍での体を動かす工夫の有無（性別／年齢別）

(3-1) 体を動かす工夫をしている内容

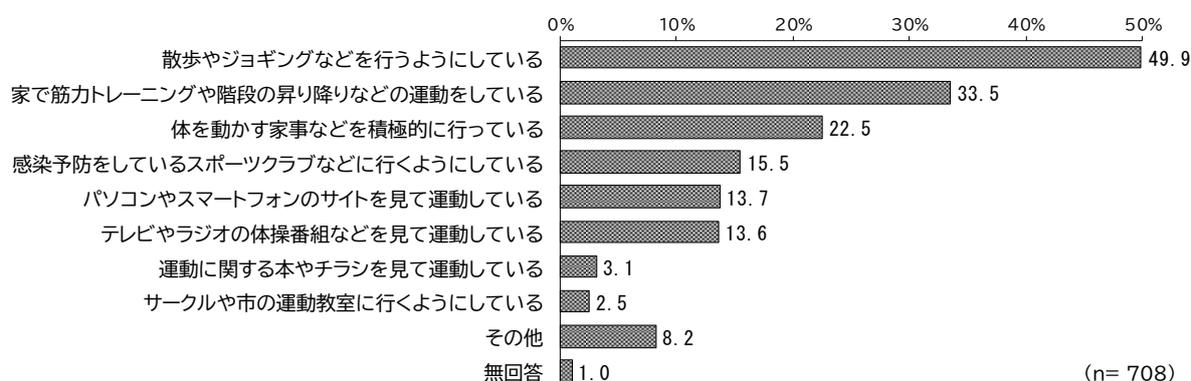
「散歩やジョギングなどを行うようにしている」が5割

(問11で「1. している」とお答えの方)

【問11-1】どのような工夫をしていますか。(〇はいくつでも)

コロナ禍に体を動かす工夫を「している」と答えた人(708人)に、どのような工夫をしているかを聞いたところ、「散歩やジョギングなどを行うようにしている」が49.9%で最も高く、次いで、「家で筋力トレーニングや階段の昇り降りなどの運動をしている」(33.5%)、「体を動かす家事などを積極的に行っている」(22.5%)と続いている。

「その他」については、「学校・職場・仕事で体を動かす」(10件)などが挙げられている。



図Ⅲ-58 体を動かす工夫をしている内容

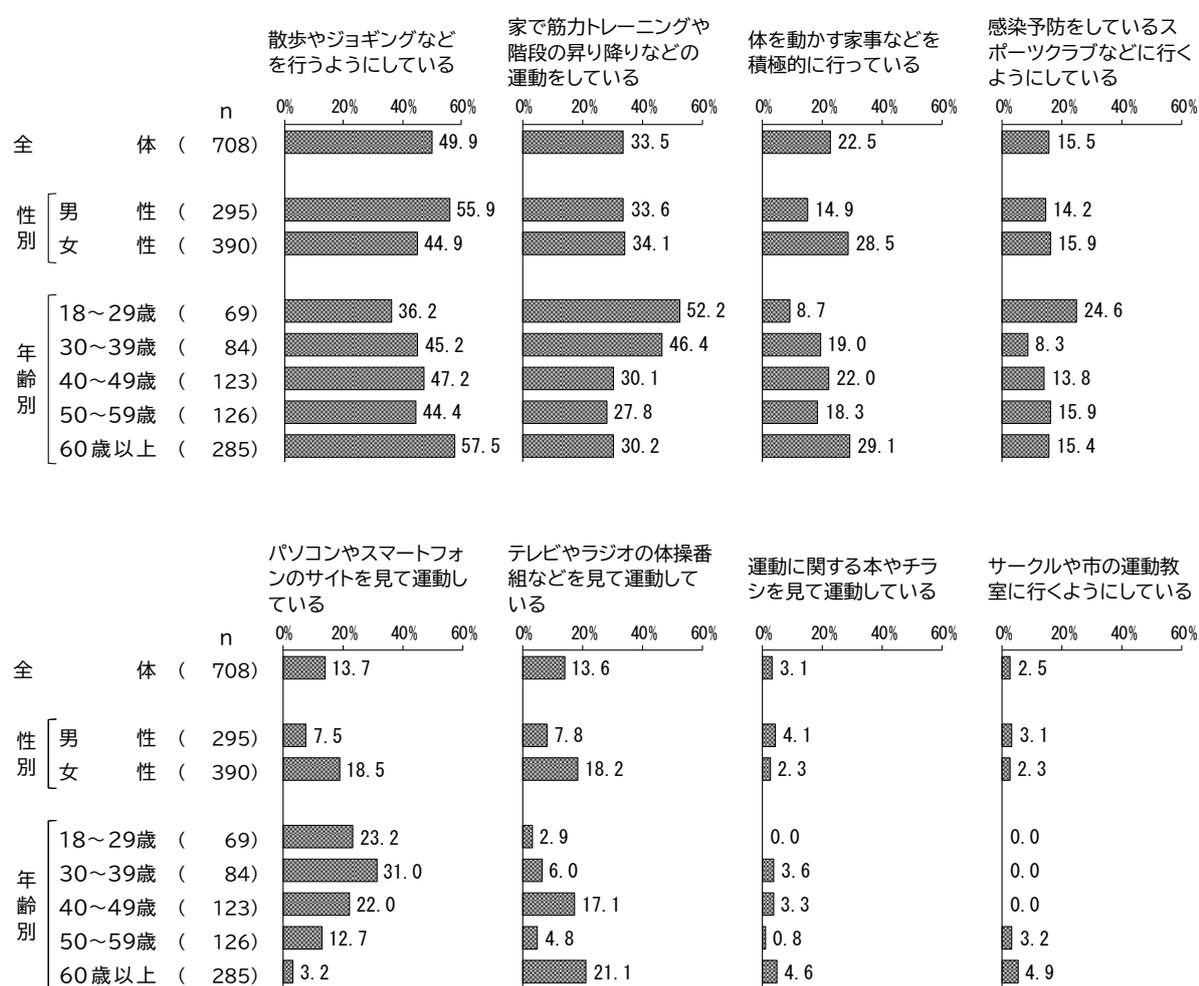
表Ⅲ-10 「その他」の内訳

「その他」の内容	件数
学校・職場・仕事で体を動かす	10
通勤時に歩く量を増やしている・通勤を徒歩に変えている	8
屋外での運動(ゴルフ、テニス、サイクリング、スキー他)をする	8
屋内での運動(体を動かすゲーム、リングフィット、ストレッチ他)をする	7
家庭菜園・畑仕事をする	4
通勤に自転車を使うようにしている	3
スポーツジムに通う	2
子供と外に出かける・子供と公園に行って運動する	2
その他	5
(記載なし)	14
合計	63

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「散歩やジョギングなどを行うようにしている」は、男性（55.9%）が女性（44.9%）より、11.0ポイント高い。一方、「体を動かす家事などを積極的に行っている」、「パソコンやスマートフォンのサイトを見て運動している」、「テレビやラジオの体操番組などを見て運動している」は、女性（28.5%、18.5%、18.2%）が男性（14.9%、7.5%、7.8%）より、各々13.6、11.0、10.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「散歩やジョギングなどを行うようにしている」、「体を動かす家事などを積極的に行っている」では、60歳以上が各々57.5%、29.1%と最も高く、「家で筋力トレーニングや階段の昇り降りなどの運動をしている」では、18～29歳で52.2%と高くなっている。また、「パソコンやスマートフォンのサイトを見て運動している」では、30～39歳で31.0%と最も高くなっている。



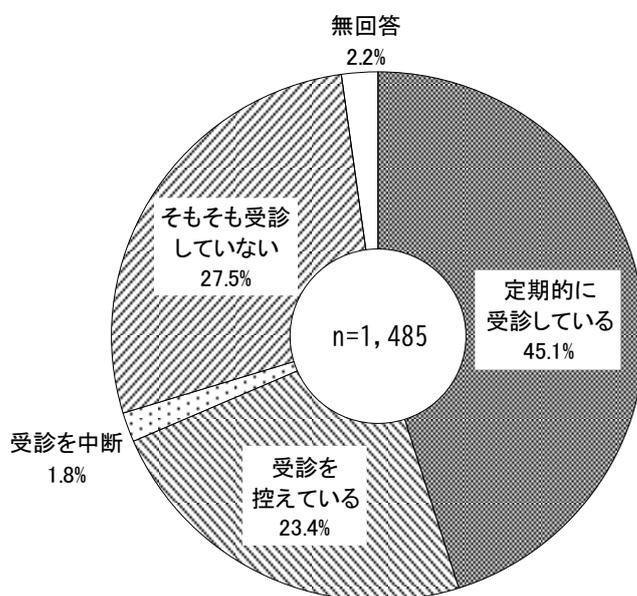
図Ⅲ－５９ 体を動かす工夫をしている内容（性別／年齢別）

(4) コロナ禍における医療機関の受診状況

「定期的に受診している」が4割超

【問12】新型コロナウイルス感染症の感染拡大前（令和2年2月以降）と比べて、病気やけがの治療ため、医療機関（病院や医院）に行くのを控えましたか。（健診・がん検診受診を含む）（〇は1つ）

コロナ禍以前と比べて、病気やけがの治療ため、医療機関に行くのを控えたかについて聞いたところ、「定期的に受診している」の割合が45.1%と最も高く、次いで「そもそも受診していない」（27.5%）、「受診を控えている」（23.4%）が2割を超え、「受診を中断」は1.8%となっている。

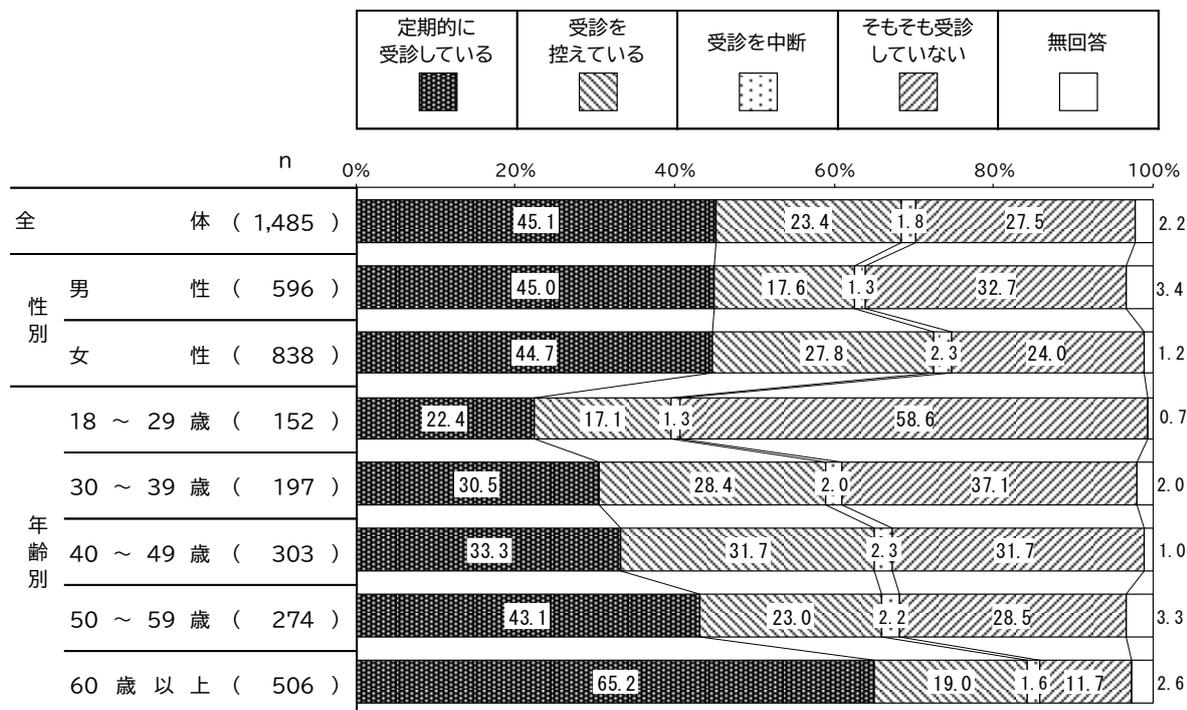


図Ⅲ－60 コロナ禍における医療機関の受診状況

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「受診を控えている」は、女性（27.8%）が男性（17.6%）より、10.2ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「定期的を受診している」では、年齢が上がるに従い割合が高くなっており、60歳以上では65.2%と6割を超えている。また、「受診を控えている」は、40～49歳で31.7%と最も高くなっている。



図Ⅲ－61 コロナ禍における医療機関の受診状況（性別／年齢別）

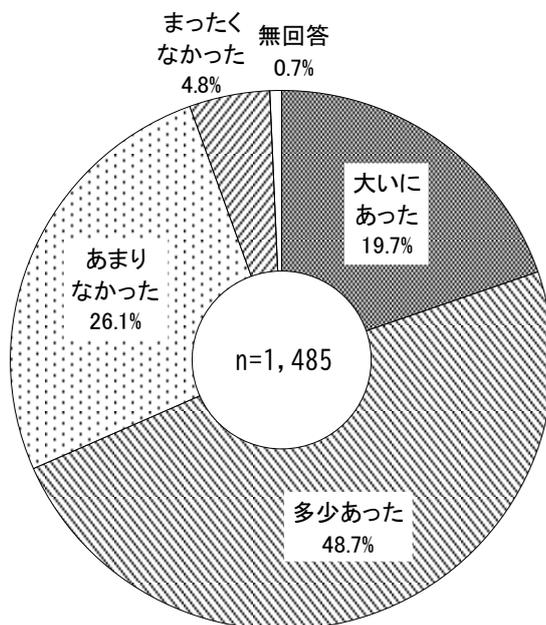
(5) 不満、悩み、苦労、ストレスなどの有無

『あった人』は7割弱

【問13】この1か月間に不満、悩み、苦労、ストレスなどがありましたか。(〇は1つ)

この1か月間に不満、悩み、苦労、ストレスなどがあったかについて聞いたところ、「大いにあった」(19.7%)と「多少あった」(48.7%)を合わせた『あった人』の割合は、68.4%となっている。

一方、「あまりなかった」(26.1%)と「まったくなかった」(4.8%)を合わせた『なかった人』の割合は、30.9%となっている。

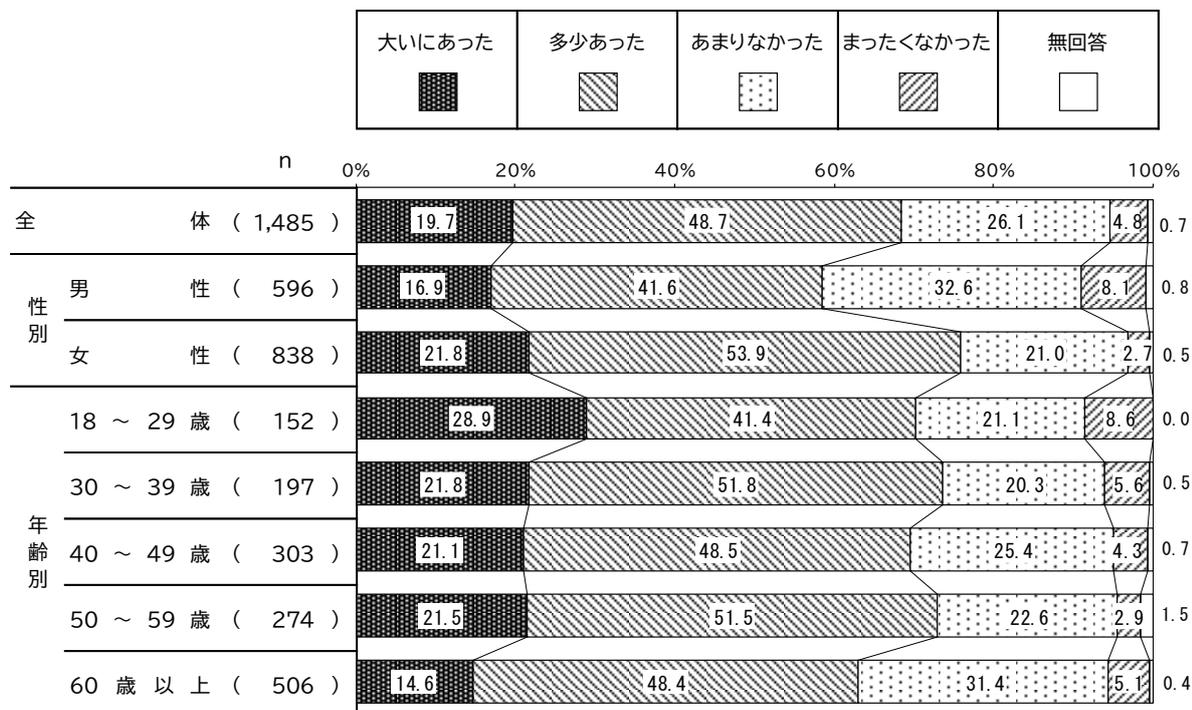


図Ⅲ-62 不満、悩み、苦労、ストレスなどの有無

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「大いにあった」と「多少あった」を合わせた『あった人』の割合は、女性（75.7%）が男性（58.5%）より17.2ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「大いにあった」の割合は、年齢が下がるに従い高くなる傾向が見られ、割合が最も低い60歳以上（14.6%）と最も高い18～29歳（28.9%）には14.3ポイントの差がある。



図Ⅲ－63 不満、悩み、苦勞、ストレスなどの有無（性別／年齢別）

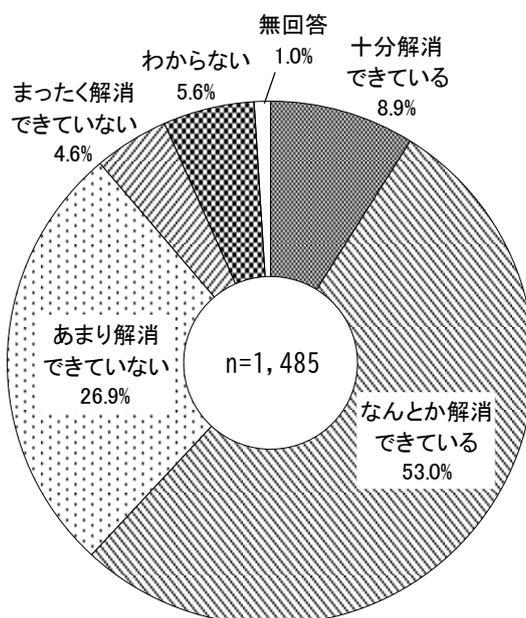
(6) 不満、悩み、苦労、ストレスなどの解消状況

『解消できている人』が6割超

【問14】あなたは、不満、悩み、苦労、ストレスなどを解消できていると思いますか。
(〇は1つ)

コロナ禍における不満、悩み、苦労、ストレスなどを解消できているかについて聞いたところ、「十分解消できている」(8.9%)と「なんとか解消できている」(53.0%)を合わせた『解消できている人』の割合は、61.9%となっている。

一方、「あまり解消できていない」(26.9%)と「まったく解消できていない」(4.6%)を合わせた『解消できていない人』の割合は、31.5%となっている。

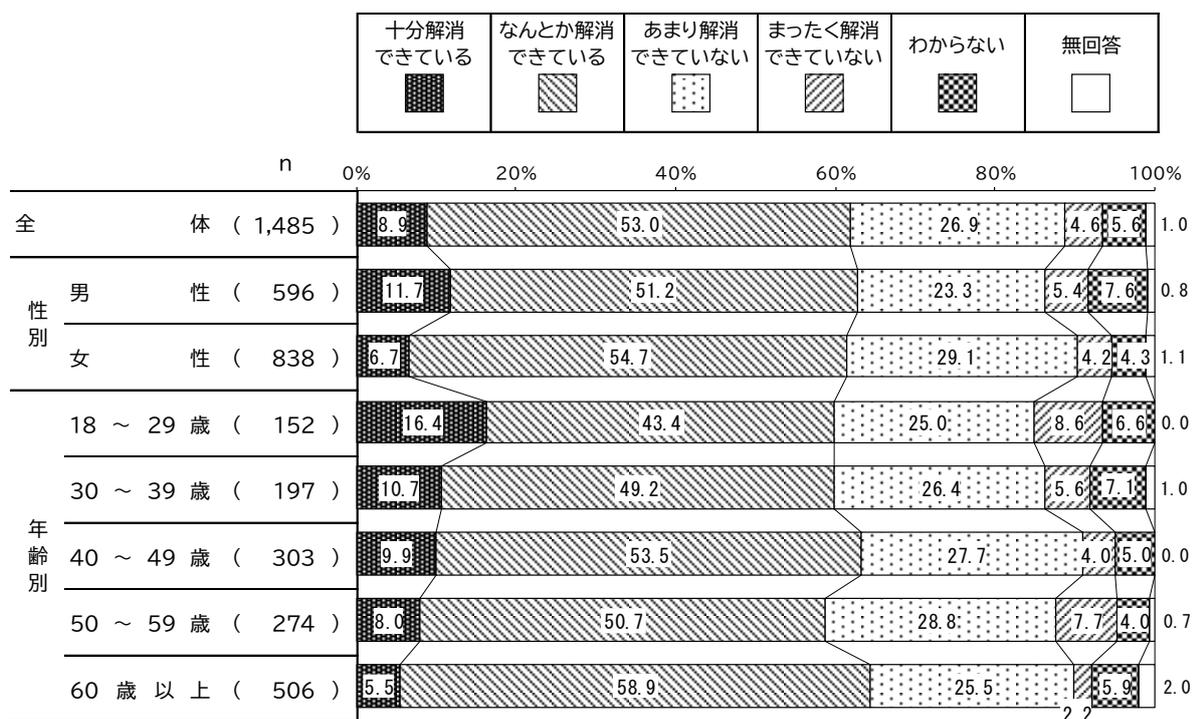


図Ⅲ-64 不満、悩み、苦労、ストレスなどの解消状況

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「十分解消できている」と「なんとか解消できている」を合わせた『解消できている人』の割合は、男性（62.9%）、女性（61.4%）で大きな差は見られない。

年齢別にみると、「十分解消できている」の割合は、年齢が下がるに従い高くなっており、割合が最も低い60歳以上（5.5%）と最も高い18～29歳（16.4%）には10.9ポイントの差がある。



図Ⅲ－65 不満、悩み、苦勞、ストレスなどの解消状況（性別／年齢別）

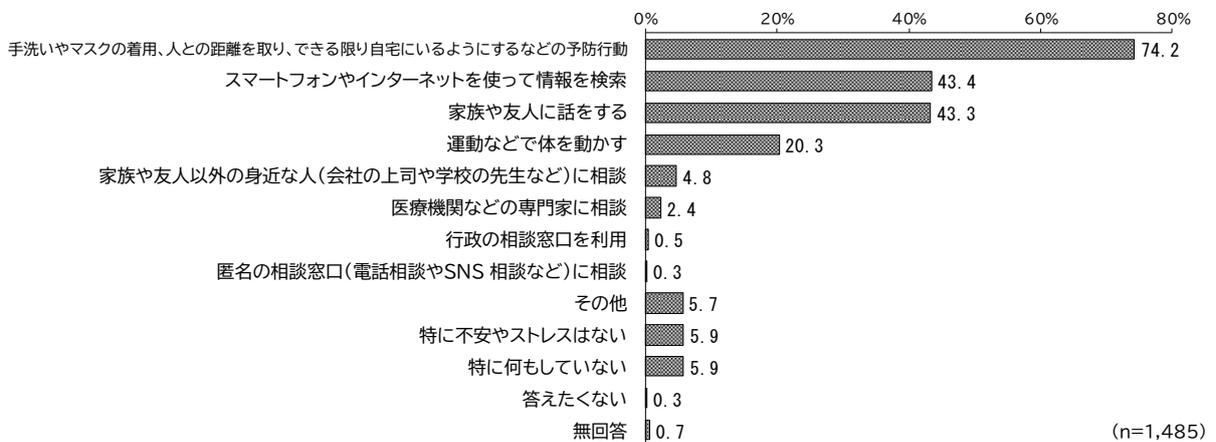
(7) 不安やストレスを解消するために行っていること

「手洗いやマスクの着用、人との距離を取り、できる限り自宅にいるようにするなどの予防行動」が7割超

【問15】新型コロナウイルス感染症の拡大により、不安やストレスを解消するために、あなたがしたこと・していることは何ですか。(〇はいくつでも)

新型コロナウイルス感染症の拡大により、不安やストレスを解消するためにしたこと・していることについて聞いたところ、「手洗いやマスクの着用、人との距離を取り、できる限り自宅にいるようにするなどの予防行動」の割合が74.2%と最も高く、次いで「スマートフォンやインターネットを使って情報を検索」(43.4%)、「家族や友人に話をする」(43.3%)までが4割を超えている。

「その他」については、「趣味を楽しむ、趣味の時間をとる」(10件)などが挙げられている。



図Ⅲ-66 不安やストレスを解消するために行っていること

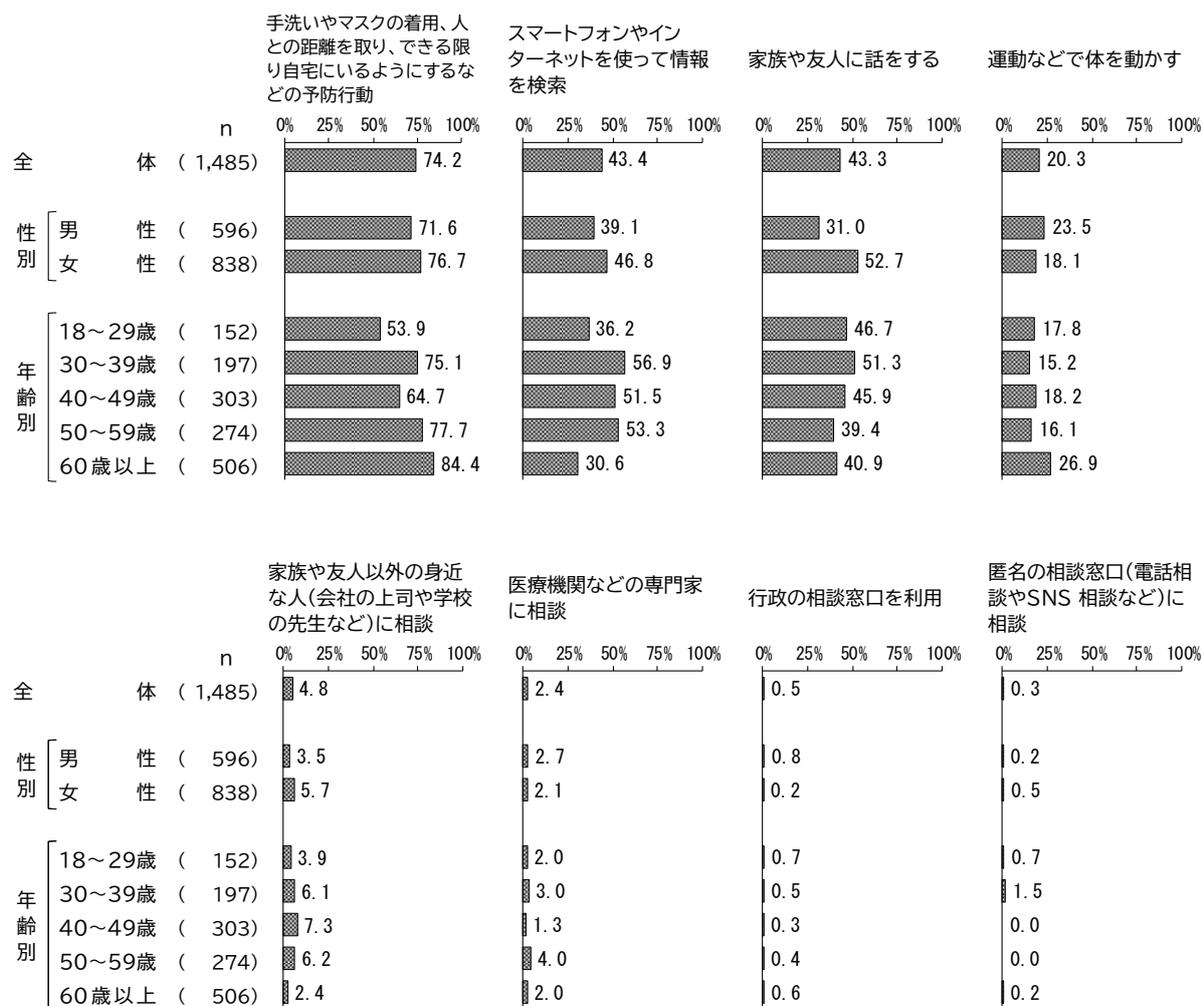
表Ⅲ-11 「その他」の内訳

「その他」の内容	件数
趣味を楽しむ、趣味の時間をとる	10
睡眠をしっかりとり、健康管理を行う	9
動画・映画・ドラマ・アニメ・バラエティ番組をみる	7
食事を楽しむ、美味しいものを食べる	6
人混みを避ける、むやみに出歩かない、用事は時短で済ませる	6
正しい情報を自分で調べる・共有する	6
家の中で遊ぶ	5
音楽を聴く、歌を歌う	5
読書、マンガを読む	4
ガーデニング、家庭菜園、庭仕事をする	4
オンラインで会話する、電話を利用する	4
不安をあおるコロナの報道に接しないようにする・気にしない	4
自然下・アウトドアで活動をする	3
ワクチンを接種する	3
その他	10
(記載なし)	7
合計	93

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「家族や友人に話をする」は、女性（52.7%）が男性（31.0%）より21.7ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「手洗いやマスクの着用、人との距離を取り、できる限り自宅にいるようにするなどの予防行動」、「運動などで体を動かす」では、60歳以上（84.4%、26.9%）で最も高く、「スマートフォンやインターネットを使って情報を検索」、「家族や友人に話をする」では、30～39歳（56.9%、51.3%）で最も高くなっている。



図Ⅲ－67 不安やストレスを解消するために行っていること（性別／年齢別）

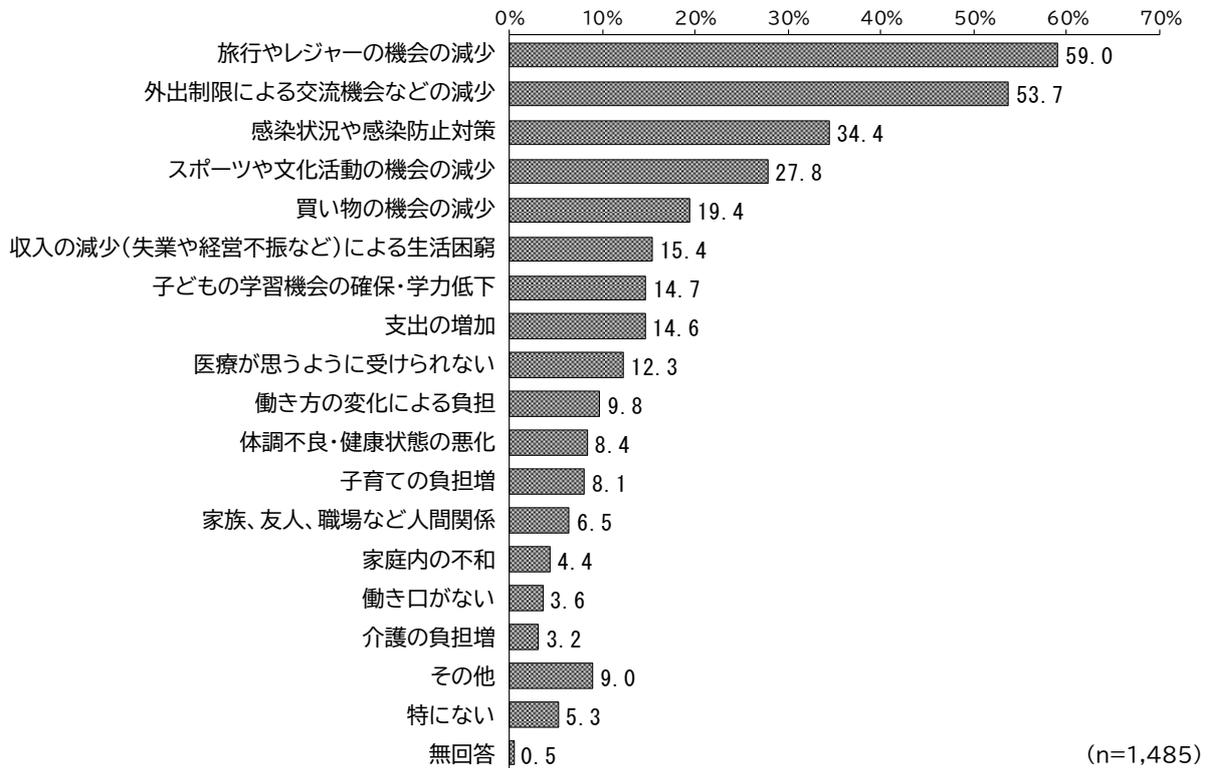
(8) 困っていること・心配と感じていること

「旅行やレジャーの機会の減少」が6割弱

【問16】あなたが困っていること・心配と感じていることは何ですか。(〇はいくつでも)

新型コロナウイルス感染症の拡大により、困っていること・心配と感じていることについて聞いたところ、「旅行やレジャーの機会の減少」の割合が59.0%と最も高く、次いで「外出制限による交流機会などの減少」(53.7%)、「感染状況や感染防止対策」(34.4%)までが3割を超えている。

「その他」については、「コロナ禍の収束が見えないことによる進学、就活、職業、結婚、老後などの先行き不安」、「家族・友人・同僚に会えない、施設・病院・冠婚葬祭で面会ができない」(ともに16件)などが挙げられている。



図Ⅲ-68 困っていること・心配と感じていること

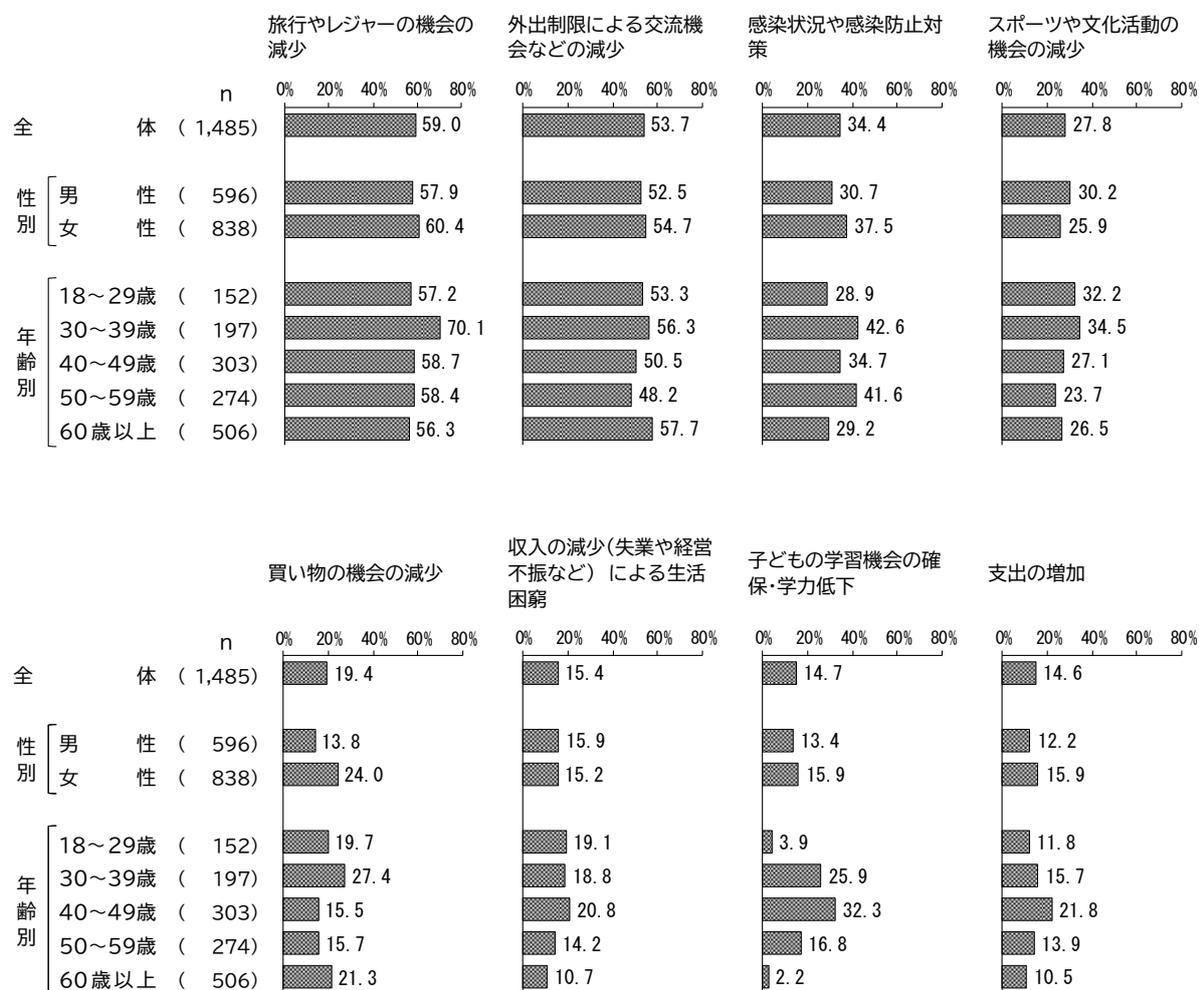
表Ⅲ-12 「その他」の内訳

「その他」の内容	件数
コロナ禍の収束が見えないことによる進学、就活、職業、結婚、老後などの先行き不安	16
家族・友人・同僚に会えない、施設・病院・冠婚葬祭で面会ができない	16
家族や自分がコロナに感染する不安、電車での密・通勤でのリスク	12
子どもの生活環境・学校環境・育児環境・体力づくり・健康状態の悪化	12
市の行政の対応が遅い、市の医療体制、各種補助の仕組みがわからない	10
飲食店が閉まっていて食事が摂れない、飲食に人数や時間の制限がある	9
マスクをせずにエレベーターに乗る人、路上飲みなど危機感のない人との接触	7
受診できる医療機関が少ない、適正な診療が受けられない	4
ワクチン接種の同調圧力、ワクチンの安全性・危険性・副作用	4
仕事の減少または人員不足による休日出勤の増加と疲労増加	4
コロナに感染したときの差別、ワクチンを打っていないことへの差別	3
自分や家族の健康に対する不安	3
精神的・心理的不安・ストレスの増加	3
大学に通えていない、普通の学校生活が送れていない	3
その他	12
(記載なし)	8
合計	126

【性別／年齢別】（上位8項目）

性別で比較すると、「感染状況や感染防止対策」、「買い物の機会の減少」は、女性（37.5%、24.0%）が男性（30.7%、13.8%）より各々6.8、10.2ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「旅行やレジャーの機会の減少」では、30～39歳（70.1%）で最も高く、「子どもの学習機会の確保・学力低下」では、40～49歳（32.3%）で最も高くなっている。



図Ⅲ－69 困っていること・心配と感じていること（性別／年齢別）（上位8項目）

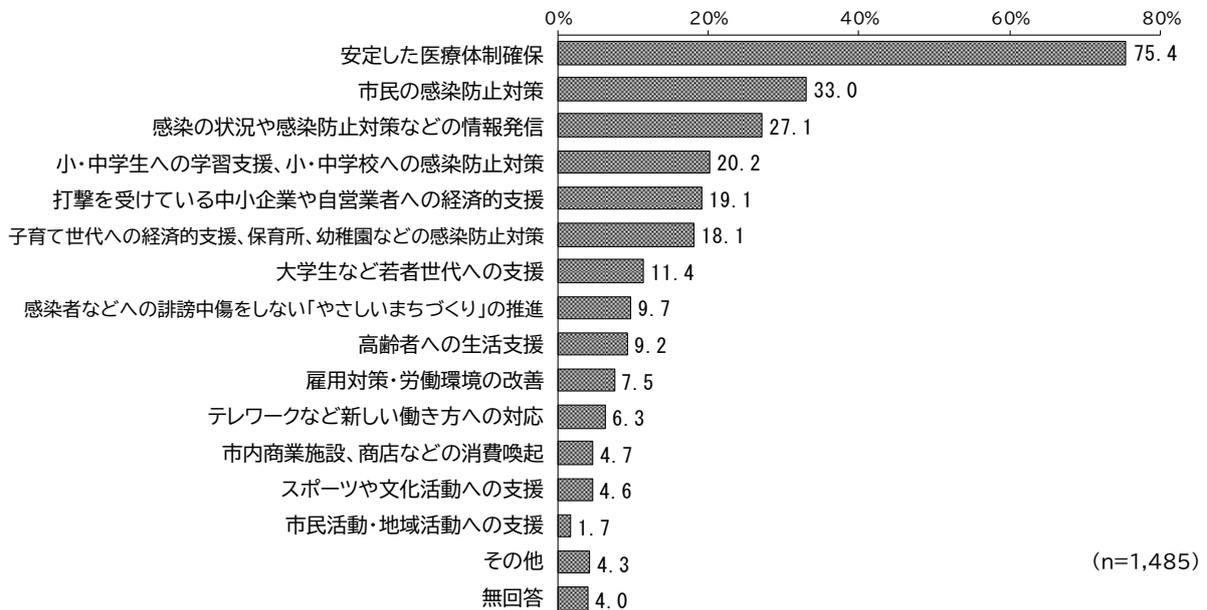
(9) 重点的に実施してほしいと考える施策

「安定した医療体制確保」が7割超

【問17】市では、飲食店など中小企業や自営業者への経済的支援、子育て世代を対象とした経済的支援などに取り組んでいるところですが、今後も新型コロナウイルス感染症の影響が続いた場合に、重点的に実施してほしいと考える施策は何ですか。(〇は3つまで)

今後も新型コロナウイルス感染症の影響が続いた場合に、重点的に実施してほしいと考える施策について聞いたところ、「安定した医療体制確保」の割合が75.4%と最も高く、次いで「市民の感染防止対策」(33.0%)、「感染の状況や感染防止対策などの情報発信」(27.1%)、「小・中学生への学習支援、小・中学校への感染防止対策」(20.2%)までが2割を超えている。

「その他」については、「ワクチン接種、ワクチンや接種会場の確保・充実、3回目のワクチン接種の早期準備」(12件)などが挙げられている。



図Ⅲ-70 重点的に実施してほしいと考える施策

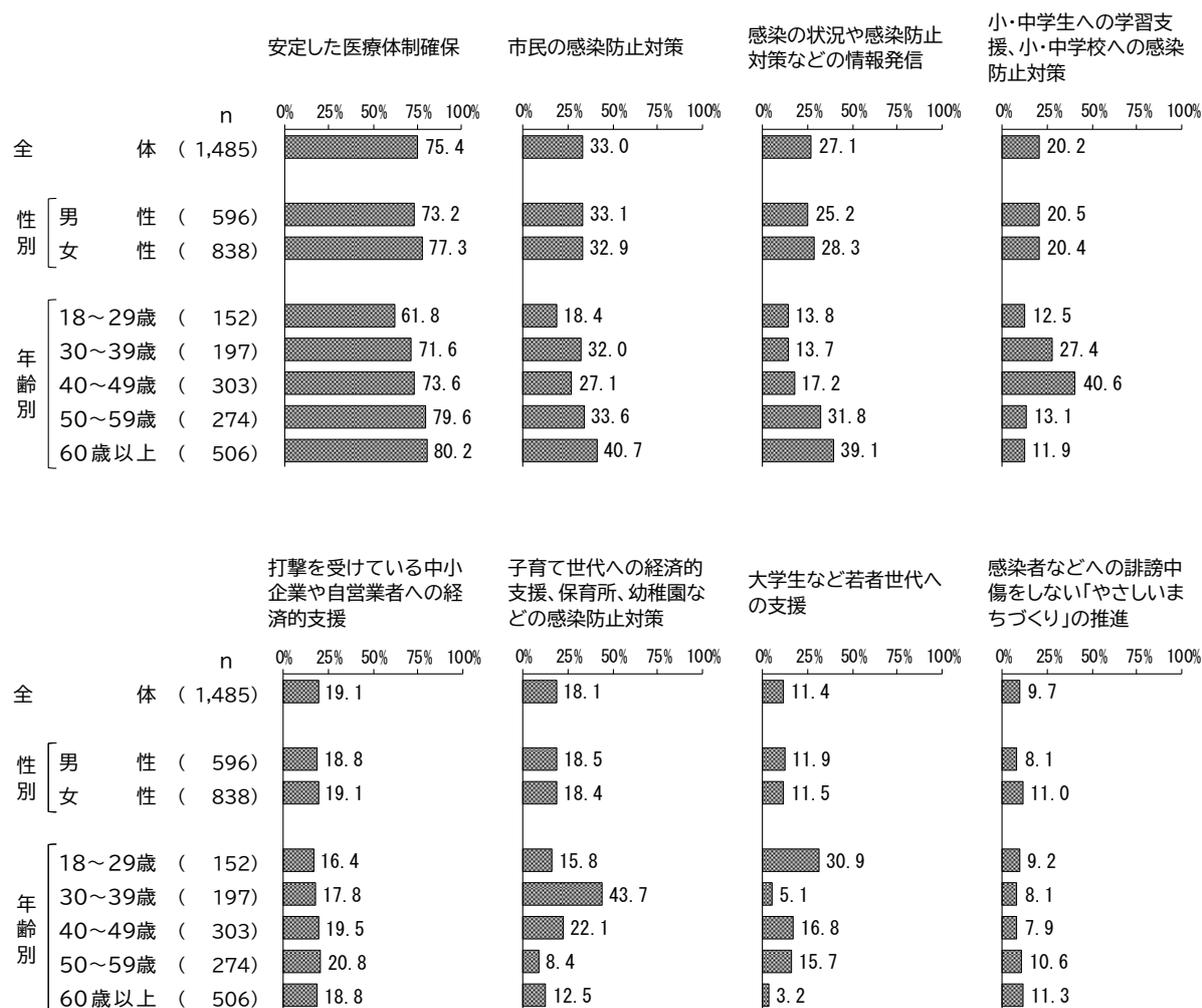
表Ⅲ-13 「その他」の内訳

「その他」の内容	件数
ワクチン接種、ワクチンや接種会場の確保・充実、3回目のワクチン接種の早期準備	12
全市民・全世帯への一律給付金	7
市内商業施設、飲食店への感染防止対策の徹底、酒の提供店への指導	3
飲食店の制限解除、規制緩和	3
初等・中等・高等教育のオンライン化	3
高校生、大学生、専門学生を抱える世帯への経済的支援	3
全子育て世代対象の経済的支援	2
妊婦が安心して出産できる環境づくり	2
医療従事者への支援(船橋市在住だが市外で従事している人も対象に含める)	2
その他	21
わからない	1
(記載なし)	4
合計	63

【性別／年齢別】（上位8項目）

性別で比較すると、「安定した医療体制確保」は、女性（77.3%）が男性（73.2%）より4.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「安定した医療体制確保」、「感染の状況や感染防止対策などの情報発信」では、年齢が上がるに従い高くなる傾向が見られ、60歳以上（80.2%、39.1%）で最も高くなっている。また、「小・中学生への学習支援、小・中学校への感染防止対策」では、40～49歳（40.6%）が、「子育て世代への経済的支援、保育所、幼稚園などの感染防止対策」では、30～39歳（43.7%）が、「大学生など若者世代への支援」では、18～29歳（30.9%）が最も高くなっている。



図Ⅲ－71 重点的に実施してほしいと考える施策（性別／年齢別）（上位8項目）

(10) 生活スタイルが変化したことによる良いと思える影響

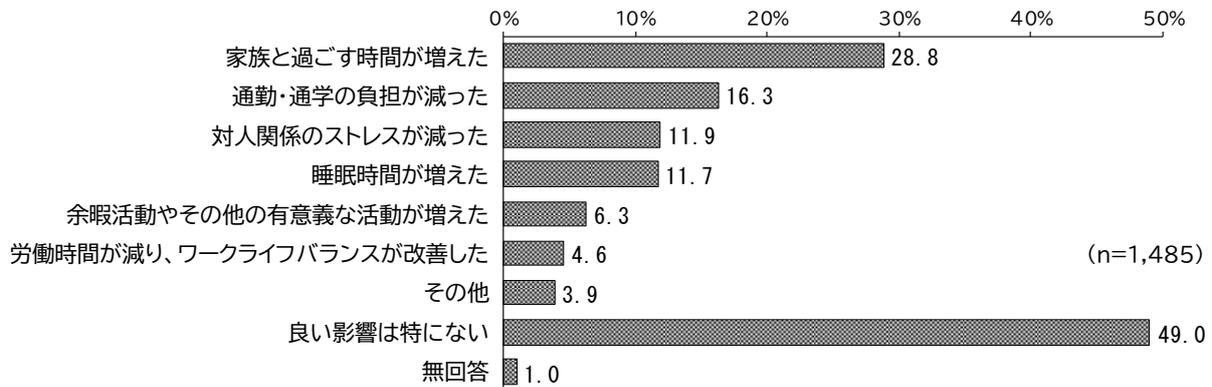
「良い影響は特にない」が5割弱

【問18】新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って生活スタイルが変化することで、あなたの生活に何か良いと思える影響はありましたか。(〇はいくつでも)

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って生活スタイルが変化することで、生活に何か良いと思える影響があったかについて聞いたところ、良いと思える影響があった回答のなかでは、「家族と過ごす時間が増えた」の割合が28.8%と最も高く、次いで「通勤・通学の負担が減った」(16.3%)、「対人関係のストレスが減った」(11.9%)、「睡眠時間が増えた」(11.7%)までが1割を超えている。

また、「良い影響は特にない」人の割合は49.0%で、全回答の中で最も高くなっている。

「その他」については、「無駄な会合や飲み会が減った・なくなった」、「無駄遣いが減った、無駄な支出がなくなった」(ともに9件)などが挙げられている。



図Ⅲ-72 生活スタイルが変化したことによる良いと思える影響

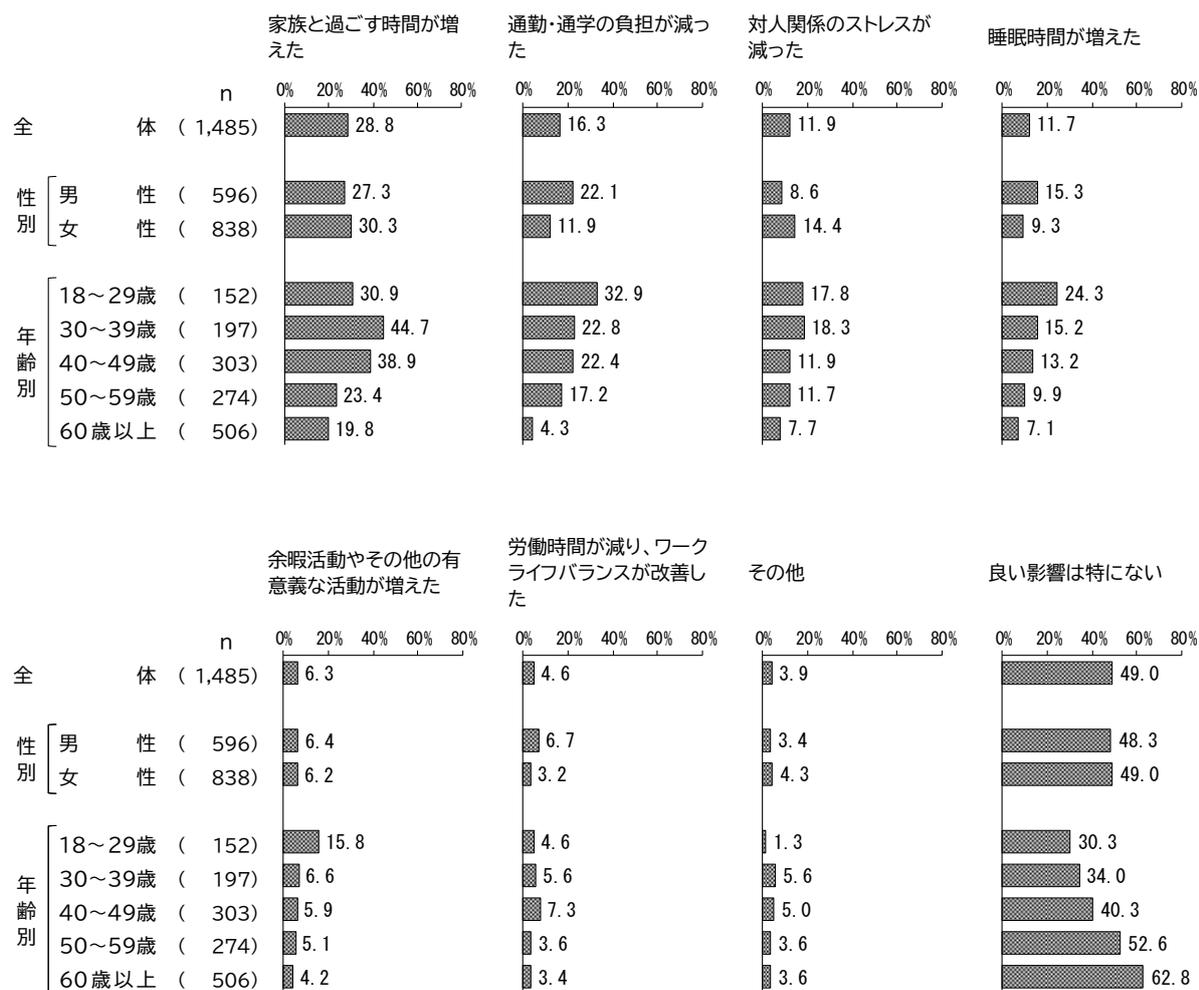
表Ⅲ-14 「その他」の内訳

「その他」の内容	件数
無駄な会合や飲み会が減った・なくなった	9
無駄遣いが減った、無駄な支出がなくなった	9
マスク、手洗い、消毒習慣からかぜをひかなくなった	5
今までの生活を見直す良い機会になった	4
子育てに協力できるようになった、育児参加の機会ができた	3
交通機関が混雑していない、渋滞が減った	2
その他	18
以前と変化はない	7
(記載なし)	2
合計	59

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「通勤・通学の負担が減った」、「睡眠時間が増えた」は、男性（22.1%、15.3%）が女性（11.9%、9.3%）より各々10.2、6.0ポイント高く、一方、「対人関係のストレスが減った」は、女性（14.4%）が男性（8.6%）より5.8ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「通勤・通学の負担が減った」、「睡眠時間が増えた」、「余暇活動やその他の有意義な活動が増えた」では、年齢が下がるに従い高くなり、18～29歳（32.9%、24.3%、15.8%）で最も高くなっている。また、「良い影響は特にはない」は、年齢が上がるに従い高くなり、60歳以上では62.8%と6割を超えている。



図Ⅲ－73 生活スタイルが変化したによる良いと思える影響（性別／年齢別）

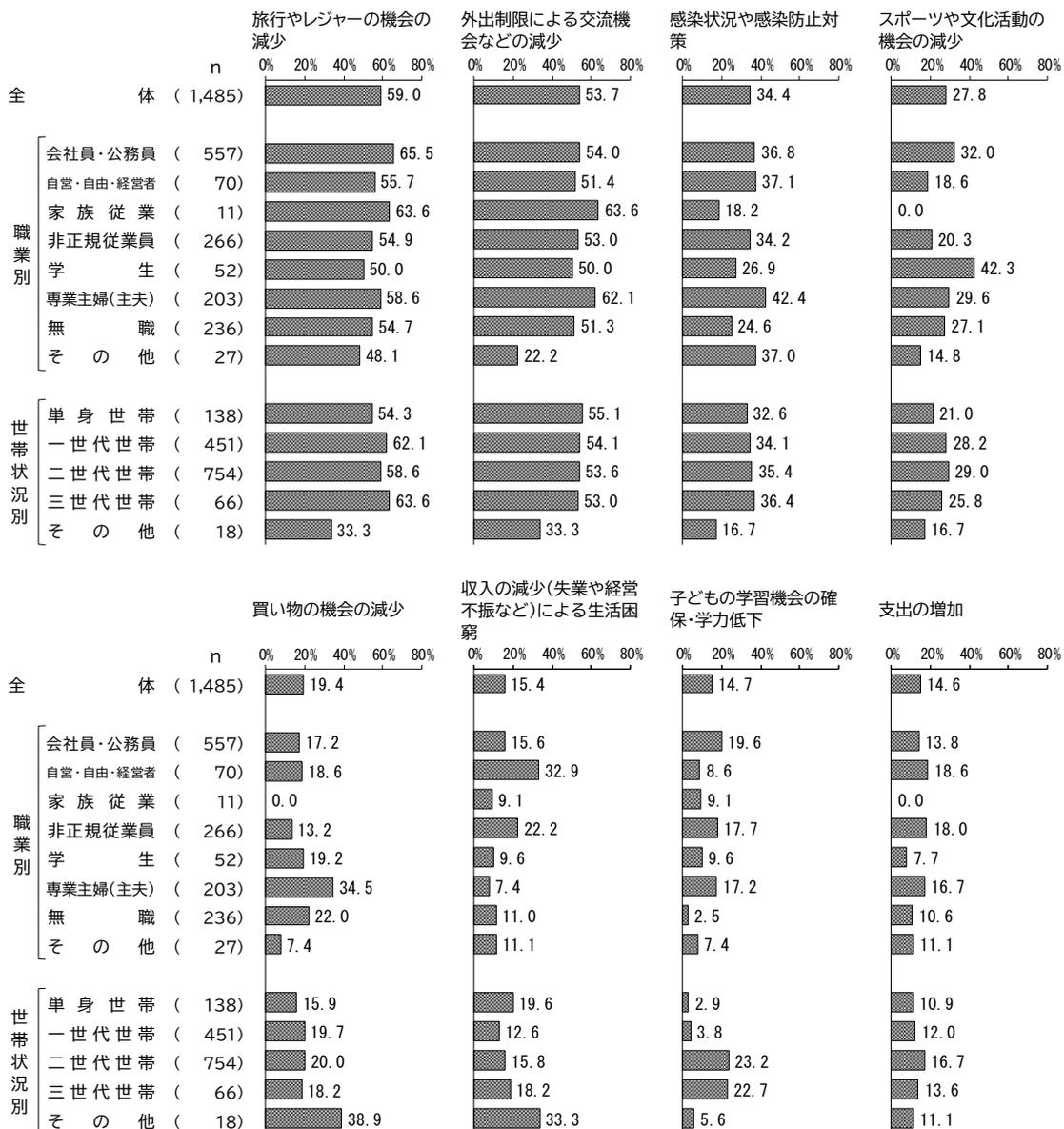
(11) 「新型コロナウイルス感染症の影響」概観

職業や世帯状況によって、外出機会の損失や生活への心配に差異あり

新型コロナウイルス感染症の拡大により、困っていること・心配と感じていることについて、全体、性別、年齢別に比較しているが、ここでは、職業別と世帯状況別に比較した結果を挙げる。

職業別にみると、「外出制限による交流機会などの減少」は、家族従業（63.6%）、専業主婦（主夫）（62.1%）で高く、6割を超えている。「スポーツや文化活動の機会の減少」は学生で42.3%、「収入の減少(失業や経営不振など)による生活困窮」は、自営・自由業・経営者で32.9%、非正規従業員で22.2%と他と比べて高くなっている。

世帯状況別にみると、「子どもの学習機会の確保・学力低下」では、二世帯世帯と三世帯世帯で各々23.2%、22.7%と他と比べて高くなっている。また、「収入の減少(失業や経営不振など)による生活困窮」は、単身世帯で19.6%と他と比べて高くなっている。



図Ⅲ-74 困っていること・心配と感じていること（職業別/世帯状況別）（上位8項目）

4. 「ひきこもり」について

(1) ひきこもりの相談先として認知している機関

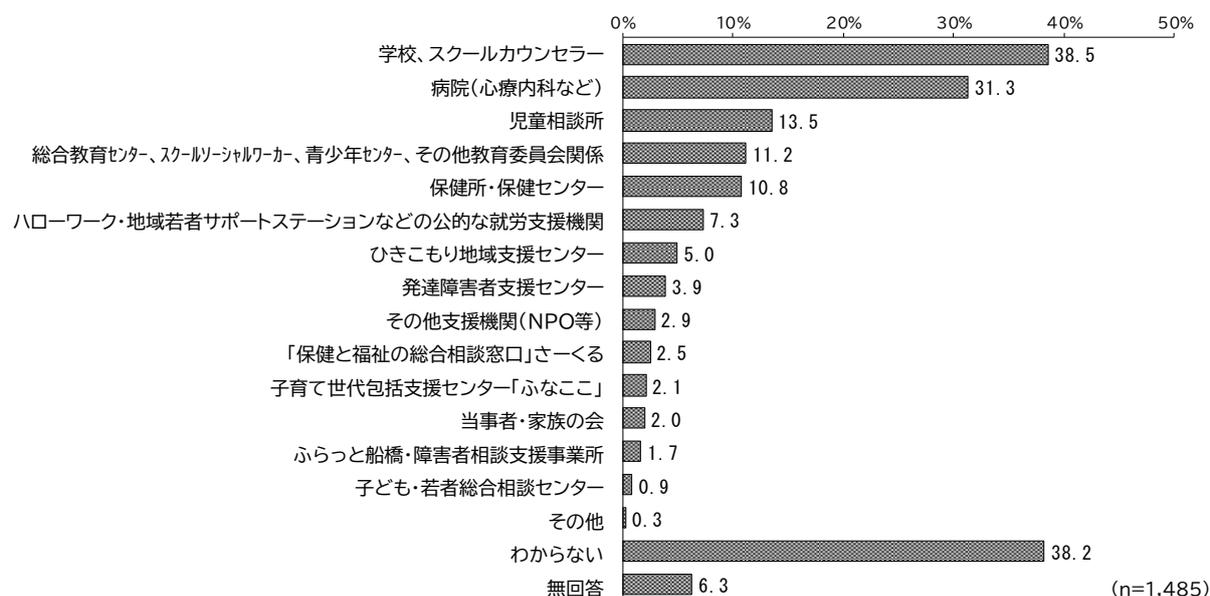
知っている機関は「学校、スクールカウンセラー」が4割弱

【問19】下記の相談窓口の中で、ひきこもりの相談先として以前からご存じの機関はありますか。(〇はいくつでも)

*この調査では、おおむね65歳未満で、仕事や学校など、人と交流する場（地域の会合、サークル活動等を含む）に行けず、ご家族以外の人とほとんど交流なく、おおむね6か月以上続けて自宅にひきこもっている方を「ひきこもり状態」と定義いたします（時々近所のコンビニ等には出かける人も含まれます）

ひきこもりの相談先として以前から知っている機関があるか聞いたところ、「学校、スクールカウンセラー」の割合が38.5%と最も高く、次いで「病院（心療内科など）」（31.3%）、「児童相談所」（13.5%）、「総合教育センター、スクールソーシャルワーカー、青少年センター、その他教育委員会関係」（11.2%）、「保健所・保健センター」（10.8%）までが上位5項目となっている。

一方、「わからない」の割合は38.2%で、「学校、スクールカウンセラー」（38.5%）に次いで高くなっている。



図Ⅲ－75 ひきこもりの相談先として認知している機関

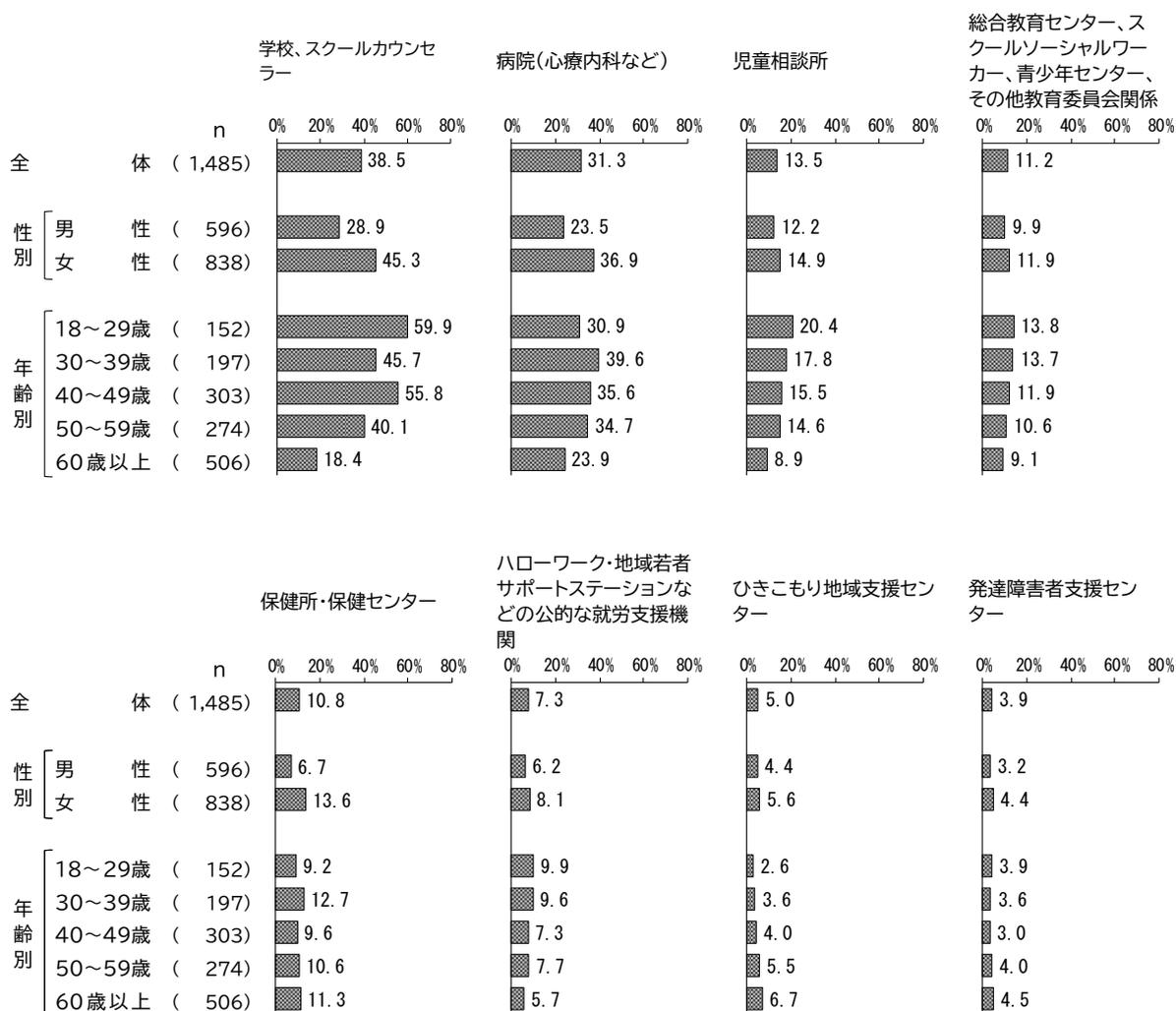
表Ⅲ－15 「その他」の内訳

「その他」の内容	件数
広報	2
市役所窓口に行く	1
ジョブカフェちば	1
(記載なし)	1
合計	5

【性別／年齢別】（上位8項目）

性別で比較すると、「学校、スクールカウンセラー」、「病院（心療内科など）」、「保健所・保健センター」は、女性（45.3%、36.9%、13.6%）が男性（28.9%、23.5%、6.7%）より各々16.4、13.4、6.9ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「児童相談所」、「総合教育センター、スクールソーシャルワーカー、青少年センター、その他教育委員会関係」、「ハローワーク・地域若者サポートステーションなどの公的な就労支援機関」では、年齢が下がるに従い高くなり、18～29歳（20.4%、13.8%、9.9%）で最も高くなっている。一方、「ひきこもり地域支援センター」は、年齢が上がるに従い高くなり、60歳以上では6.7%で最も高くなっている。



図Ⅲ－76 ひきこもりの相談先として認知している機関（性別／年齢別）（上位8項目）

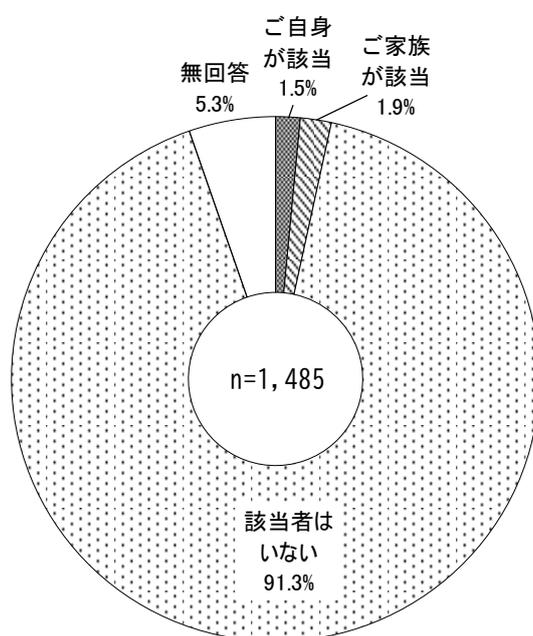
(2) 家族を含むひきこもり状態

自分と家族を合わせた該当者は3.4%

【問20】ご自身またはご家族の中に、船橋市内在住で、ひきこもり状態の方にあてはまる方はいらっしゃいますか。(〇は1つ)

ご自身またはご家族の中に、船橋市内在住で、ひきこもり状態の方がいるか聞いたところ、「ご自身が該当」が1.5%、「ご家族が該当」が1.9%となっており、自分と家族を合わせた該当者は3.4%となっている。

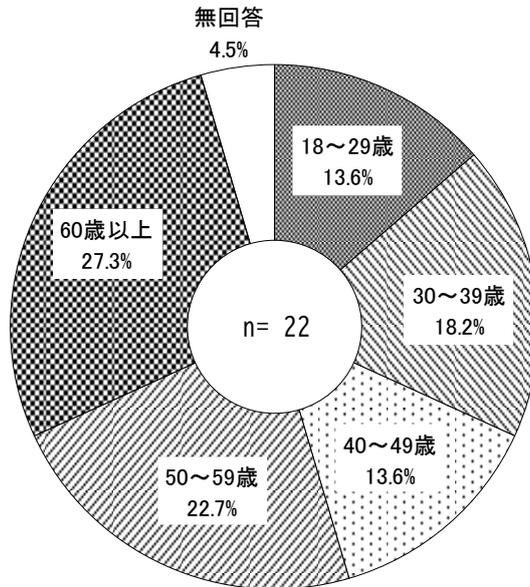
一方、「該当者はいない」の割合は91.3%を占め、9割を超えている。



図Ⅲ-77 家族を含むひきこもり状態

【年齢別】

ご自身またはご家族の中に、船橋市内在住でひきこもり状態の方がいるかの問いで「ご自身が該当」と答えた人（22人）の年齢（年代）の割合は、「60歳以上」の割合が27.3%と最も高く、次いで「50～59歳」（22.7%）、「30～39歳」（18.2%）、「18～29歳」と「40～49歳」（ともに13.6%）となっている。

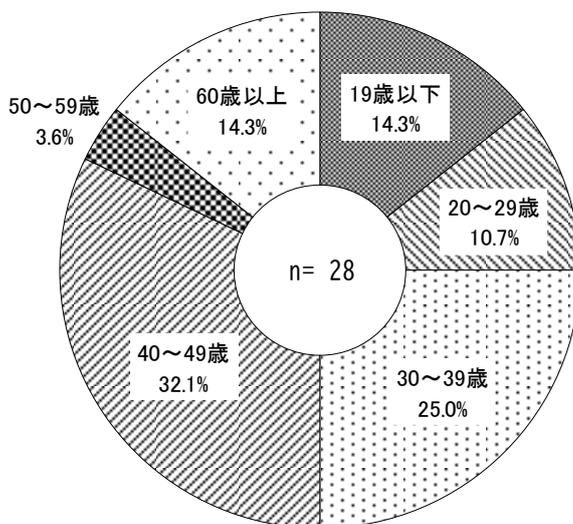


図Ⅲ－78 ご自身のひきこもり状態（年齢別）

(3) ひきこもりの家族の年齢

「40～49歳」が3割超
(問20で「2. ご家族が該当」とお答えの方)
【問20-1】対象の方の年齢(年代)を教えてください。(〇は1つ)

ご自身またはご家族の中に、船橋市内在住でひきこもり状態の方がいるかの問いで「ご家族が該当」と答えた人(28人)に、該当するご家族の方の年齢(年代)を聞いたところ、「40～49歳」の割合が32.1%と最も高く、次いで「30～39歳」(25.0%)、「19歳以下」と「60歳以上」(ともに14.3%)、「20～29歳」(10.7%)と続いている。



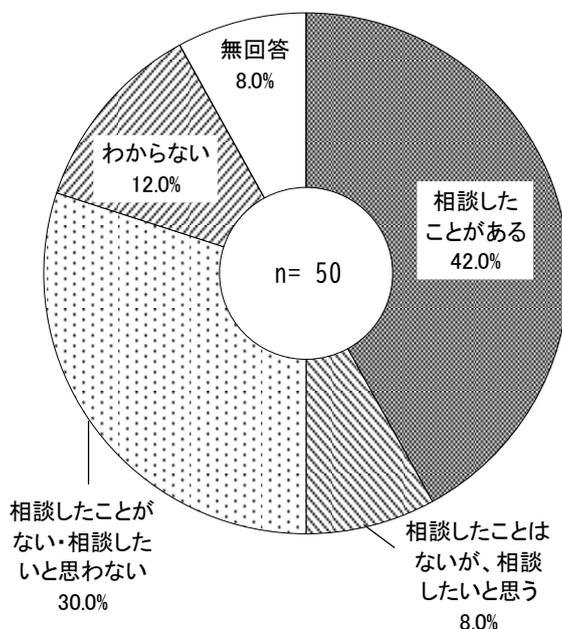
図Ⅲ-79 ひきこもりの家族の年齢(年代)

(4) ひきこもり相談機関への相談状況

「相談したことがある」が4割超
 (問20で「1. ご自身が該当」または「2. ご家族が該当」とお答えの方)
 【問20-2】どこかの機関に相談したことがありますか、または相談したいと思いますか。
 (〇は1つ)

ご自身またはご家族の中に、船橋市内在住でひきこもり状態の方がいるかの問いで「ご自身が該当」または「ご家族が該当」と答えた人(50人)に、どこかの機関に相談したことがあるかを聞いたところ、「相談したことがある」の割合が42.0%と最も高く、次いで「相談したことがない・相談したいと思わない」(30.0%)、「相談したことはないが、相談したいと思う」(8.0%)と続いている。

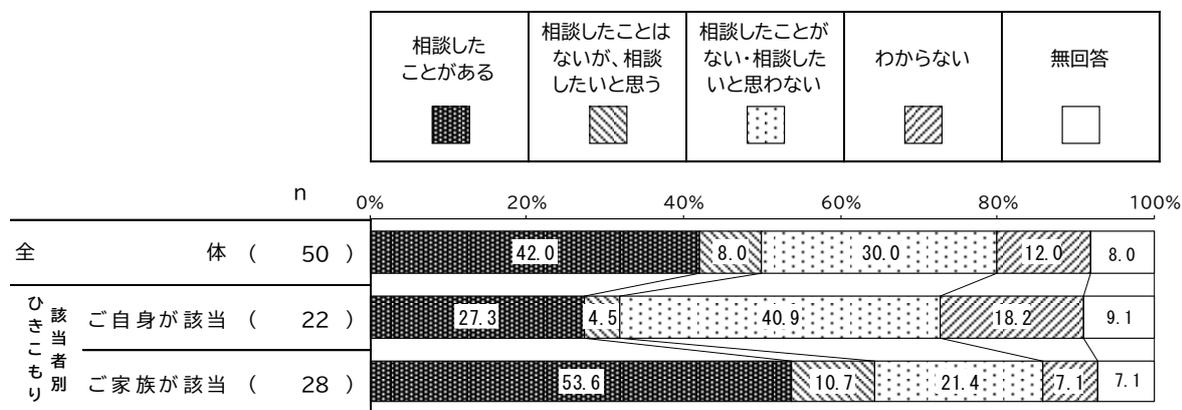
また、「わからない」の割合は12.0%で、1割を超えている。



図Ⅲ－８０ ひきこもり相談機関への相談状況

【ひきこもり該当者別】

ひきこもり該当者別で比較すると、「相談したことがある」は、「ご家族が該当」(53.6%)が「ご自身が該当」(27.3%)より26.3ポイント高くなっている。一方、「相談したことがない・相談したいと思わない」は、「ご自身が該当」(40.9%)が「ご家族が該当」(21.4%)より19.5ポイント高くなっている。



図Ⅲ－８１ ひきこもり相談機関への相談状況（ひきこもり該当者別）

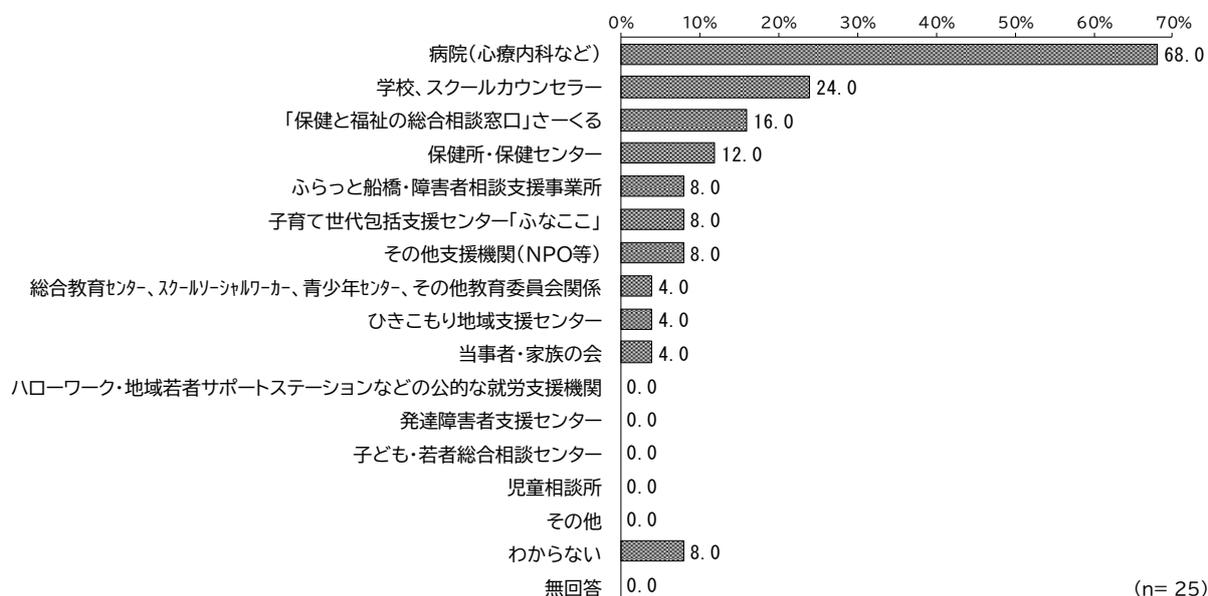
(5) ひきこもり相談の相談先

相談先は「病院（心療内科など）」が7割弱

（問20-2で「1. 相談したことがある」または「2. 相談したことはないが、相談したいと思う」とお答えの方）

【問20-3】どのような相談先に相談しましたか。または相談したいと思いませんか。（〇はいくつでも）

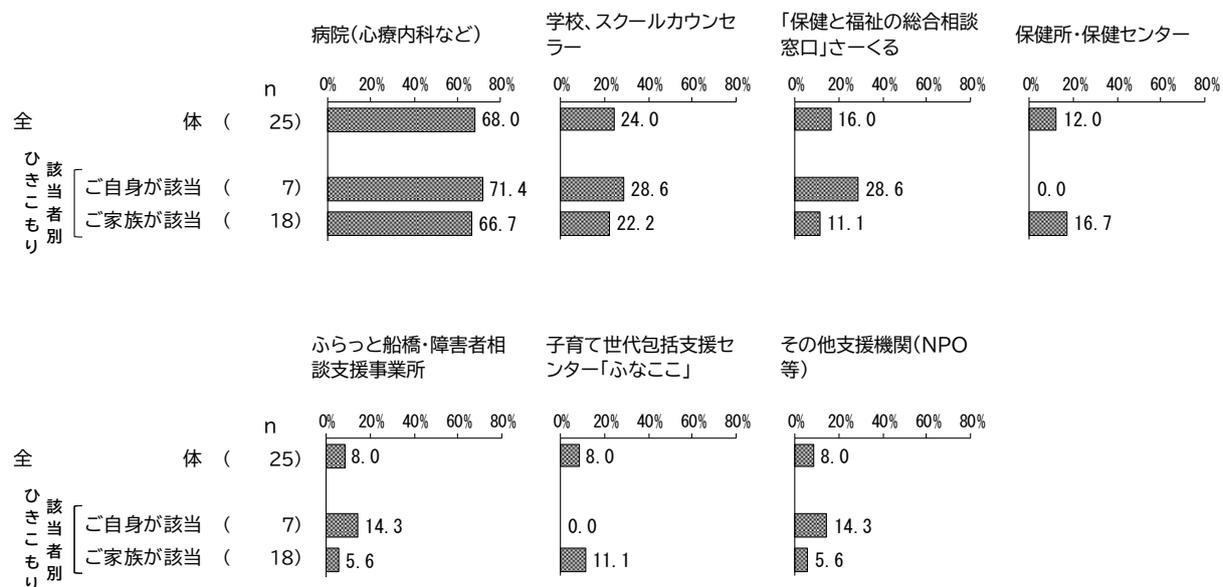
ひきこもり相談機関へ「相談したことがある」または「相談したことはないが、相談したいと思う」と答えた人（25人）に、どのような相談先に相談したか、あるいは相談したいか聞いたところ、「病院（心療内科など）」の割合が68.0%と最も高く、次いで「学校、スクールカウンセラー」（24.0%）、「『保健と福祉の総合相談窓口』さーくる」（16.0%）、「保健所・保健センター」（12.0%）までが1割を超えている。



図Ⅲ－82 ひきこもり相談の相談先

【ひきこもり該当者別】（上位7項目）

ひきこもり該当者別で比較すると、「病院（心療内科など）」は、「ご自身が該当」（71.4%）も「ご家族が該当」（66.7%）もおおむね7割と高くなっている。「保健所・保健センター」と「子育て世代包括支援センター『ふなここ』」は、「ご家族が該当」（16.7%、11.1%）が「ご自身が該当」（ともに0.0%）より各々高くなっている。



図Ⅲ－83 ひきこもり相談の相談先（ひきこもり該当者別）（上位7項目）

(6) ひきこもり相談窓口への要望

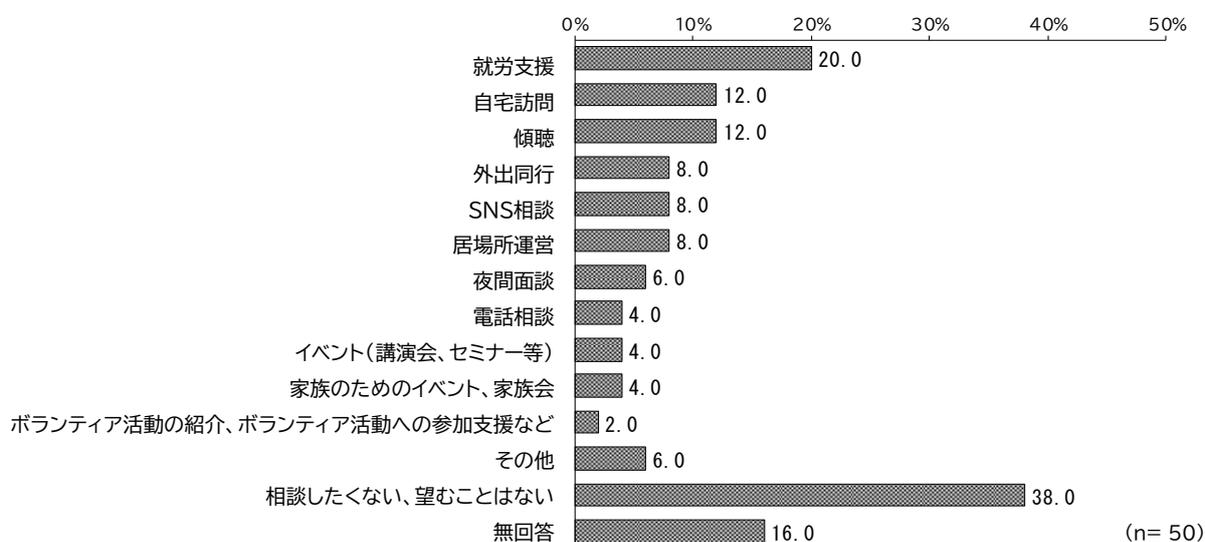
ひきこもり相談窓口への要望は「就労支援」が2割

(問20で「1. ご自身が該当」または「2. ご家族が該当」をお答えの方)

【問20-4】相談窓口にしてほしいこと、望むことはありますか。(〇はいくつでも)

ご自身またはご家族の中に、船橋市内在住でひきこもり状態の方がいるかの問いで「ご自身が該当」または「ご家族が該当」と答えた人(50人)に、相談窓口にしてほしいこと、望むことがあるか聞いたところ、「就労支援」の割合が20.0%と最も高く、次いで「自宅訪問」、「傾聴」(ともに12.0%)までが1割を超えている。

また、「相談したくない、望むことはない」の割合は38.0%で、4割弱いる。



図Ⅲ-84 ひきこもり相談窓口への要望

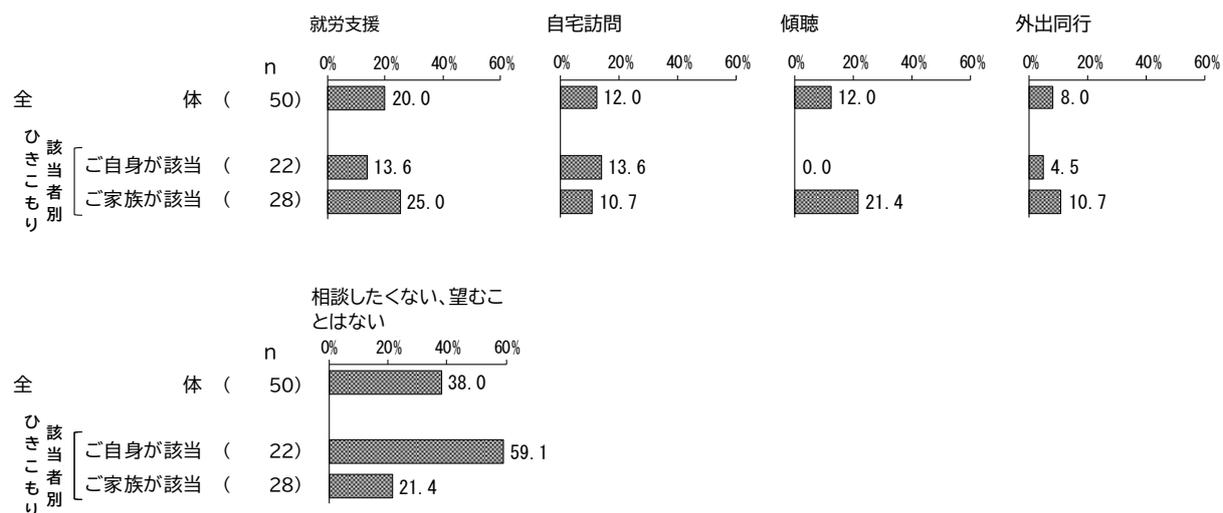
表Ⅲ-16 「その他」の内訳

「その他」の内容	件数
積極的行動	1
スクールカウンセラーの常駐	1
親が健康でなくなった後のこと	1
合 計	3

【ひきこもり該当者別】（上位5項目）

ひきこもり該当者別で比較すると、「就労支援」、「傾聴」、「外出同行」は、「ご家族が該当」（25.0%、21.4%、10.7%）が「ご自身が該当」（13.6%、0.0%、4.5%）より各々11.4、21.4、6.2ポイント高くなっている。

相談窓口に「相談したくない・望むことはない」の割合は、「ご自身が該当」（59.1%）が「ご家族が該当」（21.4%）より 37.7ポイント高い。

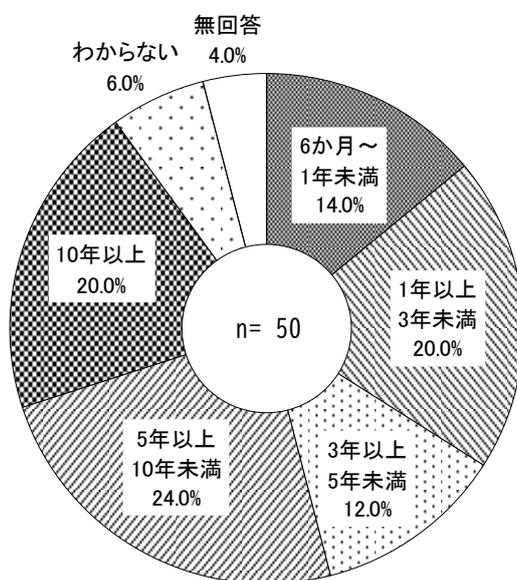


図Ⅲ－８５ ひきこもり相談窓口への要望（ひきこもり該当者別）（上位5項目）

(7) ひきこもりの期間

『5年以上』が4割超
 (問20で「1. ご自身が該当」または「2. ご家族が該当」とお答えの方)
 【問20-5】どのくらいの期間、そのような状態になっていますか。(〇は1つ)

ご自身またはご家族の中に、船橋市内在住でひきこもり状態の方がいるかの問いで「ご自身が該当」または「ご家族が該当」と答えた人(50人)に、どのくらいの期間、ひきこもり状態になっているか聞いたところ、「5年以上10年未満」の割合が24.0%と最も高く、次いで「1年以上3年未満」、「10年以上」(ともに20.0%)、「6か月～1年未満」(14.0%)、「3年以上5年未満」(12.0%)と続いている。

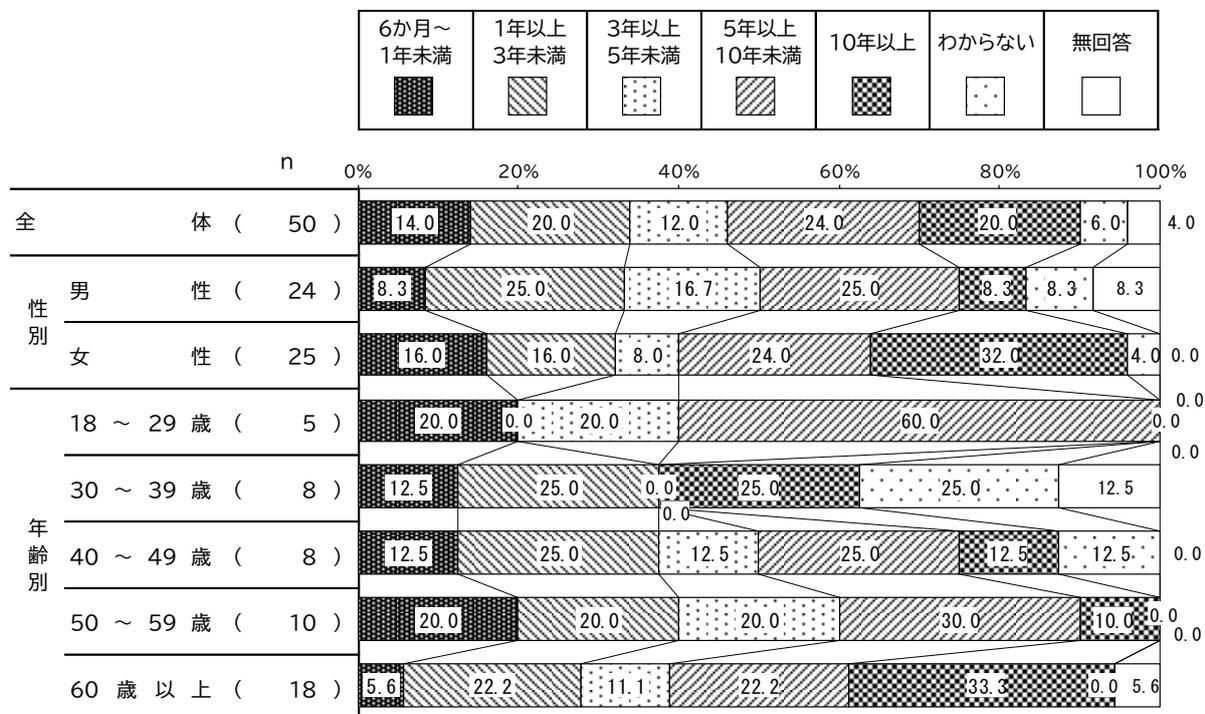


図Ⅲ-86 ひきこもりの期間

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「10年以上」は、女性（32.0%）が男性（8.3%）より23.7ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「5年以上10年未満」と「10年以上」を合わせた『5年以上』の割合は、18～29歳で60.0%、60歳以上で55.5%と5割を超えている。



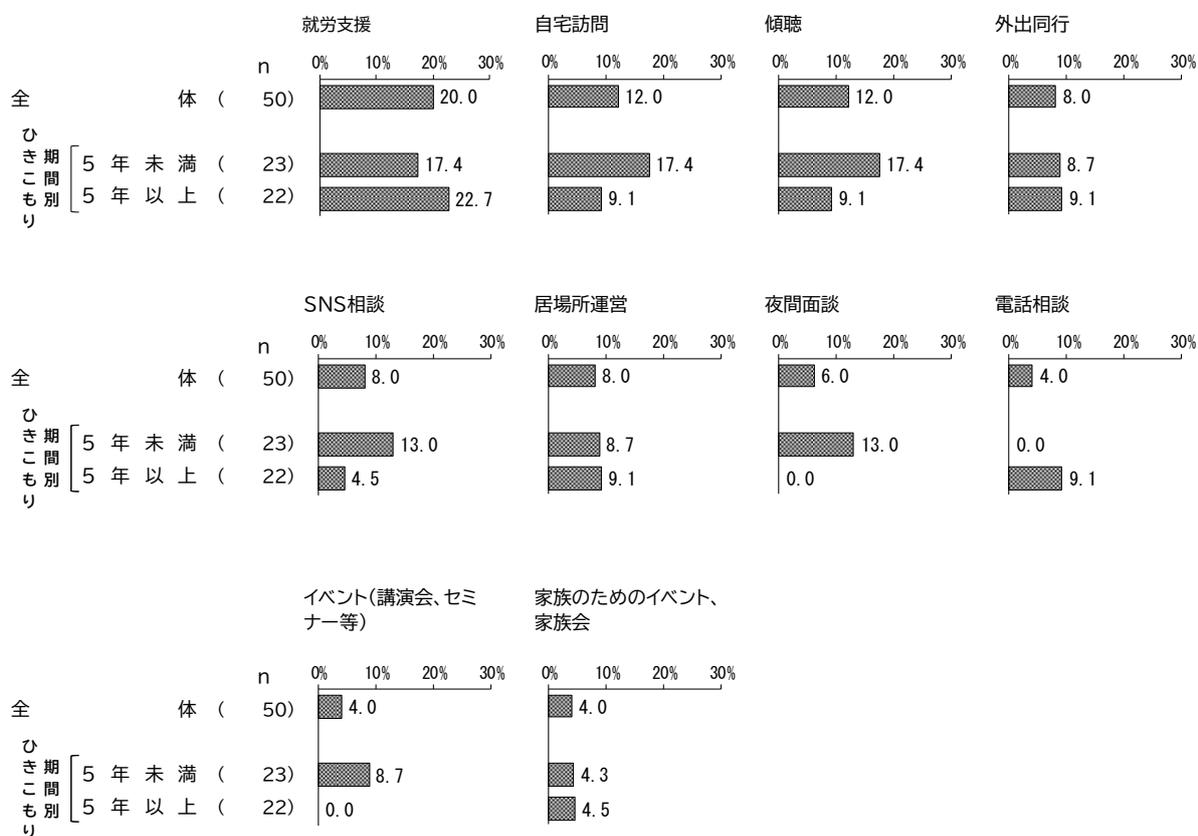
図Ⅲ－87 ひきこもりの期間（性別／年齢別）

(8) 「ひきこもり」概観

ひきこもり期間の長さによって、ひきこもり相談窓口への要望に差異あり

ひきこもり該当者本人または家族に、相談窓口にしてほしいこと、望むことがあるかについて、全体、ひきこもり状態別に比較しているが、ここでは、ひきこもり期間別に比較した結果を挙げる。

ひきこもり期間別にみると、「就労支援」と「電話相談」は、ひきこもり期間が5年以上(22.7%、9.1%)が5年未満(17.4%、0.0%)より各々5.3、9.1ポイント高くなっている。一方、「自宅訪問」、「傾聴」、「SNS相談」、「夜間面談」、「イベント(講演会、セミナー等)」は、5年未満(17.4%、17.4%、13.0%、13.0%、8.7%)が5年以上(9.1%、9.1%、4.5%、0.0%、0.0%)より各々8.3、8.3、8.5、13.0、8.7ポイント高くなっており、ひきこもり期間の長短で相談窓口にしてほしいこと、望むことに差異が見られる。



図Ⅲ-88 ひきこもり相談窓口への要望(ひきこもり期間別)(上位10項目)

5. 「本市の災害対策」について

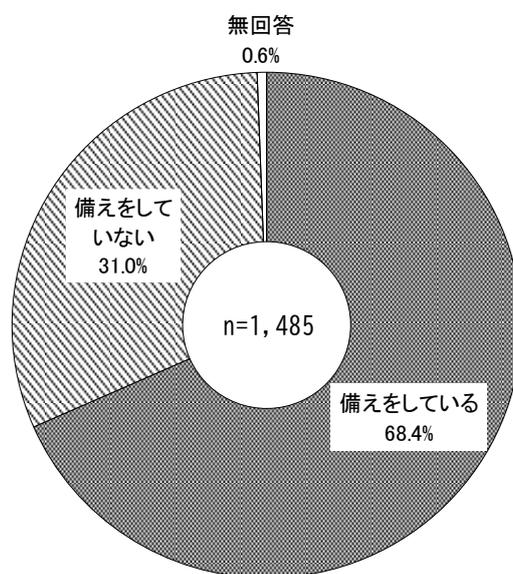
(1) 災害に備えた対策について

(1-1) 日頃からの備え

日頃から災害に備えている人は7割弱

【問21】日頃から災害への備えをしていますか。(〇は1つ)

日頃から災害への備えをしているか聞いたところ、「備えをしている」が68.4%、「備えをしていない」が31.0%となっている。

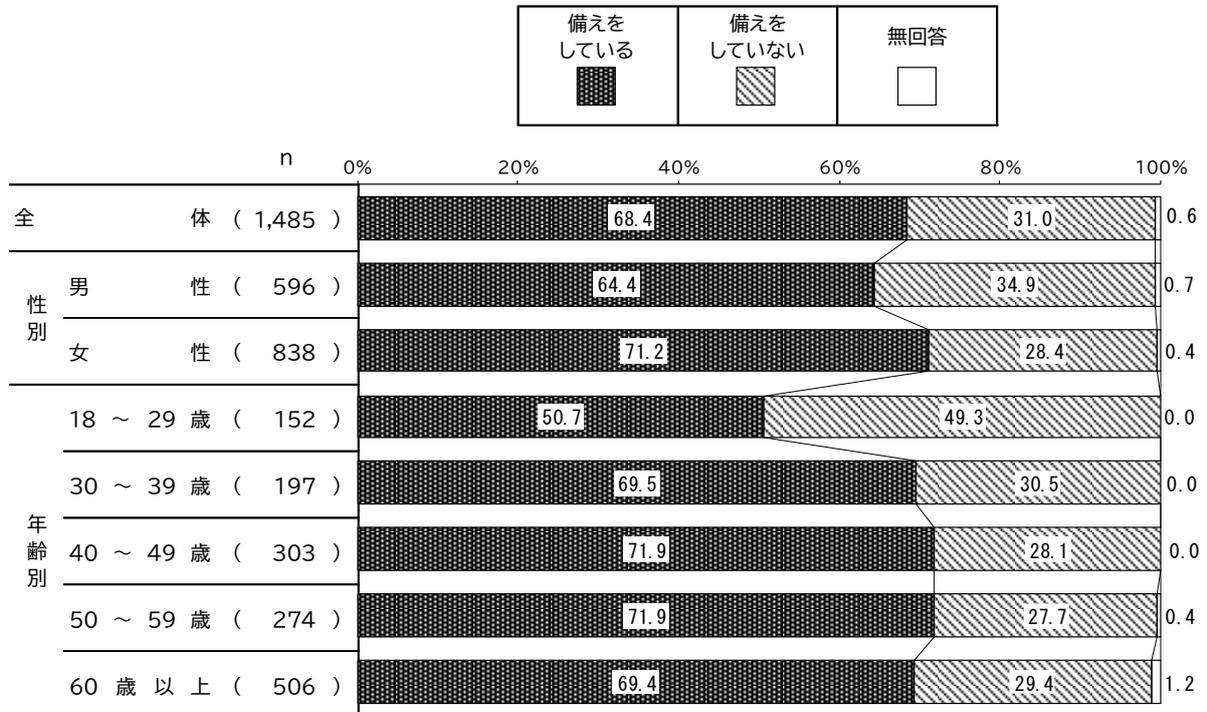


図Ⅲ－89 日頃からの備え

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「備えをしている」は女性（71.2%）が男性（64.4%）より6.8ポイント高くなっている。

年齢別にみると、30歳以上の全ての年齢で「備えをしている」の割合がおおむね7割となっている。なお、「備えをしている」割合が最も低い18～29歳は50.7%となっている。



図Ⅲ－９０ 日頃からの備え（性別／年齢別）

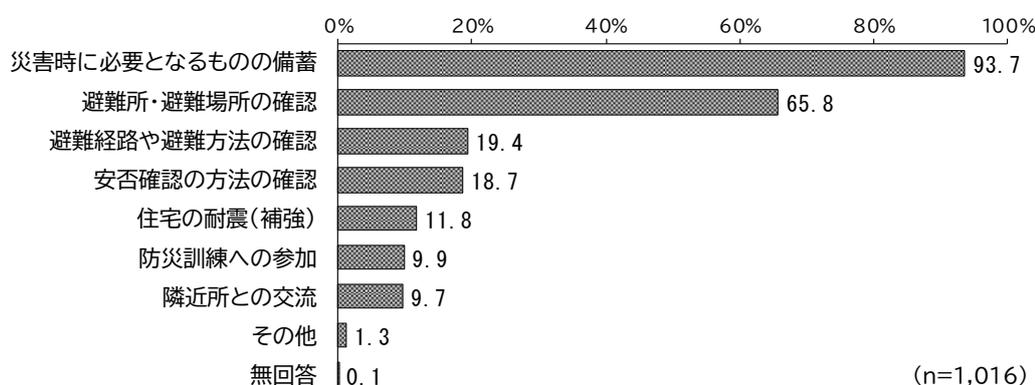
(1-2) 災害に備えた対策の内容

災害に備えた対策は、「災害時に必要となるものの備蓄」が9割超、「避難所・避難場所の確認」が6割超

(問21で「1. 備えをしている」とお答えの方)

【問21-1】どのような備えをしていますか。(〇はいくつでも)

日頃から災害への「備えをしている」と答えた人(1,016人)が行っている備えは、「災害時に必要となるものの備蓄」の割合が93.7%と最も高く9割を超え、次いで「避難所・避難場所の確認」(65.8%)が6割を超え、「避難経路や避難方法の確認」(19.4%)、「安否確認の方法の確認」(18.7%)は2割を下回っている。



図Ⅲ-91 災害に備えた対策の内容

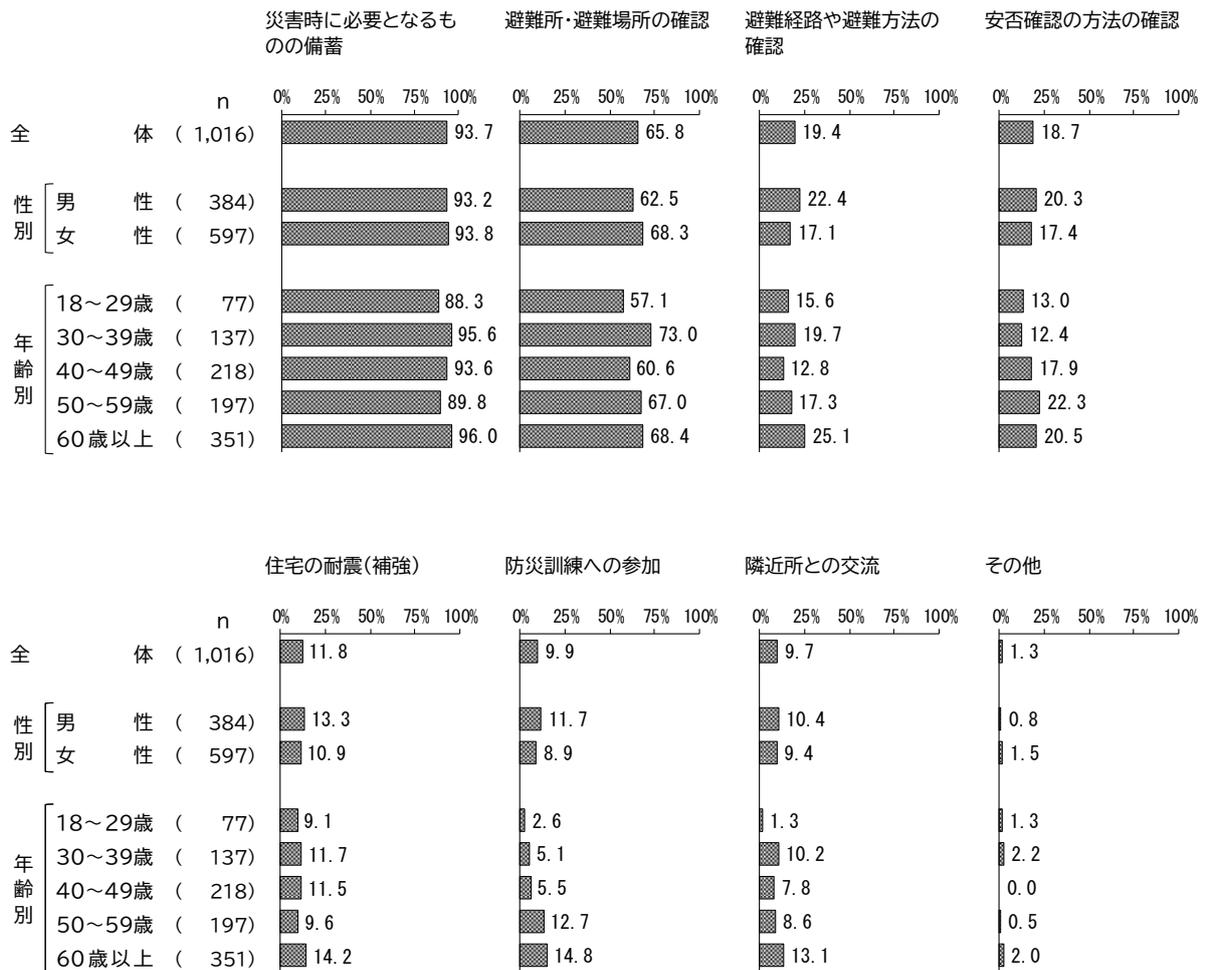
表Ⅲ-17 「その他」の内訳

「その他」の内容	件数
防災グッズの用意、半年間は生きられる備蓄	3
足をのばして寝られる車、キャンピングカーを買った	2
家族との安否確認の仕方	2
ポータブル発電機の確保、ハイブリッド自動車	1
独自の防災訓練の実施	1
庭に井戸を掘った	1
(記載なし)	4
合計	14

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「避難所・避難場所の確認」では、女性（68.3%）が男性（62.5%）より5.8ポイント高く、「避難経路や避難方法の確認」では、男性（22.4%）が女性（17.1%）より5.3ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「災害時に必要となるものの備蓄」は、全ての年齢でおおむね9割となっている。また、「避難所・避難場所の確認」では、30～39歳で73.0%と最も高く7割を超えている。一方、「住宅の耐震（補強）」、「防災訓練への参加」、「隣近所との交流」は、全ての年代で2割を下回っている。



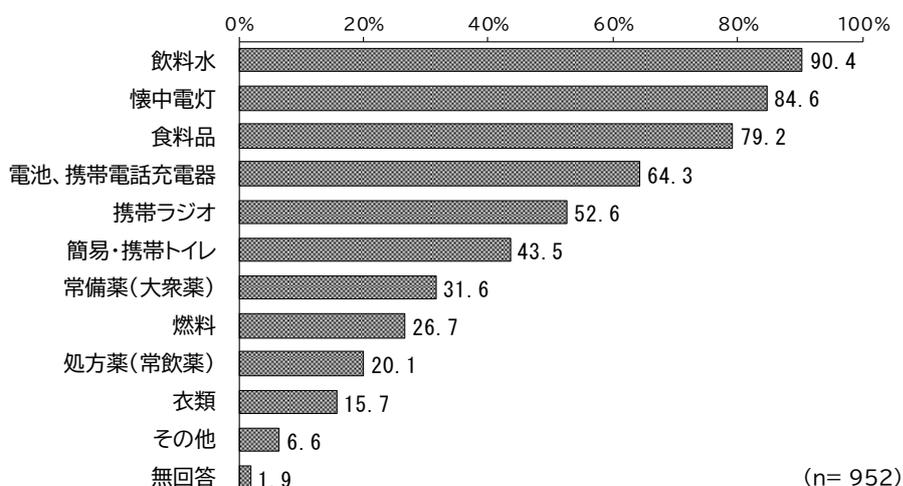
図Ⅲ－92 災害に備えた対策の内容（性別／年齢別）

(1-3) 備蓄している品目

「飲料水」、「懐中電灯」、「食料品」を備蓄している人が多く、「飲料水」は9割
 (問21-1で「5. 災害時に必要となるものの備蓄」とお答えの方)
 【問21-2】どのような品を備蓄していますか。(〇はいくつでも)

災害に備えた対策の内容で、「災害時に必要となるものの備蓄」と答えた人(952人)が備蓄している品目の割合は、「飲料水」が90.4%と最も高く、次いで「懐中電灯」(84.6%)、「食料品」(79.2%)、「電池、携帯電話充電器」(64.3%)、「携帯ラジオ」(52.6%)までが5割を超えている。

「その他」については、「ヘルメット、軍手、手袋」(10件)などが挙がっている。



図Ⅲ-93 備蓄している品目

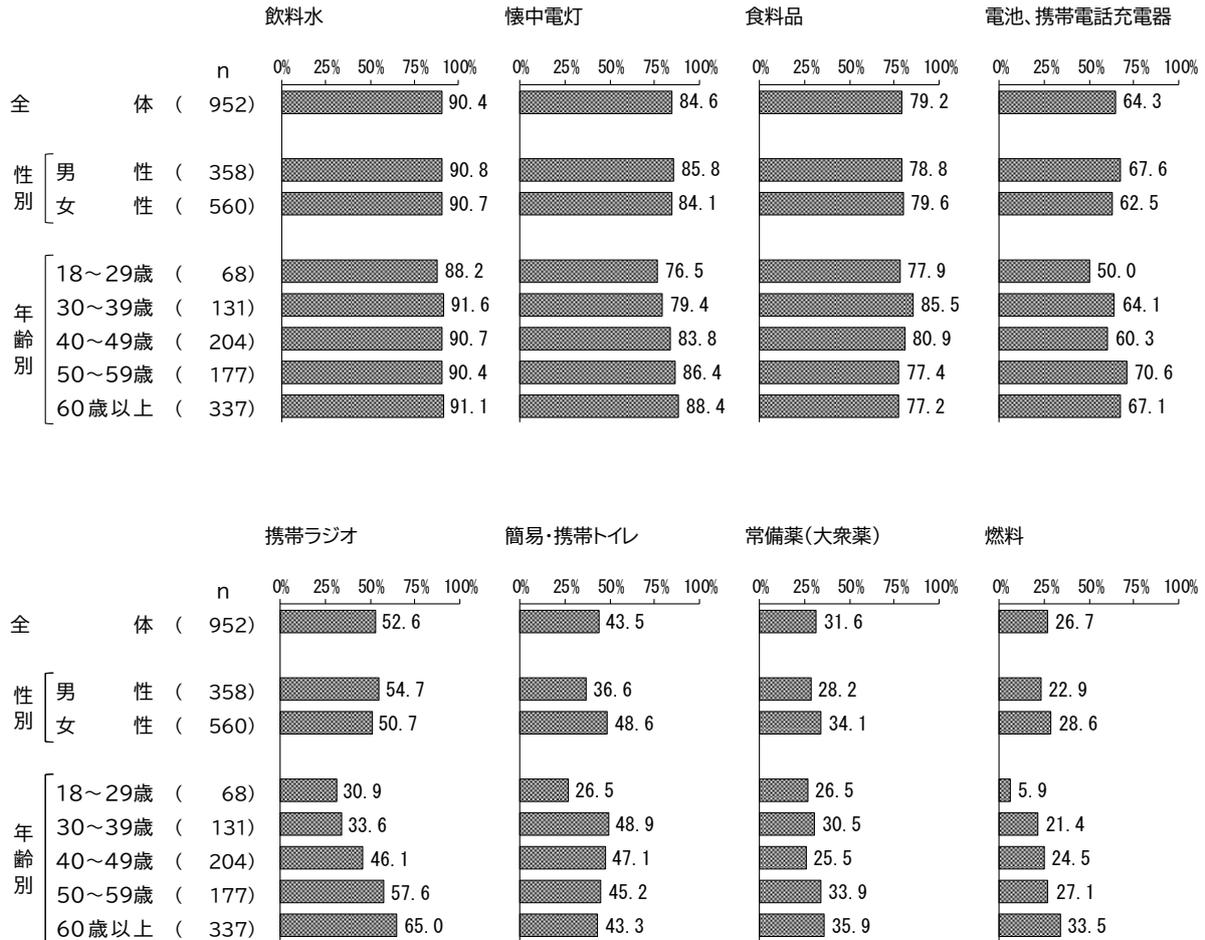
表Ⅲ-18 「その他」の内訳

「その他」の内容	件数
ヘルメット、軍手、手袋	10
マスク	7
生理用品、オムツ、おしりふき	7
テント、寝袋	7
ブルーシート、レジャーシート、アルミシート、マット	7
防寒具、雨具	7
タオル、ペーパータオル	6
ゴミ袋、ビニール袋、紙袋	6
歯ブラシ、歯みがきセット	6
ラップフィルム、アルミホイル、キッチンペーパー	5
トイレットペーパー、ティッシュ、ウェットティッシュ	5
スリッパ、靴	5
発電機、ポータブル電源	5
バーナー、カセットコンロ	3
消毒液、除菌スプレー、除菌ティッシュ	3
毛布、ブランケット、アルミケット	3
ボールなどの工具	3
食器、使い捨て食器	2
ペット用品、ペットフード	2
キャンプ用品、アウトドア用品	2
その他	19
(記載なし)	10
合計	130

【性別／年齢別】（上位8項目）

性別で比較すると、「簡易・携帯トイレ」で大きな差が見られ、女性（48.6%）が男性（36.6%）より12.0ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「飲料水」は全ての年齢でおおむね9割となっている。また、「懐中電灯」、「携帯ラジオ」、「燃料」では、年齢が上がるに従い割合が高くなっている。なお、「携帯ラジオ」では、割合が最も高い60歳以上（65.0%）と最も低い18～29歳（30.9%）の差が34.1ポイントとなっている。



図Ⅲ－94 備蓄している品目（性別／年齢別）（上位8項目）

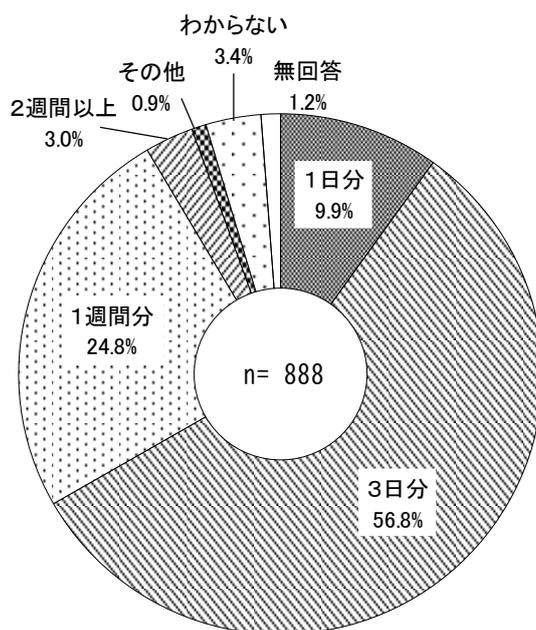
(1-4) 飲料水や食料品の備蓄量

「飲料水」または「食料品」を「3日分」備蓄している人が6割近く、「1週間分」備蓄している人が2割超

(問21-2で「1. 飲料水」または「2. 食料品」とお答えの方)

【問21-3】飲料水や食料品を何日分備蓄していますか。(〇は1つ)

備蓄している品目で「飲料水」または「食料品」と答えた人(888人)が備蓄している量は、「3日分」が56.8%と最も高く、次いで「1週間分」(24.8%)、「1日分」(9.9%)と続き、ここまでで全体の91.5%を占め9割を超えている。



図Ⅲ-95 飲料水や食料品の備蓄量

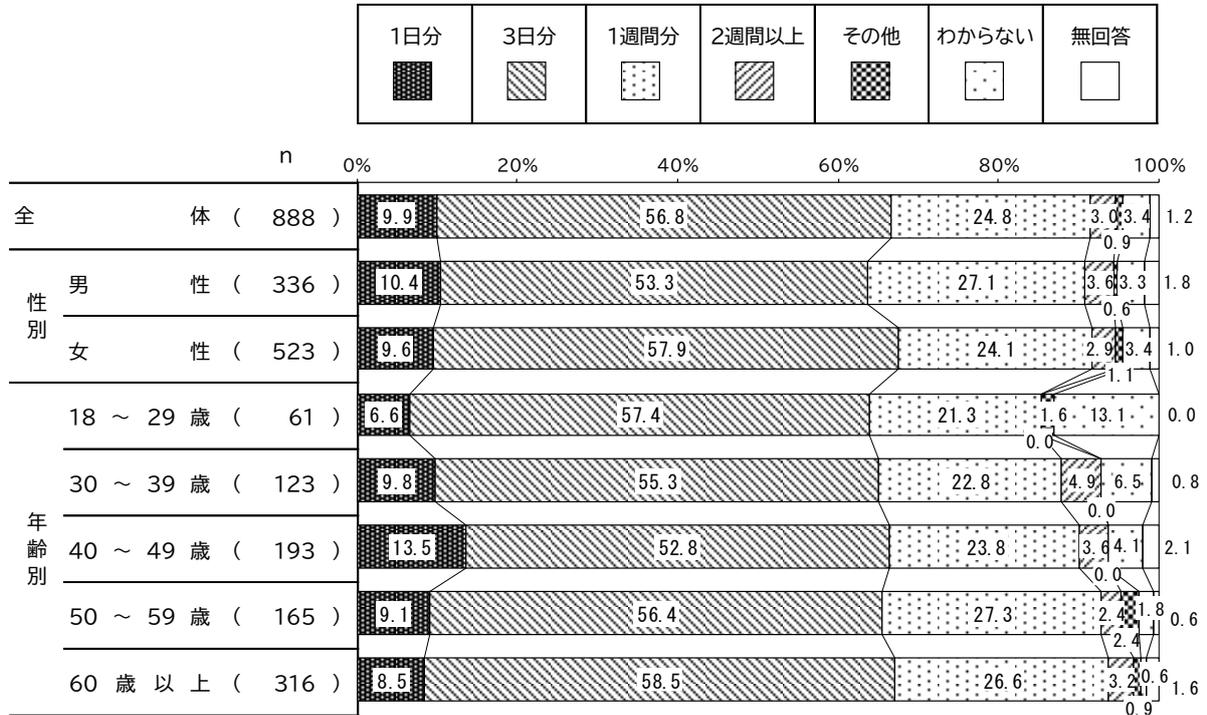
表Ⅲ-19 「その他」の内訳

「その他」の内容	件数
2日分	3
マンション全体で備蓄している	2
5日分	1
水700ℓ以上	1
(記載なし)	1
合計	8

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「3日分」では女性（57.9%）が男性（53.3%）より4.6ポイント高く、「1週間分」では男性（27.1%）が女性（24.1%）より3.0ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「3日分」では60歳以上が58.5%と最も高く、「1週間分」では50～59歳が27.3%で最も高くなっている。



図Ⅲ－96 飲料水や食料品の備蓄量（性別／年齢別）

(1-5) 備えをしていない理由

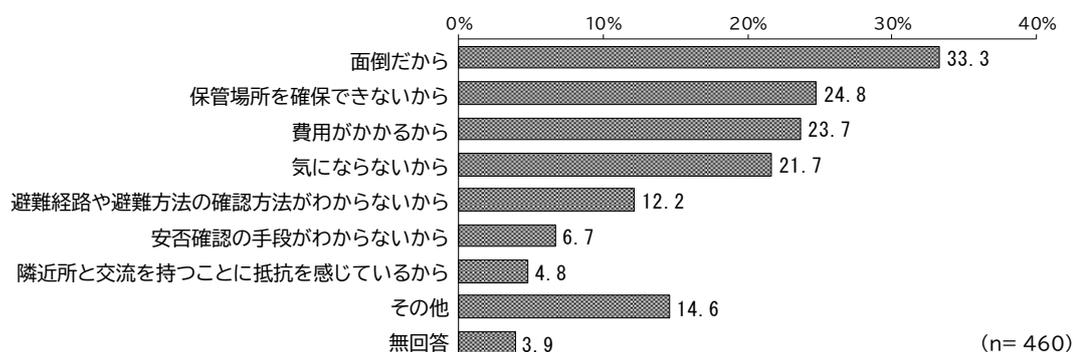
備えをしていない理由は「面倒だから」が3割超

(問21で「2. 備えをしていない」とお答えの方)

【問21-4】 備えをしていない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

日頃から災害への「備えをしていない」と答えた人(460人)の備えをしていない理由は、「面倒だから」が33.3%と最も高く3割を超え、次いで「保管場所を確保できないから」(24.8%)、「費用がかかるから」(23.7%)、「気にならないから」(21.7%)が2割を超えている。

「その他」については、「何をどこまで備えればいかわからないから」(11件)、「備えようと思っはいるができていない」(9件)などが挙がっている。



図Ⅲ-97 備えをしていない理由

表Ⅲ-20 「その他」の内訳

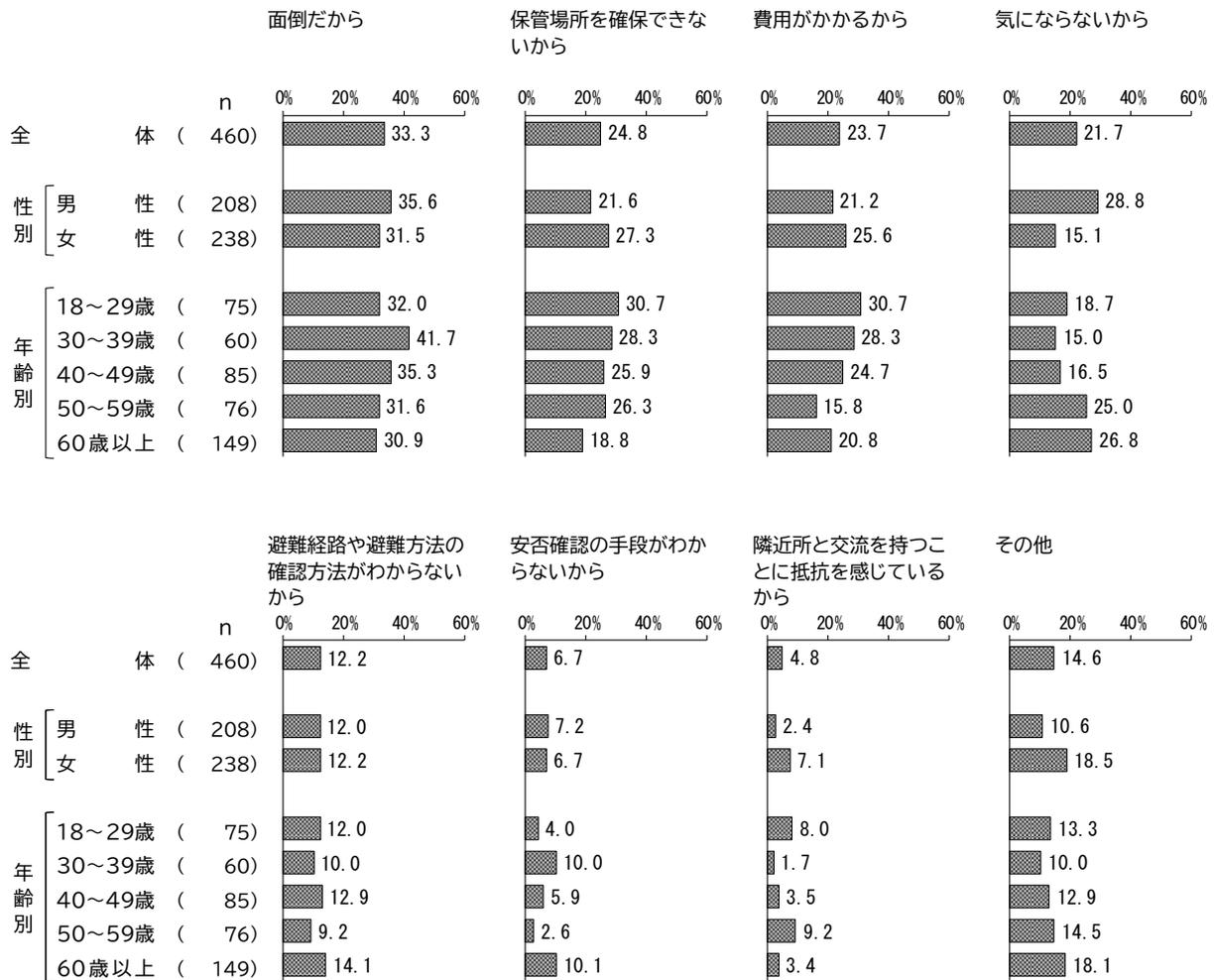
「その他」の内容	件数
何をどこまで備えればいかわからないから	11
備えようと思っはいるができていない	9
用意したものがムダになるから	4
多少はしているが完全ではない	3
日頃のある程度の備えで大丈夫だと思うから	3
家族任せにしているから、マンションの組合任せになっているから	2
時間がないから、忙しいから	2
引越してきたばかりだから	2
その他	5
(記載なし)	26
合計	67

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「面倒だから」、「気にならないから」では男性（35.6%、28.8%）が女性（31.5%、15.1%）より各々4.1、13.7ポイント高くなっている。

一方、「保管場所を確保できないから」、「費用がかかるから」では女性（27.3%、25.6%）が男性（21.6%、21.2%）より各々5.7、4.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、全体のなかで2番目に割合の高い「保管場所を確保できないから」は、年齢が下がるに従い割合が高くなる傾向が見られ、最も高い18～29歳で30.7%、最も低い60歳以上で18.8%と、11.9ポイントの差がある。「費用がかかるから」も年齢が下がるに従い割合が高くなる傾向が見られ、最も高い18～29歳で30.7%、最も低い50～59歳で15.8%と、14.9ポイントの差がある。なお、「面倒だから」では、30～39歳で4割を超えている。



図Ⅲ－98 備えをしていない理由（性別／年齢別）

(1-6) 備蓄していない理由

備蓄していない理由は、「賞味期限等の管理が難しいから」が4割近く

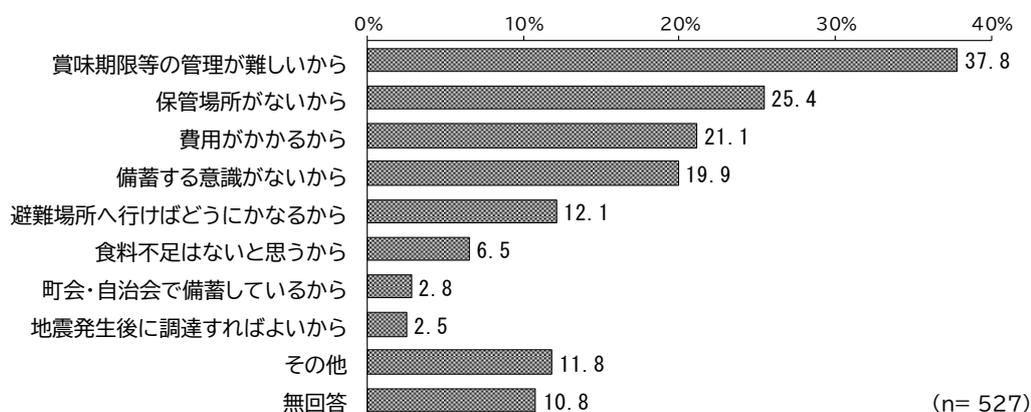
(問21で「2. 備えをしていない」とお答えの方) または

(問21-1で「5. 災害時に必要となるものの備蓄」を選ばなかった方)

【問21-5】 備蓄していない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

日頃から災害への「備えをしていない」、または「災害時に必要となるものの備蓄をしていない」と答えた人(527人)の備蓄していない理由は、「賞味期限等の管理が難しいから」が37.8%で最も高く、次いで「保管場所がないから」(25.4%)、「費用がかかるから」(21.1%)までが2割を超え、「備蓄する意識がないから」(19.9%)が続いている。

「その他」については、「備蓄しなくてはいけないと思っている」(14件)や「普段品や買い置きしているものがあるから」(10件)などが挙げられている。



図Ⅲ-99 備蓄していない理由

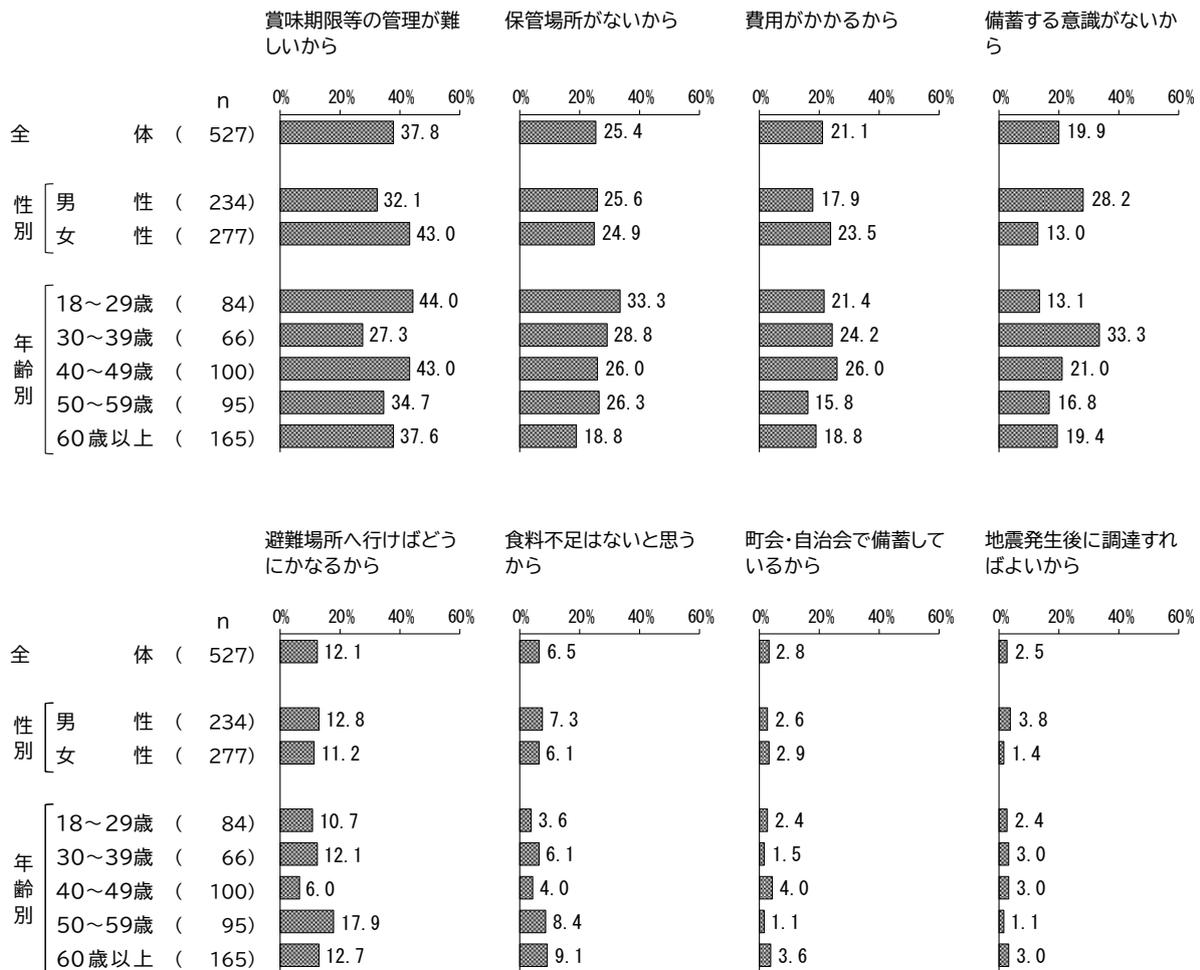
表Ⅲ-21 「その他」の内訳

「その他」の内容	件数
備蓄しなくてはいけないと思っている	14
普段品や買い置きしているものがあるから	10
自分のことだけで精一杯で持ち出しが可能だと思ってないから	5
何をしたらよいかわからないから	4
結局廃棄してムダになるから	3
あまり考えていないから	3
準備する時間、きっかけがないから	2
その他	6
(記載なし)	15
合計	62

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「賞味期限等の管理が難しいから」では、女性（43.0%）が男性（32.1%）より 10.9 ポイント高くなっている。一方、「備蓄する意識がないから」では、男性（28.2%）が女性（13.0%）より 15.2 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「賞味期限等の管理が難しいから」は、18～29 歳（44.0%）と 40～49 歳（43.0%）で 4 割を超えている。「保管場所がないから」では、18～29 歳が 33.3%と最も高く、「備蓄する意識がないから」では、30～39 歳が 33.3%と最も高くなっている。



図Ⅲ－１００ 備蓄していない理由（性別／年齢別）

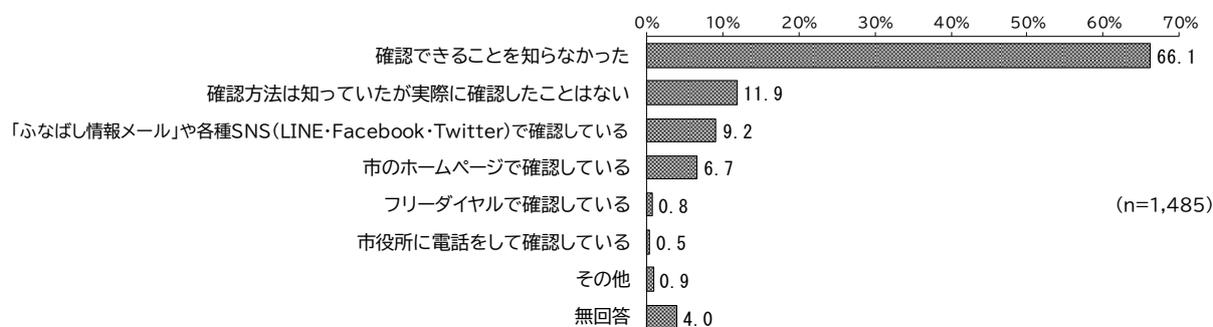
(2) 災害に対する情報の取得方法について

(2-1) 防災行政無線の放送内容の確認方法

「確認できることを知らなかった」が6割超

【問22】防災行政無線の放送内容は、24時間対応のフリーダイヤル【0120-2784(フナバシ)-61(ムセン)]や、市のホームページ(平日の午前9時から午後5時に更新)などで、確認することができます。防災行政無線の放送内容の確認方法について、次の中から最もあてはまるものを1つだけ選んでください。(〇は1つ)

防災行政無線の放送内容の確認方法について聞いたところ、「確認できることを知らなかった」が66.1%と最も高く、次いで「確認方法は知っていたが実際に確認したことはない」(11.9%)、「『ふなばし情報メール』や各種SNS(LINE・Facebook・Twitter)で確認している」(9.2%)、「市のホームページで確認している」(6.7%)と続いている。



図Ⅲ-101 防災行政無線の放送内容の確認方法

表Ⅲ-22 「その他」の内訳

「その他」の内容	件数
Yahoo!防災速報で確認する	4
防災行政無線が聞き取れない・聞こえない	3
J:COMから	1
電話しか使えないので考えていなかった	1
市のホームページを見ることができない	1
確認そのものが必要かどうかわからない	1
(記載なし)	2
合計	13

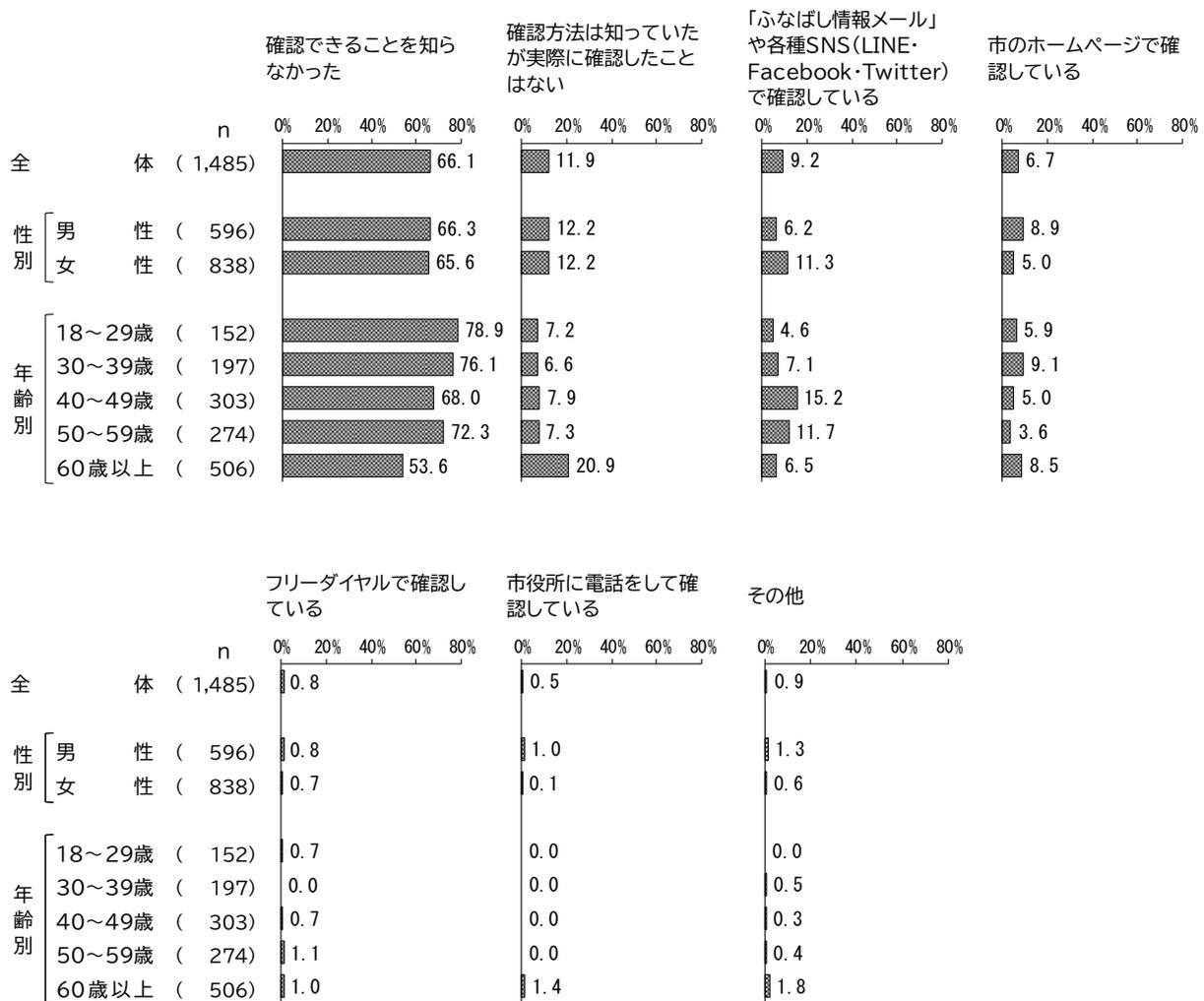
【性別／年齢別】

性別で比較すると、「『ふなばし情報メール』や各種 SNS（LINE・Facebook・Twitter）で確認している」では、女性（11.3%）が男性（6.2%）より 5.1 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「『ふなばし情報メール』や各種 SNS（LINE・Facebook・Twitter）で確認している」は、40～49 歳で 15.2%と最も高くなっている。

「確認方法は知っていたが実際に確認したことはない」の割合は、60 歳以上で 20.9%と高くなっているが、その他の全ての年齢は 1 割を下回っている。

「確認できることを知らなかった」は、年齢が下がるに従い高くなる傾向が見られ、最も高い 18～29 歳では 78.9%となっている。

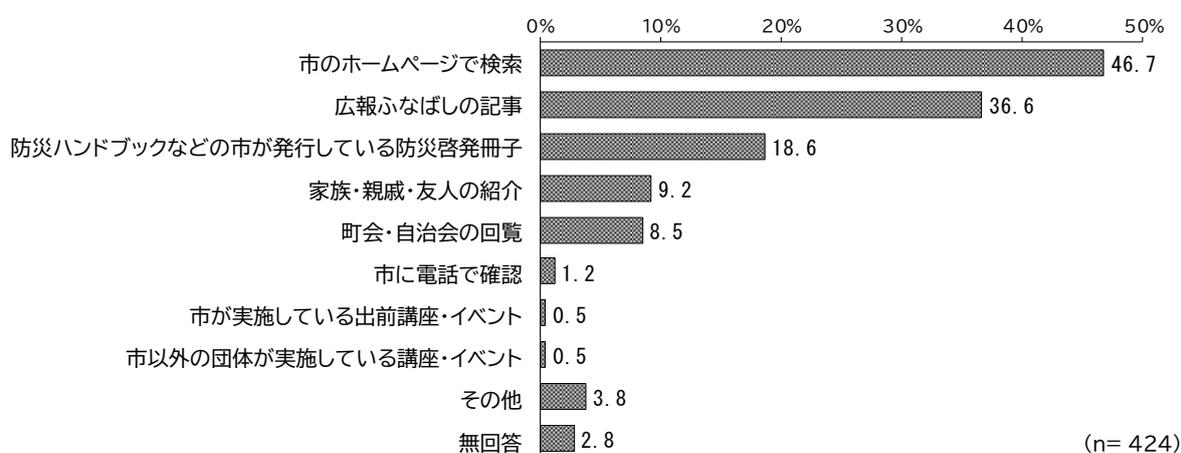


図Ⅲ－102 防災行政無線の放送内容の確認方法（性別／年齢別）

(2-2) 放送内容の確認方法の認知経路

「市のホームページで検索」が5割近く
 (問22で「1」、「2」、「4」、「5」のいずれかをお選びの方)
 【問22-1】確認方法をどこで知りましたか。(〇はいくつでも)

防災行政無線の放送内容の確認方法の問いで『「ふなばし情報メール」や各種 SNS (LINE・Facebook・Twitter) で確認している」、「市のホームページで確認している」、「フリーダイヤルで確認している」、「確認方法は知っていたが実際に確認したことはない」のいずれかを答えた人(424人)に、確認方法をどこで知ったか聞いたところ、「市のホームページで検索」が46.7%と最も高く、次いで「広報ふなばしの記事」(36.6%)、「防災ハンドブックなどの市が発行している防災啓発冊子」(18.6%)と続いている。



図Ⅲ-103 放送内容の確認方法の認知経路

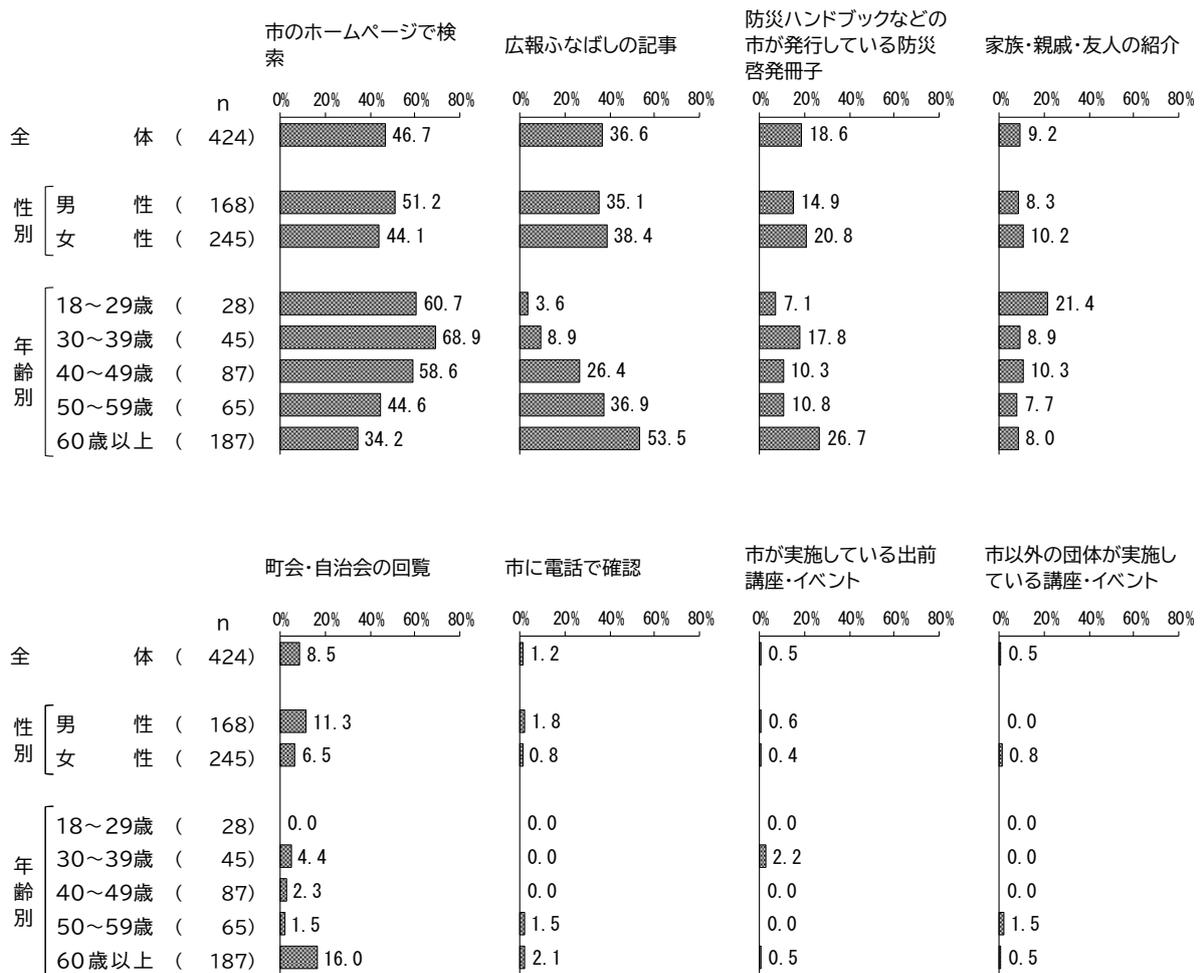
表Ⅲ-23 「その他」の内訳

「その他」の内容	件数
学校の案内	3
SNS、LINE、メールで送られてくる	3
会社で教えてもらった	1
(記載なし)	9
合 計	16

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「市のホームページで検索」、「町会・自治会の回覧」では、男性（51.2%、11.3%）が女性（44.1%、6.5%）より各々7.1、4.8 ポイント高く、一方、「広報ふなばしの記事」、「防災ハンドブックなどの市が発行している防災啓発冊子」では女性（38.4%、20.8%）が男性（35.1%、14.9%）より各々3.3、5.9 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「広報ふなばしの記事」の割合は、年齢が上がるに従い高くなり、60歳以上では53.5%と5割を超えている。「市のホームページで検索」は、年齢が下がるに従い高くなる傾向が見られ、最も高い30～39歳では68.9%となっており、最も低い60歳以上の34.2%と比べて34.7ポイントの差がある。



図Ⅲ－１０４ 放送内容の確認方法の認知経路（性別／年齢別）

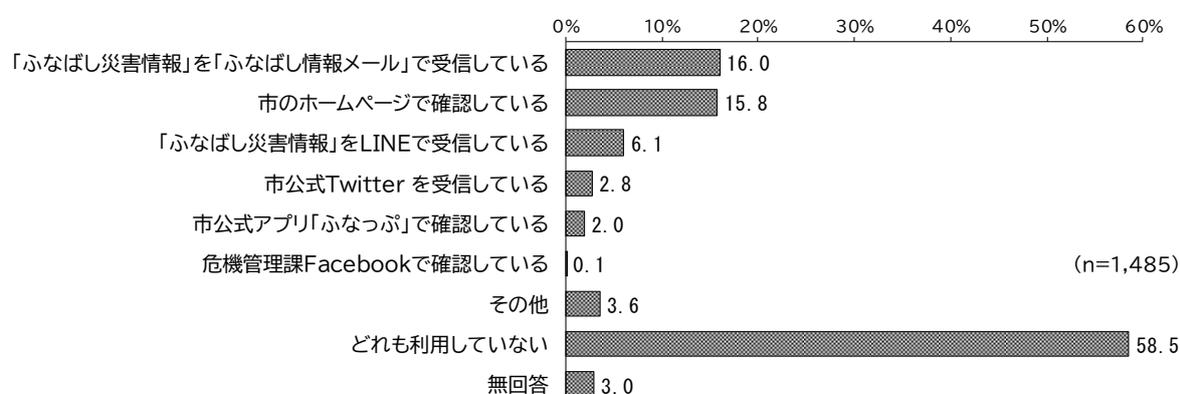
(2-3) 利用している市のメディア・ツール

「『ふなばし災害情報』を『ふなばし情報メール』で受信している」、「市のホームページで確認している」が2割を下回る。一方、「どれも利用していない」は6割弱

【問23】市では、気象警報や避難所開設情報などを、各種メディア・ツールで配信しています。利用しているメディア・ツールをお答えください。(〇はいくつでも)

市が各種メディア・ツールで発信している気象警報や避難所開設情報などについて、利用しているメディア・ツールを聞いたところ、「どれも利用していない」が58.5%で最も高く、利用している人の中では、「『ふなばし災害情報』を『ふなばし情報メール』で受信している」(16.0%)、「市のホームページで確認している」(15.8%)が高くなっている。

「その他」については、「Yahoo!アプリ」(12件)などが挙げられている。



図Ⅲ-105 利用している市のメディア・ツール

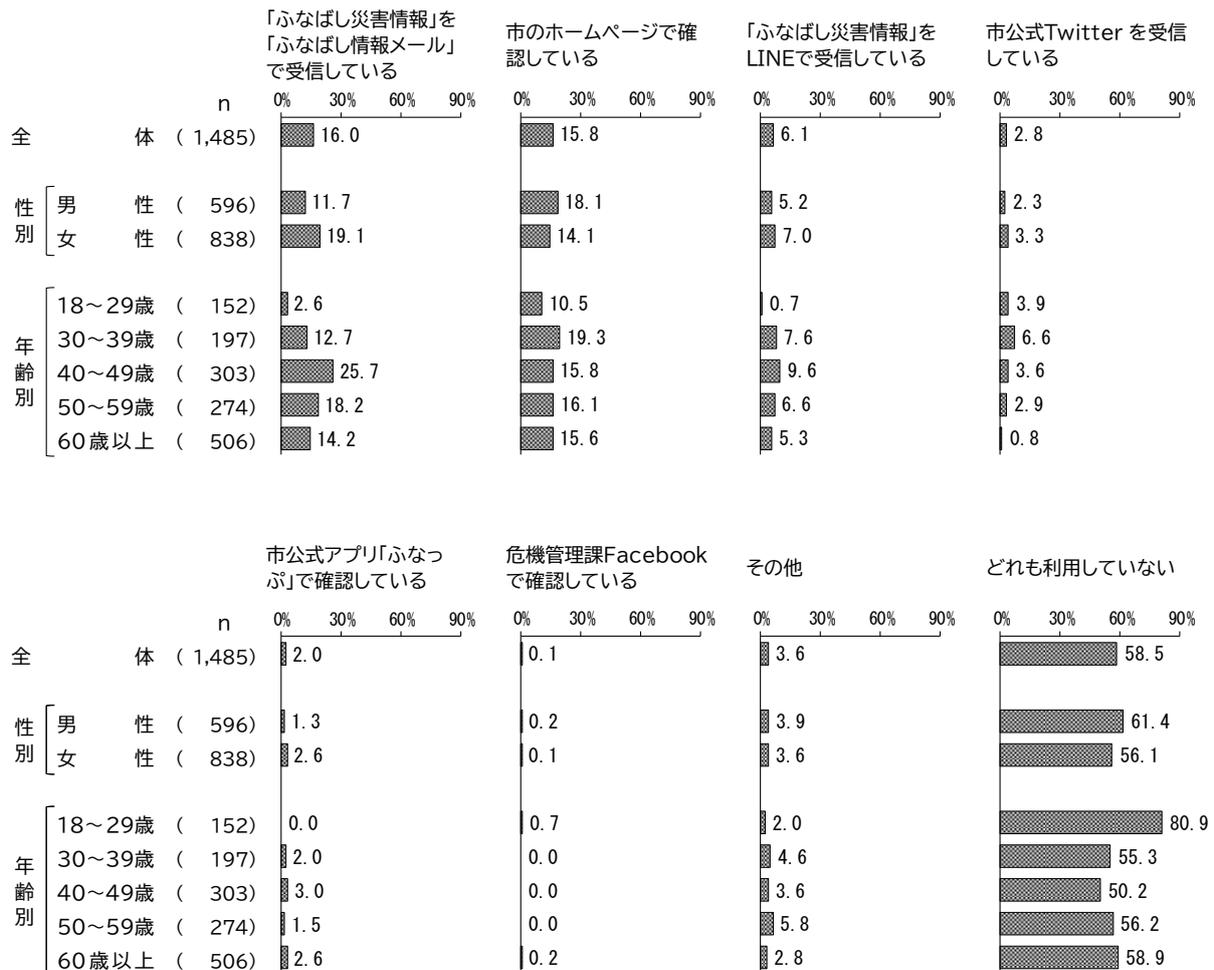
表Ⅲ-24 「その他」の内訳

「その他」の内容	件数
Yahoo!アプリ	12
スマートフォン	6
テレビ	3
インターネット	3
その他	6
(記載なし)	26
合計	56

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「『ふなばし災害情報』を『ふなばし情報メール』で受信している」では、女性（19.1%）が男性（11.7%）より7.4ポイント高く、一方、「市のホームページで確認している」は、男性（18.1%）が女性（14.1%）より4.0ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「『ふなばし災害情報』を『ふなばし情報メール』で受信している」の割合は、最も高い40～49歳では25.7%となっており、最も低い18～29歳の2.6%と比べて23.1ポイントの差がある。また、「どれも利用していない」は、18～29歳で80.9%と最も高く8割を超えている。



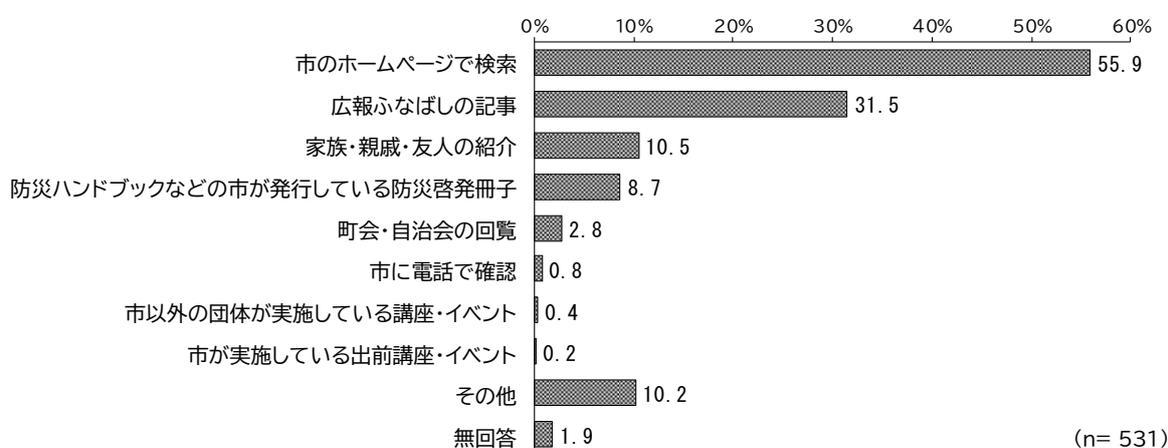
図Ⅲ－106 利用している市のメディア・ツール（性別／年齢別）

(2-4) 市のメディア・ツールの認知経路

「市のホームページで検索」が5割超
 (問23で1から6のうち1つでもお答えの方)
 【問23-1】各種メディア・ツールをどこで知りましたか。(〇はいくつでも)

市が各種メディア・ツールで発信している気象警報や避難所開設情報などについて、何らかのメディア・ツールを利用していると答えた人(531人)に、各種メディア・ツールをどこで知ったか聞いたところ、「市のホームページで検索」が55.9%と最も高くなっている。次いで、「広報ふなばしの記事」(31.5%)、「家族・親戚・友人の紹介」(10.5%)と続いている。

「その他」については、「学校の案内、保育園メール・学校メール登録、小学校の回覧」(12件)などが挙がっている。



図Ⅲ-107 市のメディア・ツールの認知経路

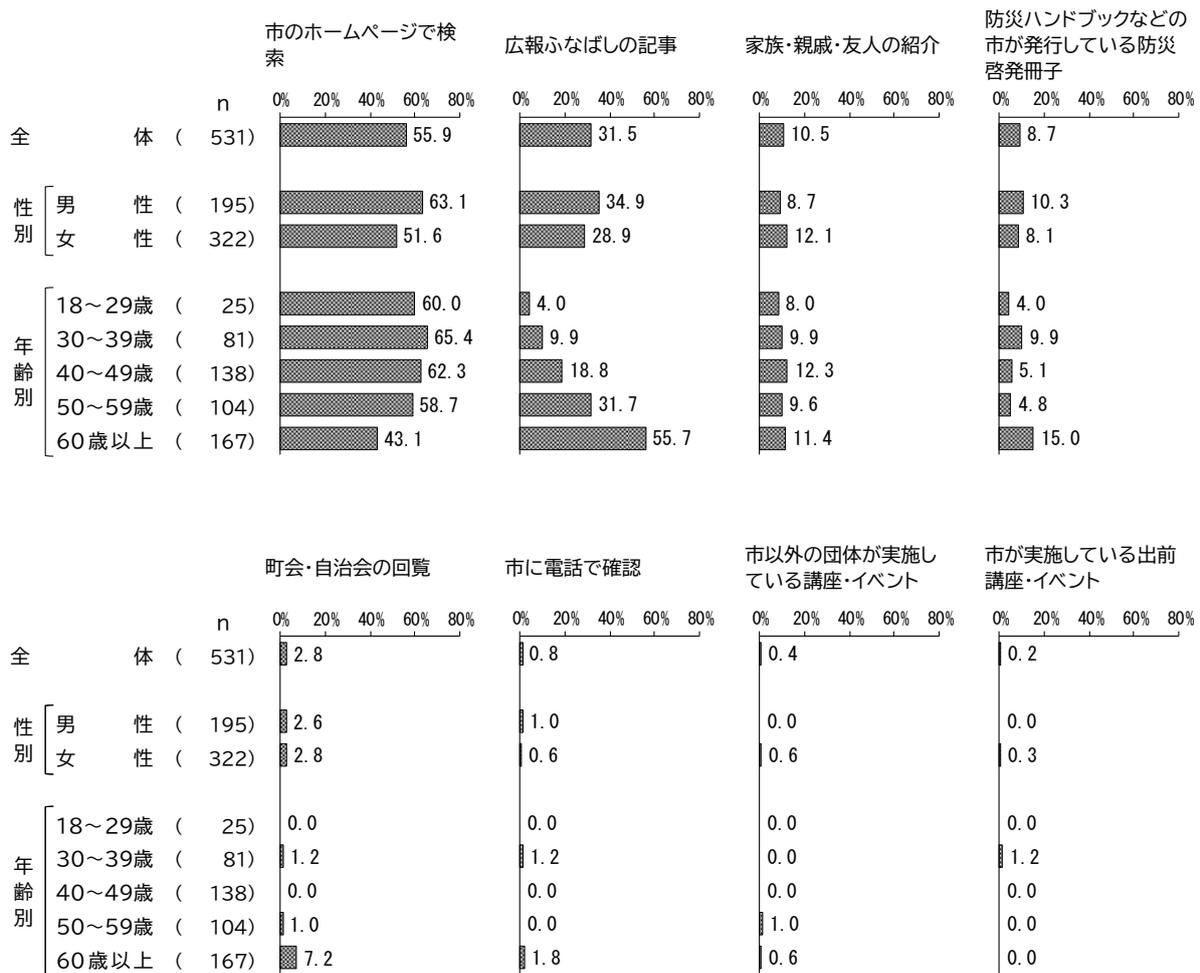
表Ⅲ-25 「その他」の内訳

「その他」の内容	件数
学校の案内、保育園メール・学校メール登録、小学校の回覧	12
検索アプリ	5
Twitterで検索	4
その他	6
覚えていない	9
(記載なし)	18
合計	54

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「市のホームページで検索」、「広報ふなばしの記事」では、男性（63.1%、34.9%）が女性（51.6%、28.9%）より各々11.5、6.0 ポイント高く、一方、「家族・親戚・友人の紹介」では女性（12.1%）が男性（8.7%）より 3.4 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「広報ふなばしの記事」の割合は、年齢が上がるに従い高くなり、60 歳以上では 55.7%と 5 割を超え、最も低い 18～29 歳の 4.0%と比べて 51.7 ポイントの大きな差がある。「市のホームページで検索」の割合は、年齢が下がるに従い高くなる傾向が見られ、最も高い 30～39 歳では 65.4%となっており、最も低い 60 歳以上の 43.1%と比べて 22.3 ポイントの差がある。



図Ⅲ－108 市のメディア・ツールの認知経路（性別／年齢別）

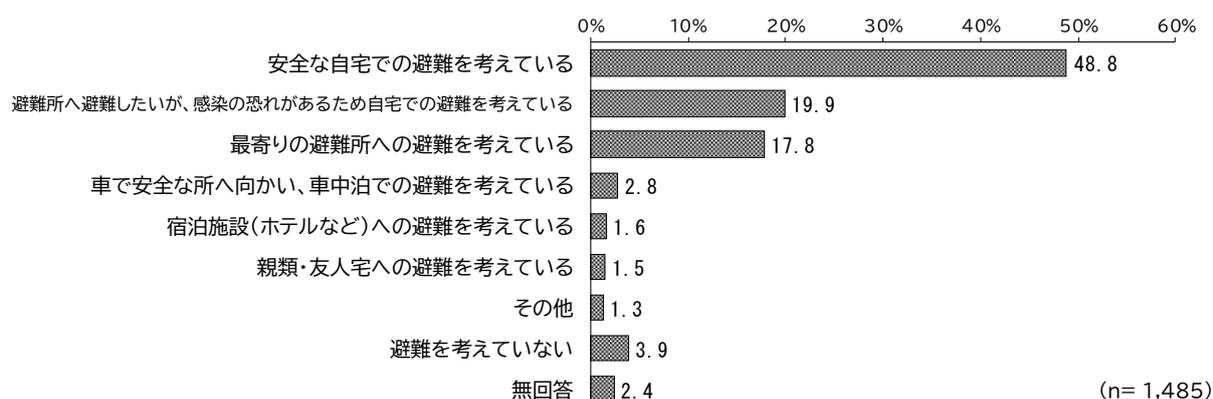
(3) 災害時における避難について

(3-1) コロナ禍における災害時の避難

「安全な自宅での避難を考えている」が5割弱

【問24】市では、避難所における新型コロナウイルス感染症防止のため、マスクや消毒液、パーティションの備蓄をしています。コロナ禍での災害時の避難について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(〇は1つ)

新型コロナウイルス感染症が全国的にまん延している今、災害時の避難についての考えを聞いたところ、「安全な自宅での避難を考えている」が48.8%で最も高く、次いで「避難所へ避難したいが、感染の恐れがあるため自宅での避難を考えている」が19.9%、「最寄りの避難所への避難を考えている」が17.8%と続いている。コロナ禍では、「安全な自宅での避難を考えている」と「避難所へ避難したいが、感染の恐れがあるため自宅での避難を考えている」を合わせた『自宅での避難を考えている』が68.7%と全体の7割弱となっている。



図Ⅲ-109 コロナ禍における災害時の避難

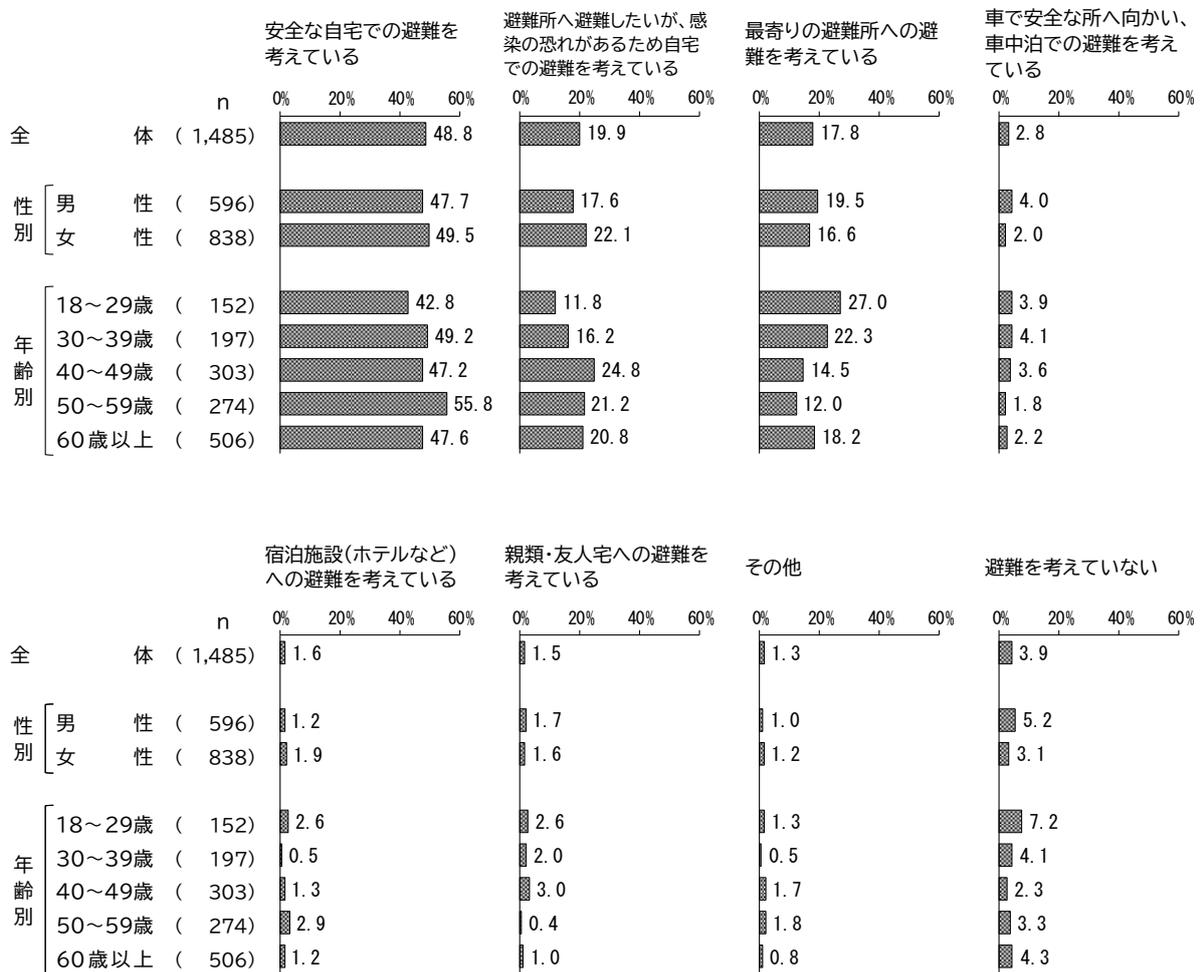
表Ⅲ-26 「その他」の内訳

「その他」の内容	件数
災害の内容や大きさによる	6
ペットがいるので自宅で避難、自宅車中泊を考えている	3
子どもが居るため周りに迷惑をかけられないので自宅での避難を考えている	2
家が倒壊していなければ自宅避難を考えている	1
指定避難場所に入りきれそうにない	1
別宅へ移動する	1
施設内で団体生活	1
災害時は出勤している	1
(記載なし)	3
合計	19

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「避難所へ避難したいが、感染の恐れがあるため自宅での避難を考えている」では、女性（22.1%）が男性（17.6%）より 4.5 ポイント高くなっている。一方、「最寄りの避難所への避難を考えている」では男性（19.5%）が女性（16.6%）より 2.9 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「安全な自宅での避難を考えている」は、最も高い 50～59 歳では 55.8% と他の年齢層と比べて高くなっている。「避難所へ避難したいが、感染の恐れがあるため自宅での避難を考えている」は、40～49 歳で 24.8% と他と比べて高く、「最寄りの避難所への避難を考えている」は年齢が下がるに従い割合が高くなる傾向が見られ、最も高い 18～29 歳では 27.0% となっている。



図Ⅲ－110 コロナ禍における災害時の避難（性別／年齢別）

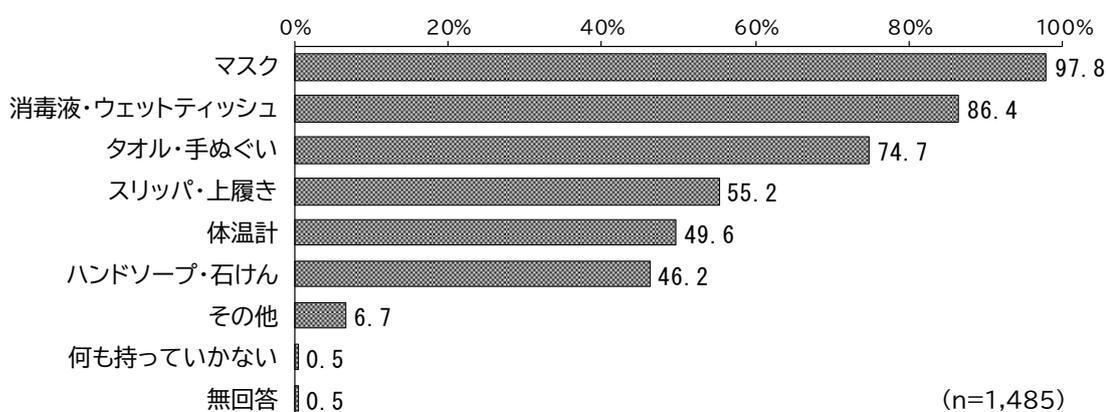
(3-2) 避難時に新型コロナウイルス感染症防止のために持参するもの

「マスク」は10割近く、「消毒液・ウェットティッシュ」は8割超

【問25】避難所に避難することになったと仮定した場合、新型コロナウイルス感染症防止のためにどのようなものを持っていきますか。(〇はいくつでも)

避難所に避難することになったと仮定した場合、新型コロナウイルス感染症防止のためにどのようなものを持っていくかを聞いたところ、「マスク」が97.8%で最も高く、次いで「消毒液・ウェットティッシュ」(86.4%)、「タオル・手ぬぐい」(74.7%)までが7割を超え、「スリッパ・上履き」(55.2%)、「体温計」(49.6%)、「ハンドソープ・石けん」(46.2%)のいずれも4割を超えている。なお、「何も持っていない」は0.5%と低くなっている。

「その他」については、「薬・処方薬・うがい薬」(19件)などが挙がっている。



図Ⅲ-111 避難時に新型コロナウイルス感染症防止のために持参するもの

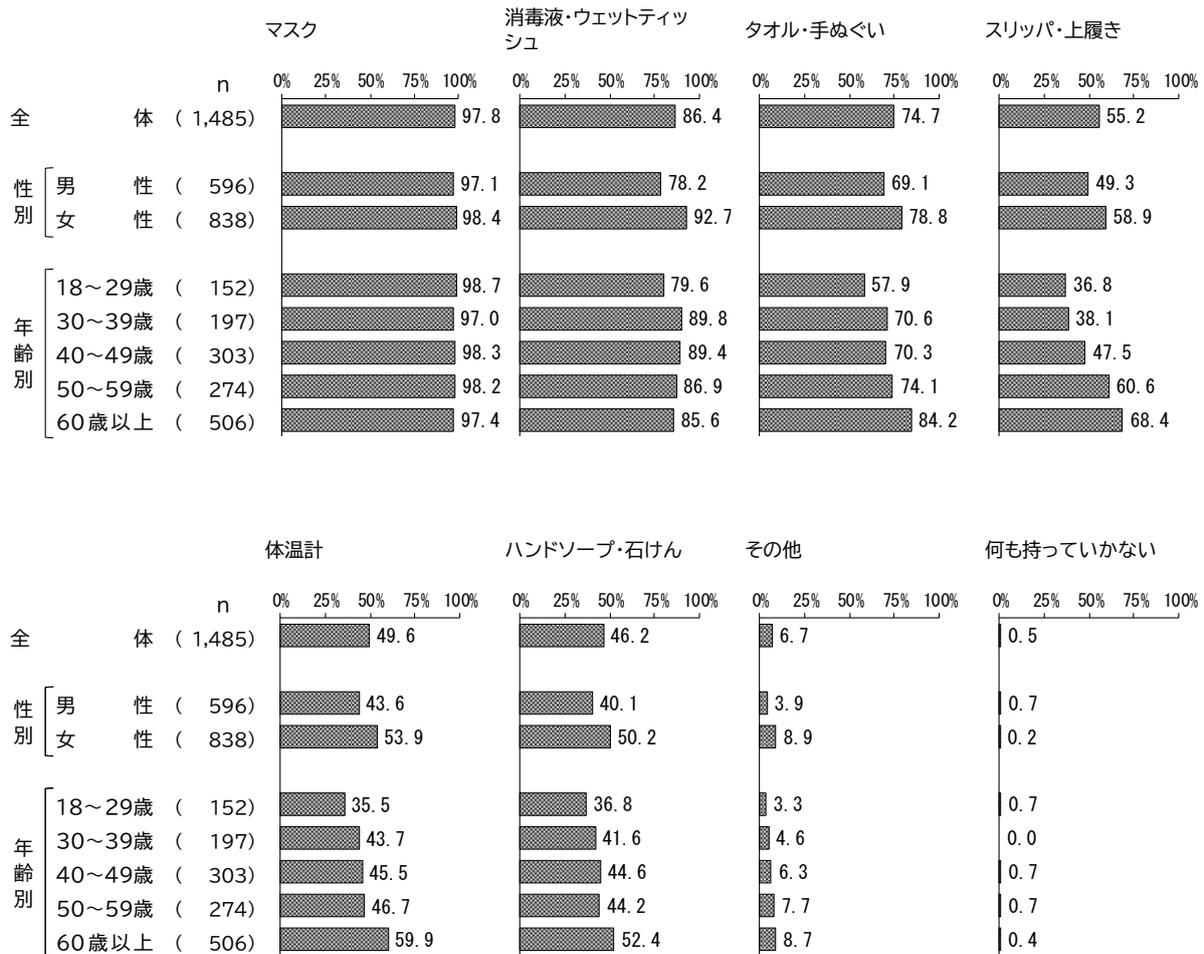
表Ⅲ-27 「その他」の内訳

「その他」の内容	件数
薬・処方薬・うがい薬	19
ビニール手袋・ゴム手袋	8
服・下着・着替え・くつ下	8
水・飲料水・飲料	7
洗面道具・歯ブラシ・マウスウォッシュ	7
テント・寝袋	6
スマートフォン・スマートフォン充電器	6
クッション・毛布・アルミケット・タオルケット	5
食料、飴、チョコレート	5
ビニール袋・ゴミ袋	4
コップ	4
ペーパータオル	4
簡易ベッド・布団・枕	4
生理用品	3
お金・小銭・貴重品	3
その他	28
(記載なし)	19
合計	140

【性別／年齢別】

性別で比較すると、「何も持っていない」を除く全ての項目で、女性の方が男性より高くなっており、なかでも「消毒液・ウェットティッシュ」では、女性が92.7%、男性が78.2%となっており、14.5ポイントの差がある。

年齢別にみると、「タオル・手ぬぐい」、「スリッパ・上履き」、「体温計」、「ハンドソープ・石けん」では、年齢が上がるに従い割合が高くなる傾向が見られ、最も高い60歳以上と最も低い18～29歳では、15.6～31.6ポイントの差がある。



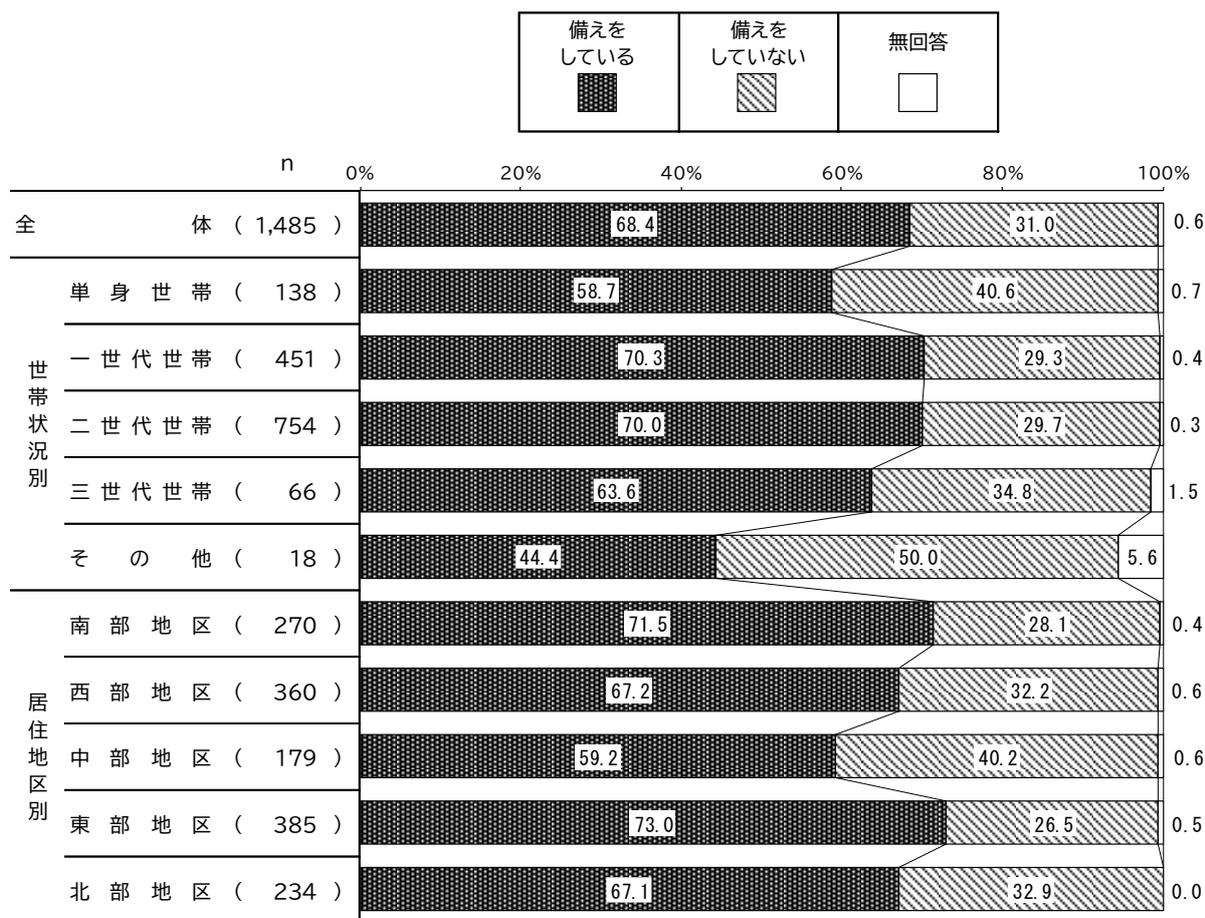
図Ⅲ－112 避難時に新型コロナウイルス感染症防止のために持参するもの（性別／年齢別）

(4) 「本市の災害対策」概観

単身世帯、中部地区では「備えをしている」が6割を下回っている

日頃から災害への「備えをしている」を先述した性別／年齢別以外で確認するため、世帯状況別による割合をみると、一世代世帯（70.3%）及び二世代世帯（70.0%）では、7割となっている。一方、単身世帯では、58.7%と6割弱となっている。

同様に、住居地区別による「備えをしている」割合をみると、地区による差があり、最も高い東部地区は73.0%、最も低い中部地区は59.2%となっており、13.8ポイントの差がある。



図Ⅲ－113 日頃からの備え（世帯状況別／住居地区別）

6. 「めざすまちの姿」について

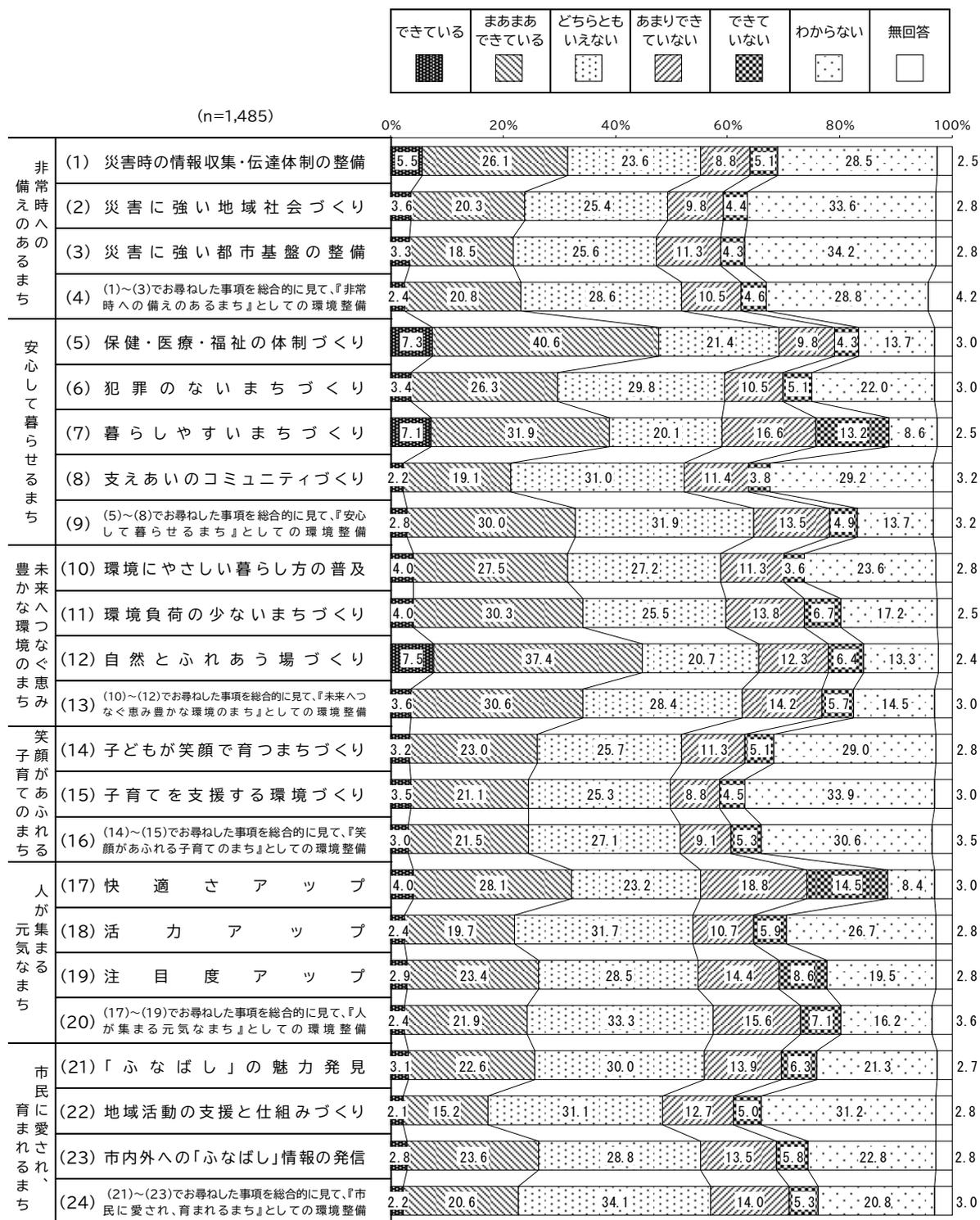
(1) 「めざすまちの姿」の実現状況

「できている」と「まあまあできている」を合わせた『できていると思う人』は「保健・医療・福祉の体制づくり」が5割近く

【問26】「めざすまちの姿」について、あなたはどのように思いますか。
以下の(1)～(24)の項目についてあなたの考えに最も近いと思う番号をそれぞれ1つ選んでください。

平成24年度から令和3年度までのまちづくりの基本となる船橋市総合計画・後期基本計画の重点テーマである「めざすまちの姿」の実現状況を聞いたところ、「できている」と「まあまあできている」を合わせた『できていると思う人』の割合は、「(5) 保健・医療・福祉の体制づくり」(47.9%)が最も高く、次いで「(12) 自然とふれあう場づくり」(44.9%)、「(7) 暮らしやすいまちづくり」(39.0%)、「(11) 環境負荷の少ないまちづくり」(34.3%)、「(13) (10)～(12)でお尋ねした事項を総合的に見て、『未来へつなぐ恵み豊かな環境のまち』としての環境整備」(34.2%)と続いている。

一方、「あまりできていない」と「できていない」を合わせた『できていないと思う人』の割合は「(17) 快適さアップ」(33.3%)が最も高く、「(7) 暮らしやすいまちづくり」(29.8%)、「(19) 注目度アップ」(23.0%)、「(20) (17)～(19)でお尋ねした事項を総合的に見て、『人が集まる元気なまち』としての環境整備」(22.7%)、「(11) 環境負荷の少ないまちづくり」(20.5%)と続いている。

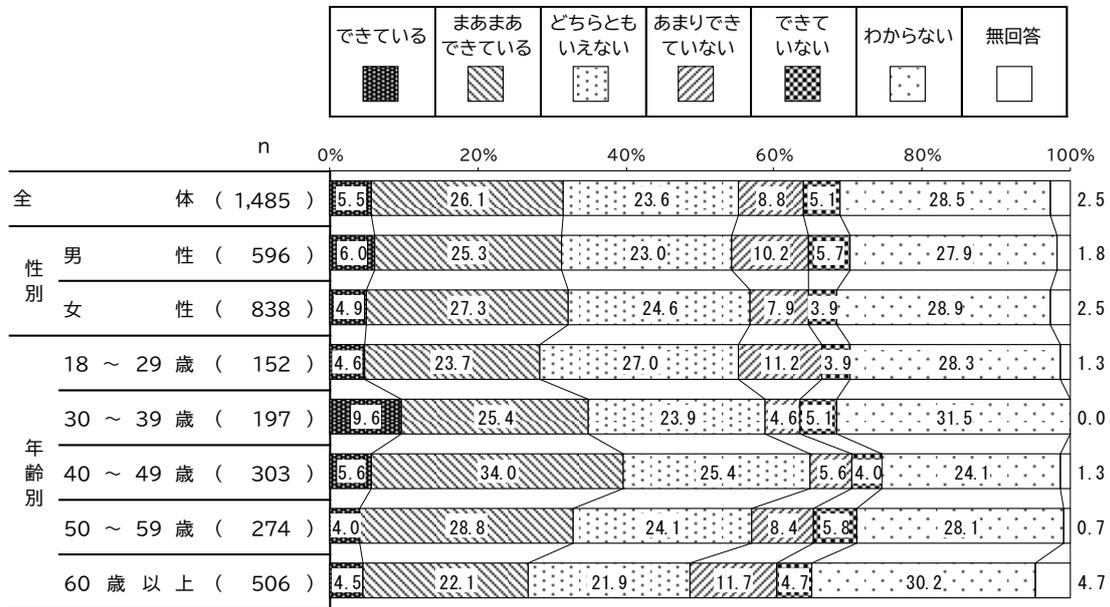


図Ⅲ-114 「めざすまちの姿」の実現状況

(1-1) 災害時の情報収集・伝達体制の整備

性別で比較すると、「あまりできていない」と「できていない」を合わせた『できていないと思う人』は男性（15.9%）が女性（11.8%）より4.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「できている」と「まあまあできている」を合わせた『できていると思う人』は40～49歳が39.6%で最も高くなっている。

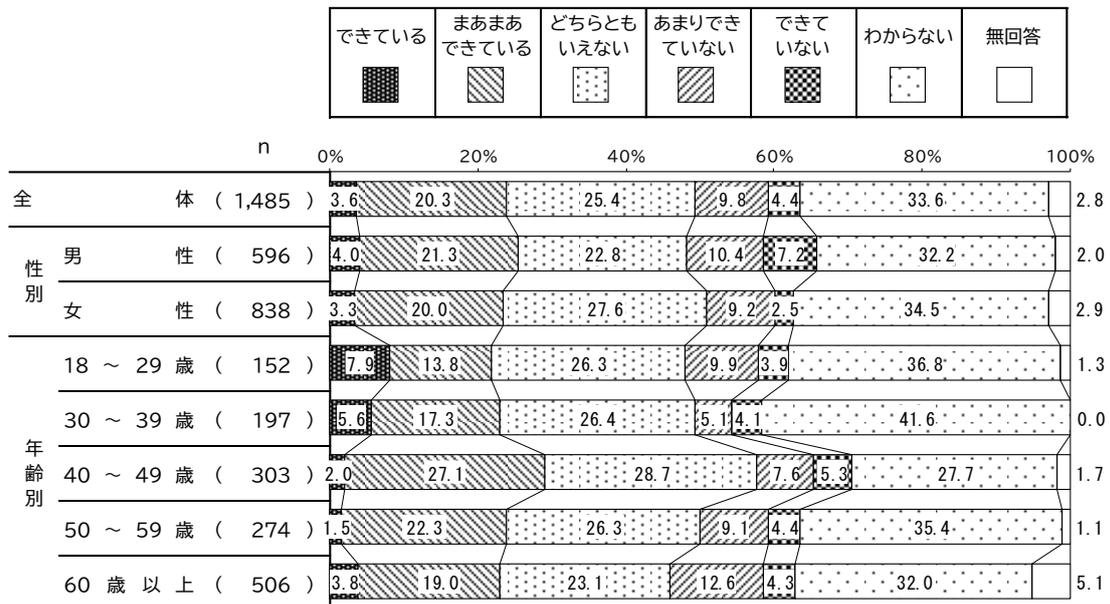


図Ⅲ-115 災害時の情報収集・伝達体制の整備（性別／年齢別）

(1-2) 災害に強い地域社会づくり

性別で比較すると、「あまりできていない」と「できていない」を合わせた『できていないと思う人』は男性（17.6%）が女性（11.7%）より5.9ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「できている」と「まあまあできている」を合わせた『できていると思う人』は40～49歳が29.1%で最も高くなっている。

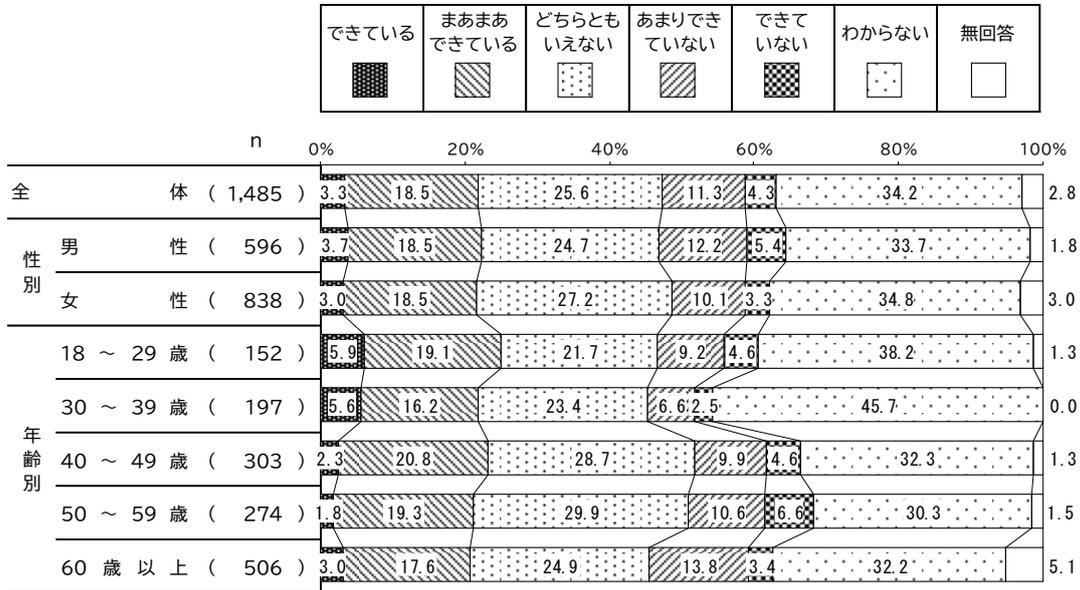


図Ⅲ-116 災害に強い地域社会づくり（性別／年齢別）

(1-3) 災害に強い都市基盤の整備

性別で比較すると、「あまりできていない」と「できていない」を合わせた『できていないと思う人』は男性（17.6%）が女性（13.4%）より 4.2 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「できている」と「まあまあできている」を合わせた『できていると思う人』は 18～29 歳が 25.0% で最も高くなっている。

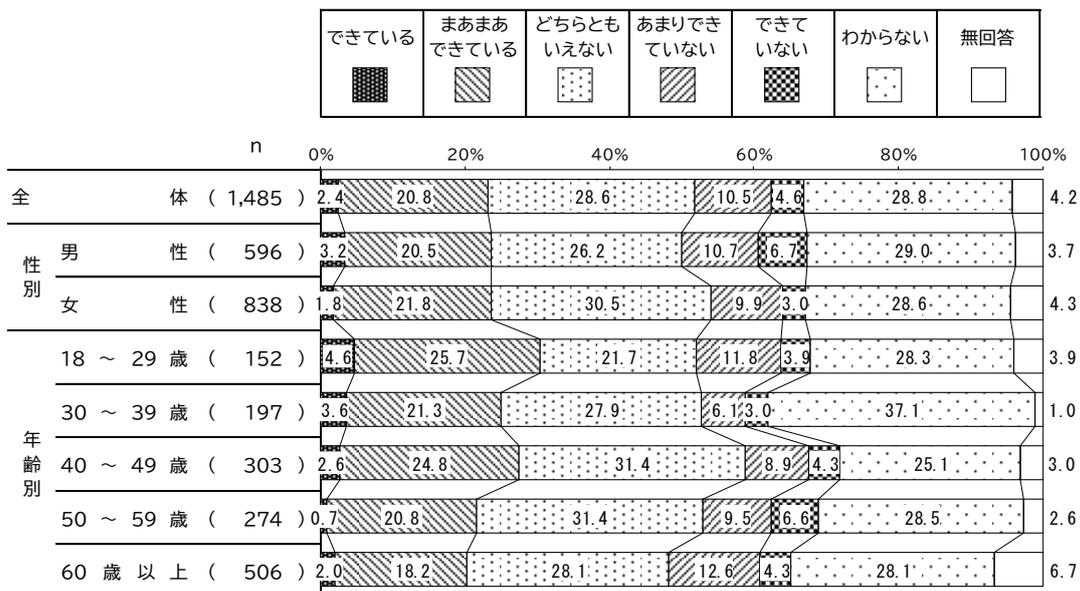


図Ⅲ-117 災害に強い都市基盤の整備（性別／年齢別）

(1-4) (1)～(3)でお尋ねした事項を総合的に見て、『非常時への備えのあるまち』としての環境整備

性別で比較すると、「あまりできていない」と「できていない」を合わせた『できていないと思う人』は男性（17.4%）が女性（12.9%）より 4.5 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「できている」と「まあまあできている」を合わせた『できていると思う人』は 18～29 歳が 30.3% で最も高くなっている。

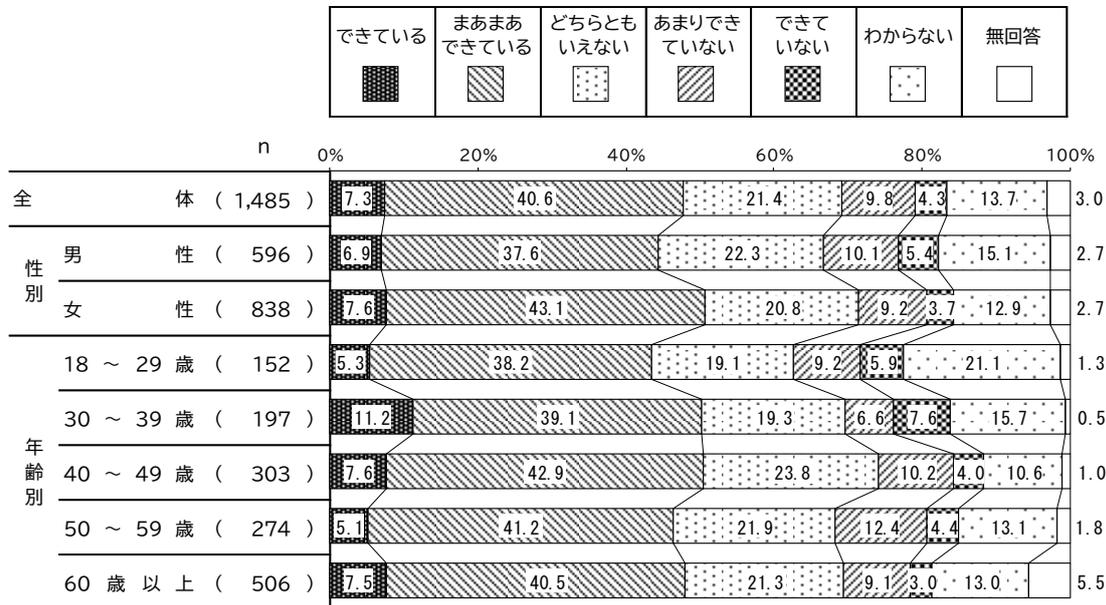


図Ⅲ-118 (1)～(3)でお尋ねした事項を総合的に見て、『非常時への備えのあるまち』としての環境整備（性別／年齢別）

(1-5) 保健・医療・福祉の体制づくり

性別で比較すると、「できている」と「まあまあできている」を合わせた『できていると思う人』は女性（50.7%）が男性（44.5%）より 6.2 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『できていると思う人』は 40～49 歳が 50.5% で最も高くなっている。

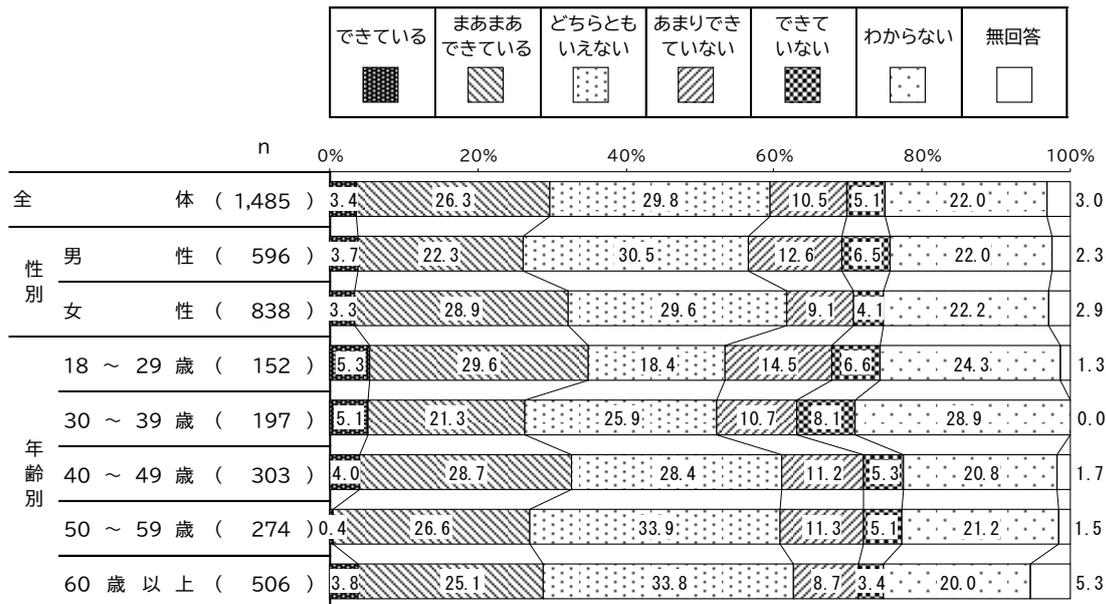


図Ⅲ-119 保健・医療・福祉の体制づくり（性別/年齢別）

(1-6) 犯罪のないまちづくり

性別で比較すると、「できている」と「まあまあできている」を合わせた『できていると思う人』は女性（32.2%）が男性（26.0%）より 6.2 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『できていると思う人』は 18～29 歳が 34.9% で最も高くなっている。

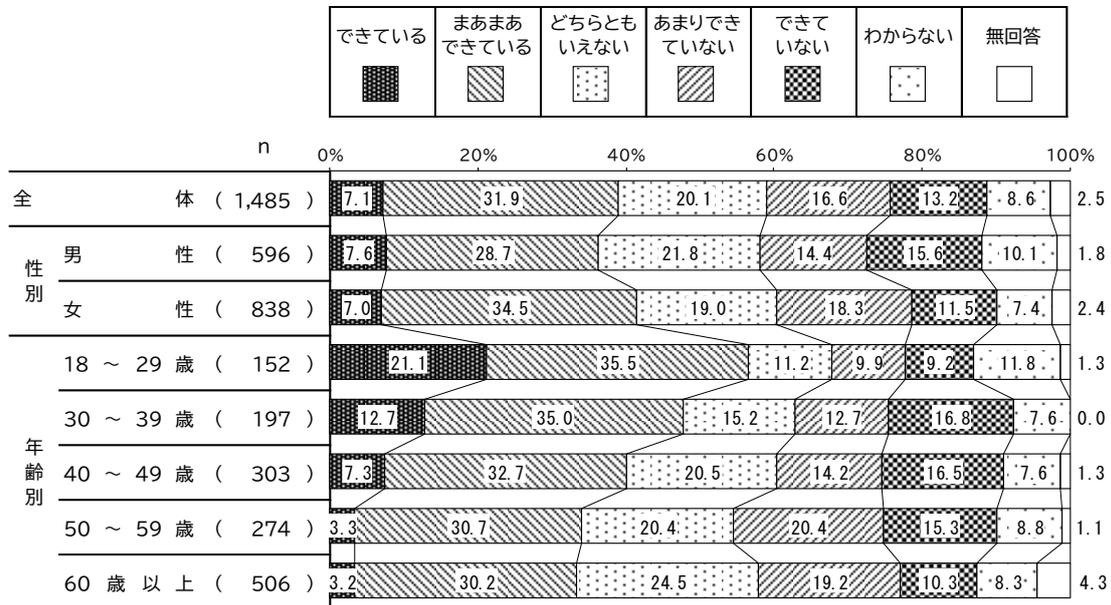


図Ⅲ-120 犯罪のないまちづくり（性別/年齢別）

(1-7) 暮らしやすいまちづくり

性別で比較すると、「できている」と「まあまあできている」を合わせた『できていると思う人』は女性（41.5%）が男性（36.3%）より 5.2 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『できていると思う人』は 18～29 歳が 56.6% で最も高くなっている。

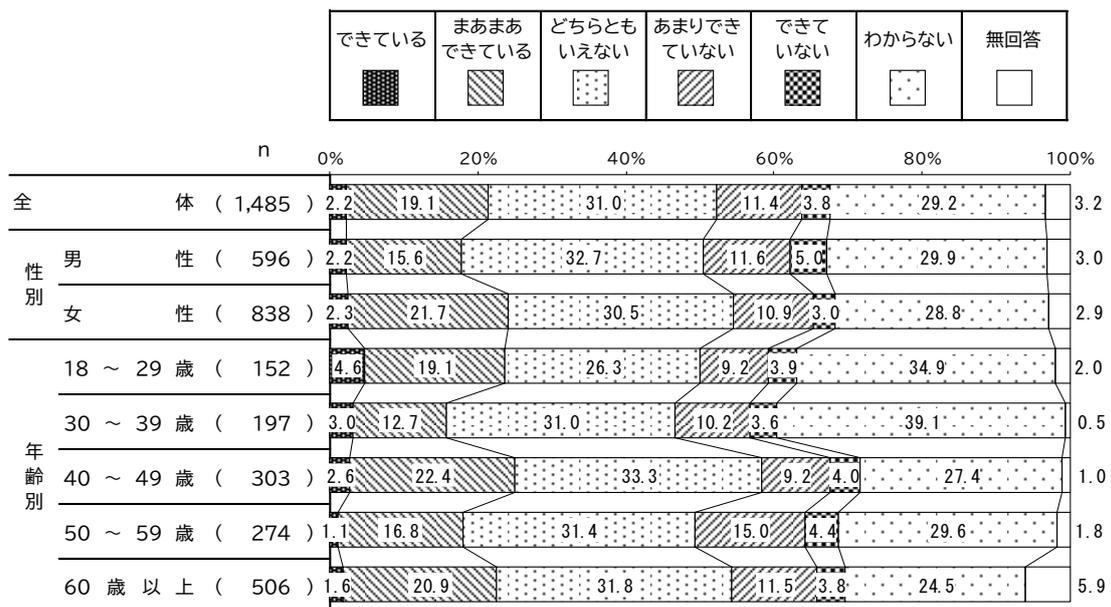


図Ⅲ-121 暮らしやすいまちづくり（性別／年齢別）

(1-8) 支えあいのコミュニティづくり

性別で比較すると、「できている」と「まあまあできている」を合わせた『できていると思う人』は女性（24.0%）が男性（17.8%）より 6.2 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『できていると思う人』は 40～49 歳が 25.0% で最も高くなっている。

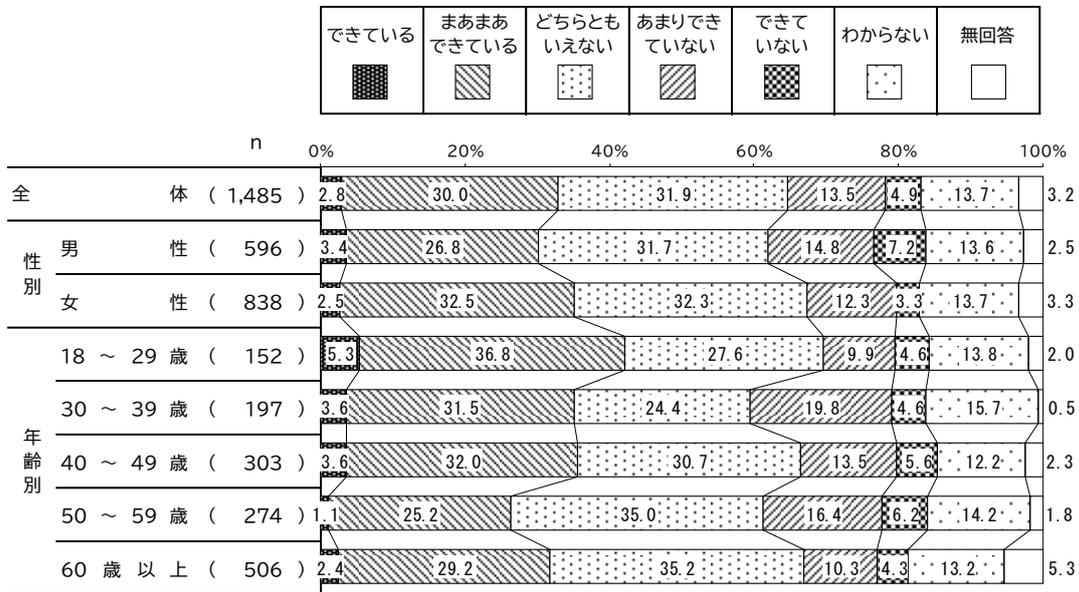


図Ⅲ-122 支えあいのコミュニティづくり（性別／年齢別）

(1-9) (5)~(8)でお尋ねした事項を総合的に見て、『安心して暮らせるまち』としての環境整備

性別で比較すると、「あまりできていない」と「できていない」を合わせた『できていないと思う人』は男性(22.0%)が女性(15.6%)より6.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「できている」と「まあまあできている」を合わせた『できていると思う人』は18~29歳が42.1%で最も高くなっている。

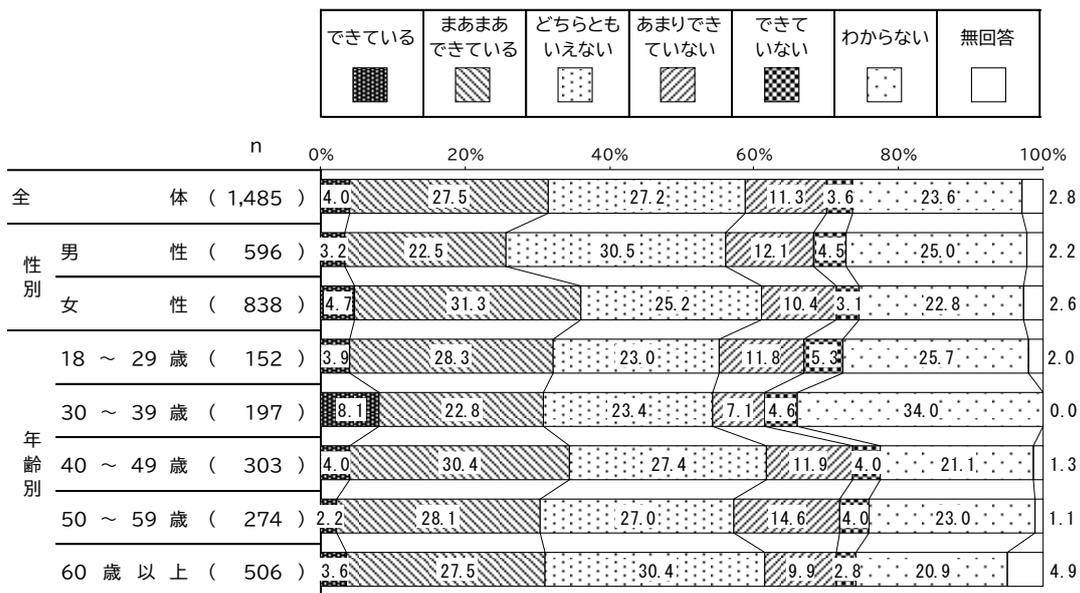


図Ⅲ-123 (5)~(8)でお尋ねした事項を総合的に見て、『安心して暮らせるまち』としての環境整備 (性別/年齢別)

(1-10) 環境にやさしい暮らし方の普及

性別で比較すると、「できている」と「まあまあできている」を合わせた『できていると思う人』は女性(36.0%)が男性(25.7%)より10.3ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『できていると思う人』は40~49歳が34.4%で最も高くなっている。

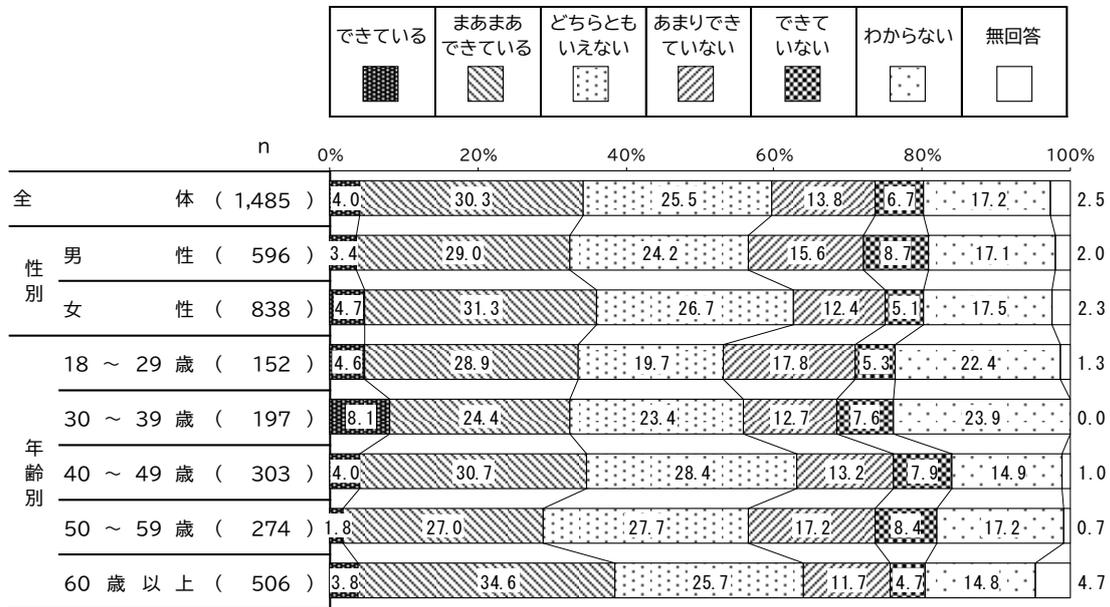


図Ⅲ-124 環境にやさしい暮らし方の普及 (性別/年齢別)

(1-11) 環境負荷の少ないまちづくり

性別で比較すると、「あまりできていない」と「できていない」を合わせた『できていないと思う人』は男性 (24.3%) が女性 (17.5%) より 6.8 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「できている」と「まあまあできている」を合わせた『できていると思う人』は 60 歳以上が 38.4% で最も高くなっている。

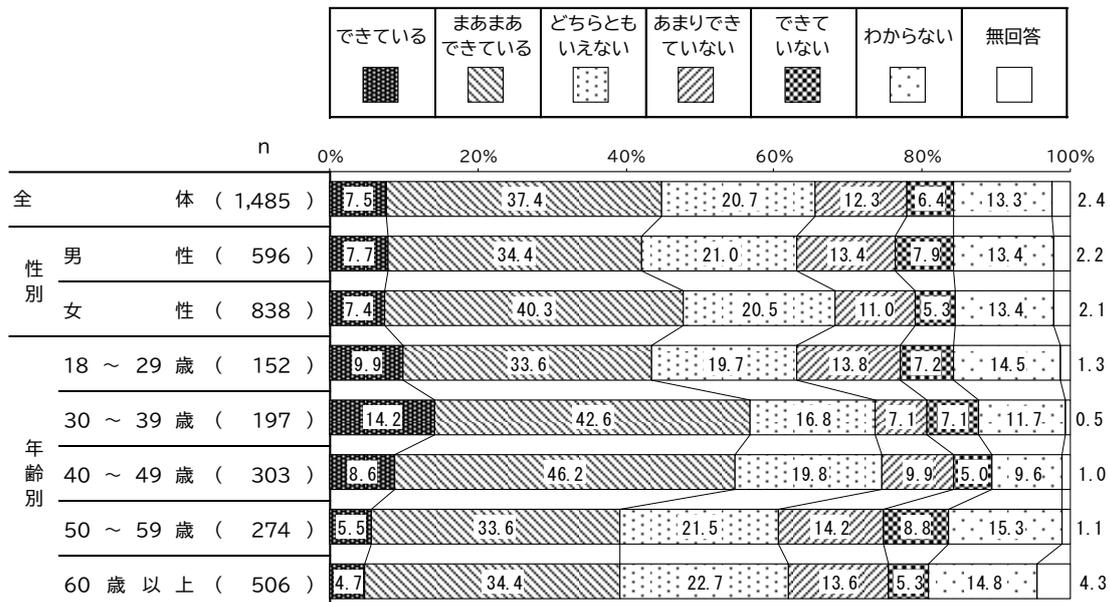


図Ⅲ-125 環境負荷の少ないまちづくり (性別/年齢別)

(1-12) 自然とふれあう場づくり

性別で比較すると、「できている」と「まあまあできている」を合わせた『できていると思う人』は女性 (47.7%) が男性 (42.1%) より 5.6 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『できていると思う人』は 30~39 歳が 56.8% で最も高くなっている。

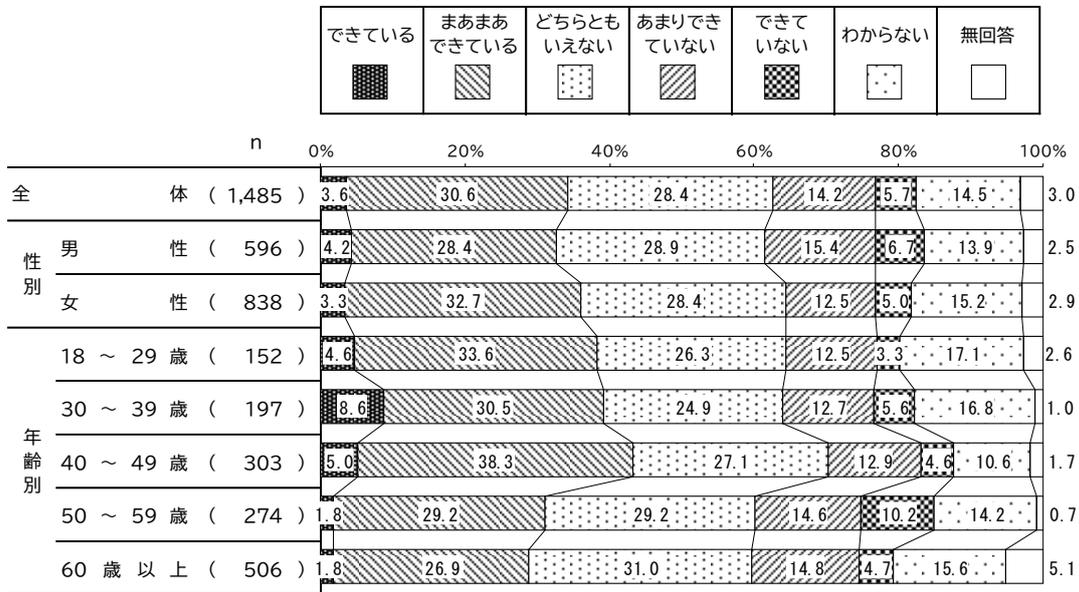


図Ⅲ-126 自然とふれあう場づくり (性別/年齢別)

(1-13) (10)~(12)でお尋ねした事項を総合的に見て、『未来へつなぐ恵み豊かな環境のまち』としての環境整備

性別で比較すると、「あまりできていない」と「できていない」を合わせた『できていないと思う人』は男性(22.1%)が女性(17.5%)より4.6ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「できている」と「まあまあできている」を合わせた『できていると思う人』は40~49歳が43.3%で最も高くなっている。

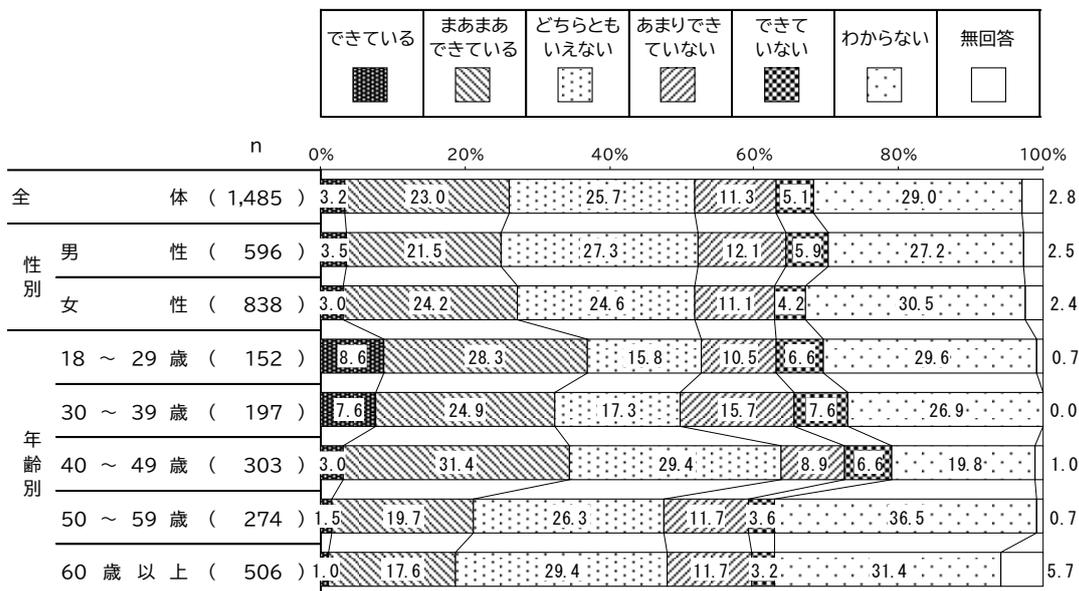


図Ⅲ-127 (10)~(12)でお尋ねした事項を総合的に見て、『未来へつなぐ恵み豊かな環境のまち』としての環境整備 (性別/年齢別)

(1-14) 子どもが笑顔で育つまちづくり

性別で比較すると、「あまりできていない」と「できていない」を合わせた『できていないと思う人』は男性(18.0%)が女性(15.3%)より2.7ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「できている」と「まあまあできている」を合わせた『できていると思う人』は18~29歳が36.9%で最も高くなっている。

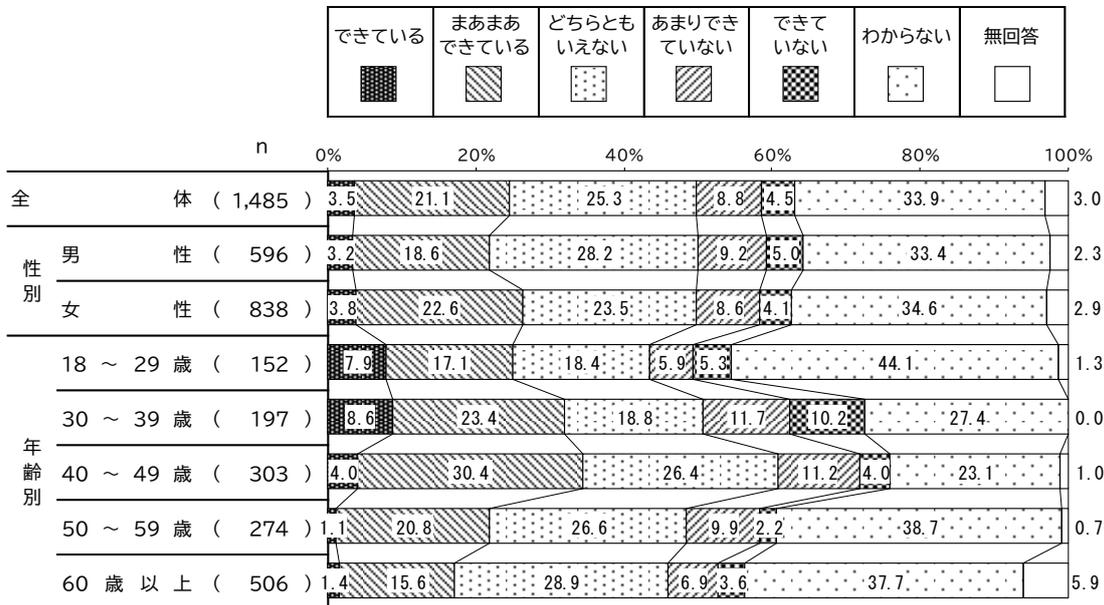


図Ⅲ-128 子どもが笑顔で育つまちづくり (性別/年齢別)

(1-15) 子育てを支援する環境づくり

性別で比較すると、「できている」と「まあまあできている」を合わせた『できていると思う人』は女性（26.4%）が男性（21.8%）より 4.6 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『できていると思う人』は 40～49 歳が 34.4% で最も高くなっている。

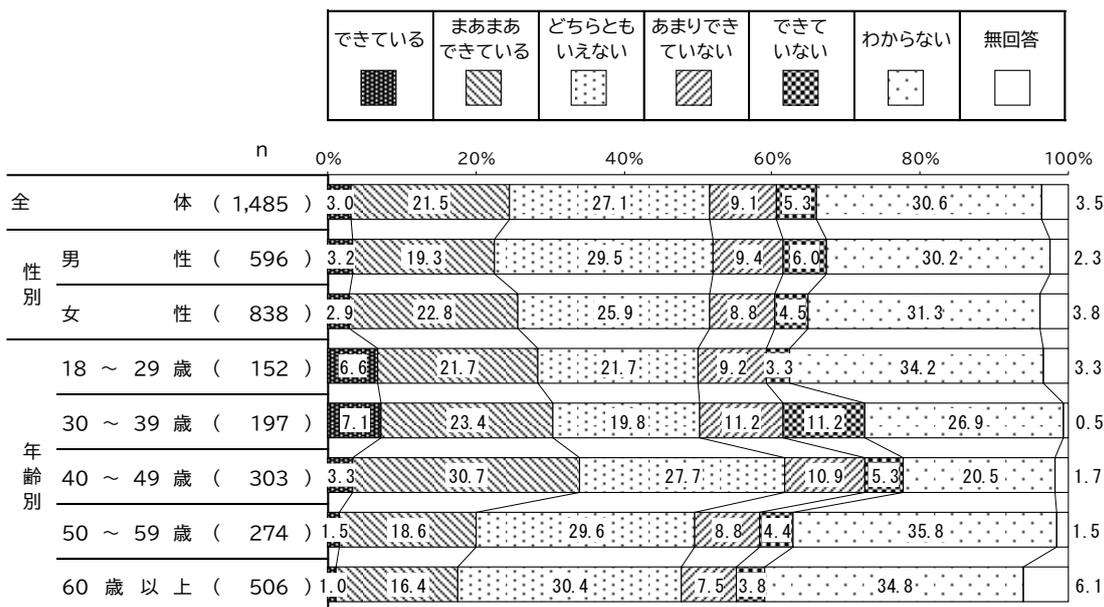


図Ⅲ-129 子育てを支援する環境づくり（性別／年齢別）

(1-16) (14)～(15)でお尋ねした事項を総合的に見て、『笑顔があふれる子育てのまち』としての環境整備

性別で比較すると、「できている」と「まあまあできている」を合わせた『できていると思う人』は女性（25.7%）が男性（22.5%）より 3.2 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『できていると思う人』は 40～49 歳が 34.0% で最も高くなっている。

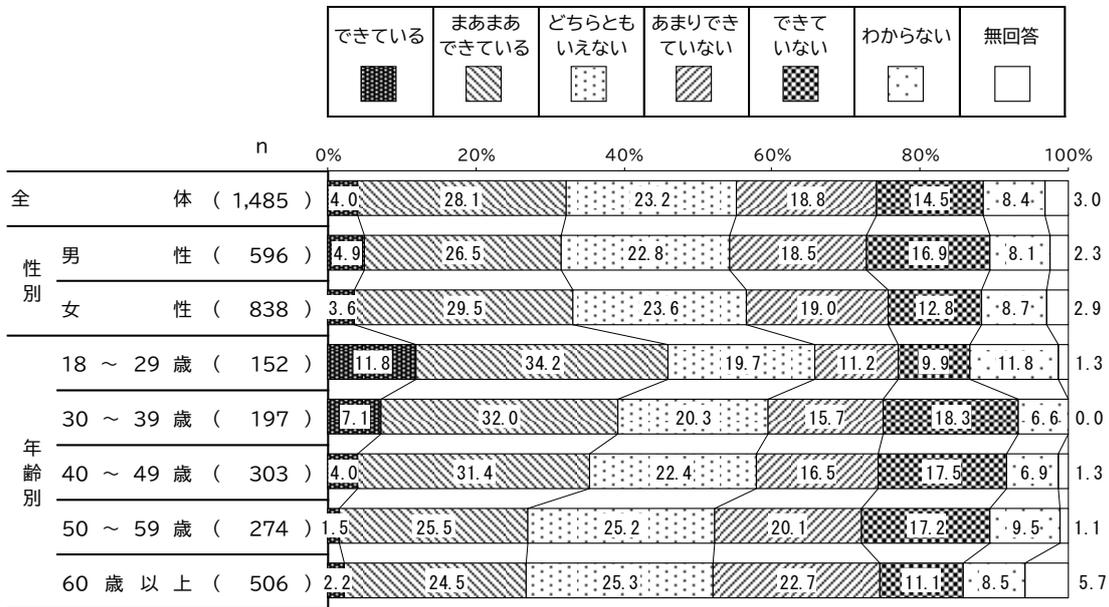


図Ⅲ-130 (14)～(15)でお尋ねした事項を総合的に見て、『笑顔があふれる子育てのまち』としての環境整備（性別／年齢別）

(1-17) 快適さアップ

性別で比較すると、「あまりできていない」と「できていない」を合わせた『できていないと思う人』は男性（35.4%）が女性（31.8%）より 3.6 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「できている」と「まあまあできている」を合わせた『できていると思う人』は 18～29 歳が 46.0% で最も高くなっている。

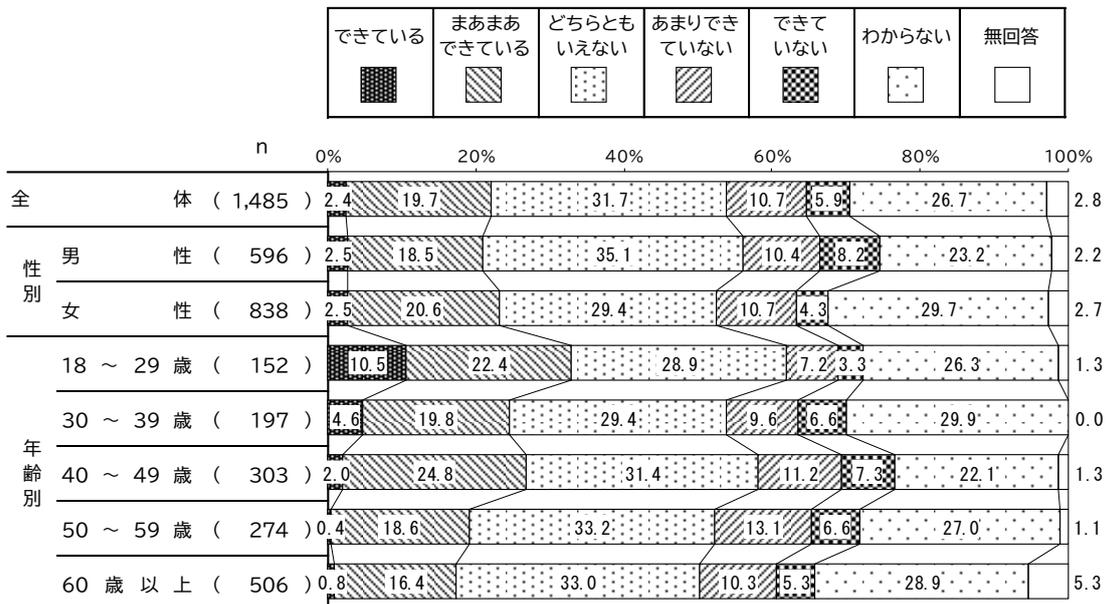


図Ⅲ-131 快適さアップ (性別/年齢別)

(1-18) 活力アップ

性別で比較すると、「あまりできていない」と「できていない」を合わせた『できていないと思う人』は男性（18.6%）が女性（15.0%）より 3.6 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「できている」と「まあまあできている」を合わせた『できていると思う人』は 18～29 歳が 32.9% で最も高くなっている。

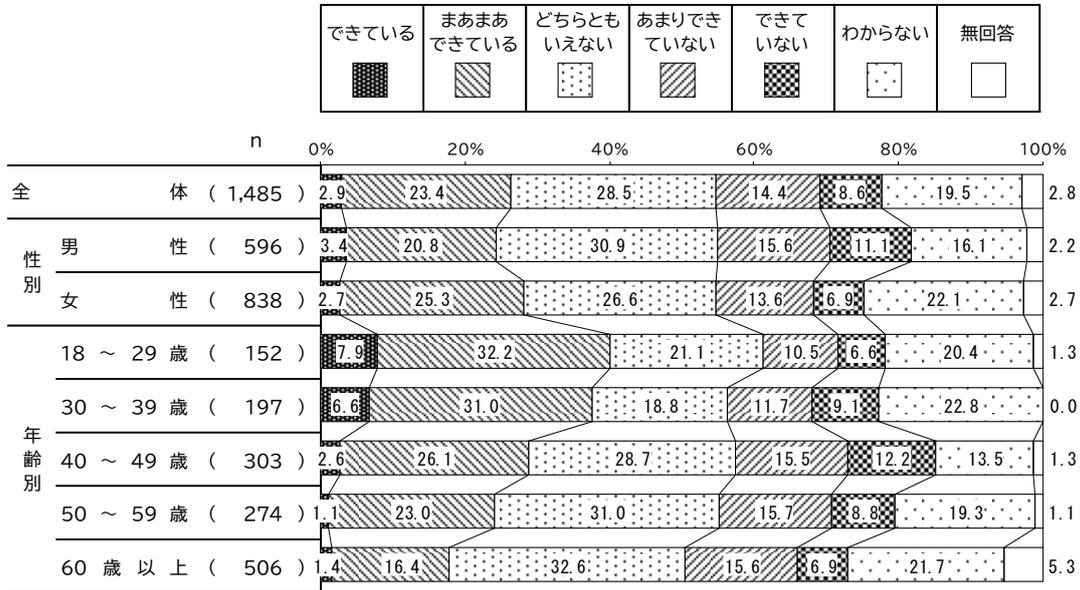


図Ⅲ-132 活力アップ (性別/年齢別)

(1-19) 注目度アップ

性別で比較すると、「あまりできていない」と「できていない」を合わせた『できていないと思う人』は男性 (26.7%) が女性 (20.5%) より 6.2 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「できている」と「まあまあできている」を合わせた『できていると思う人』は 18～29 歳が 40.1% で最も高くなっている。

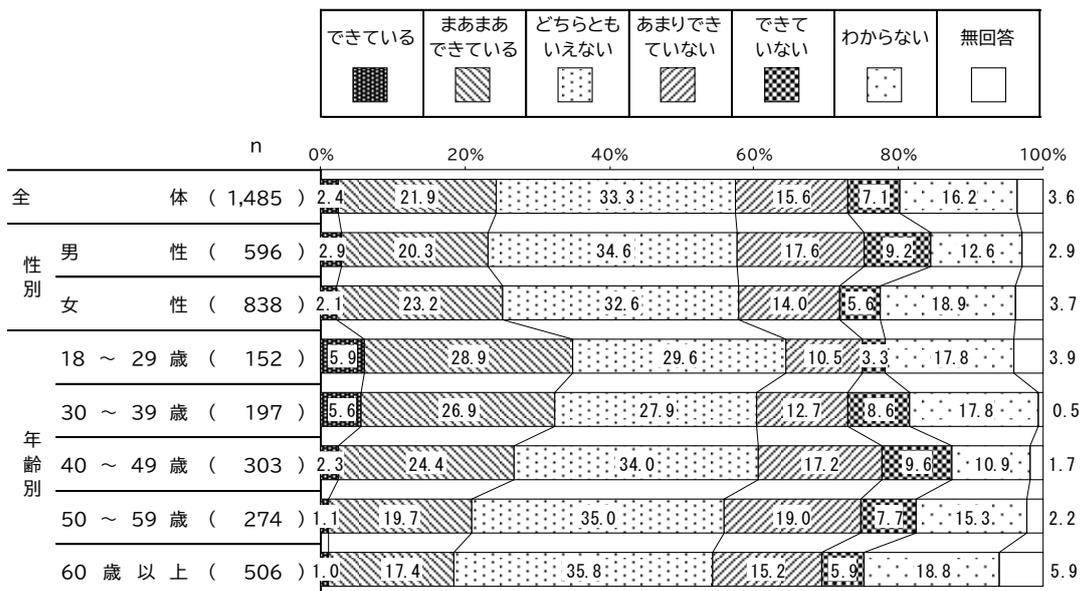


図Ⅲ-133 注目度アップ (性別/年齢別)

(1-20) (17)～(19)でお尋ねした事項を総合的に見て、『人が集まる元気なまち』としての環境整備

性別で比較すると、「あまりできていない」と「できていない」を合わせた『できていないと思う人』は男性 (26.8%) が女性 (19.6%) より 7.2 ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「できている」と「まあまあできている」を合わせた『できていると思う人』は 18～29 歳が 34.8% で最も高くなっている。

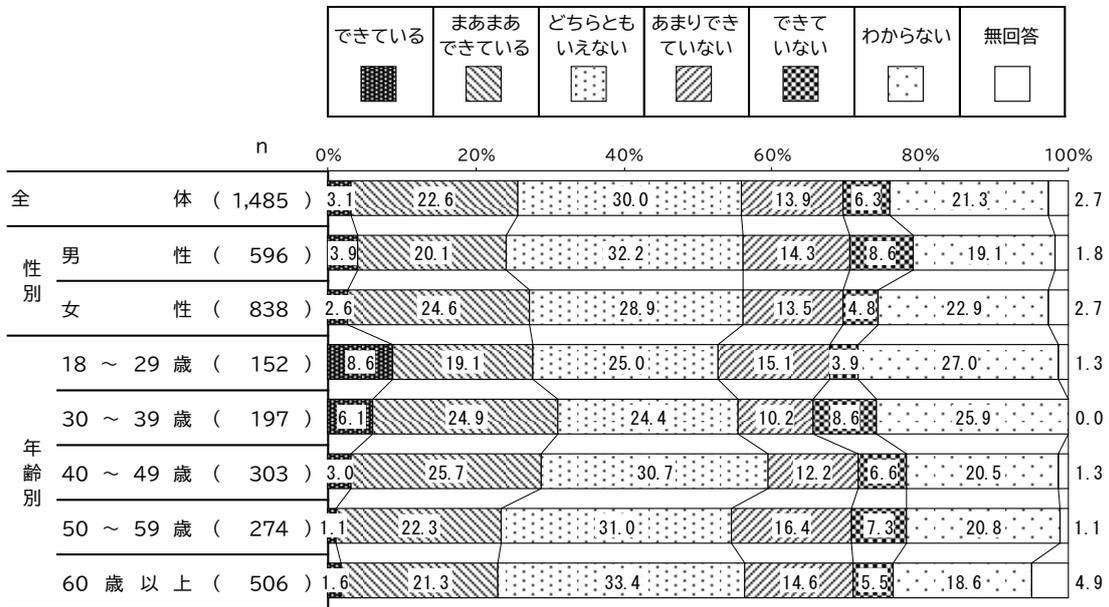


図Ⅲ-134 (17)～(19)でお尋ねした事項を総合的に見て、『人が集まる元気なまち』としての環境整備 (性別/年齢別)

(1-21) 「ふなばし」の魅力発見

性別で比較すると、「あまりできていない」と「できていない」を合わせた『できていないと思う人』は男性（22.9%）が女性（18.3%）より4.6ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「できている」と「まあまあできている」を合わせた『できていると思う人』は30～39歳が31.0%で最も高くなっている。

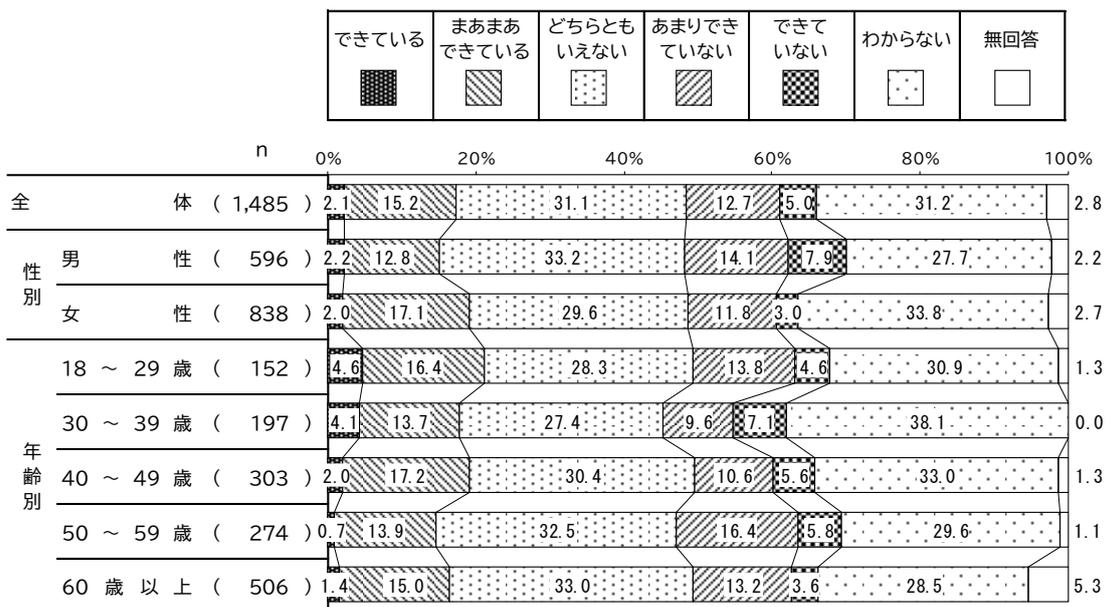


図Ⅲ-135 「ふなばし」の魅力発見（性別／年齢別）

(1-22) 地域活動の支援と仕組みづくり

性別で比較すると、「あまりできていない」と「できていない」を合わせた『できていないと思う人』は男性（22.0%）が女性（14.8%）より7.2ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『できていると思う人』は18～29歳が21.0%で最も高くなっている。

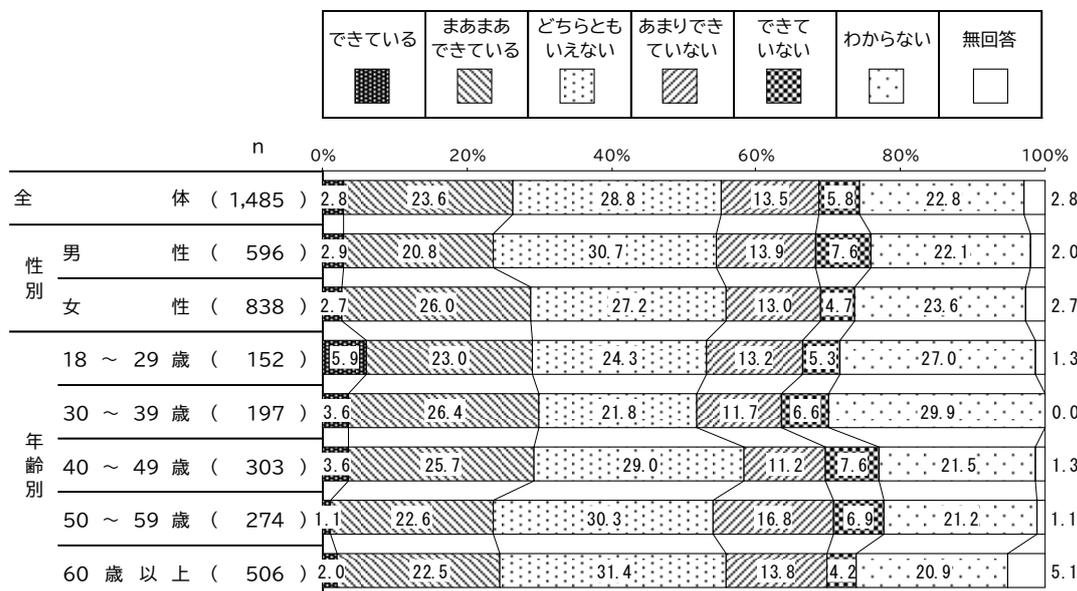


図Ⅲ-136 地域活動の支援と仕組みづくり（性別／年齢別）

(1-23) 市内外への「ふなばし」情報の発信

性別で比較すると、「できている」と「まあまあできている」を合わせた『できていると思う人』は女性(28.7%)が男性(23.7%)より5.0ポイント高くなっている。

年齢別にみると、『できていると思う人』は30~39歳が30.0%で最も高くなっている。

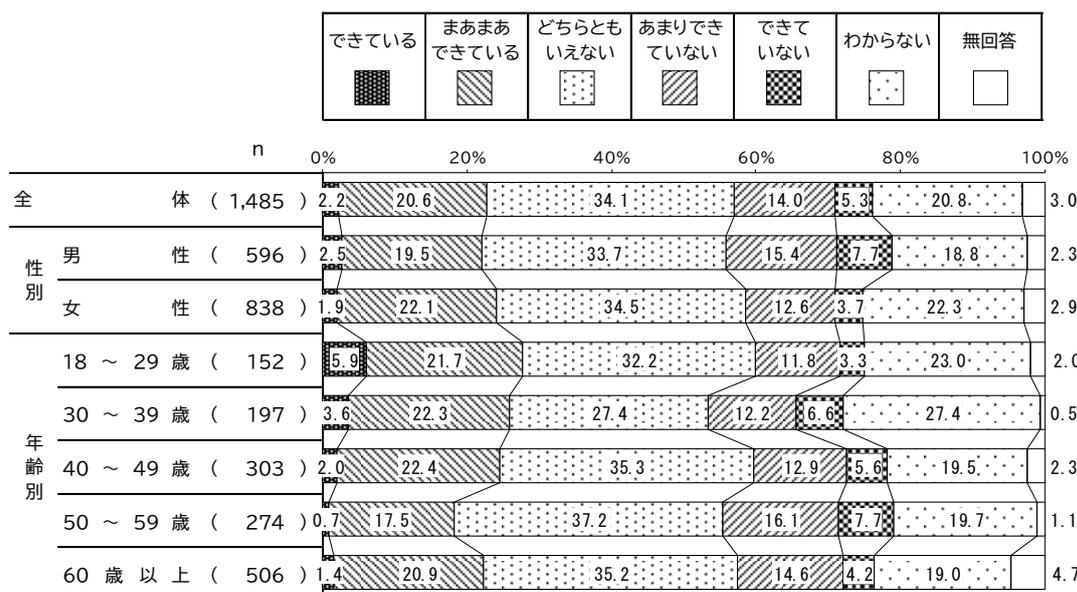


図Ⅲ-137 市内外への「ふなばし」情報の発信(性別/年齢別)

(1-24) (21)~(23)でお尋ねした事項を総合的に見て、『市民に愛され、育まれるまち』としての環境整備

性別で比較すると、「あまりできていない」と「できていない」を合わせた『できていないと思う人』は男性(23.1%)が女性(16.3%)より6.8ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「できている」と「まあまあできている」を合わせた『できていると思う人』は18~29歳が27.6%で最も高くなっている。



図Ⅲ-138 (21)~(23)でお尋ねした事項を総合的に見て、『市民に愛され、育まれるまち』としての環境整備(性別/年齢別)

(2) 「めざすまちの姿」概観

「できている」と「まあまあできている」を合わせた『できていると思う人』は、「保健・医療・福祉の体制づくり」がほとんどの地区で1位

「めざすまちの姿」の実現状況について居住地区別に上位項目をみると、「できている」と「まあまあできている」を合わせた『できていると思う人』の割合は「保健・医療・福祉の体制づくり」が北部地区を除く全ての地区で1位となっており、北部地区では2位となっている。また、「自然とふれあう場づくり」は北部地区で1位、西部地区、中部地区、東部地区で2位、南部地区で3位となっている。「暮らしやすいまちづくり」は南部地区で2位、西部地区、中部地区、東部地区で3位となっている。なお、北部地区では「(10)～(12)でお尋ねした事項を総合的に見て、『未来へつなぐ恵み豊かな環境のまち』としての環境整備」が3位となっている。

全体 (n= 1,485)	(%)	南部地区 (n= 270)	(%)	西部地区 (n= 360)	(%)
保健・医療・福祉の体制づくり	47.9	保健・医療・福祉の体制づくり	47.8	保健・医療・福祉の体制づくり	48.4
自然とふれあう場づくり	44.9	暮らしやすいまちづくり	41.5	自然とふれあう場づくり	45.8
暮らしやすいまちづくり	39.0	自然とふれあう場づくり	38.5	暮らしやすいまちづくり	42.8
環境負荷の少ないまちづくり	34.3	(5)～(8)でお尋ねした事項を総合的に見て、『安心して暮らせるまち』としての環境整備	32.3	(10)～(12)でお尋ねした事項を総合的に見て、『未来へつなぐ恵み豊かな環境のまち』としての環境整備	35.6
(10)～(12)でお尋ねした事項を総合的に見て、『未来へつなぐ恵み豊かな環境のまち』としての環境整備	34.2	災害時の情報収集・伝達体制の整備	32.2	環境負荷の少ないまちづくり	34.5
(5)～(8)でお尋ねした事項を総合的に見て、『安心して暮らせるまち』としての環境整備	32.8	快適さアップ	32.2	(5)～(8)でお尋ねした事項を総合的に見て、『安心して暮らせるまち』としての環境整備	33.1

中部地区 (n= 179)	(%)	東部地区 (n= 385)	(%)	北部地区 (n= 234)	(%)
保健・医療・福祉の体制づくり	51.9	保健・医療・福祉の体制づくり	48.1	自然とふれあう場づくり	52.6
自然とふれあう場づくり	49.1	自然とふれあう場づくり	44.4	保健・医療・福祉の体制づくり	45.7
暮らしやすいまちづくり	42.4	暮らしやすいまちづくり	35.6	(10)～(12)でお尋ねした事項を総合的に見て、『未来へつなぐ恵み豊かな環境のまち』としての環境整備	41.0
(5)～(8)でお尋ねした事項を総合的に見て、『安心して暮らせるまち』としての環境整備	36.4	環境負荷の少ないまちづくり	33.8	環境にやさしい暮らし方の普及	40.2
環境負荷の少ないまちづくり	36.3	(10)～(12)でお尋ねした事項を総合的に見て、『未来へつなぐ恵み豊かな環境のまち』としての環境整備	32.7	環境負荷の少ないまちづくり	37.6
(10)～(12)でお尋ねした事項を総合的に見て、『未来へつなぐ恵み豊かな環境のまち』としての環境整備	36.3	災害時の情報収集・伝達体制の整備	32.5	暮らしやすいまちづくり	35.9

表Ⅲ－28 「めざすまちの姿」の実現状況（居住地区別上位6項目）

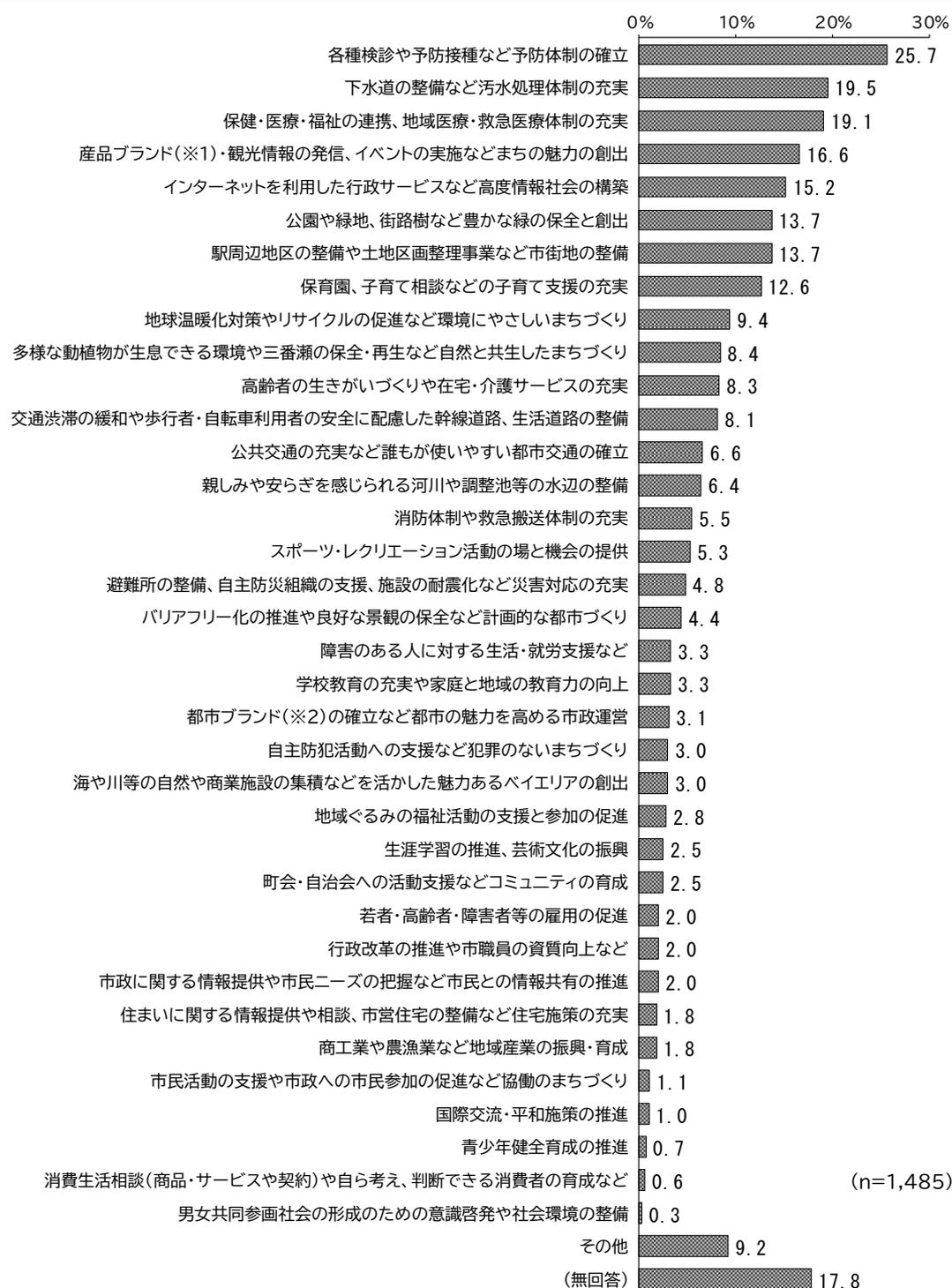
7. 「市の施策」について

(1) ここ数年でよくなったもの

よくなったものは、「各種検診や予防接種など予防体制の確立」が最も高く2割超

【問27】次ページの表に記載する市の施策（37項目）について、どのように感じていますか。

① ここ数年でよくなったもの（5つまで選んで番号を記入してください）



(※1)産品ブランドとは、農水畜産品をはじめとした「船橋発」の産品のことです。

(※2)都市ブランドとは、市民や市外の人々が共に抱く「〇〇市らしさ」、良好なイメージのことです。

図Ⅲ-139 ここ数年でよくなったもの

37項目の市の施策について、「ここ数年でよくなったもの」は何か聞いたところ、「各種検診や予防接種など予防体制の確立」が25.7%で最も高く、次いで「下水道の整備など汚水処理体制の充実」(19.5%)、「保健・医療・福祉の連携、地域医療・救急医療体制の充実」(19.1%)、「産品ブランド・観光情報の発信、イベントの実施などまちの魅力の創出」(16.6%)、「インターネットを利用した行政サービスなど高度情報社会の構築」(15.2%)、「公園や緑地、街路樹など豊かな緑の保全と創出」、「駅周辺地区の整備や土地区画整理事業など市街地の整備」(ともに13.7%)、「保育園、子育て相談などの子育て支援の充実」(12.6%)の順で上位8項目が挙げられている。

表Ⅲ－２９ 「その他」の内訳

「その他」の内容	件数
迷惑な駅周辺のキャッチが減った	3
スマートフォンアプリを利用した情報発信	2
コロナワクチンの予約システムの使いやすさや接種の早さ	2
その他	21
興味がない	2
よくなったものは特にない・実感できない	34
わからない	54
(記載なし)	21
合 計	139

【性別／年齢別】（上位8項目）

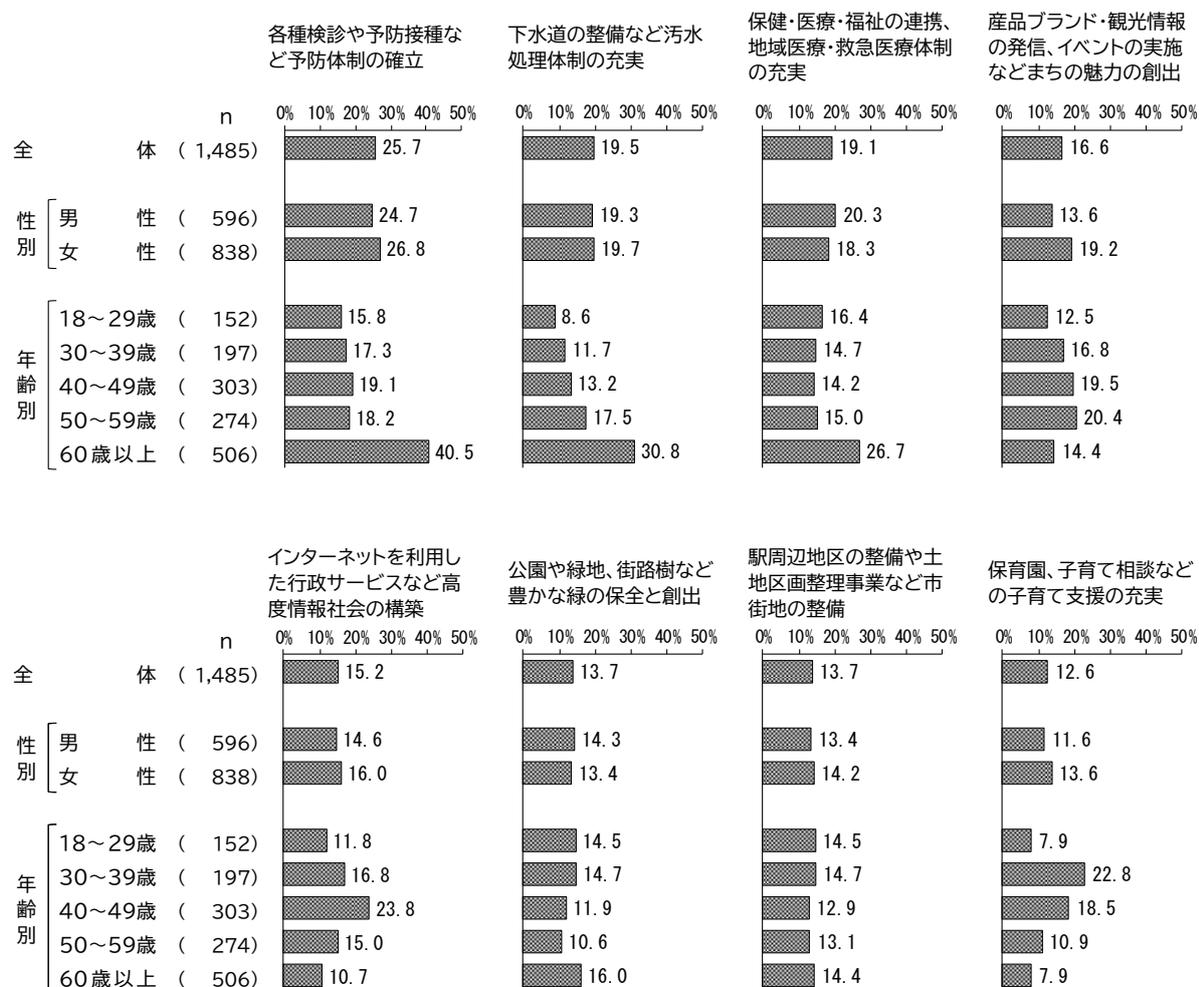
性別で比較すると、「各種検診や予防接種など予防体制の確立」、「産品ブランド・観光情報の発信、イベントの実施などまちの魅力の創出」では、女性（26.8%、19.2%）の方が男性（24.7%、13.6%）の割合より各々2.1、5.6ポイント高くなっている。

「保健・医療・福祉の連携、地域医療・救急医療体制の充実」では、男性（20.3%）が女性（18.3%）より2.0ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「各種検診や予防接種など予防体制の確立」は、最も高い60歳以上（40.5%）と最も低い18～29歳（15.8%）の差が24.7ポイントとなっている。

「下水道の整備など污水处理体制の充実」では、年齢が上がるに従い割合が高くなっており、最も高い60歳以上（30.8%）と最も低い18～29歳（8.6%）との差は22.2ポイントとなっている。

「インターネットを利用した行政サービスなど高度情報社会の構築」では40～49歳（23.8%）の割合が他の年齢に比べ高く、「保育園、子育て相談などの子育て支援の充実」では30～39歳（22.8%）の割合が他の年齢に比べ高くなっている。



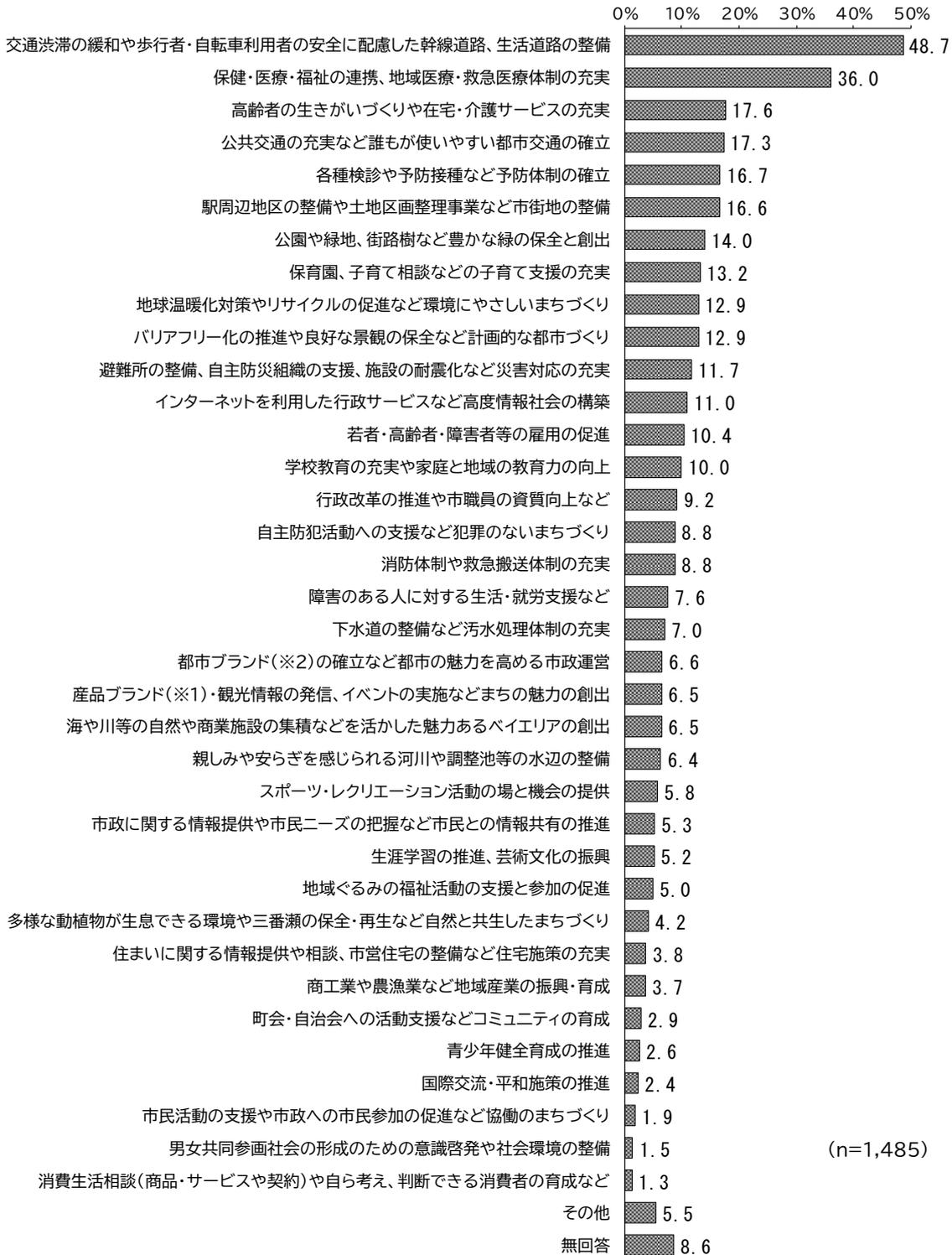
図Ⅲ－140 ここ数年でよくなったもの（性別／年齢別）（上位8項目）

(2) 力を入れるべきもの

力を入れるべきものは、「交通渋滞の緩和や歩行者・自転車利用者の安全に配慮した幹線道路、生活道路の整備」が5割弱

【問27】次ページの表に記載する市の施策（37項目）について、どのように感じていますか。

② 力を入れるべきもの（5つまで選んで番号を記入してください）



(※1)産品ブランドとは、農水畜産品をはじめとした「船橋発」の産品のことです。

(※2)都市ブランドとは、市民や市外の人々が共通に抱く「〇〇市らしさ」、良好なイメージのことです。

図Ⅲ-141 力を入れるべきもの

37 項目の市の施策について、「力を入れるべきもの」は何か聞いたところ、「交通渋滞の緩和や歩行者・自転車利用者の安全に配慮した幹線道路、生活道路の整備」が 48.7%で最も高く 5 割弱となっている。次いで「保健・医療・福祉の連携、地域医療・救急医療体制の充実」(36.0%)、「高齢者の生きがいづくりや在宅・介護サービスの充実」(17.6%)、「公共交通の充実など誰もが使いやすい都市交通の確立」(17.3%)、「各種検診や予防接種など予防体制の確立」(16.7%)、「駅周辺地区の整備や土地区画整理事業など市街地の整備」(16.6%)、「公園や緑地、街路樹など豊かな緑の保全と創出」(14.0%)、「保育園、子育て相談などの子育て支援の充実」(13.2%) の順で上位 8 項目が挙がっている。

表Ⅲ－30 「その他」の内訳

「その他」の内容	件数
都市計画・まちづくり・道路に関すること	26
コロナワクチン（予約、確保数、遅延）に関すること	8
支援・助成（子ども、学生）に関すること	7
ごみ（回収数など）に関すること	7
病院・医療体制に関すること	5
環境美化（ポイ捨て、河川投棄、植栽管理など）に関すること	4
マナー（路上喫煙）に関すること	3
ICT（デジタル化の推進など）に関すること	3
行政サービス（窓口）に関すること	2
災害対策に関すること	2
その他	14
特にない	4
わからない	8
（記載なし）	6
合 計	99

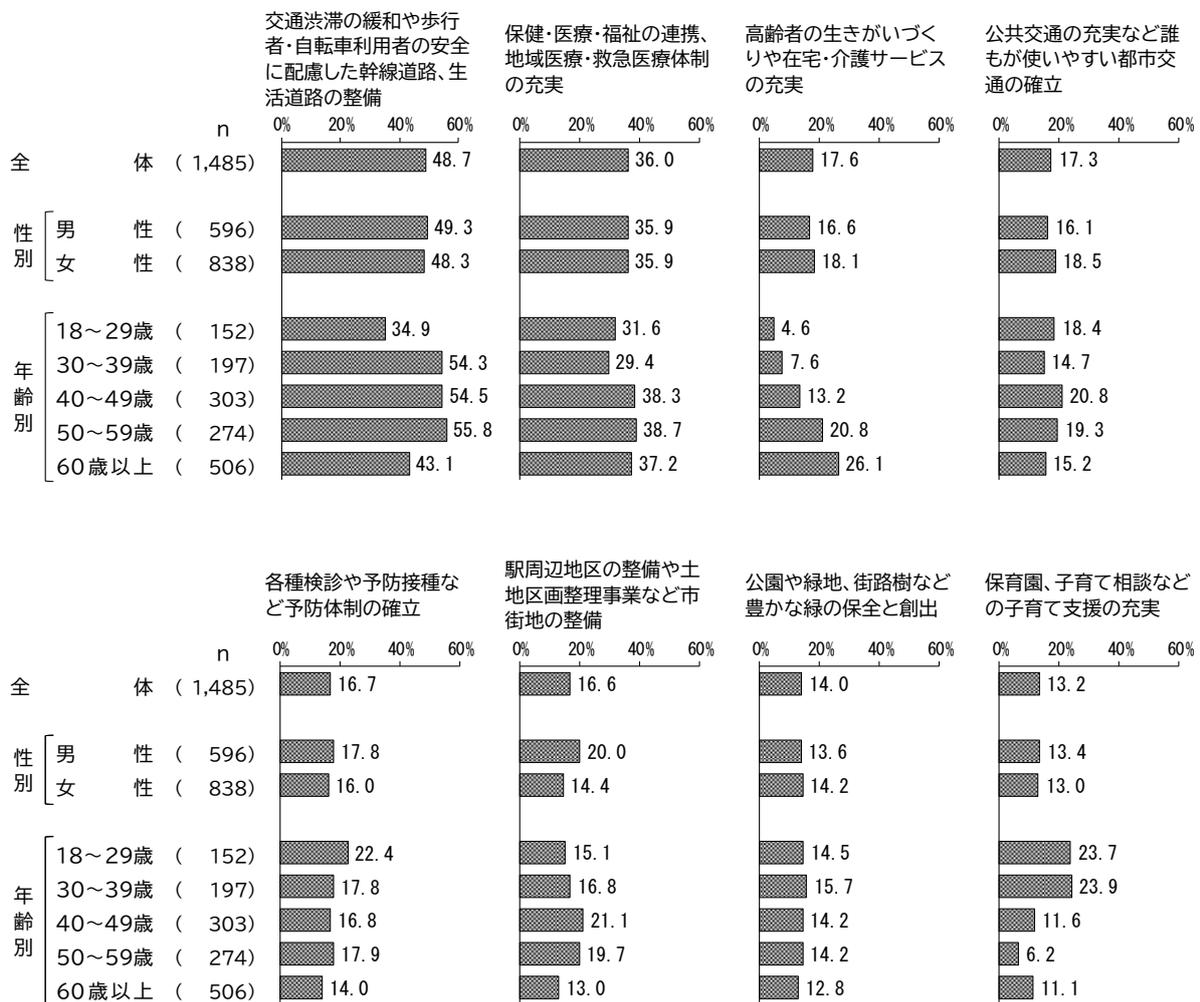
【性別／年齢別】（上位8項目）

性別で比較すると、「公共交通の充実など誰もが使いやすい都市交通の確立」では、女性（18.5％）の方が男性（16.1％）の割合より2.4ポイント高くなっている。

「駅周辺地区の整備や土地区画整理事業など市街地の整備」では、男性（20.0％）が女性（14.4％）より5.6ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「高齢者の生きがいづくりや在宅・介護サービスの充実」では、年齢が上がるに従って割合が高くなっており、最も高い60歳以上（26.1％）と最も低い18～29歳（4.6％）の差は、21.5ポイントとなっている。

「保育園、子育て相談などの子育て支援の充実」では、30～39歳（23.9％）、18～29歳（23.7％）の割合が他の年齢に比べ高い。



図Ⅲ－142 力を入れるべきもの（性別／年齢別）（上位8項目）

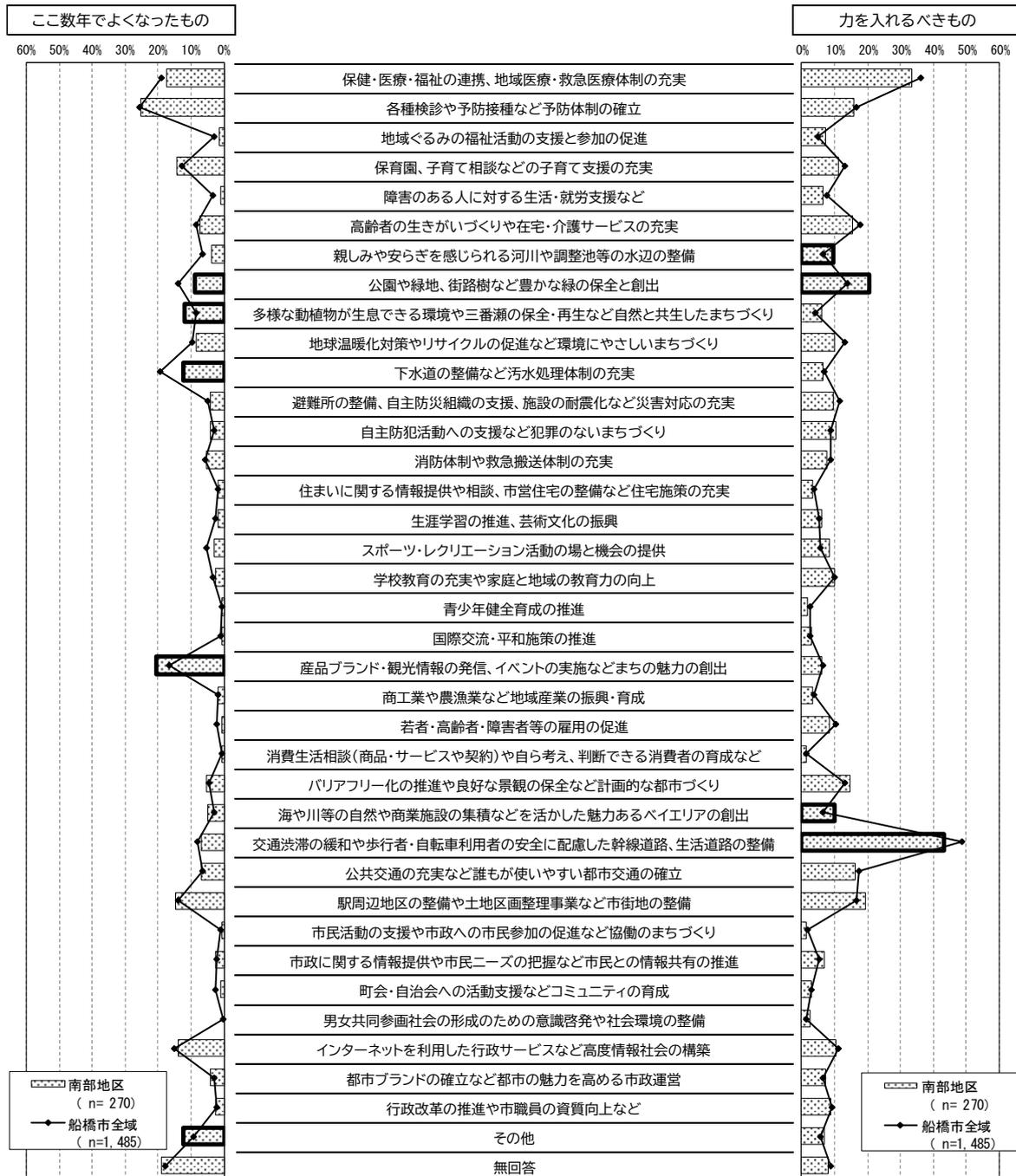
(3) 「市の施策」地区別分析

船橋市全域と比較し、3%以上の開きがあり、差が大きい上位3つまでの施策を記載・分析する。

【南部地区】

船橋市全域と比べ、「ここ数年でよくなったもの」では、「産品ブランド・観光情報の発信、イベントの実施などまちの魅力の創出」が高く、「公園や緑地、街路樹など豊かな緑の保全と創出」、「下水道の整備など汚水処理体制の充実」が低くなっている。

船橋市全域と比べ、「力を入れるべきもの」では、「公園や緑地、街路樹など豊かな緑の保全と創出」、「海や川等の自然や商業施設の集積などを活かした魅力あるベイエリアの創出」が高く、「交通渋滞の緩和や歩行者・自転車利用者の安全に配慮した幹線道路、生活道路の整備」が低くなっている。



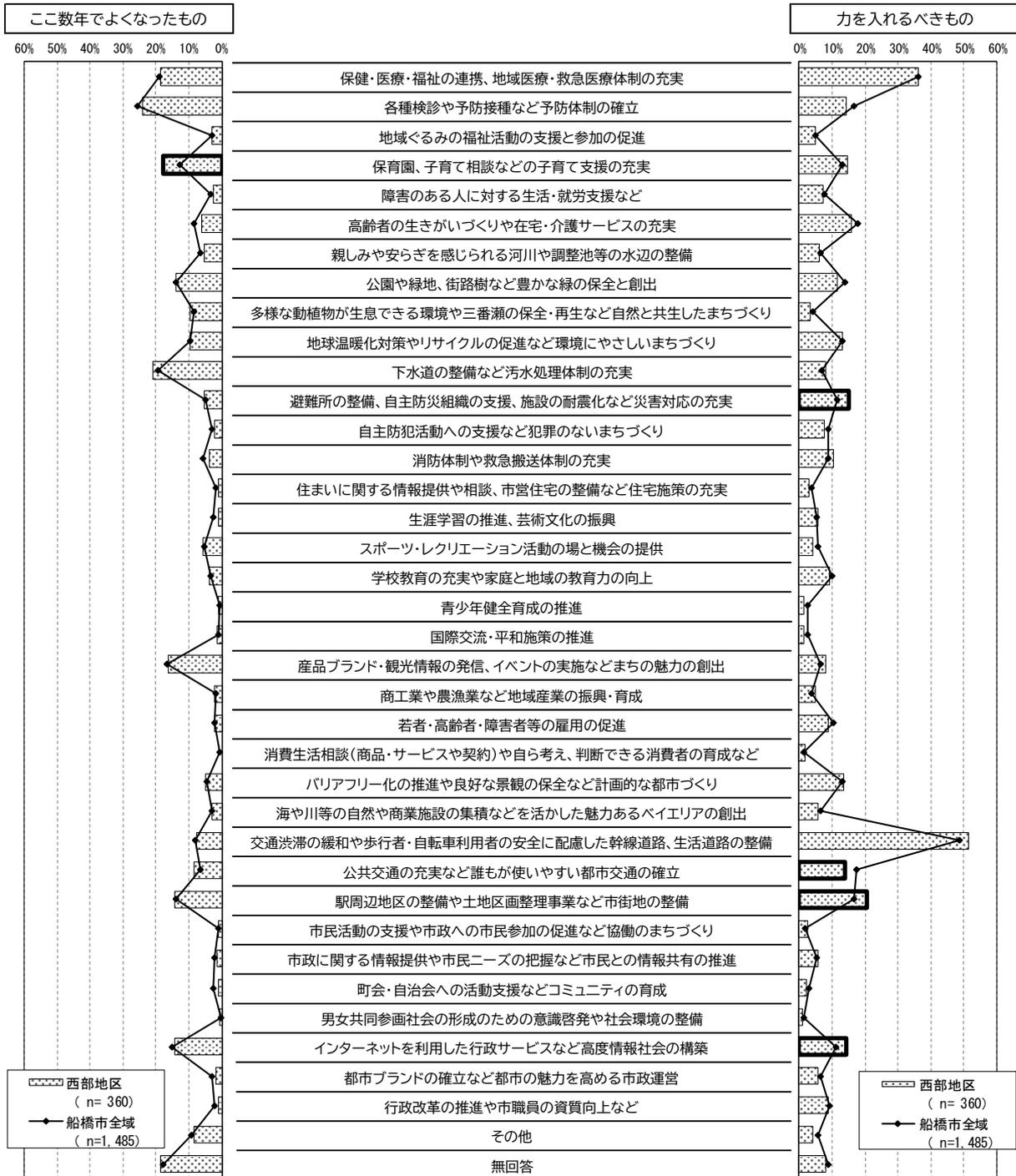
※太い線の棒グラフは、船橋市全域との差が3.0%以上

図Ⅲ-143 「市の施策」地区別分析（南部地区）

【西部地区】

船橋市全域と比べ、「ここ数年でよくなったもの」では、「保育園、子育て相談などの子育て支援の充実」が高くなっているが、特に低くなっている施策はない。

船橋市全域と比べ、「力を入れるべきもの」では、「避難所の整備、自主防災組織の支援、施設の耐震化など災害対応の充実」、「駅周辺地区の整備や土地区画整理事業など市街地の整備」が高く、「公共交通の充実など誰もが使いやすい都市交通の確立」が低くなっている。



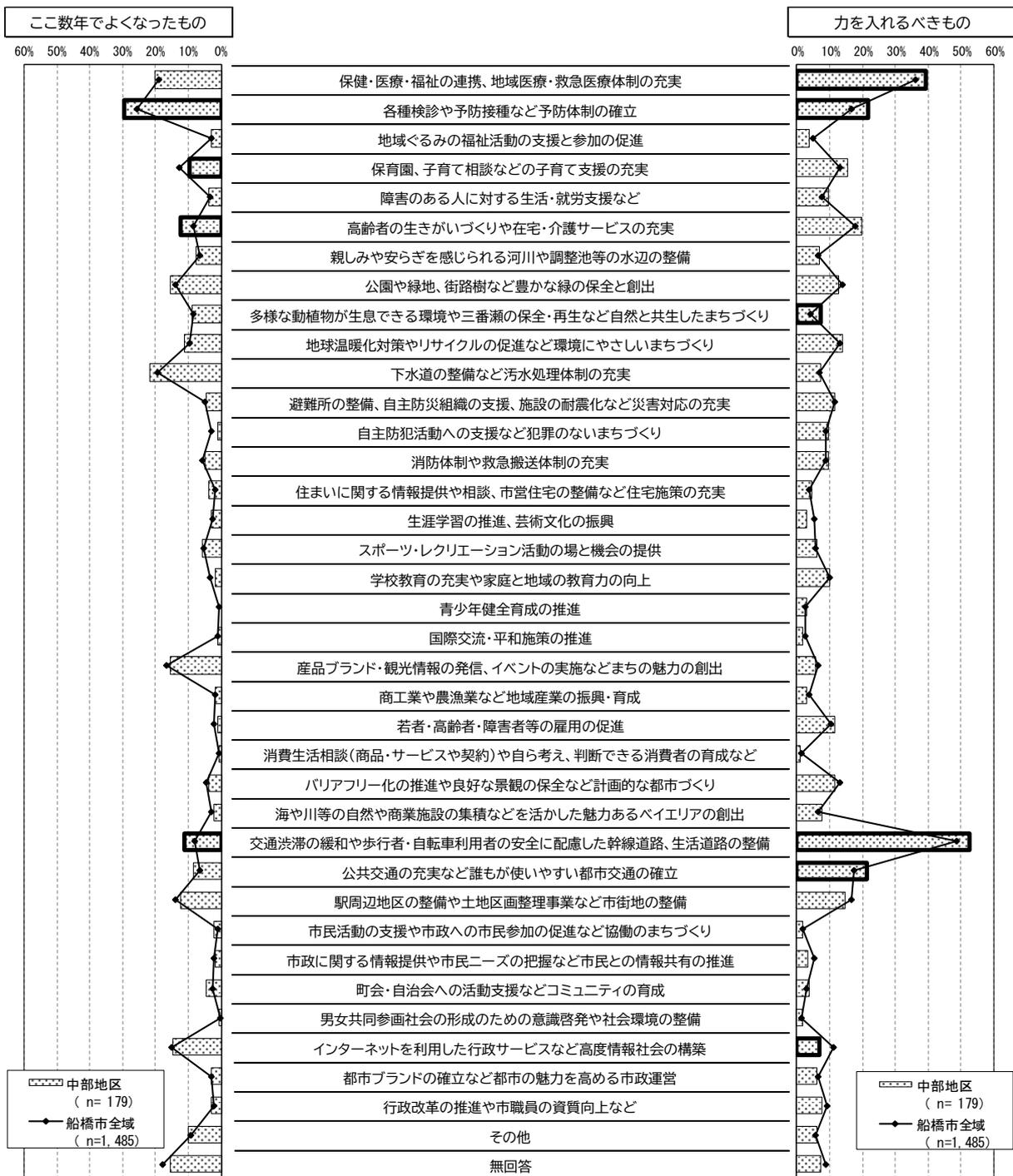
※太い線の棒グラフは、船橋市全域との差が3.0%以上

図Ⅲ-144 「市の施策」地区別分析(西部地区)

【中部地区】

船橋市全域と比べ、「ここ数年でよくなったもの」では、「各種検診や予防接種など予防体制の確立」、「高齢者の生きがいづくりや在宅・介護サービスの充実」、「交通渋滞の緩和や歩行者・自転車利用者の安全に配慮した幹線道路、生活道路の整備」が高く、「保育園、子育て相談などの子育て支援の充実」が低くなっている。

船橋市全域と比べ、「力を入れるべきもの」では、「各種検診や予防接種など予防体制の確立」、「公共交通の充実など誰もが使いやすい都市交通の確立」が高く、「インターネットを利用した行政サービスなど高度情報社会の構築」が低くなっている。



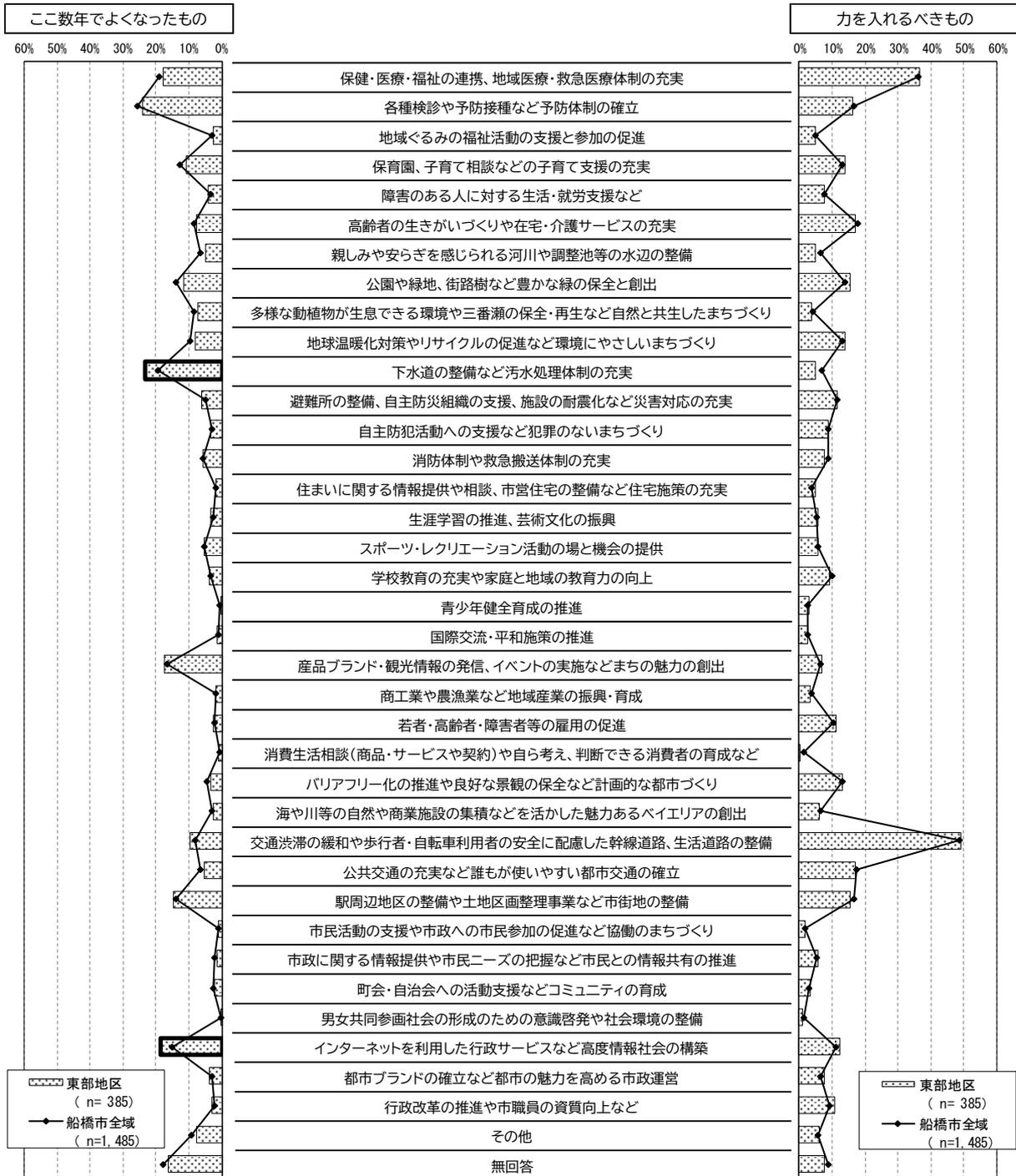
※太い線の棒グラフは、船橋市全域との差が3.0%以上

図Ⅲ-145 「市の施策」地区別分析(中部地区)

【東部地区】

船橋市全域と比べ、「ここ数年でよくなったもの」では、「下水道の整備など污水处理体制の充実」、「インターネットを利用した行政サービスなど高度情報社会の構築」が高くなっているが、特に低くなっている施策はない。

船橋市全域と比べ、「力を入れるべきもの」では、特に高くなっている施策、特に低くなっている施策はない。



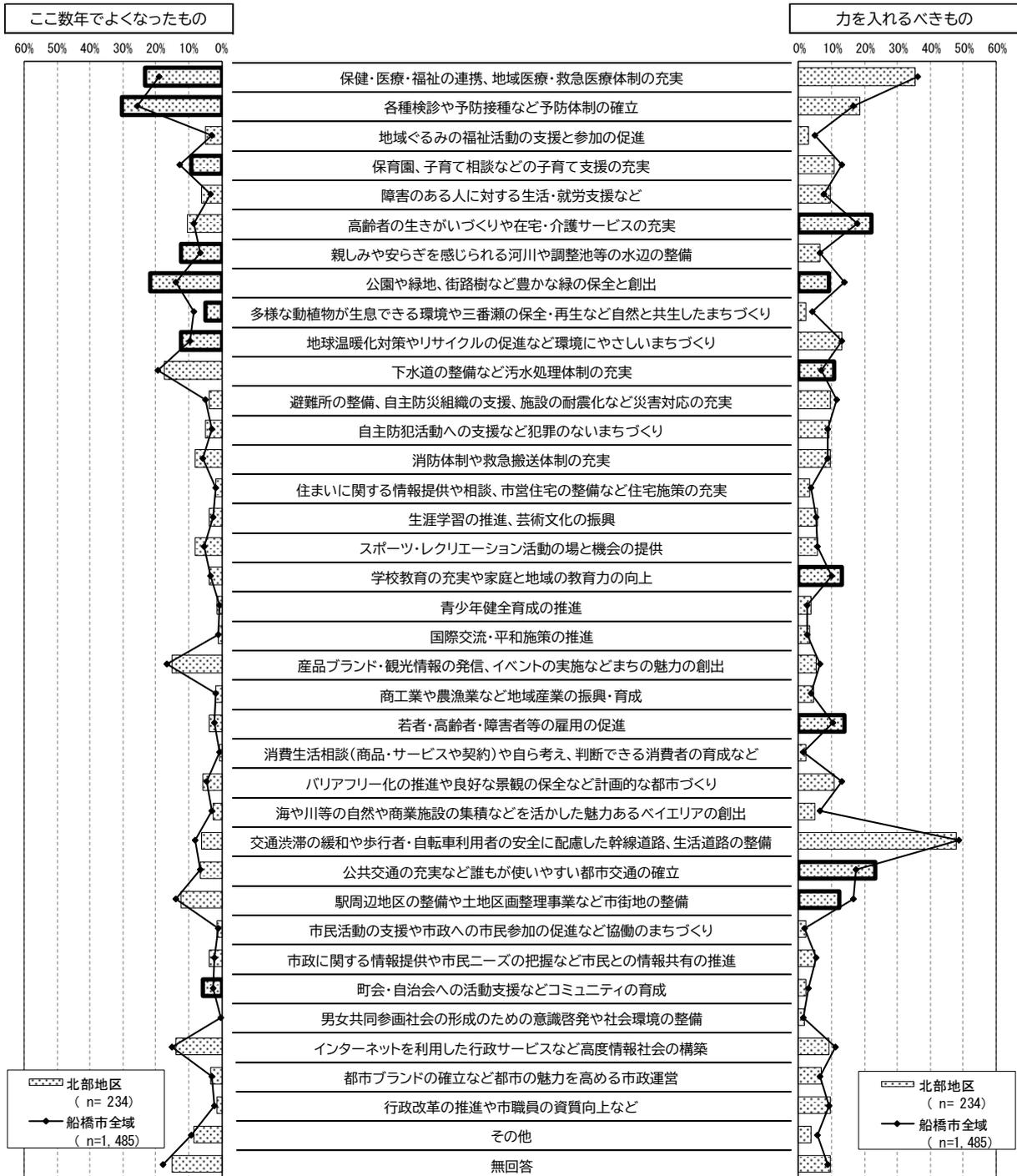
※太い線の棒グラフは、船橋市全域との差が3.0%以上

図Ⅲ-146 「市の施策」地区別分析(東部地区)

【北部地区】

船橋市全域と比べ、「ここ数年でよくなったもの」では、「各種検診や予防接種など予防体制の確立」、「親しみや安らぎを感じられる河川や調整池等の水辺の整備」、「公園や緑地、街路樹など豊かな緑の保全と創出」が高くなっている。

船橋市全域と比べ、「力を入れるべきもの」では、「高齢者の生きがいづくりや在宅・介護サービスの充実」、「公共交通の充実など誰もが使いやすい都市交通の確立」が高く、「公園や緑地、街路樹など豊かな緑の保全と創出」が低くなっている。



※太い線の棒グラフは、船橋市全域との差が3.0%以上

図Ⅲ-147 「市の施策」地区別分析(北部地区)

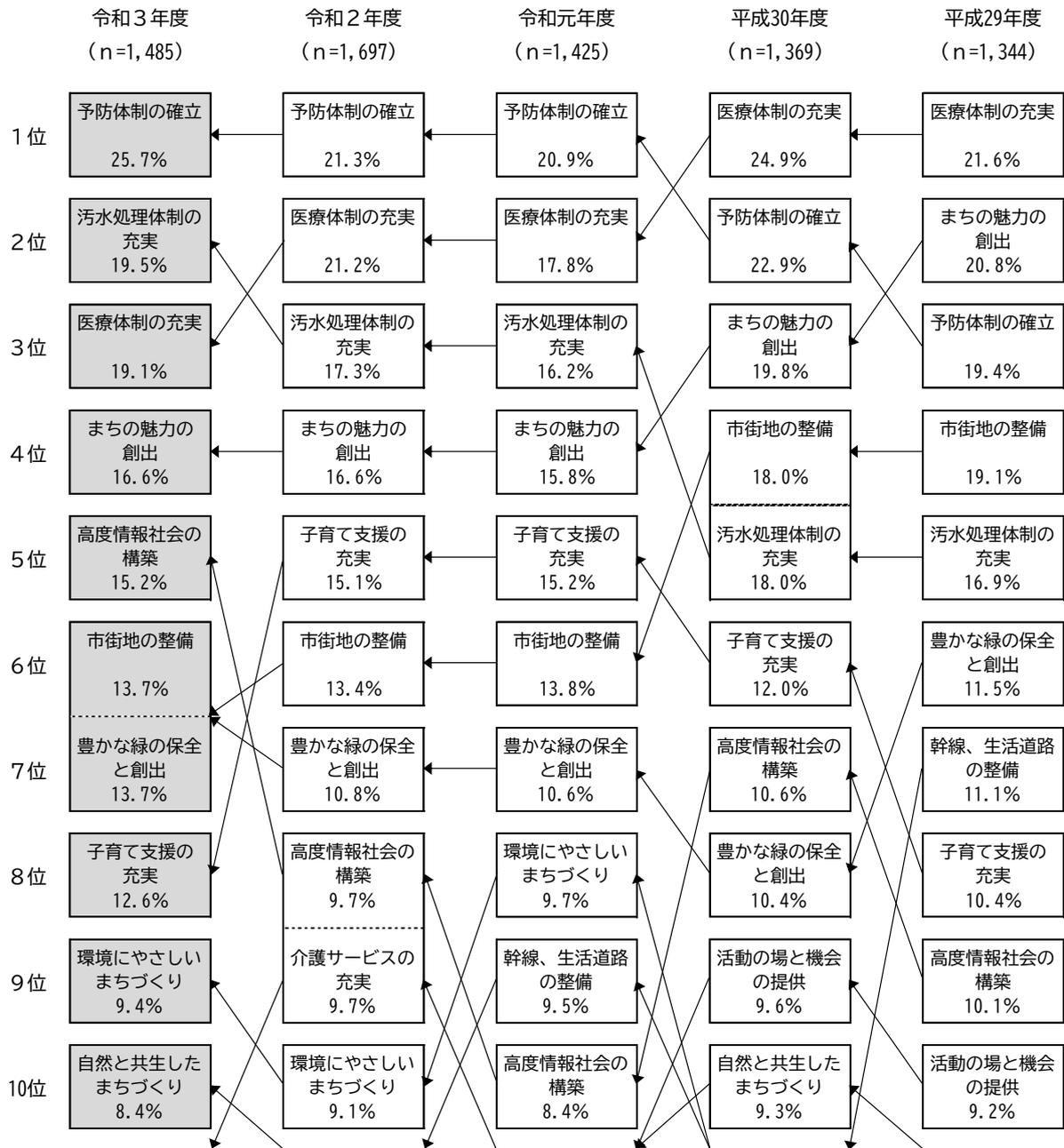
(4) 「市の施策」概観

ここ数年でよくなったものとして、「予防体制の確立」が1位、「污水处理体制の充実」が2位、「医療体制の充実」が3位となり、「医療、健康」に対する施策を評価する意見が多い

市の施策において「ここ数年でよくなったもの」の上位10項目を時系列で比較すると、令和2年度と順位の入替わりもなく継続して「【予防体制の確立】各種検診や予防接種など予防体制の確立」が1位、順位は1つ下がったが「【医療体制の充実】保健・医療・福祉の連携、地域医療・救急医療体制の充実」が3位となっており、「医療、健康」に対する評価が続いている。

2位は令和2年度に3位だった「【污水处理体制の充実】下水道の整備など污水处理体制の充実」、4位は令和2年度と順位の入替わりはなく「【まちの魅力の創出】産品ブランド・観光情報の発信、イベントの実施などまちの魅力の創出」、5位には令和2年度に8位だった「【高度情報社会の構築】インターネットを利用した行政サービスなど高度情報社会の構築」が挙げられている。

令和2年度の11位以下から上位10項目に入ってきた施策としては、10位の「【自然と共生したまちづくり】多様な動植物が生息できる環境や三番瀬の保全・再生など自然と共生したまちづくり」があり、一方、令和3年度に11位以下に順位を下げた施策には「【介護サービスの充実】高齢者の生きがいつくりや在宅・介護サービスの充実」がある。



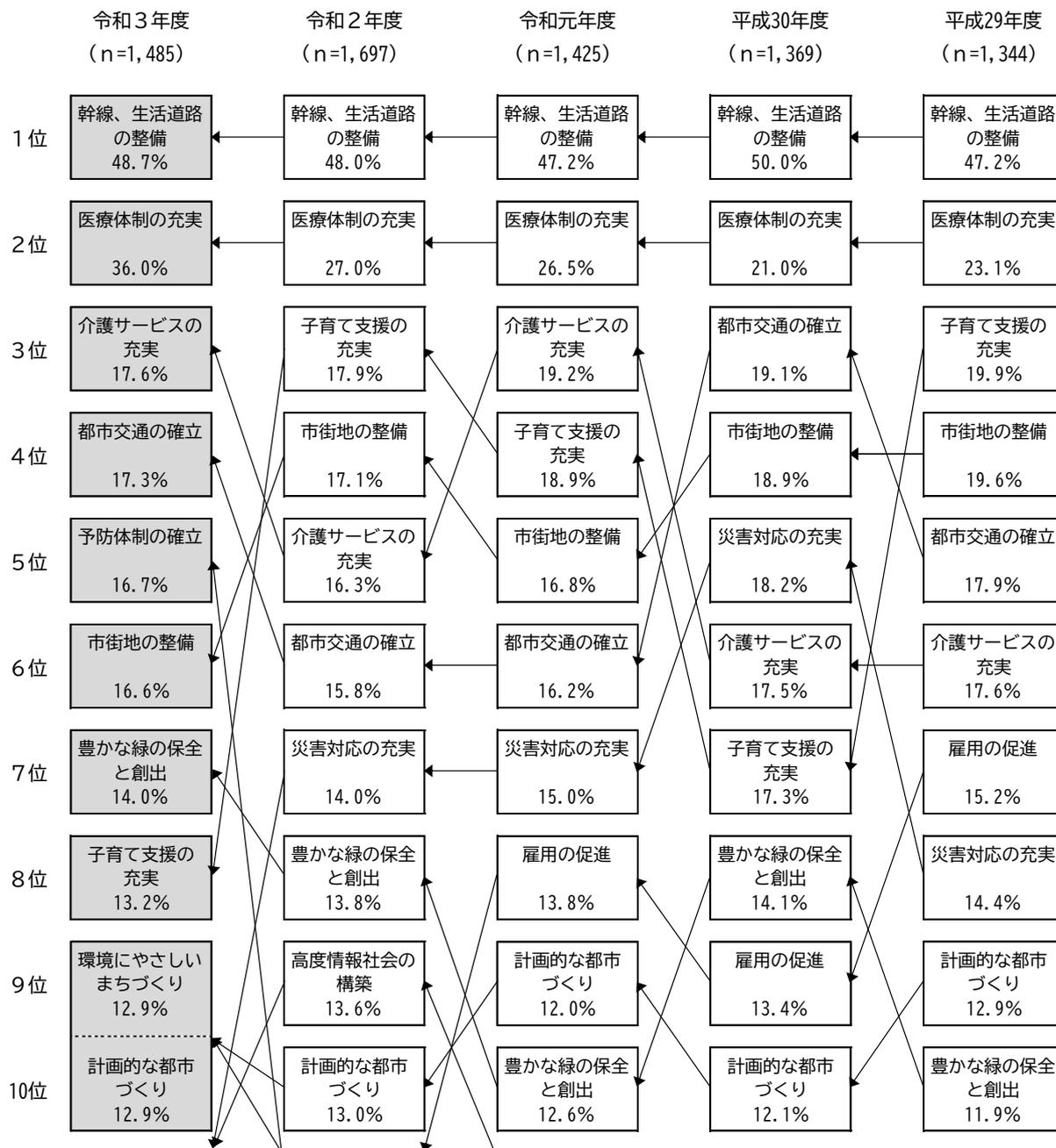
図Ⅲ－148 ここ数年でよくなったもの（時系列比較）（上位10項目）

力を入れるべきものとして、「幹線、生活道路の整備」が10年連続で1位、「医療体制の充実」が5年連続で2位、3位には順位を上げた「介護サービスの充実」が挙げられている

市の施策において「力を入れるべきもの」の上位10項目を時系列で比較すると、「【幹線、生活道路の整備】交通渋滞の緩和や歩行者・自転車利用者の安全に配慮した幹線道路、生活道路の整備」が平成24年度から10年連続で1位、「【医療体制の充実】保健・医療・福祉の連携、地域医療・救急医療体制の充実」が平成29年度から5年連続で2位となっている。

3位には令和2年度の5位から順位を上げた「【介護サービスの充実】高齢者の生きがいくくりや在宅・介護サービスの充実」が入り、4位には令和2年度の6位から順位を上げた「【都市交通の確立】公共交通の充実など誰もが使いやすい都市交通の確立」が入っている。5位には令和2年度の11位以下から順位を上げた「【予防体制の確立】各種検診や予防接種など予防体制の確立」が入っている。

その他、令和2年度の11位以下から上位10項目に入ってきた施策としては、9位の「【環境にやさしいまちづくり】地球温暖化対策やリサイクルの促進など環境にやさしいまちづくり」があり、一方、令和3年度に11位以下に順位を下げた施策には「【災害対応の充実】避難所の整備、自主防災組織の支援、施設の耐震化など災害対応の充実」と「【高度情報社会の構築】インターネットを利用した行政サービスなど高度情報社会の構築」がある。



図Ⅲ-149 力を入れるべきもの（時系列比較）（上位10項目）

8. 自由意見

(1) 自由意見のまとめ

自由意見については、711人から回答があり、回答内容を下表のとおり分類したところ、1,346件の意見が寄せられた。

1人の回答者が複数の意見を記入している場合は、各々の項目で1件、明確に良い意見と悪い意見が併記されている場合には、同じ項目で2件としている。

回答内容を分類し集計した結果は以下のとおりである。

表Ⅲ－31 自由意見のまとめ

項目	件数	構成比 (%)
道路・渋滞・歩道	252	18.7
コロナ対策	156	11.6
治安・災害	83	6.2
市役所・フェイス・議会	68	5.1
保育・子育て	66	4.9
税金・財政・政策等	65	4.8
教育・文化・スポーツ	60	4.5
広報・HP・SNS	58	4.3
公園	58	4.3
商工業・農業・イベント	44	3.3
病院・医療	43	3.2
交通機関	42	3.1
まちづくり・都市計画	40	3.0
自然・環境	37	2.7
自動車・自転車	36	2.7
アンケート関連	35	2.6
ごみ・リサイクル	34	2.5
学区・学校	27	2.0
高齢者対策	19	1.4
介護・福祉	19	1.4
雨水・上下水道	16	1.2
ペット・動物・虫	15	1.1
たばこ	13	1.0
地域社会・自治会	12	0.9
雇用・就労支援	7	0.5
国際社会	6	0.4
空き家	5	0.4
その他	30	2.2
合計	1,346	100.0

(2) 自由意見の抜粋

自由意見の回答内容を分類した項目ごとに、主な意見を抜粋して示す。

【道路・渋滞・歩道】

- ・ 歩道が狭い、もしくは無い道路が多いように思います。それなのに交通量が多く、スピードを出す車もけっこういて、ベビーカーや高齢者、体の不自由な方などは特に怖いのではないのでしょうか。(女性・30～39歳)
- ・ 相変わらず狭い道路が多く、車でも歩行者でも危険な所が多い。狭く危険な道路は力強くセットバックを押し進め拡張すべき。(男性・40～49歳)
- ・ 一方通行の道が船橋市は多いので、いつも車で行くと混雑している。そのような道に限って道路がガタガタしているので、車だと運転しにくいです。船橋市の中心部だけではなく、離れたところも誰もが使いやすい道路整備を行ってほしいです。(女性・18～29歳)
- ・ 道路行政改善を求めます。木下街道の歩道を歩いてみてください。高齢者(車イス)、ベビーカーで動けない。(男性・60歳以上)
- ・ 道路、特に国道14号線の渋滞がひどい。道路が細いところが多く、歩行者が歩きにくく車は通りにくい道が多い。道路を広げる事が決まり、立ち退き等でみんな一步下がったのになかなか広げる事が進んでいないので、早くやってほしい。(女性・30～39歳)
- ・ 自転車で通勤していますが、道路のまわりの草が大きくなり、草にぶつかり車にひかれそうになります。早めに何とかして頂きたいと常々感じています。もともと自転車は車道を走らなければなりません。道路が狭いのに車の量も多く、危険だと思います。(女性・60歳以上)
- ・ 自転車用レーンなども無い所が多く、車と自転車がギリギリで走行するしかなく、子ども達も事故に巻き込まれやすい。大通りの渋滞をさけるために、車が通学路に流れてくるため、かなり危険です。見ていて怖いです。自分の子どもも通学路で当て逃げされました。(女性・30～39歳)
- ・ JR津田沼駅を利用する事が多いのですが、習志野市側の道路の交差点は「歩者分離」の信号でとても安全で歩きやすいと思います。船橋市もせめて幹線道路の交差点で「歩者分離」を進めてもらえないのでしょうか。(女性・50～59歳)
- ・ 夏見周辺から駅までのバス道路の渋滞はどうにかならないのでしょうか。土・日・休日・雨の日などバスを利用すると渋滞は当たり前。道路拡張も難しいようですし、よりよい改善方法を期待しています。(女性・60歳以上)
- ・ 道路の整備ができておらず、下総中山駅前の道路を毎日歩くのが怖いです。狭い道なのに一方通行になっていなくて、車同士がよけるために歩道の中に入ってきて、歩道なのに車にひかれる心配をしながら歩かないといけないのは、東京都内に住んでいた時にはなかった事ですので困っております。(女性・40～49歳)
- ・ 市内全体的に道路事情が悪いと強く感じます。あらゆる所で渋滞がおきます。また、自転車、歩行者の立場としても、道が細かったり、段差が多かったりと、とても危険な箇所があり、安心して通行できません。子どもの通学路も同じなので、対応をお願いしたいです。(男性・50～59歳)

【コロナ対策】

- ・ 食品スーパーのコロナ感染防止を支援してもらいたい。市職員の方のワクチン接種は早くしてもらいたい。緊急事態宣言が出たら公民館の不急の活動は早く止めてほしい。(男性・60歳以上)

- ・今回、家族がワクチン接種難民となりました。各々近くの病院に電話して断られています。イオンとかみんなが足を運ぶ事が出来る場所を探し、毎週土・日だけでも接種できる環境にしてくれたら安心です。船橋に住んでいるのに船橋で受けられないなんて、税金を払っているのに行政の怠慢です。(男性・40～49歳)
- ・コロナに関しては早めにホテルを確保してくださるなど、動きが速くて良かったとは思いますが、千葉県内の感染者が多い地域にも関わらず、ワクチン接種の予約がなかなか取れず不安です。(女性・40～49歳)
- ・コロナワクチン接種情報が他の市に比べて少なく、不親切に感じられます。今後、3回目の接種も考えられてくると思いますので、他の区や市で行われている方法等、良策と思われることはどんどん取り入れてほしいと思います。(女性・50～59歳)
- ・コロナワクチンの予約ページが使いにくい。ほとんど電話ばかりで、ネット予約も見ていると受診したことがある人だけのところが多すぎる。受診歴関係なく予約できる一覧をつくる等、対応してほしい。(若年層ほどかかりつけ医が無いので)(女性・18～29歳)
- ・新型コロナウイルスワクチンに関して対応が遅いと思う。市の集団接種が行われる体制を整えるのが遅い。結果としてワクチンが減ったタイミングで市民に接種する数が減るという結果につながっている。また、市職員でのクラスターも発生しており、意識が低いように感じられた。(女性・30～39歳)
- ・ホームページのコロナワクチン情報の内容が7月中旬から3週間以上文面が一言も変わっていないなかった。市民の関心も高い内容だと思うが、情報が全く変わらないということは、市役所として市民に伝える情報が無かったということだろうか。毎週のワクチン入手予定や国との交渉内容など、提供する情報はあるのでは。(男性・50～59歳)
- ・船橋でも野戦病院的なものを作り、自宅待機者ゼロ、誰でも医療が受けられる体制をお願いしたいです。(女性・60歳以上)
- ・コロナ等の影響で失業や減給になり、生活水準が下がり、困窮している人が多くいると感じております。そういった人達に向けた政策・取り組み等があれば幸いです。(男性・18～29歳)
- ・コロナでいろいろ大変なのは分かりますが、子どもたちのスポーツをする場、郊外学習、修学旅行を少しでも良いので、代替案でも良いので奪わないでください。船橋市は他市より厳しいと感じています。(女性・40～49歳)
- ・学校開放はいつ頃になるのでしょうか。近隣(千葉市、浦安市、八千代市、白井市、鎌ヶ谷市など)は、すでに実施されていましたが、船橋市は一度も開放されること無く、今日に至ります。体力維持の為にサークル活動していますが、体力の低下を認めません。早目の開放をよろしくお願い致します。(女性・60歳以上)
- ・仕事で電車を利用するが、若者が感染を広げているという表現に違和感を覚える。小中高生や大学生のイベントを中止しないでほしい。(男性・18～29歳)

【治安・災害】

- ・2年前の台風19号の際、避難指示に基づき、独居老人を飯山満公民館に連れて行ったが、布団なし、毛布なし、バリアフリーなし、何もなし。これでは避難が長期化したら、災害関連死を助長するのではないかと思う。(男性・60歳以上)
- ・駅周辺のキャッチを減らす取組について、呼びかけ員を雇うのは良いと思うが、過料すら科さず意味がないのならやめるべき。呼びかけ員のほうがうるさくて邪魔です。(男性・18～29歳)
- ・夜になると、治安が悪くなるため、夜間のパトロール強化。(男性・30～39歳)
- ・夕方以降、船橋駅前の雰囲気が悪すぎる。キャッチセールス、呼び込み。毎日うんざりする。(女性・40～49歳)

- ・住んでいる地区によっては、防災放送等が全然聞こえません。以前から気になっていて市の方へ連絡させて頂きましたが、改善されませんでした。(女性・60歳以上)
- ・街灯や防犯カメラの整備。国道14号線より南は夜間暗くて女性が歩くのは危ない。(男性・40～49歳)
- ・駅前の治安が悪い(夜1人で歩いていると声をかけられる。若者にかまれる)ので、巡回するか防犯カメラを設置してほしい。(女性・30～39歳)
- ・水害対策は万全か、市役所入口の『海拔何m』を見るたび不安がよぎる。(男性・60歳以上)

【市役所・フェイス・議会】

- ・市役所の各課が整理整頓出来ていない。汚い。清潔感を感じない。デジタル化が進んでいない。人が多すぎ。新聞を読んでいる暇な人がいる。(男性・50～59歳)
- ・出張所の人員が多すぎる。来訪者よりもスタッフの方が多い。説明が分かりにくく、人によって内容が違うこともあるので教育を徹底してほしい。(女性・50～59歳)
- ・市役所の人丁寧にいろいろと対応してくれるので、ありがたいです。(家の前の道路や固定資産税など)(男性・40～49歳)
- ・船橋駅直結の施設フェイスで行政サービスを受けられることは助かっています。(女性・30～39歳)
- ・諸手続、申請等をネットで完結、あるいは少なくとも入力できるようにしてほしいです。(女性・40～49歳)
- ・人口減に対応できる行政のスリム化(議員数、職員数の大幅減、報酬等の見直し等)に早期に着手していくことが必要である。(男性・50～59歳)
- ・障害者が市の関連機関を訪問した際に利用できる「お助けカード」を各窓口に設置してほしい。(男性・60歳以上)
- ・市職員の大半が臨時職員という体制が行政としての機能に支障が生じていないのか、検証してもらいたい。(男性・50～59歳)
- ・平日は仕事のため役所の手続きができず、休日に役所系の手続きをしようとすると、かなりの人待ちで時間がかかる。休日手続きができる場所を増やしたり、平日の対応時間の延長をお願いしたい。(女性・50～59歳)
- ・市議会議員の数を減らすべき。人数だけ多く全く市民のためになっていない感じがする。(男性・40～49歳)

【保育・子育て】

- ・子育て世帯への支援やサービスの対象がひとり親や低所得世帯となっている。私たちだって決して楽をして稼いでいる訳ではなく、同じ子育て世帯なのに不公平。(女性・30～39歳)
- ・子育て世代が多いにもかかわらず、保育園が少ない、待機児童が多い(特に冬生まれで1歳児枠が少なく保育園に落ちた人が周りに多い)。子が未就学児であるが、小学校に入学した時に学童に入れるか今から不安しかない。(女性・30～39歳)
- ・東京都のように私立高校や私立大学の子どもへの支援をしてほしい。国の補助は低すぎる。母子家庭でも本当に収入が無い人でないと支援がなく、他の市より援助が劣っている。(女性・40～49歳)
- ・乳幼児受給券をカード化してほしい。すぐにボロボロになってしまいます。そして、医療受診料の無償化を希望します。(女性・30～39歳)

- ・ 先日、郵送で「子育て世帯生活支援特別給付金のご案内」が届きました。しかしながら、我が家はその対象ではありません。郵送代や印刷代は税金で賄われていると思います。マイナンバーやシステムなどをうまく活用して、必要ない家庭には郵送しないようには出来ないでしょうか。(男性・40～49歳)
- ・ HPが見づらく、子育てアプリは使いづらかったです。保育園の充実度などは近隣の市より高くありがたいです。(女性・30～39歳)
- ・ 子育て世代に対する制度を充実させてほしいです。国で行っている3才以上の保育園の無料化や、待機児童の解消だけでは人は集まらないと思います。子育て世代の減税や、医療費無料、公園の充実、小学校のクラスの人数減少、オンラインの整備等、もう少し子どもたちの未来を考えた政策を実施してほしいです。(男性・40～49歳)
- ・ 働く女性がもっと働きやすい様に保育園等を増やしてほしいです。待機児童の多さにビックリしています。(女性・30～39歳)
- ・ 北総鉄道の通学定期券への補助(男性・30～39歳)

【税金・財政・政策等】

- ・ 若者でも高齢者でも船橋に住んでいて良かったと思えるような、施策をもっと考えるべき。船橋に住んでいて何が良いのか考えても全く思い浮かばないのが現状。都市計画も新しくできるのは病院や老人ホームが多い。実際に住んでいる市民の要望を多く取り入れて計画を決めてほしい。(男性・40～49歳)
- ・ 税金をよく考えて使ってください。まじめに働いている一般市民が損をすることのないように。(男性・40～49歳)
- ・ 高齢社会へと進む中、若い人達が転入してくるような子育てしやすい行政システムを確立していくことが必要になっている。明石市の取り組み(若い世帯に大変評判が良い)などを参考にすべきである。(男性・50～59歳)
- ・ 年金生活者に対する税金の軽減をお願いします。(男性・60歳以上)
- ・ 住民税が高い。用途がわからないので、わかりやすく用途を挙げ出してほしい。(女性・30～39歳)
- ・ 市の財政が気になっている。いわゆる借金を減らしてほしい。その上での市民サービスだ。(男性・60歳以上)
- ・ 税金が高くふるさと納税にすることも考えましたが、地元で納税しております。(女性・50～59歳)
- ・ マンションの固定資産税が高い。3LDK(約74㎡)のマンション固定資産税が、1か月11,500円する。(女性・60歳以上)
- ・ 市の財政健全化に向けた取組の公表が必要(職員の質向上、スリム化)。市民生活の充実に向けた施策を積極的に行うこと。(男性・60歳以上)
- ・ 税率下げてください。不要、非効率業務の廃止。(男性・60歳以上)
- ・ 老人と子供以外の現役世代のことも気にした市政をしてほしい。(男性・30～39歳)

【教育・文化・スポーツ】

- ・ 老朽化した文化ホールが一つあるが、美術館、演劇や音楽に特化したホールなどの文化施設は皆無であり、なんとも味気ない街である。スポーツもよいが、文化都市としても世に知られるように文化活動の振興と文化施設の充実を望む。(男性・60歳以上)

- ・ アリーナの近所に住んでいます。家族みんなスポーツが好きなので、もっと利用したいのですが、プールは更衣室が古いなど汚く感じますし、入浴とあわせて体をあたためたい時期には使いづらいですし、高いと思います。(女性・40～49歳)
- ・ 津田沼近辺に大きな図書館や自習室がほしいです。(女性・30～39歳)
- ・ サークルで公民館を利用しています。予約はインターネットで取るようになって、昔よりずっと楽になりましたが、利用料金はもっと安くても良いと思います。図書館を利用していますが、予約システムは大変助かっています。これからも新作映画のDVDなど増やしてほしいです。(女性・60歳以上)
- ・ ICT 器機の教育は必要だと思いますが、もっと身近なスマートフォンの教育も必要なのかなと。全て使いこなすことだけが教育ではない。使うための理解が必要(メリット、デメリット、モラル、健康など)。(女性・40～49歳)
- ・ 中学生1人1台パソコンを用意してくださり、オンライン授業に対応できるよう準備が整いました。大変恵まれた環境だと感謝しております。有効に活用できることを願います。(女性・50～59歳)
- ・ 子ども達がスポーツ(球技)出来る公園を作ってください。サッカー場を作ってください。(男性・50～59歳)
- ・ スポーツ宣言都市なのにスポーツできる場所が少ないと思う。(男性・18～29歳)

【広報・ホームページ・SNS】

- ・ エンタメ、行政など、知りたい情報によって別の特別サイトに飛んでデザインもそれに合ったものに変え見やすく、デザインの面から探しやすく、見やすく、親しみやすく、船橋の事をもっと知る事ができればいいのと思います。子どもにもわかるようなものが望ましいです。(女性・30～39歳)
- ・ 公式 twitter をよく見るので、たくさん更新してほしい。ホームページと同時、もしくは少し早いくらいのスピードで SNS も更新してもらいたい。(女性・18～29歳)
- ・ 市政の顔が見えない。市長はもっとメディア露出を増やし、明るく楽しい話題を発信してほしい。ゆるキャラが弱い。PR がたりない。メディアにとりあげられる仕掛けがほしい。(男性・60歳以上)
- ・ パブリックコメントの募集や、新しい基本計画策定などを広報紙で「パブコメ始まります」、「新しい計画が発表になりました」だけでも掲載していただければ、一般の人でも市政に関心を持ち、それを見て何かおかしいと思っている人が詳細をホームページで確認し、タイミングよく意見を提出することが出来たり、市の計画に関与したりすることが可能になると思います。(女性・60歳以上)
- ・ ふなっしーという全国的なキャラクターの生かし方が下手で、船橋市をアピールできるチャンスを逃したと感じています。更に公認キャラである「船えもん」の認知度が低すぎて非常に残念です。(男性・40～49歳)
- ・ 今後も SNS、書面等でいろんな世代が見られるように情報発信していただければと思います。(男性・18～29歳)
- ・ コロナワクチンの予約がもっとスムーズに出来ればよかったですと思います。公式 LINE は情報を得やすいので、とても良いと思います。(女性・18～29歳)
- ・ マイナンバーカードの利用推進をもっとわかりやすく広報してもらいたい。(女性・40～49歳)

【公園】

- ・子どもの運動神経発達のため、市内の公園には、雲梯や昇り降りできる遊具をたくさん入れて頂きたい。また、古くなった遊具は色を塗り変えたり、新品にするなど安全かつ楽しく子どもたちが遊べる公園を増やしてほしい。(男性・30～39歳)
- ・コロナ禍で小学校のクラブ活動は制限され、住宅街にはボール遊びできる公園が全くないため、子どもたちが屋外で遊ぶことができません。公園設備を改善することで、ボールが使える公園を増やしてほしいです。(男性・40～49歳)
- ・公園の植栽に毛虫が多いので、消毒が大変でしょうがお願いしたいです。(女性・60歳以上)
- ・年寄りがボール遊び(ゲートボール)できて、子どもがボール遊び出来ないのはおかしいです。未来ある子どもたちがのびのびと生活できる環境を整えてください。もっと子どもを大切にしてください。(男性・40～49歳)
- ・折角、公園等の設備は作るが、メンテナンスはほぼやらない。川・溝・側溝等はドロが入り、清掃しないので使いものにならないものが多い。(男性・60歳以上)
- ・公園に時計をつけてほしいとお願いしたら、個人でなく自治会とかの団体で言ってもらえないと意見が通りにくいと言われた。公園に時計はどんな市民にとっても(特に子ども)便利だと思いますけど。(女性・40～49歳)
- ・習志野台8丁目公園ののぼり棒の下の石がかなり出ている。小さい子がつまずいたり何度も危ない場面があった。土を盛るなりして直してほしい。(女性・30～39歳)
- ・アンデルセン公園のトイレを増やしてください。子どもが使用するので、子どもサイズもほしいですし、かわいいトイレがあっても良いと思います。子どもは和式を使えません。(女性・60歳以上)
- ・子ども達も利用する公園なので、受動喫煙防止の為、禁煙にしてほしい。水道の蛇口に飼い犬が口をつけて水を飲んでいる。小さい子どもも同じように飲む事があるので、不衛生であり、水道の近くに飼い主宛の注意文を出してほしい。大人が利用できる(大人用)鉄棒等があると良い。(男性・60歳以上)
- ・近所の「前原北公園」、毎年毛虫に刺されて困っています。うちの社宅(20世帯)中、4世帯もの人が今年その公園で毛虫に刺されました。何とかしてください。(女性・30～39歳)

【商工業・農業・イベント】

- ・船橋駅周辺に魅力がない。これだけの都市なのに、おいしいレストラン、ベーカリー、カフェなどの店も少ない。街に魅力がない。街全体をどう活性化し、魅力的にするかの思想やランドデザインが欠如している。行政に知恵がないなら民間の力を使うべき。(男性・60歳以上)
- ・コロナ禍ですが、子どもたちがもっと遊べるような交流会などのイベントをしてほしいです。(女性・18～29歳)
- ・近郊農業を守り、家庭菜園用地の拡充。(男性・60歳以上)
- ・船橋駅周辺に商業施設(ホームセンター等)演劇、映画館、美術館、プラネタリウム等を充実させてほしいです。船橋の農漁産物が買える道の駅のような施設があると良い。買い物するにも高齢者には車や自転車にも乗れず困難な地域がまだまだあるので、移動スーパーなど充実させてほしい。(男性・50～59歳)
- ・西船橋駅をもっと大きくしてほしい。店が少ないので、東西線と総武線からどちらからでも自由にタダで出入りできるスペースに商業施設を作してほしい。船橋駅より西船橋駅の方が活性化できると思う。(女性・50～59歳)
- ・船橋駅西武デパート跡地に利用出来る商業施設を希望します。(女性・40～49歳)

【病院・医療】

- ・ 希望する全ての人が待機させられることなく、入院・治療できる体制で準備してほしいです。(女性・50～59歳)
- ・ 船橋医療センターの医療を充実させ、更に高度な医療を提供する病院がほしいです。(女性・60歳以上)
- ・ 難病以外にも、まれな病気で毎月医療費などがかかる人もいますので、何かお見舞金とかできたらいいと思う。医療にも手厚い船橋市になってほしいです。(男性・18～29歳)
- ・ 日曜、祝日の医療体制の充実、休日の通常(平日)同様の診療を望む。休日は応急の診療であり、平日に仕事を休めない働きざかりの成人が受診して治療を続けにくい(慢性疾患などの場合)。(女性・50～59歳)
- ・ 女性疾病の検診の充実を希望します。(女性・18～29歳)
- ・ 居住地は他市と隣接した所にあります。コロナワクチン接種時は、近くに船橋該当医療機関がなく苦労しました。それは今後、自然災害や新たな感染症などが起きた場合など、避難場所が少し遠かったりすると、高齢者など大変なのではと思った。部分的に横のつながりも今後必要なのではと思いました。(女性・50～59歳)
- ・ 子どものインフルエンザワクチン接種費用を助成、または無償化してほしい(子どもは2回打つ必要があり、大人の倍お金がかかるため)。(女性・30～39歳)

【交通機関】

- ・ 旭保育園から県立船橋啓明高校を通り木下街道までの区間は、バスが通っていない交通不便地域である。この区間は住民の数も年々増加し、他方で高齢化も進んでおり、バスの路線化の要望も年々高まっている。住民の要望を踏まえて市役所としてなすべきことを考えても良い時期にきているのではないだろうか。(男性・60歳以上)
- ・ 東葉高速鉄道の運賃値下げへ向けた働きかけをお願いします。鎌ヶ谷市は実際行政が北総鉄道の運賃値下げを積極的に行ったと伺っています。(男性・60歳以上)
- ・ 鉄道の高架化、もしくは立体交差化。(男性・40～49歳)
- ・ 船橋駅南口から東船橋駅方面に行くバスの本数が少なすぎると思います。1日3本しかないなので、乗りたくても乗れません。コミュニティバスのようなものがあると良いと思います。(女性・40～49歳)
- ・ 駅が遠い買い物場所には、循環バス(大穴方面)の運行をお願いしたい。(男性・60歳以上)
- ・ 自宅近くの駅、商店など定期的に近距離を廻る豆バス(コミュニティバス)の運行(女性・60歳以上)
- ・ 小室地区に住宅が増えたのですが、北総線は高いので、市川市、白井市、印西市のように市でコミュニティバスを運行してほしいです。新京成バスが小室～船橋(1時間1本)、小室～北習志野(1時間1本)通っていますが、本数が少なく不便です。年配の人も多いエリアなので、病院→スーパー→図書館(東)→北習志野→アリーナ→運動公園(できれば船橋駅や市役所まで)を循環するバスがあるとうれしいです。(150円～200円くらいで)北ルート、南ルートのようなバスでもあれば、アリーナや運動公園を利用しやすいかと思います。逆に船橋駅近くのお家もアンデルセン公園を利用する自家用車が減るので、道路が空くと思います。(女性・40～49歳)

【まちづくり・都市計画】

- ・市場北東の広大な荒れ地が全く開発されない。何十年も時が止まっている。とにかく都市計画、長期的にどうしていくかが何も考えられてない印象。西武百貨店跡地もしかり。積極的にどうしてこうというものが行政に感じられず、駅周辺は汚く雑多なまま。強い意志がほしい。(男性・50～59歳)
- ・宅地開発によって、緑地・山林・畑がかなり減っていることを感じる。住宅の密集、ミニ開発などによる環境の悪化を防いでほしい。(男性・50～59歳)
- ・旧西武百貨店の跡地を明るいイメージの公園やFACEのようなビルを作って、有効利用してほしい。駅近くの居酒屋がある通りは汚すぎる。古い建物も多く、今の時代に合っていない。見直しするべきです。(女性・40～49歳)
- ・都市計画が貧弱。市の中心部に調整区域を残したりで、土地の高度利用が出来にくい。市場を残したりして発展の妨げになっている。(男性・60歳以上)
- ・船橋市は街づくりが千葉市や市川市に比べ大変遅れています。再開発による駅前整備は船橋駅前だけで、東葉高速鉄道の東海神駅前はひどい状態です。新駅を作る時には、区画整理事業や再開発事業を行って新しい街づくりに取り組むべきだったと考えています。地元の商店街には特徴のある店舗が以前は沢山ありましたが、後継者の問題などでクローズしてしまいました。(男性・60歳以上)

【自然・環境】

- ・自然のきれいな町なので、将来をふまえてマンションを購入致しました。年を重ねても健康で住みやすい町作りをお願い致します。(女性・40～49歳)
- ・海神駅周辺の異臭をどうかしてほしい。(女性・40～49歳)
- ・8年前に島根県出雲市から転居しました。東京にこれだけ近いのに、県民の森では、延ばした指に留まるトンボがいる自然があることに衝撃をうけました。この多様な環境(大都会から自然まで)を残しつつ、発展して頂ければと存じます。リゾート地で、一時的に人が集まるというより、平日は仕事(都内でもOK)、週末は自然に触れることができるライフスタイルの場所として、船橋市がモデルになればと思います。(男性・50～59歳)
- ・海老川の支流など細い川の護岸が壊れたままで危険です。直してほしいです。(男性・60歳以上)
- ・田畑が残る所は、原風景保存とし公園もしくはハイキングコースとして整備し、メンテナンス担当として整備保全員を設置する。(女性・40～49歳)

【自動車・自転車】

- ・津田沼駅北口のロータリーがいつも混み合っていて、車で通行しづらいです。自転車用の道路もあればよいと思います。(女性・30～39歳)
- ・マナーが悪い住人の自転車の乗り方。学生の下校時の自転車でのスマホ。もっとなんとかしてほしい。(女性・60歳以上)
- ・商業施設を建設する時に、駐輪スペースを確保しておくことを義務化していれば、駅前のあちこちに自転車を置かれて、交通の妨げにならずに済むのにと思います。(女性・60歳以上)
- ・シェアサイクルを推進してほしい。(女性・18～29歳)
- ・通勤通学時間のトラックの迷惑駐車(長津川公園～船橋総合病院～船橋儀式殿)がひどく、自転車レーンを走っている学生さんが危険な状態です。パトロールを強化して頂けたらと思います。(女性・40～49歳)
- ・自転車と歩行者との分離。自転車の交通ルール強化。(男性・60歳以上)

- ・ 自転車の運転マナー啓蒙に力を入れてほしいです（歩道の通行、逆走があまりにも多い）。
（男性・30～39歳）
- ・ 自転車置き場を多くしてほしい（駅の近く）。（女性・60歳以上）
- ・ 自転車利用者用の交通安全教本(冊子)を作してほしい。（男性・50～59歳）

【アンケート関連】

- ・ 回数を増やして、たくさんの方が住みやすい船橋を実感できるよう意見を聞いてほしいと思います。（女性・60歳以上）
- ・ 配布、集計方法を紙ベース以外に URL や二次バーコードから電子アンケートで答えられるような仕組みがあるとより効率的に行えるのではないかと推察いたします。例えば、表紙の表面に二次コードを印刷するなど。スマホからも簡単にこたえられるのではないかと思います。（男性・30～39歳）
- ・ このようなアンケートも電子化すべき。船橋市は遅くれているのかなと不安になる。国勢調査でも今や電子化されています。（男性・30～39歳）
- ・ 市民アンケートは要望事項が多過ぎて、全てを実行することは不可能だろう。あまり気にせず『市民のため』と考えられ実行できるものから取りかかってほしいものだ。このようなアンケートをすると、一部の声の大きな人や組織力のある者達が意見を出してくることもあり、要望内容の取捨選択には十分な注意を払ってもらいたい。（男性・60歳以上）
- ・ アンケートの量が多すぎて、後半は正しい結果が出ない気がする。（女性・18～29歳）
- ・ この時代にこの量の手書きアンケートの依頼には少々驚きました。ネットで回答する方法も考えて頂けたらと思います。また、性別をきく質問ですが、1.男性、2.女性しかありません。これも今の世の中では多様性を考慮する必要があり、それに対応した選択肢が用意されているものも増えています。これらの細かい配慮、気配りも市政には重要なのではと感じます。（男性・60歳以上）
- ・ このアンケートも紙ではなく、Web 等でペーパーレス対応の方が環境に配慮していると思いました。（女性・60歳以上）

【ごみ・リサイクル】

- ・ 市政が市民生活を改善している実感はなく、ごみ収集のために高い費用を払っている感じ。しかも粗大ごみを捨てるのは不便。一番市税を納めているはずの働きざかり世代のニーズをくみ上げていないのではないかと。（男性・50～59歳）
- ・ 可燃ごみの回収の回数を過去の3回に戻してほしい。午後の遅い時間帯や夜間の回収だといくら対策してもカラスの被害が出てしまい、近隣住民で清掃しているがとても苦労している。市のクリーン推進課に相談しても何もしてくれず、困っています。日々の生活に直結することなので、ごみ回収については是非改善してもらいたい。自分の周りでも同様の声を多く聞くので、要望として書かせていただきました。（男性・40～49歳）
- ・ 不燃ごみの回収を月2回以上にしてほしい。（女性・18～29歳）
- ・ 地区のごみステーションが使いにくい。24時間段ボールや缶・ビン・ペットボトル等を受け付けてもらえる場所がほしい。（女性・30～39歳）
- ・ 燃えるごみ収集が2回に減らされたが、夏場の悪臭に困っています。（男性・60歳以上）
- ・ 環境を考えた取り組みにもっと力を入れてほしい。ごみの分別、ごみ収集の日が減った理由もしっかり理解できていない家庭が多いです。（女性・30～39歳）
- ・ ごみ回収も週2回になったせいで、ごみステーションにごみがあふれていて、それを放置していると思うのか、投げ捨てていく人がいる。週3日にもどしてほしい。（女性・40～49歳）

【学区・学校】

- ・ 公立中学校・小学校にエレベーターを早急に設置してほしい。設備・校舎が古く、入学後大変驚きました。エレベーターが無いために、学区以外の中学に入ったり、入学後のケガ等で1F～5Fまで松葉杖で生活をさせるのは子どもにとっては大変な負担です。(女性・50～59歳)
- ・ 今頃になってやっとタブレットの接続や使い方などを始めるのは遅すぎます。せっかく立派なタブレットがあるのに今使わなくてどうするのでしょうか。オンライン授業の大変さや難しさはわかりますが、希望者から実験的にでもどんどん活用するべきだと思います。(女性・30～39歳)
- ・ 中学校(主に体育館の冷房や校舎内のトイレ)の環境をもう少し整えてほしいです。(女性・18～29歳)
- ・ 現在小学生の子どもを育てておりますが、毎日重いランドセルと荷物を背負って30分かけて学校に通っている姿を見ると、心配でかわいそうに思ってしまう。毎日、国語・算数などの教科書、ノートを持ち帰ってきますが、せめて低学年の間は持ち帰る教材を少なくしていただければ幸いです。これからは重いタブレットも追加され、ますます心配です。(女性・30～39歳)
- ・ 中学の制服をもっと簡素なもの(夏はポロシャツにするなど)にするとか、全市共通にするなどして価格を押さえてほしい。指定のカバンもたった3年しか使わないのもったいない。バカバカしい校則が多すぎ。(女性・50～59歳)
- ・ 年々暑さが増し、子どもたちのスポーツをする環境も厳しくなってきました。少しずつでも体育館にエアコンを設置して頂きたいです。(女性・40～49歳)
- ・ 船橋市は給食に力を入れていることは自分が小中学生の頃から知っていたが、大人になって他県の人と話すとき船橋市はとても充実していたことがわかって嬉しかった。今後も子どもたちの食育には力を入れていただきたいです。(女性・30～39歳)

【高齢者対策】

- ・ 高齢者の屋外レクリエーション施設の充実により、運動不足解消による健康維持等を図れる施設をもっと広報で発してほしい。(男性・60歳以上)
- ・ 高齢者へのサービス向上(バス代の無料、検診を増やす、介護サービスの向上)(男性・60歳以上)
- ・ 安い老人ホームをたくさん作ってほしい。今の年金では入れません。各年代をつなげるような場や人の育成を行ってほしい。(女性・60歳以上)
- ・ 老人に優しく、分かりやすい町づくりをめざしてほしい。周りに老人が多く、困っている方が多い様に感じます。インターネットを活用できない方たちにも寄り添ってほしいと思います。(女性・40～49歳)
- ・ 老人ホームや老人に対してばかり優しく、子どもには平等に優しくない。これ以上この地区に老人ホーム等を作ってほしくない。多すぎます。病院が老人で溢れています。(男性・40～49歳)
- ・ コロナ禍で母の体力が落ち、フレイル→うつ→骨折と続き、要介護も1→3になりました。地域で高齢者が集えるコミュニティをもっと増やしてほしい。今後、高齢者が増えるので、施設の拡充、買物支援、ヘルパー拡充、高齢者の活躍場所を増やすなど、少子化対策だけに寄らないまちづくりをお願いしたい。(女性・50～59歳)
- ・ 高齢は老人ホーム、障害のある人は特別支援学校、全ての人が区別された区分された場所で生きていく世の中はそろそろやめた方が良くはないかを感じる。共存して生きる社会になればと思っています。上に立つ者達のする仕事はそこが一番大事なんだと思います。船橋が発信元となると、とても良いと思います。(女性・50～59歳)

【介護・福祉】

- ・ 障害者が暮らしやすい街づくりを宜しくお願い致します。(男性・50～59歳)
- ・ 福祉の充実、社会保障の充実など、引き続き取り組んでいってください。(男性・30～39歳)
- ・ 母子家庭ですが、親の介護問題があります。自分が働かないと、子どもに教育を受けさせることが出来ず、施設など入居出来ないと素人の介護生活はとてつもなく辛いです。また、介護認定を取るのが難しいと思います。親がちょっとおかしいなと思っても、どこで受診(内科?精神科?)すればいいのか。連れて行くのも拒否されたら、いつまでも「隠れ介護問題」として残る。経済面、精神面でも共倒れにはなりたくないです。(女性・50～59歳)
- ・ 生まれ育った船橋から他県で数年生活していたのですが、福祉サービスにもっと力を入れてほしいと感じました。(女性・30～39歳)
- ・ 現在は自立出来ていますが、将来介護が必要となった時、子どもを頼らず社会資源を使いながら在宅介護が受けられる様、介護の充実を希望します。(女性・60歳以上)

【雨水・上下水道】

- ・ 船橋駅前ばかり開発され、私の住む地域は新築の家に住んでも下水道の設備がされずとても不安です。(男性・50～59歳)
- ・ 下水工事が整っていない土地を買い、浄化槽を高額で作ったにもかかわらず、何の援助もなく下水工事切替え工事代も自腹。ありえない。(女性・40～49歳)
- ・ 以前は雨が降るたびに冠水していた道路が、冠水しなくなりました。ありがとうございます。(女性・30～39歳)
- ・ 側溝の掃除をこまめにしてほしい。(男性・60歳以上)
- ・ 市道に雨が降ると(少し強い雨)、洪水のように雨水がたまり、改善してほしい。(女性・30～39歳)

【ペット・動物・虫】

- ・ カラスやハトなどのフン害について、市の施策は改善されているとはみえない。(女性・50～59歳)
- ・ 野良犬・猫等殺処分ゼロ (女性・50～59歳)
- ・ 猫の飼い方について、飼い猫は必ず家の中で飼い外に出さない、野良猫に餌をやらない等を徹底し、条例を厳しくしてほしい。(犬と同様外に出す時はハーネスをつけるとかりードをつける様に) 外猫によるフン尿被害に大変困っている。(女性・60歳以上)
- ・ 犬を飼っている世帯が多いので、浜町近隣にドックランを作っていただきたい。(男性・40～49歳)
- ・ 空き地や田畑が減り、我が家の狭い庭が猫のトイレになって困っています。(女性・50～59歳)

【たばこ】

- ・ 津田沼駅北口周辺、特に歩きたばこがひどく大変迷惑をしている。過料の警告のステッカーはあるが、きちんと取り締まっているのか疑問に思う。改善を求む。(女性・18～29歳)
- ・ 歩きたばこ禁止の条例を作してほしい。歩きたばこの人が船橋は多いし、ぼい捨てが目立つ。(男性・50～59歳)

- ・ 公園や路上での喫煙が非常に多いため、今までより受動喫煙となる機会が増えています。「罰金制度の強制力を高める」、「船橋市全域に範囲を広げる」、「町内会ごとに見回りを立て喫煙できない雰囲気を作り上げる」など、安心できるまちづくりのため、行政が主導していただきたいです。(男性・30～39歳)
- ・ 公園の隣に住んでおり、たばこの吸い殻が毎朝捨ててある。公園課には色々な事(夜遅くまで騒ぐ、飲食、花火)で電話をしていますが、何とかしてほしいです。たばこは住宅のすぐそばなので心配です。(女性・60歳以上)
- ・ 歩きたばこを取り締まってほしいです。吸殻を道路に捨てたり、マナーの悪い人が多く嫌な思いをします。(女性・30～39歳)

【地域社会・自治会】

- ・ 所属している町内会でコロナを理由に社会福祉協議会への寄付を町会費より支出しました。これは法律違反ではないかと指摘しましたが、少数意見とでは是正されませんでした。町内会と社会福祉協議会には、市より補助金が出ており法律を守る様に市から適正な指導をお願いします。ご存知と思いますが、町内会で一律に募金を徴収する事は違法であるとの判決が確定しています。(男性・60歳以上)
- ・ それぞれの町内会等も関係あるのかわかりませんが、行き止まりの道が多い。住宅街に車が頻繁に通るのはあまり良くないが、災害時など通り抜けられる道、街並みにしてほしい。町会、自治会活動が大切なのはわかるが、もう少し簡素化、負担が少ないようになってほしい。(女性・50～59歳)
- ・ 自治会などの中心にいる高齢男性たちには、「昭和」な男女の役割分担意識の高い方が多いように見受けられます。そのような中高齢世代や、委員やリーダーになった方たちに向けて、ハラスメントやアンコンシャスバイアスについての研修を是非して頂きたいと思います。性別や世代に関係なく自由に意見交換の出来る風通しの良い組織に変化することで、組織の活性化ができればと考えています。(女性・60歳以上)
- ・ 世の中が共働きをする方向へといく中、町会を維持することの難しさを感じています。(男性・30～39歳)

【雇用・就労支援】

- ・ 子育て世代の女性の就職活動や職業訓練のサポートなどがもっと充実していれば、子育て世代の女性の不安や働ける割合が増えていくと思います。資格取得のサポートがもっと充実していればと思います。(女性・40～49歳)
- ・ 市の雇用を拡充してほしい。(男性・18～29歳)

【国際社会】

- ・ 外国人を迎え入れることのできる寛容な施策。海外交流と平和維持活動。(男性・60歳以上)
- ・ 外国人が増え、以前より船橋の治安が悪くなっている気がする。外国人の受け入れ数など制限してほしい(もっと人選するなど対策してほしい)。(女性・40～49歳)
- ・ 近年、外国人が急増しているように感じられますが(最近はコロナの関係で目立っていない気もしますが)、時には不安を持つことがあります。治安の面や地域におけるルール上のトラブル(ゴミ捨て)など、外国人の居住や行動については特に注意を払ってほしいと思います。一方で善良な外国人の方々とはうまく付き合っていく事も必要だと感じますので、文化交流を目的としたフェスティバルの様なものを実施してほしいと思います。(男性・50～59歳)
- ・ ヘイワード、西安、オーデンセの姉妹都市、友好都市の交流を深め、様々な国や地域から留学生、研修生を受け入れて、船橋の国際都市文化をつくる。(男性・18～29歳)

【空き家】

- ・ 高齢化に伴い、空き家、オフィスなど放っておくと問題になる建物があちこちで見受けられます。市で調査して使える家は他の人に貸すとか、売るとかして、きれいな街づくりを考えてもらいたい。住まなくなった空き家の雑草も迷惑です。所有者をみつけて対処してもらいたい。(女性・60歳以上)
- ・ 船橋駅近くでも空き家があったり崩れかけている家屋やそのコンクリートブロック等、とても危険に思います。(女性・30～39歳)

IV. 調査票

あなたの声をお聞かせください

「船橋市市民意識調査」へのご協力をお願い

皆さまには、日頃より市政にご協力いただきありがとうございます。

この調査は、市内にお住まいの皆さまが、市政に対しどのようなご意見、ご要望を持ち、どのように暮らしていらっしゃるかを伺い、今後のまちづくりの貴重な資料として活用させていただくことを目的に、毎年、実施しております。

調査の実施にあたりましては、市内にお住まいの満18歳以上の方から無作為に3,000名を選ばせていただきました。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、率直なご意見をお聞かせくださいますよう、ご協力のほどお願い申し上げます。

なお、この調査結果につきましては、「広報ふなばし」や船橋市ホームページ等を通じて公表する予定です。

令和3年9月

船橋市長 松戸 徹

この調査は無記名であり、個人が特定されることはありません。また、結果はすべて統計的に処理いたしますので、ご回答いただいた皆さまにご迷惑をおかけすることは一切ございません。調査結果は、この調査の目的以外に使用することはありません。

1. ご回答は、宛名にあるご本人様にお願いいたします。
2. ご記入は、黒や青のボールペンまたは濃い鉛筆でお願いいたします。
3. 質問により、ご回答いただく内容・方法が異なりますので、別紙の「■ご回答にあたって■」をよくお読みください。
4. ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れて、

9月30日（木）まで にご投函ください。

ご不明な点がありましたら、お手数ですが下記までお問合せください。

<お問い合わせ先> 〒273-8501 船橋市湊町 2-10-25
船橋市 市長公室 市民の声を聞く課
電話：047-436-2784 FAX：047-436-2789
メール：shiminnokoe@city.funabashi.lg.jp

1 「住みごころ」についてお聞きします

【問1】「船橋市」に愛着を持っていますか。(〇は1つ)

- | | | |
|------------|-------------|----------|
| 1. 愛着がある | 3. あまり愛着がない | 5. わからない |
| 2. やや愛着がある | 4. 愛着がない | |

【問2】今後も「船橋市」に住み続けたいと思いますか。(〇は1つ)

- | | | |
|----------------|--------------|----------|
| 1. 住み続けたい | 3. できれば移転したい | 5. わからない |
| 2. しばらくは住み続けたい | 4. 移転したい | |

【問3】「船橋市」を住みよいまちと感じていますか。(〇は1つ)

- | | | |
|-------------|--------------|----------|
| 1. 住みよい | 3. あまり住みよくない | 5. わからない |
| 2. まあまあ住みよい | 4. 住みにくい | |

→ 問3-2へ

→ 問4へ

→ (問3で「1. 住みよい」または「2. まあまあ住みよい」とお答えの方)

【問3-1】住みよいと感じるのはどのようなことですか。(〇は2つまで)

- | | |
|---------------------------------|-------------------------|
| 1. 鉄道など交通機関が多く、通勤・通学に便利だから | 6. 公園などの憩いの場所が多いから |
| 2. 商店などが近くにあり、日常の買い物に便利だから | 7. 福祉の施設・制度が充実しているから |
| 3. 道路、下水道などの都市基盤が整備されているから | 8. 保健や医療の施設・体制が充実しているから |
| 4. 公民館、図書館などの社会教育・文化施設が充実しているから | 9. 親しみのある自然が残っているから |
| 5. スポーツ・レクリエーション施設が充実しているから | 10. 防災・防犯体制が充実しているから |
| | 11. 静かさなどの周辺環境がよいから |
| | 12. 近隣とのつきあいがうまくいっているから |
| | 13. その他 (.....) |

→ 問4へ

(問3で「3. あまり住みよくない」または「4. 住みにくい」とお答えの方)

【問3-2】住みよくないと感じるのはどのようなことですか。(〇は2つまで)

- | | |
|--------------------------------|------------------------------|
| 1. 通勤・通学に不便だから | 6. 公園などの憩いの場所が少ないから |
| 2. 商店などが近くになく、日常の買い物に不便だから | 7. 福祉の施設・制度が十分でないから |
| 3. 道路、下水道などの都市基盤の整備が十分でないから | 8. 保健や医療の施設・体制が十分でないから |
| 4. 公民館、図書館などの社会教育・文化施設が十分でないから | 9. 自然が少ないから |
| 5. スポーツ・レクリエーション施設が十分でないから | 10. 防災・防犯体制が十分でないから |
| | 11. 騒音、大気汚染などがあり、周辺環境がよくないから |
| | 12. 近隣とのつきあいがうまくいっていないから |
| | 13. その他 (.....) |

2 「広報活動」についてお聞きします

【問4】 普段、情報を入手するためによく利用する情報媒体は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 新聞
2. パソコン
3. 携帯機器（スマートフォン、タブレット等）
4. テレビ（ケーブルテレビを除く）
5. ケーブルテレビ（J:COM）
6. ラジオ
7. その他（.....）

【問5】 市の事業やイベント情報などをどこから入手していますか。(〇はいくつでも)

1. 広報ふなばし（紙）
2. 広報ふなばし（スマートフォン用アプリ「マチイロ」などの電子媒体）
3. 船橋市ホームページ（検索サイトからの取得も含む）
4. ふなばし CITY NEWS（ケーブルテレビ※地上デジタル11ch、YouTube）
5. デジタルサイネージ（船橋駅前歩道橋デジタルサイネージ、庁舎にあるモニターなど）
6. データ放送（チバテレビ ※dボタンの「市町村情報」）
7. 船橋市公式 Twitter
8. 船橋市公式 Facebook
9. 船橋市広報課公式 YouTube
10. 船橋市公式アプリ（「ふなっぶ」など）
11. 地域の情報誌
12. 船橋市ホームページ以外のインターネット
13. 新聞、新聞折り込み
14. テレビ
15. 家族や友人、知人との会話から
16. その他（.....）
17. 入手していない

【問6】 広報紙やホームページで知りたい情報は何ですか。(〇は3つまで)

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 公共施設の利用案内 | 10. 消費生活や食生活など |
| 2. 催し物やイベント、サークル活動 | 11. 国民健康保険や国民年金の加入手続きなど |
| 3. 医療（予防接種、休日診療など） | 12. 市議会の活動内容 |
| 4. 都市計画や再開発のまちづくり | 13. ボランティア活動 |
| 5. 福祉（給付、貸付、サービスなど） | 14. 規制や公共サービスの有料化など |
| 6. 散策コースやレジャー | 15. 市勢や統計調査などの基礎データ |
| 7. 地域の気象、防災 | 16. 新型コロナウイルス関連情報 |
| 8. まちの話題 | 17. その他（.....） |
| 9. 教育、文化 | 18. 特にない・わからない |

【問7】「広報ふなばし」を読んでいますか。(〇は1つ)

- 1. よく読んでいる
- 2. ときどき読んでいる
- 3. あまり読んでいない

4. 読まない

→ 問7-3へ

→ (問7で「1～3」とお答えの方)

【問7-1】「広報ふなばし」をどこで入手していますか。(〇は1つ)

- | | |
|-----------------------------|----------------------|
| 1. 新聞折り込み | 5. 郵便局・銀行 |
| 2. 自宅にポストイング | 6. 商業施設 |
| 3. 公共施設(市役所・フェイス・出張所・公民館など) | 7. 船橋市ホームページ |
| 4. 駅スタンド | 8. スマートフォン用アプリ「マチイロ」 |
| | 9. その他(.....) |

(問7で「1～3」とお答えの方)

【問7-2】「広報ふなばし」は読みやすいですか。(〇は1つ)

1. 読みやすい

2. 読みにくい

→ 問7-4へ

(問7で「4. 読まない」とお答えの方)

【問7-3】読まない理由を教えてください。(〇は1つ)

- | | |
|-------------------------------|---------------|
| 1. 読みたい情報がない | 3. 読みにくい |
| 2. 他の手段で情報が足りている(船橋市ホームページなど) | 4. 入手方法がわからない |
| | 5. その他(.....) |

→ 問7-4へ

(問7-2で「2. 読みにくい」とお答えの方)または

(問7-3で「3. 読みにくい」とお答えの方)

【問7-4】読みにくいとされた具体的な理由をお書きください。

3 「新型コロナウイルス感染症の影響」についてお聞きします

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、医療体制のひっ迫のほか、市民生活や地域経済など多方面に渡って甚大な影響を及ぼしています。このような状況の中、皆さまの生活がどのような影響を受け、そのためにどのような市の取り組みが必要とされているのかなどについて伺います。

【問8】あなたの健康状態はいかがですか。(〇は1つ)

- | | | |
|---------|---------|------------|
| 1. よい | 3. ふう | 4. あまりよくない |
| 2. まあよい | 5. よくない | |

【問9】新型コロナウイルス感染症の感染拡大前(令和2年2月以前)と比べて、生活習慣や身体の変化はありましたか。(〇はそれぞれ1つ)

【問9-1】食事の量

- | | | |
|-----------|----------|-----------|
| 1. 増加した | 3. 変わらない | 4. やや減少した |
| 2. やや増加した | 5. 減少した | |

【問9-2】体重

- | | | |
|---------------------------|----------------|---------------------------|
| 1. 増加した(3kg以上) | 3. 変わらない | 4. やや減少した
(1kg以上3kg未満) |
| 2. やや増加した
(1kg以上3kg未満) | 5. 減少した(3kg以上) | |

【問9-3】睡眠時間

- | | | |
|-----------|----------|-----------|
| 1. 増加した | 3. 変わらない | 4. やや減少した |
| 2. やや増加した | 5. 減少した | |

【問9-4】体力

- | | | |
|-----------|----------|-----------|
| 1. 向上した | 3. 変わらない | 4. やや低下した |
| 2. やや向上した | 5. 低下した | |

【問9-5】飲酒量

- | | | |
|-----------|-----------|-------------|
| 1. 増加した | 3. 変わらない | 5. 減少した |
| 2. やや増加した | 4. やや減少した | 6. もともと飲まない |

【問9-6】喫煙量

- | | | |
|-----------|-----------|-------------|
| 1. 増加した | 3. 変わらない | 5. 減少した |
| 2. やや増加した | 4. やや減少した | 6. もともと吸わない |

【問9-7】運動量（身体活動量）

- | | | |
|-----------|----------|-----------|
| 1. 増加した | 3. 変わらない | 4. やや減少した |
| 2. やや増加した | | 5. 減少した |

→ 問11へ

→ 問10へ

（問9-7 運動量について「4. やや減少した」または「5. 減少した」とお答えの方）

【問10】それはなぜですか。（〇はいくつでも）

1. コロナにかかるのが不安で外に出なくなったから
2. 習い事やサークル、スポーツクラブなど、運動するのに利用していた場所が使えなくなったから（活動休止や中止を含む）
3. 国の要請に基づいて不要不急の外出を控えたから
4. オンラインで買い物ができるようになったから
5. 仕事や学校が在宅勤務・オンライン授業になったから
6. 旅行や外食の機会がなくなった（減った）から
7. 友人や知人と外で会う機会がなくなった（減った）から
8. その他（.....）

【問11】コロナ禍で体を動かす工夫をしていますか。（〇は1つ）

- | | | |
|---------|----------|--------|
| 1. している | 2. していない | → 問12へ |
|---------|----------|--------|

→（問11で「1. している」とお答えの方）

【問11-1】どのような工夫をしていますか。（〇はいくつでも）

1. 散歩やジョギングなどを行うようにしている
2. 感染予防をしているスポーツクラブなどに行くようにしている
3. 体を動かす家事などを積極的に行っている
4. サークルや市の運動教室に行くようにしている
5. 家で筋力トレーニングや階段の昇り降りなどの運動をしている
6. テレビやラジオの体操番組などを見て運動している
7. パソコンやスマートフォンのサイトを見て運動している
8. 運動に関する本やチラシを見て運動している
9. その他（.....）

【問12】新型コロナウイルス感染症の感染拡大前と比べて、病気やけがの治療ため、医療機関（病院や医院）に行くのを控えましたか。（健診・がん検診受診を含む）（〇は1つ）

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 定期的に受診している | 3. 受診を中断 |
| 2. 受診を控えている | 4. そもそも受診していない |

【問13】この1か月間に不満、悩み、苦勞、ストレスなどがありましたか。（〇は1つ）

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. 大いにあった | 3. あまりなかった |
| 2. 多少あった | 4. まったくなかった |

【問 14】あなたは、不満、悩み、苦勞、ストレスなどを解消できていると思いますか。

(〇は1つ)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 十分解消できている | 3. あまり解消できていない |
| 2. なんとか解消できている | 4. まったく解消できていない |
| | 5. わからない |

【問 15】新型コロナウイルス感染症の拡大により、不安やストレスを解消するために、あなたがしたこと・していることは何ですか。(〇はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. 手洗いやマスクの着用、人との距離を取り、できる限り自宅にいるようにするなどの予防行動 |
| 2. スマートフォンやインターネットを使って情報を検索 |
| 3. 家族や友人に話をする |
| 4. 家族や友人以外の身近な人（会社の上司や学校の先生など）に相談 |
| 5. 匿名の相談窓口（電話相談や SNS 相談など）に相談 |
| 6. 行政の相談窓口を利用 |
| 7. 医療機関などの専門家に相談 |
| 8. 運動などで体を動かす |
| 9. その他 (.....) |
| 10. 特に不安やストレスはない |
| 11. 特に何もしていない |
| 12. 答えたくない |

【問 16】あなたが困っていること・心配と感じていることは何ですか。(〇はいくつでも)

- | |
|----------------------------|
| 1. 外出制限による交流機会などの減少 |
| 2. スポーツや文化活動の機会の減少 |
| 3. 収入の減少（失業や経営不振など）による生活困窮 |
| 4. 支出の増加 |
| 5. 働き方の変化による負担 |
| 6. 働き口がない |
| 7. 買い物の機会の減少 |
| 8. 旅行やレジャーの機会の減少 |
| 9. 感染状況や感染防止対策 |
| 10. 医療が思うように受けられない |
| 11. 体調不良・健康状態の悪化 |
| 12. 子どもの学習機会の確保・学力低下 |
| 13. 子育ての負担増 |
| 14. 介護の負担増 |
| 15. 家庭内の不和 |
| 16. 家族、友人、職場など人間関係 |
| 17. その他 (.....) |
| 18. 特にない |

【問 17】市では、飲食店など中小企業や自営業者への経済的支援、子育て世代を対象とした経済的支援などに取り組んでいるところですが、今後も新型コロナウイルス感染症の影響が続いた場合に、重点的に実施してほしいと考える施策は何ですか。

(〇は3つまで)

1. 安定した医療体制確保
2. 市民の感染防止対策
3. 感染の状況や感染防止対策などの情報発信
4. 感染者などへの誹謗中傷をしない「やさしいまちづくり」の推進
5. 打撃を受けている中小企業や自営業者への経済的支援
6. 小・中学生への学習支援、小・中学校への感染防止対策
7. 子育て世代への経済的支援、保育所、幼稚園などの感染防止対策
8. 市内商業施設、商店などの消費喚起
9. 大学生など若者世代への支援
10. 高齢者への生活支援
11. 雇用対策・労働環境の改善
12. テレワークなど新しい働き方への対応
13. スポーツや文化活動への支援
14. 市民活動・地域活動への支援
15. その他 (.....)

【問 18】新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って生活スタイルが変化したことで、あなたの生活に何か良いと思える影響はありましたか。(〇はいくつでも)

1. 家族と過ごす時間が増えた
2. 睡眠時間が増えた
3. 対人関係のストレスが減った
4. 通勤・通学の負担が減った
5. 余暇活動やその他の有意義な活動が増えた
6. 労働時間が減り、ワークライフバランスが改善した
7. その他 (.....)
8. 良い影響は特にない

4 「ひきこもり」についてお聞きします

現在、15～64歳の方は全国で100万人を超えると推定されるほど、ひきこもりの方や、該当者の親亡き後の生活等に関する問題が社会的に浮き彫りになっています。

こうした方の船橋市内における人数（推計）を把握し、支援体制を検討するため、今回の調査へのご協力をお願いいたします。

*この調査では、おおむね65歳未満で、仕事や学校など、人と交流する場（地域の会合、サークル活動等を含む）に行けず、ご家族以外の人とほとんど交流なく、おおむね6か月以上続けて自宅にひきこもっている方を「ひきこもり状態」と定義いたします（時々近所のコンビニ等には出かける人も含まれます）

【問19】下記の相談窓口の中で、ひきこもりの相談先として以前からご存じの機関はありますか。（〇はいくつでも）

- | | |
|--|-------------------------|
| 1. 学校、スクールカウンセラー | 8. 発達障害者支援センター |
| 2. 総合教育センター、スクールソーシャルワーカー、青少年センター、その他教育委員会関係 | 9. ひきこもり地域支援センター |
| 3. 「保健と福祉の総合相談窓口」さーくる | 10. 子ども・若者総合相談センター |
| 4. ハローワーク・地域若者サポートステーションなどの公的な就労支援機関 | 11. 児童相談所 |
| 5. ふらっと船橋・障害者相談支援事業所 | 12. 子育て世代包括支援センター「ふなここ」 |
| 6. 保健所・保健センター | 13. 当事者・家族の会 |
| 7. 病院（心療内科など） | 14. その他支援機関（NPO等） |
| | 15. その他（.....） |
| | 16. わからない |

【問20】ご自身またはご家族の中に、船橋市内在住で、ひきこもり状態の方（上記の*）にあてはまる方はいらっしゃいますか。（〇は1つ）

- | | | | |
|-----------|----------|------------|--------|
| 1. ご自身が該当 | → 問20-2へ | 3. 該当者はいない | → 問21へ |
| 2. ご家族が該当 | | | |

※以下の方を除きます

- ・自宅で就業中（在宅勤務を含む）、または妊娠中、家事・育児に専念している方
- ・身体の病気療養中や、常時介助を要する障害のため、就学・就業できない方

→（問20で「2. ご家族が該当」とお答えの方）

【問20-1】対象の方の年齢（年代）を教えてください。（〇は1つ）

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 19歳以下 | 3. 30～39歳 | 5. 50～59歳 |
| 2. 20～29歳 | 4. 40～49歳 | 6. 60歳以上 |

(問20で「1. ご自身が該当」または「2. ご家族が該当」とお答えの方)

【問20-2】どこかの機関に相談したことがありますか、または相談したいと思いますか。
(〇は1つ)

- | |
|-------------------------|
| 1. 相談したことがある |
| 2. 相談したことはないが、相談したいと思う |
| 3. 相談したことがない・相談したいと思わない |
| 4. わからない |

→(問20-2で「1. 相談したことがある」または「2. 相談したことはないが、相談したいと思う」とお答えの方)

【問20-3】どのような相談先に相談しましたか、または相談したいと思いますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--|-------------------------|
| 1. 学校、スクールカウンセラー | 8. 発達障害者支援センター |
| 2. 総合教育センター、スクールソーシャルワーカー、青少年センター、その他教育委員会関係 | 9. ひきこもり地域支援センター |
| 3. 「保健と福祉の総合相談窓口」さーくる | 10. 子ども・若者総合相談センター |
| 4. ハローワーク・地域若者サポートステーションなどの公的な就労支援機関 | 11. 児童相談所 |
| 5. ふらっと船橋・障害者相談支援事業所 | 12. 子育て世代包括支援センター「ふなここ」 |
| 6. 保健所・保健センター | 13. 当事者・家族の会 |
| 7. 病院(心療内科など) | 14. その他支援機関(NPO等) |
| | 15. その他(.....) |
| | 16. わからない |

(問20で「1. ご自身が該当」または「2. ご家族が該当」をお答えの方)

【問20-4】相談窓口にしてほしいこと、望むことはありますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------|----------------------------------|
| 1. 自宅訪問 | 8. イベント(講演会、セミナー等) |
| 2. 外出同行 | 9. 就労支援 |
| 3. 傾聴 | 10. ボランティア活動の紹介、ボランティア活動への参加支援など |
| 4. 夜間面談 | 11. 家族のためのイベント、家族会 |
| 5. 電話相談 | 12. その他(.....) |
| 6. SNS相談 | 13. 相談したくない、望むことはない |
| 7. 居場所運営 | |

(問20で「1. ご自身が該当」または「2. ご家族が該当」とお答えの方)

【問20-5】どのくらいの期間、そのような状態になっていますか。(〇は1つ)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 6か月～1年未満 | 4. 5年以上10年未満 |
| 2. 1年以上3年未満 | 5. 10年以上 |
| 3. 3年以上5年未満 | 6. わからない |

5 「本市の災害対策」についてお聞きします

東日本大震災から10年が経過しましたが、以降も日本各地で地震や大雨等による大規模な災害が発生しています。

令和元年は、9月に台風第15号、10月に台風第19号が、立て続けに本市に接近し、大きな被害をもたらしました。

近年は新型コロナウイルス感染症が日本全国で蔓延し、避難所でのさらなる感染症防止対策が求められているところです。

このたび、市民の皆さまの防災に対する日頃からの備えや、災害時の情報発信のあり方等について調査を行い、今後の防災対策に役立ててまいります。

【1. 災害に備えた対策について】

【問21】日頃から災害への備えをしていますか。(〇は1つ)

1. 備えをしている 2. 備えをしていない → 問21-4へ

→ (問21で「1. 備えをしている」とお答えの方)

【問21-1】どのような備えをしていますか。(〇はいくつでも)

1. 避難所・避難場所の確認 5. 災害時に必要となるものの備蓄 → 問21-2へ
 2. 避難経路や避難方法の確認 6. 隣近所との交流
 3. 安否確認の方法の確認 7. 防災訓練への参加
 4. 住宅の耐震(補強) 8. その他(.....)

※ 「5. 災害時に必要となるものの備蓄」を選ばなかった方は、問21-5へ。

(問21-1で「5. 災害時に必要となるものの備蓄」とお答えの方)

【問21-2】どのような品を備蓄していますか。(〇はいくつでも)

1. 飲料水 7. 常備薬(大衆薬)
 2. 食料品 8. 処方薬(常飲薬)
 3. 懐中電灯 9. 簡易・携帯トイレ
 4. 電池、携帯電話充電器 10. 衣類
 5. 携帯ラジオ 11. その他(.....)
 6. 燃料

※ 「1. 飲料水」「2. 食料品」を選ばなかった方は、問22へ。

→ (問21-2で「1. 飲料水」または「2. 食料品」とお答えの方)

【問21-3】飲料水や食料品を何日分備蓄していますか。(〇は1つ)

1. 1日分 4. 2週間以上
 2. 3日分 5. その他(.....)
 3. 1週間分 6. わからない

※ 備蓄日数は、1日3食×人数を目安に算出してください。

→ 問22へ

〔問21で「2. 備えをしていない」とお答えの方〕

【問21-4】 備えをしていない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1. 避難経路や避難方法の確認方法がわからないから | 5. 保管場所を確保できないから |
| 2. 安否確認の手段がわからないから | 6. 面倒だから |
| 3. 費用がかかるから | 7. 気にならないから |
| 4. 隣近所と交流を持つことに抵抗を感じているから | 8. その他 (.....) |

※ 問21-5もお答えください。

〔問21で「2. 備えをしていない」とお答えの方〕または

〔問21-1で「5. 災害時に必要となるものの備蓄」を選ばなかった方〕

【問21-5】 備蓄していない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 避難場所へ行けばどうにかなるから | 6. 町会・自治会で備蓄しているから |
| 2. 地震発生後に調達すればよいから | 7. 備蓄する意識がないから |
| 3. 費用がかかるから | 8. 保管場所がないから |
| 4. 賞味期限等の管理が難しいから | 9. その他 (.....) |
| 5. 食料不足はないと思うから | |

[2. 災害に関する情報の取得方法について]

【問22】 防災行政無線の放送内容は、24時間対応のフリーダイヤル【0120-^{フナバシ}2784-^{ムセン}61】や、市のホームページ（平日の午前9時から午後5時に更新）などで、確認することができます。防災行政無線の放送内容の確認方法について、次の中から最もあてはまるものを1つだけ選んでください。(〇は1つ)

- | | |
|---|----------------------------|
| 1. フリーダイヤルで確認している | 5. 確認方法は知っていたが実際に確認したことはない |
| 2. 市のホームページで確認している | 6. 確認できることを知らなかった |
| 3. 市役所に電話をして確認している | 7. その他 (.....) |
| 4. 「ふなばし情報メール」や各種 SNS (LINE・Facebook・Twitter) で確認している | |

〔問22で「1」、「2」、「4」、「5」のいずれかをお選びの方〕

【問22-1】 確認方法をどこで知りましたか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|-------------------------|
| 1. 市のホームページで検索 | 5. 市以外の団体が実施している講座・イベント |
| 2. 広報ふなばしの記事 | 6. 家族・親戚・友人の紹介 |
| 3. 防災ハンドブックなどの市が発行している防災啓発冊子 | 7. 町会・自治会の回覧 |
| 4. 市が実施している出前講座・イベント | 8. 市に電話で確認 |
| | 9. その他 (.....) |

（全員の方）

【問23】市では、気象警報や避難所開設情報などを、各種メディア・ツールで配信しています。利用しているメディア・ツールをお答えください。（〇はいくつでも）

- | | |
|----------------------------------|---------------------------|
| 1. 「ふなばし災害情報」を「ふなばし情報メール」で受信している | 5. 危機管理課 Facebook で確認している |
| 2. 「ふなばし災害情報」を LINE で受信している | 6. 市公式アプリ「ふなっぶ」で確認している |
| 3. 市のホームページで確認している | 7. その他（.....） |
| 4. 市公式 Twitter を受信している | 8. どれも利用していない |

（問23で1から6のうち1つでもお答えの方）

【問23-1】各種メディア・ツールをどこで知りましたか。（〇はいくつでも）

- | | |
|------------------------------|-------------------------|
| 1. 市のホームページで検索 | 5. 市以外の団体が実施している講座・イベント |
| 2. 広報ふなばしの記事 | 6. 家族・親戚・友人の紹介 |
| 3. 防災ハンドブックなどの市が発行している防災啓発冊子 | 7. 町会・自治会の回覧 |
| 4. 市が実施している出前講座・イベント | 8. 市に電話で確認 |
| | 9. その他（.....） |

[3. 災害時における避難について]**（全員の方）**

【問24】市では、避難所における新型コロナウイルス感染症防止のため、マスクや消毒液、パーティションの備蓄をしています。コロナ禍での災害時の避難について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。（〇は1つ）

- | | |
|-----------------------------|--------------------------------------|
| 1. 安全な自宅での避難を考えている | 6. 避難所へ避難したいが、感染の恐れがあるため自宅での避難を考えている |
| 2. 最寄りの避難所への避難を考えている | 7. その他（.....） |
| 3. 親類・友人宅への避難を考えている | 8. 避難を考えていない |
| 4. 宿泊施設（ホテルなど）への避難を考えている | |
| 5. 車で安全な所へ向かい、車中泊での避難を考えている | |

【問25】避難所に避難することになったと仮定した場合、新型コロナウイルス感染症防止のためにどのようなものを持っていきますか。（〇はいくつでも）

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. マスク | 5. スリッパ・上履き |
| 2. 体温計 | 6. ハンドソープ・石けん |
| 3. 消毒液・ウェットティッシュ | 7. その他（.....） |
| 4. タオル・手ぬぐい | 8. 何も持っていかない |

6 「めざすまちの姿」についてお聞きします

市では、平成 24 年度から令和 3 年度までのまちづくりの基本となる船橋市総合計画・後期基本計画を策定しました。この後期基本計画の重点テーマとして、「非常時への備えのあるまち」など、次の 6 つの『めざすまちの姿』の実現に取り組んでいます。

【問 26】「めざすまちの姿」について、あなたはごどう思いますか。

以下の (1)～(24) の項目についてあなたの考えに最も近いと思う番号をそれぞれ 1 つ選んでください。

(1)～(24) の項目について、○は 1 つずつ

		できて いる	まあまあ できている	いえな い	どちら でもない	あま り できて いない	でき て い な い	わ か ら な い
「非常時への備えのあるまち」	(1)災害時の情報収集・伝達体制の整備 被災者等のニーズにあった適切な情報収集や防災行政無線、インターネット等による情報伝達などの整備	1	2	3	4	5	6	
	(2)災害に強い地域社会づくり 消防力の充実、防災備蓄・避難所等の整備、自主防災組織の強化など	1	2	3	4	5	6	
	(3)災害に強い都市基盤の整備 橋や下水道、公共建築物や人が集まる施設の耐震化など	1	2	3	4	5	6	
	(4) (1)～(3)でお尋ねした事項を総合的に見て、 『非常時への備えのあるまち』としての環境整備	1	2	3	4	5	6	
「安心して暮らせるまち」	(5)保健・医療・福祉の体制づくり 各種健診・相談業務の実施や地域・救急医療、福祉サービスの充実など	1	2	3	4	5	6	
	(6)犯罪のないまちづくり 警察等との連携や自主防犯活動の支援など	1	2	3	4	5	6	
	(7)暮らしやすいまちづくり 買い物など日常生活に不可欠な機能や安心して歩ける道路、自家用車に頼らず暮らせる公共交通の改善など	1	2	3	4	5	6	
	(8)支えあいのコミュニティづくり 地域ぐるみの福祉活動やコミュニティ活動の支援など	1	2	3	4	5	6	
	(9) (5)～(8)でお尋ねした事項を総合的に見て、 『安心して暮らせるまち』としての環境整備	1	2	3	4	5	6	
豊かな環境のまち	(10)環境にやさしい暮らし方の普及 環境学習や教育による意識の向上、省エネ・リサイクル等の仕組みの推進など	1	2	3	4	5	6	
	(11)環境負荷の少ないまちづくり 公共交通機関や自転車の利用促進、下水道やごみ処理体制の拡充など	1	2	3	4	5	6	

(1)～(24)の項目について、〇は1つずつ

		できている	まあまあできている	いえないどちらとも	できていないあまり	できていない	わからない
豊かな環境のまち 「未来へつなぐ恵み	(12)自然とふれあう場づくり 公園、樹林地、水辺や農業・漁業など自然を身近に感じ、ふれあう場づくり	1	2	3	4	5	6
	(13) (10)～(12)でお尋ねした事項を総合的に見て、 『未来へつなぐ恵み豊かな環境のまち』としての環境整備	1	2	3	4	5	6
子育てのまち 「笑顔があふれる	(14)子どもが笑顔で育つまちづくり 子どもが遊びや学びを通じて、自立心や社会性を身につけていける場と機会の確保など	1	2	3	4	5	6
	(15)子育てを支援する環境づくり 保育所待機児童の解消や各種子育て支援サービスの提供など	1	2	3	4	5	6
	(16) (14)～(15)でお尋ねした事項を総合的に見て、 『笑顔があふれる子育てのまち』としての環境整備	1	2	3	4	5	6
人が集まる元気なまち 「	(17)快適さアップ 市街地、道路、安全な歩道の整備や良好な景観、公園など快適で暮らしやすい環境の整備	1	2	3	4	5	6
	(18)活力アップ 地域産業の活性化や商工業の集積、事業所の立地促進など	1	2	3	4	5	6
	(19)注目度アップ まちの魅力づくり、地域資源の市内外への発信、都市イメージなどの向上	1	2	3	4	5	6
	(20) (17)～(19)でお尋ねした事項を総合的に見て、 『人が集まる元気なまち』としての環境整備	1	2	3	4	5	6
市民に愛され、育まれるまち 「	(21)「ふなばし」の魅力発見 市内の自然や歴史、文化等の魅力を発見する機会の充実など	1	2	3	4	5	6
	(22)地域活動の支援と仕組みづくり 地域活動への参加促進、人材育成、団体間の連携支援など	1	2	3	4	5	6
	(23)市内外への「ふなばし」情報の発信 市民への情報提供、市の魅力に関する情報発信など	1	2	3	4	5	6
	(24) (21)～(23)でお尋ねした事項を総合的に見て、 『市民に愛され、育まれるまち』としての環境整備	1	2	3	4	5	6

7 「市の施策」についてお聞きします

【問27】次ページの表に記載する市の施策（37項目）について、どのように感じていますか。

①ここ数年でよくなったもの

（5つまで選んで番号を記入してください）

<input type="text"/>				
----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

「37. その他」を回答した場合は、具体的内容をお書きください。

②力を入れるべきもの

（5つまで選んで番号を記入してください）

<input type="text"/>				
----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

「37. その他」を回答した場合は、具体的内容をお書きください。

表 市の施策（37項目）

番号	施策の内容
1	保健・医療・福祉の連携、地域医療・救急医療体制の充実
2	各種検診や予防接種など予防体制の確立
3	地域ぐるみの福祉活動の支援と参加の促進
4	保育園、子育て相談などの子育て支援の充実
5	障害のある人に対する生活・就労支援など
6	高齢者の生きがいづくりや在宅・介護サービスの充実
7	親しみや安らぎを感じられる河川や調整池等の水辺の整備
8	公園や緑地、街路樹など豊かな緑の保全と創出
9	多様な動植物が生息できる環境や三番瀬の保全・再生など自然と共生したまちづくり
10	地球温暖化対策やリサイクルの促進など環境にやさしいまちづくり
11	下水道の整備など污水处理体制の充実
12	避難所の整備、自主防災組織の支援、施設の耐震化など災害対応の充実
13	自主防犯活動への支援など犯罪のないまちづくり
14	消防体制や救急搬送体制の充実
15	住まいに関する情報提供や相談、市営住宅の整備など住宅施策の充実
16	生涯学習の推進、芸術文化の振興
17	スポーツ・レクリエーション活動の場と機会の提供
18	学校教育の充実や家庭と地域の教育力の向上
19	青少年健全育成の推進
20	国際交流・平和施策の推進
21	産品ブランド(※1)・観光情報の発信、イベントの実施などまちの魅力の創出
22	商工業や農漁業など地域産業の振興・育成
23	若者・高齢者・障害者等の雇用の促進
24	消費生活相談（商品・サービスや契約）や自ら考え、判断できる消費者の育成など
25	バリアフリー化の推進や良好な景観の保全など計画的な都市づくり
26	海や川等の自然や商業施設の集積などを活かした魅力あるベイエリアの創出
27	交通渋滞の緩和や歩行者・自転車利用者の安全に配慮した幹線道路、生活道路の整備
28	公共交通の充実など誰もが使いやすい都市交通の確立
29	駅周辺地区の整備や土地区画整理事業など市街地の整備
30	市民活動の支援や市政への市民参加の促進など協働のまちづくり
31	市政に関する情報提供や市民ニーズの把握など市民との情報共有の推進
32	町会・自治会への活動支援などコミュニティの育成
33	男女共同参画社会の形成のための意識啓発や社会環境の整備
34	インターネットを利用した行政サービスなど高度情報社会の構築
35	都市ブランド(※2)の確立など都市の魅力を高める市政運営
36	行政改革の推進や市職員の資質向上など
37	その他

(※1) 産品ブランドとは、農水畜産品をはじめとした「船橋発」の産品のことです。

(※2) 都市ブランドとは、市民や市外の人々が共通に抱く「〇〇市らしさ」、良好なイメージのことです。

8 「回答していただいた方」についてお聞きします

【F1】性別を教えてください。(〇は1つ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

【F2】年齢を教えてください。(〇は1つ)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18～29歳 | 3. 40～49歳 | 5. 60～69歳 |
| 2. 30～39歳 | 4. 50～59歳 | 6. 70歳以上 |

【F3】職業を教えてください。(〇は1つ)

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1. 農業・漁業 | 6. 学生（予備校生を含む） |
| 2. 会社員・公務員 | 7. 専業主婦（主夫） |
| 3. 自営・自由業・経営者 | 8. 無職（年金生活を含む） |
| 4. 家族従業（1を除く）※ | 9. その他（.....） |
| 5. アルバイト・パート・契約（派遣）社員 | |

※「家族従業」とは、個人事業主の家族で、その事業を手伝っている者

【F4】世帯状況を教えてください。(〇は1つ)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 単身世帯（ひとり暮らし） | 4. 三世帯世帯（親と子と孫など） |
| 2. 一世帯世帯（夫婦のみ、兄弟姉妹のみ） | 5. その他（.....） |
| 3. 二世帯世帯（親子など） | |

【F5】「船橋市」に何年くらいお住まいですか。(〇は1つ)

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. 5年未満 | 4. 20年以上 |
| 2. 5年以上10年未満 | 5. 生まれたときから |
| 3. 10年以上20年未満 | |

【F6】現在お住まいの地区を教えてください。

次ページの「表 居住地区一覧」から該当する地区の番号を1つ記入してください。

【F7】現在お住まいのところに住む以前は、どちらにお住まいでしたか。(〇は1つ)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 生まれたときから現在のところ | 4. 東京都・神奈川県・埼玉県 |
| 2. 船橋市内の他の地区 | 5. 「1～4」以外の道府県 |
| 3. 千葉県の他の市町村 | 6. 日本国外 |

表 居住地区一覧

番号	地区名	住所
1	宮本	宮本、市場、東船橋、東町、駿河台
2	湊町	本町3丁目、湊町、浜町、若松、日の出、西浦、栄町、潮見町、高瀬町
3	本町	本町1～2丁目・4～7丁目
4	海神	南本町、海神、海神町、海神町東・西・南、南海神
5	葛飾	山野町、印内町、葛飾町、本郷町、古作町、古作、西船、印内、東中山
6	中山	二子町、本中山
7	塚田	旭町、行田町、行田、山手、北本町、前貝塚町
8	法典	丸山、上山町、馬込町、馬込西、藤原
9	夏見	夏見、夏見町、夏見台、米ヶ崎町
10	高根・金杉	高根町、金杉町、金杉、金杉台、緑台
11	高根台	高根台1～6丁目
12	新高根・芝山	芝山、新高根、高根台7丁目
13	前原	前原東、前原西、中野木
14	二宮・飯山満	二宮、飯山満町、滝台町、滝台
15	薬円台	薬円台、薬園台町、七林町
16	三山・田喜野井	三山、田喜野井、習志野
17	習志野台	習志野台、西習志野
18	二和	二和東、二和西
19	三咲	三咲町、三咲、南三咲
20	八木が谷	八木が谷町、咲が丘、みやぎ台、八木が谷、高野台
21	松が丘	松が丘
22	大穴	大穴町、大穴南、大穴北
23	豊富	小室町、小野田町、大神保町、神保町、車方町、鈴身町、豊富町、金堀町、楠が山町、古和釜町
24	坪井	坪井町、坪井東、坪井西

都市宣言

スポーツ健康都市宣言（昭和五十八年十月十日）

私たち船橋市民は、地域に根ざしたスポーツ活動を通じて健康で豊かな心とからだを育て、活力ある近代的な都市をめざして、ここにスポーツ健康都市を宣言します。

- 一、市民一人ひとりがスポーツに親しみ、健康な生活を営もう。
- 一、みんなでスポーツを楽しむ機会をつくり、こどもを健やかに育てよう。
- 一、スポーツを通じて、いきいきとした地域の輪を広げよう。
- 一、スポーツを通じて多くの仲間とふれあい、はずむ心を世界に伸ばそう。

平和都市宣言（昭和六十一年十二月十九日）

船橋市は、現在人口五十一万人を擁する首都圏有数の中核都市に成長し、第二の飛躍期を迎えている。そして、「活力ある近代的都市」を市政の目標に掲げ、より豊かな福祉社会実現のため懸命な努力を続けているところである。

しかし、郷土船橋の限りない繁栄は、日本の安全と世界の恒久平和なくしては望み得ないものである。

私たち船橋市民は、世界の恒久平和を願い、我が国の国是である非核三原則を遵守し、平和を脅かす核兵器の廃絶を目指して最大の努力を払うことを決意し、ここに「平和都市」を宣言する。

福祉と緑の都市宣言（平成四年九月十四日）

船橋市は、今や人口五十四万人を擁する首都圏屈指の中核都市へと成長し、二十一世紀に向けさらに大きく飛躍しようとしております。

私たち船橋市民は、緑豊かな環境の中で、お年寄りや障害をもつ方々を大切にす優しい心をはぐくみ、次代を担う子供たちが、すくすくと成長できる生きがいと温もりに満ちたまちづくりを目指し、ここに「福祉と緑の都市」を宣言いたします。

令和3年度 市民意識調査報告書

令和4年2月発行

- 【発行】 〒273-8501 船橋市湊町2丁目10番25号
船橋市市長公室 市民の声を聞く課
☎ 047 (436) 2784 (直通)
ホームページ <https://www.city.funabashi.lg.jp/>
メールアドレス shiminnokoe@city.funabashi.lg.jp
- 【実施】 〒261-8501 千葉県千葉市美浜区中瀬1丁目3番地
幕張テクノガーデン CB棟3階 MBP
株式会社 総合企画 千葉事務所
☎ 043 (330) 3600 (代表)

●この冊子は、地球環境保全推進のため、再生紙を使用しています。

